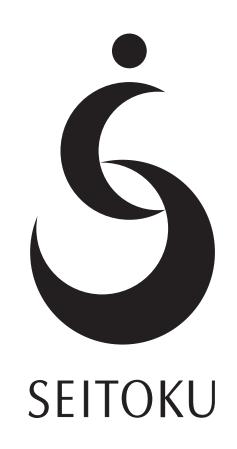
教育課程

(履修要項)

(令和2年度)



聖徳大学

教育課程(履修要項)(令和2年度) 聖徳大学

目次

はじぬ	
	教育課程の使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.	学習の流れと履修にあたっての注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
聖徳プ	
	くせ
꾸기	
教育	育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
人与	学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)・・・・・・・・・・・ 5
I 全等	学共通科目
Ⅱ児重	章学部
1	児童学部 全学共通科目(A類)履修要項、配当表
	児童学部 全学共通科目 履修要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
	聖徳教育科目配当表 (別表Ⅱ-1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	教養科目配当表 (別表Ⅱ - 2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
	専門基礎科目配当表 (別表Ⅱ - 3)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
	外国語科目配当表 (別表Ⅱ - 4)···································
	健康教育科目配当表 (幼稚園、保育士、小学校、特別支援教育、スポーツ健康コース) (別表Ⅱ-5)・・・・ 16
	健康教育科目配当表 (児童心理コース、児童文化コース) (別表 II - 6)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	情報活用科目配当表 (別表 II - 7)···································
	帰国子女科目配当表 (別表Ⅱ-8)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
(2)	児童学部 専門教育科目(B類)履修要項、配当表、履修モデル、
	カリキュラムマップ、学びで得られる成果(Learning Outcomes)
	児童学科 幼稚園教員養成コース (別表Ⅱ-9)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	保育士養成コース (別表Ⅱ-10)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	小学校教員養成コース (別表Ⅱ-11)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	特別支援教育コース (別表Ⅱ-12)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	児童心理コース (別表Ⅱ-13)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	児童文化コース (別表Ⅱ - 1 4)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	スポーツ健康コース (別表Ⅱ - 1 5)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	特別支援学校教諭免許状関係科目、ピアヘルパー受験資格 (別表Ⅱ-16、17)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	的加入该于人统则是时机构所引出、C)、1/4/1、 文观集品 (加公里 10111)
Ⅲ心理	里・福祉学部
1	心理・福祉学部 全学共通科目(A類)履修要項、配当表
	心理·福祉学部 全学共通科目 履修要項····· 99
	聖徳教育科目配当表 (別表Ⅲ-1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	教養科目配当表 (別表Ⅲ-2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	外国語科目配当表 (別表Ⅲ-3)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	健康教育科目配当表(心理学科) (別表Ⅲ-4) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	健康教育科目配当表(社会福祉学科) (別表Ⅲ - 5)···································
	情報活用科目配当表 (別表Ⅲ - 6)···································
	帰国子女科目配当表 (別表Ⅲ - 7)···································
(2)	心理・福祉学部 専門教育科目(B類)履修要項、配当表、履修モデル、
	カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes)
	心理学科 (別表Ⅲ-8)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・103
	社会福祉学科 社会福祉コース (別表Ⅲ-9)・・・・・・・・・・・・・111
	社会福祉学科 介護福祉コース (別表Ⅲ-10)・・・・・・・・・・・122
	社会福祉学科 養護教諭コース (別表Ⅲ-11、12)・・・・・・・・・・・・・・・・・・133

	教職課程履修について 高等学校一種免許状(福祉) (別表Ⅲ-13、14)	144
	教職課程履修について 養護教諭一種免許状 (別表Ⅲ-15、16)	145
Ⅳ文賞		
1	文学部 全学共通科目(A類)履修要項、配当表	
	文学部 全学共通科目 履修要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	聖徳教育科目配当表 (別表Ⅳ-1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	152
	教養科目配当表 (別表Ⅳ-2)	152
	外国語科目配当表 (別表Ⅳ-3)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	専門基礎科目配当表 (別表Ⅳ-4)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	153
	健康教育科目配当表 (別表Ⅳ-5)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	情報活用科目配当表 (別表IV - 6)······	
	帰国子女科目配当表 (別表IV - 7)···································	154
2	文学部 専門教育科目(B 類)履修要項、配当表、履修モデル、	
	カリキュラムマップ、学びで得られる成果(Learning Outcomes)	
	英語・英文学コース (別表IV - 8)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	教職課程履修について 中学校教諭一種免許状、高等学校一種免許状(英語)(別表Ⅳ-9、10)・・・・	
	日本語・日本文学コース (別表IV-11)	
	教職課程履修について 中学校教諭一種免許状、高等学校一種免許状(国語)(別表Ⅳ-12、13)・・・	
	歴史文化コース (別表N-14)····································	
	教職課程履修について 中学校一種免許状(社会) (別表Ⅳ-15、16)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	教職課程履修について 高等学校一種免許状 (地歴) (別表 IV − 17、18)····································	
	青垣又化コース (別表N - 2 1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	教職課程復修について 高寺学校一俚兄計板 (青垣) (別表 W − 2 2 、 2 3)···································	190
	図青期情報コース (別表IV - 2 4)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	197 207
	教食/ リインコース (所衣W - 2 3)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	201
77 人艮	蜀栄養学部	
(1)		
	人間栄養学部 全学共通科目 履修要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	219
	聖徳教育科目配当表 (別表 V - 1) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		220
	教養科目配当表 (別表 V - 2)····· 専門基礎科目配当表 (別表 V - 3)·····	220
	教養科目配当表 (別表 V - 2)····· 専門基礎科目配当表 (別表 V - 3)···· 外国語科目配当表 (別表 V - 4)····	220 221 221
	教養科目配当表 (別表 V - 2)····· 専門基礎科目配当表 (別表 V - 3)····	220 221 221
	教養科目配当表 (別表 $V-2$)···· 専門基礎科目配当表 (別表 $V-3$)··· 外国語科目配当表 (別表 $V-4$)··· 健康教育科目配当表 (別表 $V-5$)··· 情報活用科目配当表 (別表 $V-6$)···	220 221 221 221 221 221
	教養科目配当表 (別表 $V-2$)···· 専門基礎科目配当表 (別表 $V-3$)··· 外国語科目配当表 (別表 $V-4$)··· 健康教育科目配当表 (別表 $V-5$)···	220 221 221 221 221 221
2	教養科目配当表 (別表 $V-2$)···· 専門基礎科目配当表 (別表 $V-3$)··· 外国語科目配当表 (別表 $V-4$)··· 健康教育科目配当表 (別表 $V-5$)··· 情報活用科目配当表 (別表 $V-6$)···	220 221 221 221 221 221
2	教養科目配当表 (別表V-2)··· 専門基礎科目配当表 (別表V-3)· 外国語科目配当表 (別表V-4)·· 健康教育科目配当表 (別表V-5)· 情報活用科目配当表 (別表V-6)· 帰国子女科目配当表 (別表V-7)· 人間栄養学部 専門教育科目 (B類) 履修要項、配当表、履修モデル、 カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes)	220 221 221 221 221 222
2	教養科目配当表 (別表V-2)··· 専門基礎科目配当表 (別表V-3)· 外国語科目配当表 (別表V-4)·· 健康教育科目配当表 (別表V-5)· 情報活用科目配当表 (別表V-6)· 帰国子女科目配当表 (別表V-7)· 人間栄養学部 専門教育科目 (B類) 履修要項、配当表、履修モデル、 カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 人間栄養学科 (別表V-8)·	220 221 221 221 221 222 222
2	教養科目配当表 (別表V-2)···· 専門基礎科目配当表 (別表V-3)··· 外国語科目配当表 (別表V-4)··· 健康教育科目配当表 (別表V-5)··· 情報活用科目配当表 (別表V-6)·· 帰国子女科目配当表 (別表V-7)··· 人間栄養学部 専門教育科目 (B類) 履修要項、配当表、履修モデル、 カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 人間栄養学科 (別表V-8)··· 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (家庭) (別表V-9、10)···	220 221 221 221 221 222 222 223 226
2	教養科目配当表 (別表V-2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	220 221 221 221 221 222 223 226 227
2	教養科目配当表 (別表V-2)···· 専門基礎科目配当表 (別表V-3)··· 外国語科目配当表 (別表V-4)··· 健康教育科目配当表 (別表V-5)··· 情報活用科目配当表 (別表V-6)·· 帰国子女科目配当表 (別表V-7)··· 人間栄養学部 専門教育科目 (B類) 履修要項、配当表、履修モデル、 カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 人間栄養学科 (別表V-8)··· 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (家庭) (別表V-9、10)···	220 221 221 221 221 222 223 226 227
	教養科目配当表 (別表V - 2) 専門基礎科目配当表 (別表V - 4)・ 健康教育科目配当表 (別表V - 5)・ 情報活用科目配当表 (別表V - 6)・ 帰国子女科目配当表 (別表V - 7)・ 人間栄養学部 専門教育科目 (B類) 履修要項、配当表、履修モデル、 カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 人間栄養学科 (別表V - 8)・ 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (家庭) (別表V - 9、10)・ 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (保健) (別表V - 11、12)・ 教職課程履修について 栄養教諭一種免許状 (別表V - 13、14)・	220 221 221 221 221 222 223 226 227
VI看認	教養科目配当表 (別表V-2) 専門基礎科目配当表 (別表V-3) 外国語科目配当表 (別表V-4)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	220 221 221 221 221 222 223 226 227
	教養科目配当表 (別表V - 2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	220 221 221 221 221 222 223 226 227 228
VI看認	教養科目配当表 (別表V - 2) 専門基礎科目配当表 (別表V - 4) 健康教育科目配当表 (別表V - 5) 情報活用科目配当表 (別表V - 6) 帰国子女科目配当表 (別表V - 7) 人間栄養学部 専門教育科目 (B類) 履修要項、配当表、履修モデル、 カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 人間栄養学科 (別表V - 8) 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (家庭) (別表V - 9、10) 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (保健) (別表V - 11、12) 教職課程履修について 栄養教諭一種免許状 (別表V - 13、14) 要学部 看護学部 全学共通科目 (A類) 履修要項、配当表 看護学部 全学共通科目 履修要項・配当表	220 221 221 221 221 222 223 226 227 228
VI看認	教養科目配当表 (別表V - 2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	220 221 221 221 221 222 223 226 227 228 239 240
VI看認	教養科目配当表 (別表V - 2) 専門基礎科目配当表 (別表V - 3) 外国語科目配当表 (別表V - 4) 健康教育科目配当表 (別表V - 5) 情報活用科目配当表 (別表V - 6) 帰国子女科目配当表 (別表V - 7) 人間栄養学部 専門教育科目 (B類) 履修要項、配当表、履修モデル、カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 人間栄養学科 (別表V - 8) 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (家庭) (別表V - 9、10) 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (保健) (別表V - 11、12) 教職課程履修について 栄養教諭一種免許状 (別表V - 13、14) 養学部 看護学部 全学共通科目 (A類) 履修要項、配当表 看護学部 全学共通科目 履修要項 聖徳教育科目配当表 (別表VI - 1) 外国語科目配当表 (別表VI - 2)	220 221 221 221 221 222 223 226 227 228 239 240 240
VI看認	教養科目配当表 (別表V - 2) 専門基礎科目配当表 (別表V - 4) 健康教育科目配当表 (別表V - 5) 情報活用科目配当表 (別表V - 6) 帰国子女科目配当表 (別表V - 7) 人間栄養学部 専門教育科目 (B類) 履修要項、配当表、履修モデル、 カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 人間栄養学科 (別表V - 8) 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (家庭) (別表V - 9、10) 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (保健) (別表V - 11、12) 教職課程履修について 栄養教諭一種免許状 (別表V - 13、14) 整学部 看護学部 全学共通科目 (A類) 履修要項、配当表 看護学部 全学共通科目 履修要項・配当表 看護学部 全学共通科目 履修要項・ 聖徳教育科目配当表 (別表VI - 2) 健康教育科目配当表 (別表VI - 2) 健康教育科目配当表 (別表VI - 2)	220 221 221 221 221 222 223 226 227 228 239 240 240 241
VI看認	教養科目配当表 (別表V - 2)… 専門基礎科目配当表 (別表V - 3)… 外国語科目配当表 (別表V - 5)… 健康教育科目配当表 (別表V - 5)… 情報活用科目配当表 (別表V - 6)… 帰国子女科目配当表 (別表V - 7)… 人間栄養学部 専門教育科目 (B類) 履修要項、配当表、履修モデル、カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 人間栄養学科 (別表V - 8)… 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (家庭) (別表V - 9、10)… 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (保健) (別表V - 11、12)… 教職課程履修について 栄養教諭一種免許状 (別表V - 13、14)… 響学部 看護学部 全学共通科目 (A類) 履修要項、配当表 看護学部 全学共通科目 履修要項・配当表 看護学部 全学共通科目 履修要項・配当表 看護学部 全学共通科目 履修要項・配当表 看護学部 会学共通科目 履修要項・配当表 看護学部 会学共通科目配当表 (別表VI - 2)… 健康教育科目配当表 (別表VI - 3)… 情報活用科目配当表 (別表VI - 3)… 情報活用科目配当表 (別表VI - 4)…	220 221 221 221 221 222 223 226 227 228 239 240 240 241 241
VI看認	教養科目配当表 (別表V - 2) 専門基礎科目配当表 (別表V - 4) 健康教育科目配当表 (別表V - 5) 情報活用科目配当表 (別表V - 6) 帰国子女科目配当表 (別表V - 7) 人間栄養学部 専門教育科目 (B類) 履修要項、配当表、履修モデル、 カリキュラムマップ、学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 人間栄養学科 (別表V - 8) 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (家庭) (別表V - 9、10) 教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状 (保健) (別表V - 11、12) 教職課程履修について 栄養教諭一種免許状 (別表V - 13、14) 整学部 看護学部 全学共通科目 (A類) 履修要項、配当表 看護学部 全学共通科目 履修要項・配当表 看護学部 全学共通科目 履修要項・ 聖徳教育科目配当表 (別表VI - 2) 健康教育科目配当表 (別表VI - 2) 健康教育科目配当表 (別表VI - 2)	220 221 221 221 222 223 226 227 228 239 240 240 241 241

2	看護学部	専門教育科目(B 類)履修要項、配当表、履修モデル、
		カリキュラムマップ、学びで得られる成果(Learning Outcomes)
	看護学科	(別表Ⅵ-7)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ı mətə v	5·24·57	
	美学部	*********
(1)	音楽学部	音楽学科 全学共通科目(A類)履修要項、配当表
		全学共通科目 履修要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・251
		斗目配当表 (別表Ⅶ-1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 252
		記当表 (別表Ⅲ-2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・252
		目配当表 (別表Ⅶ-3)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・253
		斗目配当表 (別表Ⅶ-4)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		斗目配当表 (別表Ⅶ-5)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・254
	帰国子女和	斗目配当表 (別表Ⅶ-6)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2	音楽学部	音楽学科 専門教育科目(B類)履修要項、配当表、
		カリキュラムマップ、学びで得られる成果(Learning Outcomes)
	音楽学科	(別表\ 7、8) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	教職課程履	憂修について 中学校教諭一種免許状(音楽)高等学校一種免許状(音楽) (別表Ⅲ-9、10、11)
		269
Ⅷ資林	各関係科目に	こついて
ř	脊格関係課 和	_星 の履修について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		^
		事任用資格関係科目配当表 (別表〒-2)····································
		字目配当表 (別表〒-3)····································
		7日記当後 (M& m - 3) ション関係科目配当表 (別表 m - 4)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		を成講座 (別表WI-5)····································
_ L	1/下町状只多	支/A PP /工.

はじめに

この教育課程(履修要項)は、令和2年度に入学された学生の皆さんを対象に、履修にあたっての諸注意、履修の方法について説明が記載されています。本冊子は入学時に一度しか配布しませんので、紛失しないように大切に扱ってください。また、必要箇所については熟読し、理解を深めていただき、授業に臨んでください。

1. 教育課程の使い方

所属する学部・学科・コースの履修要項の指示に従い、該当の別表より履修する科目を確認してください。

別表の種類

別表は、次の3つに分類されます。

- (1) 全学共通科目 (A類) = 聖徳教育科目・教養科目・(基礎専門科目)・外国語科目・健康 教育科目・情報活用科目・(帰国子女科目)
- (2) 専門教育科目 (B類) = 各学科・コースに設置された専門教育科目
- (3) 教職・資格関係科目 =免許・資格を取得するための科目で、原則として、卒業単位数に 含まれない科目

特に(1)、(2)については必修科目(卒業する為に必ず履修しなければならない科目)や選択必修科目(卒業するために、必ず決められた条件により必要な単位数を修得しなければならない科目)が多数含まれているので履修にあたってはよく確認してください。

2. 学習の流れと履修にあたっての注意事項

みなさんの年間の学習の流れをここに分かりやすくまとめました。併せて学生便覧の「学修について」の項目も熟読して学習に取り組んでください。

学	春雪	春学期												秋学期									
期																							
項	入	\Rightarrow	春	\Rightarrow	履	履	\Rightarrow	課	\Rightarrow	試	\Rightarrow	成	\Rightarrow	秋	\Rightarrow	履	履	\Rightarrow	試	\Rightarrow	成	\Rightarrow	進
目	学		学		修	修		程		験		績		学		修	修		験		績		級
	•		期		登	取		登				発		期		登	取				発		•
	新		授		録	消		録				表		授		録	消				表		卒
	学		業		•							•		業		•					•		業
	年		開		確							追		開		確					追		
			始		認							再		始		認					再		
												試									試		
時			4		4	5		6		7		8		9		10	11		1		3		3
期			月		月	月		月		月		月		月		月	月		月		月		月
			上		下	10		中		下		下		下		下	10		下		中		下
			旬		旬	日				旬		旬		旬		旬	日		旬		旬		旬

①学期

1年間の学期は、春学期(4月~9月末)・秋学期(9月末~3月末)の2学期に分かれ、それぞれの学期で授業期間、定期試験期間などが設定されています。本学で設置されている科目は、一部の通年科目を除いて春学期・秋学期の学期毎に開講されています。授業期間や行事等は「学生便覧」の学事日程で確認しておいてください。

②単位制と単位認定について

大学では、単位制が採用されています。単位制とは一定の学修量を単位として表わし、所定の期間で量的修得を卒業の判定基準とする方式です。各授業科目の単位修得の認定は、一定時間以上の授業に出席し、かつ、科目担当教員の試験等に合格したものにその単位が与えられます。授業科目の授業方法や修得できる単位数については各自別表で確認してください。

授業科目を履修し、試験を受けると、成績の評価がなされます。成績評価は、次の基準に基づいておこなわれ、100点を満点として60点以上($S\cdot A\cdot B\cdot C$ 評価)の場合には合格として所定の単位が与えられます。

③授業時間について

授業時間は9.0分を1授業時間として行われます。実験・実習・実技科目等の中には1.3.5分で行われるものもあります。

④履修登録

授業科目を履修するためには、各学期始めに必ず履修登録を行わなければなりません。登録をしなかった科目については、単位の修得は認められません。なお、履修年次配当で自分の学年より上級年次に配当されている科目は履修できません。

また、一度履修登録をした科目を他の科目に変更することは、原則として認められません。履修登録の方法については学期開始時にお知らせをいたします。

⑤履修取消について

履修取消のみ指定期間内に限り認めます(<u>春学期:5月10日</u>まで <u>秋学期11月10日</u>まで いかなる理由であっても上記期間を過ぎた取消は認められません)。履修登録に際しては、慎重に 履修計画をたてて臨むようにしてください。

⑥再履修について

前年度履修科目において不合格になった科目を翌年度以降に再度履修することを再履修といい、その年度にあらためて履修することが出来ます。登録方法は、「再履修許可願」を提出するとともに、履修登録をする必要があります。具体的な手続きについては各学期開始時に指示があります。なお、再履修科目と必修科目の受講時間が重なる場合は、各学科の教務委員の先生または教育支援課に相談してください。

⑦履修登録の上限

各年次において履修登録できる単位数は、1年間で40単位を上限とします。ただし、教員免許 状及び諸資格を取得する場合は、1年間で40単位を超えて履修登録することができます。

⑧進級基準について

2年次から3年次へ進級するには、卒業要件単位数のうち、以下に記載する単位を修得しなければなりません。成績表で修得単位数を必ず確認してください。

進級基準

2年次から3年次への進級

修得単位数	卒業要件単位数が50単位以上であること。
修得科目の要件	①聖徳教育Ⅲ (SEITOKU Academic Literacy I、SEITOKU Academic
	Literacy Ⅱ)を修得していること。
	②人間栄養学部の学生にあっては、①に加えて2年次までに修得す
	べき管理栄養士指定科目のうち、未修得科目が10科目以内である
	こと。

⑨卒業要件について

卒業には次の要件を満たす必要があります。

- (1) 4年以上在学していること。(休学期間は含まれません。)
- (2) 卒業に必要な授業科目及び単位数を修得していること。
- (3) 本学で必須と定めた学校行事に参加する等の条件をみたしていること。
- (4)授業料等校納金を完納していること。

聖徳大学

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

聖徳大学は、1933 年に創立された東京聖徳学園の建学の精神である「和」を教育理念としています。本学は、この理念を社会に創造的に活かしながら、常に新しい教育に挑戦するとともに、時代を超えて求められる多様な他者への尊敬と共感を大切にする人間性を備えた女性を様々な世界に輩出しています。

現代社会は、政治・経済・文化のグローバル化が進み、個人・社会の価値観が多様化・複雑化し、きわめて多くの複合的な問題に直面しています。このような変化の激しい社会において、人間の尊厳を見失わず、自ら新たな問いを立て多様な他者と協働しながら新たな価値を生むための力の育成が求められています。

聖徳大学は、時代をリードする教育改革を進め、互いの価値観を共感的に受け止める確かな人間性、グローバルかつローカルな視点と学際的な洞察力、社会で発揮できる専門性の高い実践力をもつ人を着実に育成し、調和ある社会の発展に貢献しています。

聖徳大学は、上記の教育理念に基づいて、以下の四つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

- 1. 他者を思いやる協調性とともに、凛として生き抜いていくための確かな人間性を育成する。
- 2. 自己分析力、論理的思考力、自己管理能力を活かし、個別学問領域を超えたアイディア や洞察力と多面的な問題発見・解決力を育成する。
- 3. 専門分野に関する理論・知識・技能を修得し、理論と実践を結びつけて社会で発揮できる専門性の高い実践力を育成する。
- 4. グローバルな視野を備え地域で活躍できる専門性の高い実践力を発揮して、自分なりの価値を見いだし、自らの意思で一歩を踏み出すことのできる女性を育成する。

聖徳大学では、こうした教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

【学修成果】

- 1. 一流の文化・芸術がもつ普遍性と固有性を感受し、グローバルで多様な価値を受け止めることができる。
- 2. 思いやりと慎みの心をもって相手の立場に立ち、集団の中で自立した行動をとることができる。
- 3. 自己や事象を客観的かつ論理的に考察することができ、自己の生き方をデザインすることができる。
- 4. 個別学問領域を超えたアイディアや洞察力を活かし、自己の確立を図ることができる。
- 5. 専門分野に関する知識・技能を体系的に学び、理論と実践を結びつけて主体的に課題を 解決することができる。
- 6. 専門領域に関わる理論と知識と技能を結びつけて、グローバルかつローカルな視点をもって、多様な実際的かつ実践的な問題や課題に主体的に、かつ協働して取り組むことが

できる。

聖徳大学では、以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位 を修得した人に、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

聖徳大学では、学修成果を体系的に達成するために、全学共通科目と専門教育科目の教育 課程を以下の方針に基づいて編成しています。

【教育課程編成の方針】

I 全学共通科目

全学共通科目は、「聖徳教育科目」、「教養科目」、「外国語科目」等から構成しています。

「聖徳教育科目」は「小笠原流礼法基礎講座」と「聖徳教育」から編成し、聖徳学園の 建学の精神「和」に基づいた本学独自の人間教育を目的とし、確かな人間性を育成します。

「教養科目」は、文化、社会、自然、身体・精神などに関わるグローバルかつ複合的な 諸現象や多様な問題状況に向き合い、個別学問領域を超えたアイディアや学際的かつ多面 的な洞察力と学術を総合した問題解決力を育成します。

「外国語科目」等は外国語および的確な情報によるコミュニケーション・スキルを育成 し、グローバル社会に対応できるコミュニケーション能力を育成します。

Ⅱ 専門教育科目

学科の教育目的を達成するために専門性の高い実践力を育成する教育課程を編成しています。その編成は次の基本方針に基づいています。

- 1. 学科の専門性を習得するために不可欠な学術的な基礎力を育成します。
- 2. 現代的課題に対応した専門的理論と知識を学び、問題・課題解決のための基礎力を育成します。
- 3. 充実した演習・実習科目を設定し、実際場面における問題・課題解決を通して実践力を育成します。
- 4. 専門職業人として自立し、優れた感性と表現力、柔軟な思考力と行動力を備え、卒業後の現場で生きる専門性の高い資質・能力を育成します。

【教育課程実施の方針】

全学科において、全学共通科目と専門教育科目の学修成果を効果的に達成するために、授業計画(シラバス)を作成して以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

- 1.「到達目標」、「学修成果」、「評価の要点」を明示し、実施しています。
- 2. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び他の授業科目との関連を明示しています。
- 3. 授業方法として能動的な学び(アクティブ・ラーニング)を導入し、深い学びを促進しています。
- 4. 毎時間の「身につく資質・能力」と「予習・復習」時間を明記し、その実施を促進し

ています。

入学者受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

聖徳大学は、総合大学という特質を活かして、変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな人間性、どのような社会であっても不可欠な自己分析力、論理的思考力、自己管理能力、個別学問領域を超えたアイディアや洞察力と多面的な問題発見・解決力、そしてそれらを発揮して主体的にかつ協働して課題に取り組める、社会で発揮できる聖徳ならではの専門性の高い実践力をもつ人の育成を目指しています。

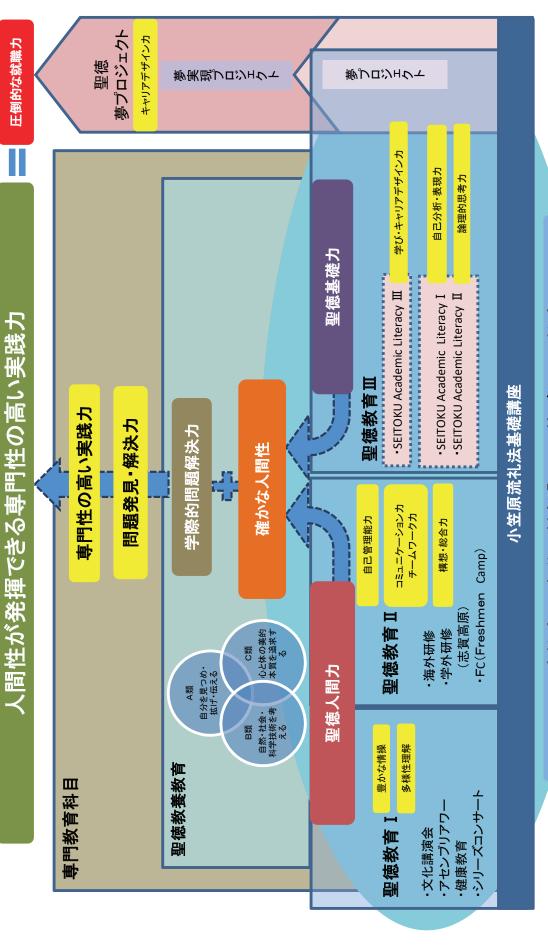
聖徳大学はこうした目的を理解し、それを達成できる資質をもった人を求めています。具体的には、次のような人を求めています。

- 1. 学びを通して、自己の成長を実現したいという強い意欲をもっている人。
- 2. 学びを通して、社会に貢献する夢をもっている人。
- 3. 学内外で必要なコミュニケーション力などの基礎を備えている人。
- 4. 授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。

聖徳大学ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学 試験を行っています。こうした試験においては、各学科での学習に必要な技能、知識、基礎 的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作ってい く力などについて、書類審査 (調査書、推薦書など)、実技試験、学力試験、面接などを組み 合わせて総合的に評価します。

_	6	_
_	n	_

聖徳大学の教育プログラムと学びで得られる成果 (SEITOKU Learning Outcomes)



聖徳教育=建学の精神「和」に基づく人間教育

児童学部 児童学科

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

児童学部児童学科は、児童を多面的に研究する児童学をベースに、七つのコース (「幼稚園教員養成コース」「保育士養成コース」「小学校教員養成コース」「特別支援教育コース」「児童心理コース」「児童文化コース」「スポーツ健康コース」) から小学校教諭・特別支援学校教諭・幼稚園教諭・保育士など複数の免許・資格が取得できる他にない学科の特質を生かして、多くの人材をこれまでのように輩出していきます。

現代社会は急速な変化を続けており、子どもの成長に関する新たな問題が次々と生じています。子どもに関する深い知識や技能をもち、創造的な思考力等を身につけ、他と協働しながら様々な問題を解決できる人材が求められています。児童学部児童学科は、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、問題解決力等をもった実践力のある人材の育成を通して、社会の発展に貢献することを目指して、次のような目標を掲げ教育を行います。

【教育目標】

- 1. 礼節や思いやりがあり、多様な価値観を受け入れられる人間性と、未来の子ども達に 伝える芸術や文化に関する教養をもち、社会の発展に寄与する人を育成する。
- 2. 児童学の学びを通して、子どもの可塑性に富んだ活動に対応できる専門的な知識及び技能をもち、豊かな創造性を備えた人を育成する。
- 3. 高いコミュニケーション・スキルやリーダーシップ等を発揮し、他と協働しながら様々な問題に対応し解決できる実践力を育成する。

【学修成果】

上記の教育目標に基づき、以下のような学修成果を設定します。

- 1. 礼節や思いやり、豊かな子ども観などをもって子どもに接するとともに、自律的に学 び続けながらよりよい社会の形成に貢献することができる。
- 2. 児童の心や成長に関する知識や技能を体系的に理解するとともに、子どもに関する情報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。
- 3. 身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で子どもとコミュニケーションするとともに、周りと協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。

以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、学士(児童学)の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

児童学部児童学科は、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目 (全学共通科目)と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を 育む専門教育科目の教育課程を編成しています。 専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 学部共通科目群

- (1) 児童学の学びを通して、子どもの多面的な活動を理論的に深め、具体化するための技能を身につけます。
- (2) 学問的背景を踏まえた折り紙や手遊び、ピアノなど多彩な表現力や教材作成の技能を身につけた上で実習を通して教育現場が求める実践力を磨きます。
- (3) 四年間の学び、そして卒業後の活躍を具体にデザインするとともに、子どもに関する問題について、3年次ゼミ、4年次の卒業研究ゼミを通して専門的な問題解決力を 高めます。

2. コース別専門科目群

(1) 幼稚園教員養成コース

幼稚園教育は学校教育の始まりととらえ、幼児一人ひとりを理解し、豊かな成長を促す専門性が身につく、「保育の聖徳®」にふさわしい教育課程を編成します。理論、実践科目、附属幼稚園や外部の幼稚園で行う実習を通して、幼児の発達を支え、地域や保護者から信頼される、優れた実践力と教材研究の力を身につけます。

(2) 保育士養成コース

子どもの生活や遊びを豊かにし、その成長を支えるとともに、それぞれの地域社会の特性に応じた子育で支援が可能な専門性を身につける、「保育の聖徳®」にふさわしい教育課程を編成します。授業に加えて、保育所や社会福祉・児童福祉施設(保育所を除く)で行われる実習を通して、子どもの幸せを第一に考え、その福祉を積極的に増進できる確かな実践力を培います。

(3) 小学校教員養成コース

子どもを理解し、保護者に信頼され、地域社会と連携しながら適切に指導できる実践力を身につける教育課程を編成します。英語教育が充実されるのに伴い、1年次から英語を4年間学び実力をつけます。また、4年次には教科等を選択して専門性を深めます。さらに、各教科等の内容と指導方法に加え、附属小学校での観察実習や公立小学校での教育実習を通して、高い授業力と教育課題を解決できる実践力を身につけます。

(4) 特別支援教育コース

通常学級に在籍する子どもを含め障害のある子どもを理解し、保護者に信頼され、地域社会と連携しながら適切に指導・支援ができる専門的な実践力を身につける教育課程を編成します。各種の障害についての理論と指導方法に加え、特別支援学校での実習を通して、高い授業力と教育課題を解決できる実践力を身につけます。

(5) 児童心理コース

子どもの心を多角的にとらえ、成長や発達を支える実践力を身につけるとともに、保育士や教員の資格・免許の取得が可能な教育課程を編成します。心理学を専門的に学び、子どもの心の理解と適切な支援ができる実践力を身につけます(認定心理士取得が可能)。

(6) 児童文化コース

子どもの遊びと文化を学び、地域に貢献できる実践力を身につけるとともに、保育士や教員の資格・免許の取得の可能な教育課程を編成します。音楽・造形・身体などの表現、文化や環境、地域交流などの学習を通して的確な自己表現力で他と協働しながら地域社会で活躍できる専門的な実践力を身につけます。

(7) スポーツ健康コース

子ども達にスポーツの楽しさを伝える実践力を身につけるとともに、資格・免許取得の可能な教育課程を編成します。ジュニア期(幼児期~児童期)の発育発達に応じた 運動遊びやスポーツ指導に関する理論や技術を学び、児童期から生涯にわたる健康つくりを通して地域に貢献できる実践力を身につけます。

【教育課程実施の方針】

- 1. 学生が自ら主体的に学ぶ授業を展開するとともに、学生と教員がともに学び合う「対話の教室」を通して、学修成果の向上を図ります。
- 2. 学外宿泊研修、卒業研究などにおいてルーブリック評価を導入し、評価結果を教員と 学生で共有しながら学びを改善・充実します。
- 3. 教育実習や保育実習では、本学教員及び附属小学校や附属幼稚園教諭による事前・事後指導を実施し、教育課題に即応できる実践力の向上を図ります。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

児童学部児童学科では、子どもに関わる専門的な実践力をもち、地域社会に貢献できる 人材を育成するために、次のような能力をもつ入学者を求めています。

- 1. 子どもの成長や発達に関心があり、子どもの心に寄り添うことができる人。
- 2. 自己の人間性や教養を高め、調和ある社会の発展に貢献しようとする人。
- 3. 心身ともに健全で、子どもや保護者、地域の人などと積極的に交流するとともに、 教育実習等を継続できる人。
- 4. 学業成績が児童学を習得するために必要な水準に達している人。
- 5. 他と協働しながら問題に取り組むコミュニケーション・スキルをもつ人。
- 6. 問題に対して資料等を十分に活用しながら解決方法を考えることができる人。

児童学部児童学科では、このような人を受け入れるために多様な受験機会を用意し、様々な入学試験を行っています。こうした試験においては、本学部での学修に必要な学習意欲や基礎的な学力、コミュニケーション力、課題解決力などについて、書類審査、作文や小論文、学力試験、面接などを多面的に組み合わせて総合的に評価します。



児童学部 全学共通科目 履修要項

① 卒業所要単位数は、下表のとおりです。

コース名	全学共通科目 (A類)	専門教育科目 (B類)	≅ †
幼稚園教員養成コース	30単位	9 4 単位	124単位
保育士養成コース	3 0 単位	9 4 単位	124単位
小学校教員養成コース	3 0 単位	9 4 単位	124単位
特別支援教育コース	3 0 単位	9 4 単位	124単位
児童心理コース	3 0 単位	9 4 単位	124単位
児童文化コース	3 0 単位	9 4 単位	124単位
スポーツ健康コース	3 0 単位	9 4 単位	124単位

② 児童学部の全学共通科目 (A類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

	全 学 共 通	科 目(A類)		
聖徳教育	教養科目、専門基礎科目	健康教育	計		
科目	及び外国語科目	科目	科目		
7	20	2	1	30	

- ③ 児童学部の学生は、全学共通科目 (A類) については、別表II-1、2、3、4、5、6、7 のとおり履修してください (同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④ 聖徳教育科目(別表Ⅱ-1)はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目(別表Ⅱ-2)は12単位以上(小学校教員養成コースは8単位以上)が必修です。 1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類~C類まで一つの群に集中する ことなくバランスよく履修してください。
 - D類の「日本国憲法」は、小学校教員養成コース、特別支援教育コース、幼稚園教員養成コース、保育士養成コース及び教員免許状・保育士資格を取得する者は必修です。
- ⑥ 専門基礎科目(別表Ⅱ-3)「基礎数学」、「基礎科学」は、小学校教員養成コースは必修です (4単位)。また、小学校教員養成コース以外で小学校教諭免許状を取得しようとする者は履 修することが望まれます。これらの単位を修得した場合は、教養科目の修得単位として算入されます。
- ⑦ 外国語科目(別表Ⅱ-4)は、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅲ、英語Ⅳ(4単位)及び選択外国語として、英語、フランス語、ドイツ語のうち1ヶ国語(4単位)、計8単位以上を修得してください。なお、小学校教員養成コース及び特別支援教育コースの選択外国語は、英語Ⅴ~英語Ⅷが必修となります。
- ⑧ 健康教育科目 (別表 II-5、II-6) は、コースごとに別表 II-5 または別表 II-6 の欄外の受講区分に従い履修してください。
- ⑨ 情報活用科目(別表Ⅱ-7)は別表Ⅱ-7の受講区分に従い履修してください。
- ⑩ 単位を修得した場合(成績表に S・A・B・C と表記される)には、各別表の履修チェック欄に 印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目 別表Ⅱ-1

													2.2.
チェ		授業	単	卒		J	覆(修	年	次			
ッ	授 業 科 目	の		業必	1	1	2		3		4		備考
ク欄		方法	位		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	小笠原流礼法基礎講座		2	0			•	•					● 春学期または秋学期に開講
	聖徳教育 I		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照
	聖徳教育Ⅱ	演	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	すること。
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)		1	0	0								
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)	演	1	0		0							
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	0			•						
	計		7										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

教養科目 別表Ⅱ-2

	チ		授業	単	卒		履修年次							
	エツ、	授 業 科 目	\mathcal{O}	Ċ	業必	1		2		3		4		備考
	ク 欄		方法	位	修	春	秋	春雨	火着	事 利	火 君	承 秋		
		自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2			0	0)		Т		△ 排	教養科目と外国語科目を併せて20単位以上
		自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2			0	0)				Ą	必修。(外国語は8単位以上必修)
А		自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2			0	0)				>	※小学校教員養成コースは、教養科目と外国語
類		自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)		2			0	0)					科目を併せて16単位以上と専門基礎科目4単位
		自分を見つめ・拡げ・伝える	演	9									1	必修(外国語科目は8単位以上必修)
		(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	供	J										
		自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			0	0						
В		自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			0	0)		Н		△ 素	教養科目は表中のA類、B類、C類 各類から
類		自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			0	0)				1	科目以上履修すること。
		自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2			0	0)					
		心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			0	0)		Т			司じ科目(領域)を重複履修することはできません。
С		心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			\circ	0)		Н			
類		心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2			0	0)				Δ	日本国憲法は、幼稚園教員コース、保育士養成コース、
		心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			0	0)				1,	小学校教員養成コース、特別支援教育コース、
D 類		日本国憲法		2		•	•						孝	教育職員免許状及び保育士資格を取得する者は必修。
		計		27										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。又●印の付された授業科目は時間割編成上、春学期又は秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

専門基礎科目 別表Ⅱ-3

チェ		授業	単	卒	J.	覆 修	年 次	Č	
ッ	授 業 科 目	のち		業必	1	2	3	4	備考
欄		法	位	修	春秋	春 秋	春秋	春 秋	
	基礎数学		2		0				△ 小学校教員養成コースは基礎数学及び
	基礎科学		2			0			基礎科学は必修。
	計		4						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

外国語科目 別表Ⅱ-4

チ		授業	単	卒		Ā)	年	E Y	7		
エッ	授業科目	ま の	中	業	1		2		3		1	 備考
ク	12 76 11 1	方	位	必		et.	+ 1	L +	- 4L			
欄		法		修	春	伙	春私	と 春	・	春	朳	ζ
	英語 I	演	1	0	0							△ 外国語科目については、卒業必修科目として
	英語Ⅱ	演	1	0	(\bigcirc						英語 I 、II、III、IV (4単位) 及び選択外国語
	英語Ⅲ	演	1	0			0					として(英語 V ~WII、フランス語 I ~IV、
	英語IV	演	1	0								「ドイツ語 I ~Ⅳ)のうち1か国語(4単位)、
	英語V	演	1	*				С)			計8単位以上必修。
	英語VI	演	1	*					0			」※ ただし小学校教員養成コース及び特別支援
	英語Ⅶ	演	1	*						\circ		教育コースの小学校免許群は英語V∼英語W
	英語Ⅷ	演	1	*							\circ	の8単位必修。
	フランス語 [演	1		(\bigcirc						
	フランス語Ⅱ	演	1		(\bigcirc						△ 教養科目と外国語科目を併せて20単位以上
	フランス語Ⅲ	演	1				0					必修。ただし、小学校教員養成コースは、教養
	フランス語IV	演	1				0					科目と外国語科目と専門基礎科目を併せて
	フランス語V	演	1						0			20単位以上必修。
	フランス語VI	演	1						0			
	フランス語Ⅶ	演	1							\circ		_ △「フランス語」及び「ドイツ語」は各学期に週2回
	フランス語VII	演	1							\circ		開講されるので I とⅡ、ⅢとⅣを同一学期に
	ドイツ語 I	演	1		(\bigcirc						_ 履修すること。
	ドイツ語Ⅱ	演	1		(\bigcirc						
	ドイツ語Ⅲ	演	1				0					
	ドイツ語IV	演	1				0					
	ドイツ語 V	演	1						0			
	ドイツ語VI	演	1						0			
	ドイツ語VII	演	1							\bigcirc		
	ドイツ語Ⅷ	演	1							\bigcirc		
			24									

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目(幼稚園コース、保育士コース、小学校コース、特別支援教育コース、スポーツ健康コース)

チェ		授業	単	卒)	覆 修	<u> </u>	年》	K		
ッ	授 業 科 目	の		業必	1		2		3		4	備考
柳		方法	位	修	春	秋	春私	火星	퇃 秋	春	秋	
	スポーツと健康 I (小教)	*	1	注1	\circ							
	スポーツと健康 Ⅱ (小教)	*	1	注1		\bigcirc						
	基礎専門体育 I	*	1	注2	\bigcirc							
	基礎専門体育Ⅱ	*	1	注2		0						
			2									

【授業の方法】演:演習、無印:講義、※:講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

- 注 1) 幼稚園教員養成コース、保育士養成コース、スポーツ健康コースの学生は基礎専門体育 I・II を履修すること。
 - 2) 小学校教員養成コースの学生はスポーツと健康 I・II (小教)を履修すること。
 - 3) 特別支援教育コースで小学校教員免許を取得しようとする学生は、スポーツと健康 I・Ⅱ (小教)を 履修すること。特別支援教育コースで幼稚園教諭免許状を取得しようとする学生、幼稚園教諭免許状と 併せて小学校教諭免許状、保育士資格を取得しようとする学生は、基礎専門体育 I・Ⅱを履修すること。

別表Ⅱ-6

健康教育科目(児童心理コース、児童文化コース)

チェ		授業	単	卒		履	量 修	年	· 汝	C		
ッ	授 業 科 目	の		業必	1		2		3	4	1	備考
ク欄		方法	位		春	秋	春 秋	春	秋	春	秋	
	スポーツと健康 I	*	1	注1	0							
	スポーツと健康Ⅱ	*	1	注1		0						
	スポーツと健康 I (小教)	*	1	注2	\circ							
	スポーツと健康Ⅱ(小教)	*	1	注2		0						
	基礎専門体育 I	*	1	注3	0							
	基礎専門体育Ⅱ	*	1	注3		\circ						
			2									

【授業の方法】演:演習、無印:講義、※:講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

- 注 1) 児童心理コース、児童文化コースで幼稚園教諭免許状または保育士資格を取得しようとする学生及び、小学校教諭免許状と合わせて幼稚園教諭免許状または保育士資格を取得しようとする学生は基礎専門体育 I・IIを履修すること。
 - 2) 児童心理コース、児童文化コースで小学校教諭免許状を取得しようとする学生は、スポーツと健康 $I \cdot II$ (小教)を履修すること。
 - 3) 上記以外の学生はスポーツと健康Ⅰ、Ⅱを履修すること。

情報活用科目 別表Ⅱ-7

チェ		授業	単	卒		履	修	年	涉	ζ		
ッ	授 業 科 目	0		業必	1		2	:	3	2	4	備考
柳		方法	位	修	春私	と 春	秋	春	秋	春	秋	
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	\bigcirc							△ 情報活用科目の受講区分は注のとおり
	情報活用演習(教職)	演	1	注1.2								
			2									

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

- 注 1) 幼稚園教員コース、小学校教員養成コース、特別支援教育コースは情報活用演習(基礎)・(教職)の両科目とも履修すること。
 - 2) 上記のコース以外で、教育職員免許状を取得する学生は、情報活用演習(基礎)・(教職)の両科目とも必修。

1	汉 未 们 日	-		必	-	T		_)	-	i	VIII 27
ク欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本語I	演	1		\circ								△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に
	日本語Ⅱ	演	1			\bigcirc							替えることができる。
	日本語Ⅲ	演	1				\bigcirc						
	日本語IV	演	1					0					
	日本語V	演	1						0				
	日本語VI	演	1							\circ			
	日本の社会と歴史 I		2						\circ				
	日本の社会と歴史Ⅱ		2							0			
			10										

| | 10 | 【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。



児童学部 児童学科 幼稚園教員養成コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 (A類) 30単位以上、専門教育科目 (B類) 94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 幼稚園教員養成コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりと します。

専門	教育科目(B類)
必修科目	選択科目	B類計
77	17	94

- ③ 幼稚園教員養成コースの専門教育科目については、別表II-9の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目 63 単位、%印の付いている科目については 2 科目 4 単位、専門領域科目の中からいずれか 1 領域 10 単位の合計 77 単位と、別表II-9の選択科目及び別表 $II-10\sim17$ に記載されている科目から 17 単位以上を履修してください。(同一科目を重複して履修することはできません)
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、小一免欄に ○印の付いている科目を履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑤ 保育士の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、保育士欄に○印のついている科目と、△印のついている科目から、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)の組み合わせで2科目3単位選択履修してください。
- ⑥ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表 II-16 のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑦ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表II-17のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑧ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑨ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。(卒業所要単位数には算入されません)
- ⑩ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- Ⅲ 単位を修得(成績表にS・A・B・C)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護体験実習(介護等の体験)

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

児童		科 幼稚園教員養成コース専		科目	(B)	質)											別表Ⅱ-9
	チェ		授業	崩	卒業	幼	保	小			履	修	年	次			
	ツク	授業科目	の方	位	必	免	育士	免		1		2		3		1	備考
	欄	Let the VA line of	法		修	/"	_			秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	_	児童学概論 児童学演習	演	2	0				0	0							
		元里子便百 3年次ゼミ	演	2	0								0	0] 通年
		卒業研究ゼミ	123	3	0										0	0	通年
		キャリアデザイン I	演	1	0					0							
		キャリアデザイン II 日本語の基礎	演	1 2	0				0		0						
		英語の基礎		2						0							
		環境論		2						Ť					•	•	
学		児童学特論 I		2					•	•	•		•	•	•	•	
科		児童学特論Ⅱ		2					•	•	•	•	•	•	•	•	
共通		児童学特論Ⅲ 児童学特論Ⅳ		2					•	•	•	•	•	•	•	•	
科		児童学特論V		2					•	•	•	•	•	•	•	•	
目		児童学特論VI		2					•	•	•	•	•	•	•	•	
	_	児童学特論Ⅶ		2					•	•	•	•	•	•	•	•	
		児童学特論Ⅷ 児童学特論Ⅸ		2					•	•	•	•	•	•	•	•	
		児童学特論X		2					•		•	•	•	•	•	•	
		児童学特論XI		2					•	•	•	•	•	•	•	•	
		児童学特論XⅡ		2					•	•	•	•	•			•	
	_	児童学特論XⅢ		2					•	•	•	•	•	•	•	•	
	_	児童学特論XIV		2					•	•	•	•	•	•	•	•	
	-	児童学特論XV 初等教科研究·音楽実技I	演	2	0	0	0	0	0	0	lacksquare	0	•	•	•	•	ピアノ(2年通年)
	-	初等教科研究•音楽実技Ⅱ	演	2	0	0	0	0					0	0	0	0	ピアノ(2年通年)
		初等教科研究·音楽理論 I	演	1	0	0	0	0	0								わらべ歌を含む
		初等教科研究•音楽理論Ⅱ	演	1	0	0	0	0		0							わらべ歌を含む
		初等教科研究·図画工作 I	演	1	0	0	0	0			0						
		初等教科研究・図画工作Ⅱ	演	1	0	0	0	0				0					
		初等教科研究·専門体育Ⅲ 初等教科研究·専門体育Ⅳ	演演	1	0	0	0				0	0					
	_	初等教科研究•国語	供	2	*	*		0	•	•							! 幼一免を取得しようとする者は、
		初等教科研究•数学		2	*	*		0	•	•							※の科目のうち2科目を選択履修すること。
		初等教科研究•生活		2	*	*		0					•	•			
		教職入門		2	0	0	0	0	•	•							
コ		教育原理		2	0	0	0	0	•	•							
	_	発達心理学 I		2	0	0		0	•	•	•	•					
1	_	特別支援教育総論 教育社会学		1	0	0		0			•	•					
		教育方法学		2	0	0		0			•	•					
ス		教育課程論 I		2	0	0		0			•	•					
		保育原理I		2	0	0	0			0							
必		保育内容総論	演	1	0	0	0		0								habitate
		保育内容指導法 I 保育内容指導法 II	演演	1	0	0	0				0	0					健康
修		保育内容指導法Ⅲ	演	1	0	0	0						0				人間関係
		保育内容指導法IV	演	1	0	0	0							0			人間関係
科	_	保育内容指導法V	演	1	0	0	0				0						環境
''	_	保育内容指導法VI	演定	1	0	0	0					0					環境
目	_	保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅷ	演演	1	0	0	0						0	0			言葉
П	_	保育内容指導法IX	演	1	0	0	0						0				音楽
		保育内容指導法X	演	1	0	Ō	0							0			音楽
	_	保育内容指導法XI	演	1	0	0	0						0				造形
	-	保育内容指導法XⅡ 幼児理解,保育相談	演	1 2	0	0	0		0					0			<u>造形</u>
	_	初兄理胜,休育相談 教育相談		2	0	0		0					•	•			
	_	児童文化演習 I ~1	演	1	0	0	0		•	•							人形劇
		児童文化演習 I ~2	演	1	0	0	0		•	•							折紙
		児童文化演習Ⅱ~1	演	1	0	0	0	_					•	•			表現あそび
	_	教職実践演習(幼·小)	演	2	0	0	0	0								0	東前・東後オリエンテーショング
	_	幼児教育実習 I 幼児教育実習 II	実実	1 2	0	0				0			0				事前・事後オリエンテ―ション等 附属幼実習
I .		シャン ロコヘ 口 八 口 ユ	~	-	\sim	0		L	1	\sim					1		ログラウィント 日

チ		授	114	卒	٧4.	/				履	修	年	次			
エッ		業の	単	業	幼一	保育	小一		1	:	2	:	3		 4.	
ク欄		方法	位	必修	免	±	免	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	【幼児教育指導法開発領域】			1												
	幼児と自然体験		2	1											•	
	文芸創作演習		2												•	
	遊具と遊び		2												•	
	行事運営実践		2											•	•	
	危機管理演習		2											•	•	
	【乳児保育領域】															
	赤ちゃん学概論		2											•	•	
	現代保育課題研究		2											•	•	
	乳児保育の実践演習		2											•	•	
_	乳児期とメディア		2												•	
	子育て支援と現代育児論		2											•	•	
F	【音楽表現領域】															
	音遊び・手遊び		2											•	•	
	オペレッタ・ミュージカル		2	-												
			2		-										<u> </u>	
	歌唱指導・わらべうた													•	•	
_	ボディパーカッション・楽器遊び		2											•	•	
Ш	リトミック		2	1										•	•	
	【造形表現領域】			領												
	立体表現		2	域												
	平面表現		2	10												
	造形表現デザイン		2	単												
	幼児と文化財		2	位义										•		
	造形指導法		2	必修												
	【障害児保育領域】			119												
	障害児・者の権利論		2												•	
	障害文化論		2												•	
	ライフステージ支援研究		2											•	•	
	医療・保育連携論		2	11										•	•	
	インクルーシブ保育研究		2	1										•	•	
	【多文化保育領域】															
	保育における多文化理解		2											•	•	
	世界の子どもの生活と文化		2	11										•	•	
	異文化間コミュニケーション論		2	11										•	•	
	保育における外国語活動		2	1										•	•	
	世界の就学前教育		2	11										•		
F	【運動・健康領域】		Ē	11										-		
	子どもの発達・発育と運動論		2	11										•	•	
	運動遊び研究		2											•	■ 運動遊び・伝承遊び・リズム遊び	
	遊具での運動遊びと安全		2	1		-	-							•	● 建動通び、内外通び、アバコ通び、	
	子どもの自然活動基礎論		2	1										•	•	
	運動行事研究		2	1				 	 						<u> </u>	

児童学	料	科 幼稚園教員養成コース専	門教育	科目	(B	類)											別表Ⅱ∹
9	チェ		授業	単	卒	幼	保	小			履	修	年	次			
2	ッ	授業科目	の		業必	_	育	_		1	:	2	;	3		4	備考
/ 相	ク間		方法	位	修	免	士	免	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
		子ども家庭福祉	14-1	2			0		•	•							
		社会福祉学 I		2			0		•	•							
		社会的養護 I		2			0				•	•					
	_	社会的養護Ⅱ	演	1			0						•	•			
		保育の心理学		2			0										
_	_	子どもの理解と援助	演	1			0						•				
	_	子どもの保健		2			0										
		子どもの健康と安全	演	1			0				•						
		子どもの食と栄養	演	2			0						•	•			
	_	子ども家庭支援の心理学		2			0					•					
_	_	子ども家庭支援論		2			0					•					
		子育て支援	演	1			0						•	•			
		保育課程論		2			0				•	•					
		乳児保育 [2			0					•	_	_			
_	_	乳児保育Ⅱ	演	1			0						•	•			
	_	障害児保育	演	2			0					•					
		保育実習 I (保育所)	実	2			0							0			保育所実習
		保育実習 I (施設)	実	2			0						0				施設実習
		保育実習Ⅱ(保育所)	実	2			Δ								0		保育所実習(選択)
		保育実習Ⅲ(施設)	実	2			Δ								0		施設実習(選択)
	_	保育実習指導I	演	2			0						0	0			必修事前·事後指導
-		保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1			Δ								0		選択事前・事後指導
		保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1			Δ								0		選択事前・事後指導
	_	初等教科研究·書道 初等教科研究·社会	演	1				0		•	0						
_	_	初等教科研究•理科		1				0		0	0						0
L	_	初等教科研究•家庭		1				0			•	•					0
_	-	初等教科研究•専門体育 [演	1				0				•					
		初等教科研究•専門体育Ⅱ	演	1				0			•	•					
F		小学校外国語	15%	1				0									
н –	_	道徳教育の指導法		2				0			•	•					
	_	総合的な学習の時間の指導法		2				0			_	Ť	•	•			
_	_	特別活動の指導法		1				0					•	•			0
_	_	国語科教育法 I	演	1				0			0						
		国語科教育法Ⅱ	演	1				0				0					
_	_	社会科教育法	演	2				0				0					
		算数科教育法 I	演	1				0			0						
	-	算数科教育法Ⅱ	演	1				0				0					
_	_	理科教育法	演	2				0			0						
		生活科教育法	演	2				0						0			
		音楽科教育法	演	2				0			•	•					
	_	図画工作科教育法	演	2				0					•	•			
_	_	家庭科教育法	演	2				0					•	•			
	_	体育科教育法	演	2				0					•	•			
		小学校外国語の指導法	演	2				0					0				
_	_	生徒指導(進路指導含む)		2				0				•					
—	-	初等教育実習 I	実	1				0			0	0			0	_	事前・事後オリエンテ―ション等
	_	初等教育実習Ⅱ	実	4				0				•				0	2年附属小, 4年小学校教育実習
		介護体験実習	実	1		ļ		0			0	0					
		計			77	56	70	71									

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。 【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期 いずれかに配当される。 諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。

- ◆1 幼一免は、幼一免欄の※の科目のうち2科目必修。
- ◆1 31 円に、31 円偏の気の料目の552科目必修。 ◆2 保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅲ(保育所)または保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設) いずれかの組合せを選択すること。 ◆3 キャリアデザインⅠ及びキャリアデザインⅢは学科の指示に従い講義に出席すること。

幼稚園教員養成コース 児童学科 児童学部 聖徳大学 令和2年度

秋学期 教職実践演習 保育の専門性を深めよう 教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する 幼児教育指導法開発領域 【領域科目】 (1領域10単位必修) 章害児保育領域 多文化保育領域 運動・健康領域 4年生 乳児保育領域 音楽表現領域 造形表現領域 保育実習11 (保育所) 又は保育実習11 (施設) 春学期 児童文化演習 I~1(表現遊び) 保育内容指導法IV(人間関係) 保育内容指導法MI(言葉) 保育内容指導法X(音楽) 保育内容指導法加(造形) 聖德教育工(海外研修) 秋学期 保育実習 I (保育所) 子どもの理解と援助 保育の実践力を伸ばそう 理論と実践力を停ばく 社会的養護工 子育て支援 選択外国語(ドイツ語・フランス語) ∨~価 3年生 聖徳教育 I (シリーズコンサート・文化講演会・アセンブリアワー) 保育内容指導法皿(人間関係) 初等教科研究:音楽実技I 外部幼稚園実習 保育内容指導法VII(言葉) 保育内容指導法IX(音楽) 保育内容指導法XI(造形) 事前・事後指導 保育実習 I (施設) 初等教科研究・生活 春学期 子どもの食と栄養 事前・事後指導 選択英語∨∼Ⅷ 乳児保育II 教育相談 聖德教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 初等教科研究·専門体育IV 初等教科研究·図画工作I 保育内容指導法II(健康) 保育内容指導法VI(環境) 保育の理論と実践力を身につ けよう

保育の理論と実践を学ぶ 秋学期 小笠原流礼法基礎講座 子ども家庭支援論 教育課程論 I 社会的養護I 教育社会学 障害児保育 2年生 初等教科研究・専門体育皿 初等教科研究·図画工作I 保育内容指導法 I (健康) 保育内容指導法 \ (環境) 子ども家庭支援の心理学 キャリアデザインII 子どもの健康と安全 春学期 発達心理学 I 教育方法学 保育課程論 乳児保育 I (票) B類 聖徳教育皿 SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 事前指導 事後指導 聖徳の新しい教養科目 (A類 児童文化演習 I~2 (折紙) 初等教科研究・音楽理論エ 聖徳教育11 (志賀高原) 附属幼稚園実習 秋学期 (幼保)基礎専門体育 II 情報活用演習(教職) 初等教科研究・数学 キャリアデザインI 保育の基礎を学ぼう 保育の心理学 子どもの保健 社会福祉学 I 保育原理I 教育原理 選択外国語(ドイツ語・フランス語) I ~ IV 1年生 児童文化演習 I ~ 1(人形劇) ※はさらに保育士資格 を取る場合の選択科目 初等教科研究・音楽実技] 初等教科研究・音楽理論] [幼保]基礎專門体育 [刃等教科研究・国語 情報活用演習(基礎) 持別支援教育総論 幼児理解,保育相談 日本国憲法 (D類) 聖徳教育 II(FC) 春学期 子ども家庭福祉 保育内容総論 英語 I ~IV 教職入門 実習を通して学ぶ 幼児教育を採究する 豊かな教養を高める 人間性を高める

学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 礼節や思いやり、豊かな 子ども観などをもって子ども 「接するとともに、自律的に 学び続けながらよりよい社会 の形成に貢献することができ 児童の心や成長に関する知 識や技能を体系的に理解する とともに、子どもに関する情 報を分析し、 編理的かつ創造 的に考えることができる。 身体表現や音楽、造形など 豊かな表現方法で子どもとコニュニケーションするととも に、周りと協働しながう様々 な問題に対して主体的に問題 解決することができる。 卒業認定・学位授与の 方針に掲げる学修成果 教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する 秋学期 各専門領域の学びを生かし、多様な教育課題について学び続けることができる。 幅広い視野に立ち、多様な価値を受け 止め、自己の生き方をデザインするこ とができる。 幼稚園教員としての専PI性を身につけ、 多様な職務と職業倫理について理解することができる。 様々な芸術や文化に触れ、教師として の人間性を磨くことができる。 保育の専門性を深めよう 実習評価・実習録・レポート 試験・卒業論文・卒業制作 試験・レポート・GPA レポート・参加態度 幼稚園教員養成コース 4年生 春学期 秋学期 高度な語学力や国際感覚を形成するとともに、より高いコミュニケーション能力を身に付けることができる。 幼稚園実習を通して、子どもの特性、 様々な保育の方法、幼稚園教員として の職務を理解することができる。 海外の教養や文化に直接触れながら、 教師としての教養や人間性を高めることができる。 多様な実践 レポート・聖徳祭学科コーナー展示物 保育の実践力を伸ばそう 児童学科 幼児教育・保育を構想し、多権 の方法を考えることができる。 試験・レポート・GPA 試験・レポート・GPA 実習録 3年生 実習評価・ 児童学部 春学期 聖徳大学 秋学期 基礎的な学力を身につけ、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけることができる。 幼稚園実習を通して、幼児理解や具体 的な指導法を考えることができる。 幼児教育の理論や実践の方法を理解す ることができる。 礼法やグループワークを通して、対人 関係を適切に形成することができる。 保育の理論と実践力 ノポート・SDチャート 試験・レポート・GPA 試験・レポート・GPA 試験・レポート・GPA 身につけよう 2年生 令和2年度 春学期 秋学期 幼稚園実習を通して、幼児の実態や幼 稚園教育、幼稚園教員の役割について 理解することができる。 子ども及び子どもを取り巻く諸課題を 理解し、学びの基礎を形成することが できる。 子どもに対する深い愛情をもち、幼稚 園教員になろうとする意欲をもつこと ができる ICT活用力を 保育の基礎を学ぼう GPA 試験・レポート・GPA 試験・レポート・GPA 実習評価・実習録 年生 試験・フポート・ 基礎的な学力や語学力、 形成することができる。 春学期 実習を通して学ぶ 幼児教育を採究する 豊かな教養を高める 人間性を高める

□の数字は1週間割りの授業科目数

数字類		1	年		-はⅠ週间割りの授業科目剱 年
会 SETION: Anabasic Literacy I SETION: Anabasic Literacy II 教養科目 教養科別 本ャリアデザインI 本・リアデザインI 本・リアデザインI 本・リアデザインI 本・リアデザインI 本・リアデザインI 力学教科研究・音楽技材 II 初等教科研究・音楽技材 II 初等教科研究・音楽技材 II 初等教科研究・音楽技材 II 初等教科研究・音楽技材 II 初等教科研究・音楽技材 II 初等教科研究・音楽技材 II 供育内容指療法 II 現代育力法学 X 育業技術 II 供育内容指療法 II 大どもの保護社会学 X 有言、		_	•	_	
全 日本国憲法 教養科目 英語目 ドイツ語目 東部 東部 東部 東部 東部 東部 東部 東	\vdash				
学具 日本国憲法 教業科目 業務目目 教業科目 大部目 下イツ部目 下午来到下不同的目的 下部下来到下的目的目的目的主要的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的		believe heademic electacy 1			
##	学	日本国憲法			
通					
特別	通	基礎専門体育I			200-
日					
日日曜 1 日日					
現金学報論 現金学報音 キャリアデザイン キャリアデザイン キャリアデザイン キャリアデザイン キャリアデザイン キャリアデザイン オーロ カーラ			情報活用演習(教職)		
1				5	4
1		児童学概論			
日日 1 1 1 1 1 1 1 1 1			キャリアデザイン I	キャリアデザインⅡ	
日 日 1 1 1 1 1 1 1 1	修				
日日報					
刊等数科研究・音楽規目 刊等数科研究・音楽規目 刊等数科研究・国面工作I 刊等数科研究・国面工作I 刊等数科研究・国面工作I 刊等数科研究・音楽技 刊等数科研究・音楽技 刊等数科研究、音网体育区 保育内容指導法V 投資 投資 投資 投資 投資 投資 投資 投		1	0	1	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	件日数	加学教科研究, 产水研验 1			知 <u>学</u> 教科研究,网面工作 II
初等教科研究・国語	7				
スレックでは2000年 保育所容指導法 I 保育所容指導法 I 保育所容指導法 I 保育所容指導法 I 保育所容指導法 I 保育内容指導法 II 保育内容指導法 II 保育内容指導法 II 保育内容指導法 II 保育内容指導法 II 保育内容指導法 II 保育内心理学 教育課 II 保育内心理学 教育課 II 保育内心理学 Y ともの保健 Y ともの健康と安全 A L と的養護 I 保育保育 II					
必 児童文化演習 ~ 1 数音原理 児童文化演習 ~ 2 数音原理 股童文化演習 ~ 2 数音原理 股童文化演習 ~ 3 教育課程論 日 日 日 日 日 日 日 日 日					
修 科 目 幼児理解、保育相談 特別支援教育総論 教育原理 教育が法学 教育課程論 教育課程論 上 会院報論 子ども家庭確社 社会稿社学 I 保育の心理学 科 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日					
特別支援教育総論		幼児理解,保育相談			
日日版 7					
File				WH2/21	4X 13 W(12 mil) 1
子どもの保健 子どもの保健 子どもの保健 子どもの保健 子どもの保健 子どもの保健 子どもの保健 子どもの保健 子どもの保健 子どもの健康と安全 乳児保育 和田歌と 1					
育士 社会福祉学 I 保育の心理学 保育の心理学 保育の心理学 保育の心理学			Ü	·	·
育士 社会福祉学 I 保育の心理学 保育の心理学 保育の心理学 保育の心理学		子ども家庭福祉	子どもの保健	子ども家庭支援の心理学	
計画数 3	育	社会福祉学 I		社会的養護 I	乳児保育 I
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		保育の心理学		保育課程論	障害児保育
日日数 3				子どもの健康と安全	
下田総計					
図		3	1	4	3
16	実		附属幼稚園実習		
本日数 3年 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 全学 表示 3年次ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 本業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 本業研究ゼミ 本業研究ゼミ 本業の容指導法 (保育内容指導法 (保育所表) (保育所有) (保育所表) (保育所有)					
本学期 秋学期 本学期 秋学期 本学期 秋学期 秋学教科研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業所究ゼミ 和等教科研究・音楽実技 初等教科研究・音楽実技 初等教科研究・音楽実技 初等教科研究・音楽実技 秋藤大殿演習 3から称指導法 保育内容指導法 日	科目数計	16	17	17	14
本学期 秋学期 本学期 秋学期 本学期 秋学期 秋学教科研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業所究ゼミ 和等教科研究・音楽実技 初等教科研究・音楽実技 初等教科研究・音楽実技 初等教科研究・音楽実技 秋藤大殿演習 3から称指導法 保育内容指導法 日					
全 学 共通		2	左	1	年
学共通					
学共通					
乗目数 3年次ゼミ 卒業研究ゼミ 学科 ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	全				
通科目 3年次ゼミ 卒業研究ゼミ デート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	全学				
科目数 3年次ゼミ 卒業研究ゼミ 学科 必 修 科目数 1 1 1 コース と と (解育内容指導法NI (保育 NE (N) Ni (N) Ni	学				
科目数 1 立 1 1 1 2 本業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 本業研究ゼミ 本業研究ゼミ 2 本業研究ゼミ 本業研究ゼミ 本業研究ゼミ 2 力等教科研究・音楽実技Ⅱ (保育内容指導法区 (保育内容的表)区	学共				
学科	学共通				
学科	学共通科				
科目数 1 1 1 コースの等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法区 保育方案 根育所案 有域科目 有域科目 </td <td>学共通科目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	学共通科目				
単日数 1 1 1 コースの等教科研究・音楽実技II 初等教科研究・音楽実技II 初等教科研究・音楽実技II 初等教科研究・音楽実技II スので作り容指導法II 保育内容指導法IV 保育内容指導法IV 保育内容指導法IV 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法XII 規定文化演習II~1 1 科目数 7 6 4 4 保育大学もの食と栄養乳児保育II 子どもの理解と援助子育で支援 社会的養護II 子どもの理解と援助子育で支援 科目数 2 3 大日数 2 3 大日本会的表表 4 4 本会的表表 4 4 本会的表	学共通科目 数	春学期	秋学期	春学期	秋学期
酵料 1 2 1 2 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1	学共通科目 数	春学期	秋学期	春学期	秋学期
日 利目数	学共通科目 数 科 学科	春学期	秋学期	春学期	秋学期
科目数 1 1 1 コースの等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法区 保育内容 化成型 医成型 医成型 医成型 医成型 医成型 医成型 医成型 医成型 医成型 医	学共通科目 類	春学期	秋学期	春学期	秋学期
初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 (領域科目 領域科目 (保育内容指導法X II) 保育内容指導法X II 児童文化演習 II ~ 1	学共通科目 舞学科必修科	春学期	秋学期	春学期	秋学期
初等教科研究・生活	学共通科目 数 数	春学期	秋学期	春学期	秋学期
Regin	学共通科目 科 数 数 数 数 数 数	春学期 3 年次ゼミ 1	秋学期 3年次ゼミ	春学期 卒業研究ゼミ	秋学期 卒業研究ゼミ 1
A 保育内容指導法VII 保育内容指導法IX 保育内容指導法XI 保育内容指導法XII 児童文化演習II~1 領域科目 科目数 7 6 4 保育 育士 科目目 子どもの食と栄養 乳児保育II 社会的養護II 子どもの理解と援助 子育て支援 科目数 2 3 実費 外部幼稚園実習 施設実習 保育所実習 保育所実習	学共通科目 科学科必修科目目 数 数 数	春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	秋学期 3年次ゼミ	春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
公修科目 保育内容指導法IX 保育内容指導法 X II	学共通科目 科学科必修科目 財	春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活	秋学期3年次ゼミ1初等教科研究・音楽実技Ⅱ	春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
保育内容指導法X I	学共通科目科学科必修科目 目数数本数数	春学期 3年次ゼミ 3年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ	秋学期3年次ゼミ1初等教科研究・音楽実技Ⅱ保育内容指導法Ⅳ	春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技 II 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目
科目数 7 6 4 保育士工科目数 子どもの食と栄養乳児保育Ⅱ 社会的養護Ⅲ 子どもの理解と援助子育て支援 科目数 2 3 実別の対析園実習施設実習 保育所実習 保育所実習	学共通科目 科学科必修科目 目 コース必	春学期 3年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅶ	秋学期3年次ゼミ初等教科研究・音楽実技Ⅱ保育内容指導法Ⅳ保育内容指導法Ⅷ	春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技 II 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目
日 科目数 7 6 4 4 保育	学共通科目 科学科必修科目 目 コース必修	春学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法Ⅸ	秋学期 3年次ゼミ 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法Ⅷ 保育内容指導法Ⅷ	春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技 II 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目
保育	学共通科目 科 科	春学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X I	秋学期 3年次ゼミ 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法WⅢ 保育内容指導法X 保育内容指導法X	春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技 II 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目
保育	学共通科目 科 科	春学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X I	秋学期 3年次ゼミ 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法WⅢ 保育内容指導法X 保育内容指導法X	春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技 II 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目
発育 乳児保育 子どもの理解と援助 子育て支援 子育て支援 子育で支援 子育で支援 子音で支援 子育で支援 子育で支援 子育で支援 子育で支援 子育で支援 子育で支援 子前 子前 子前 子前 子前 子前 子前 子	学共通科目 科	春学期 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法III 保育内容指導法IX 保育内容指導法 X I 教育相談 7	和学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法区 保育内容指導法 X Ⅲ 保育内容指導法 X Ⅱ 児童文化演習 Ⅱ ~ 1	春学期 卒業研究ゼミ 和等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
土 科目 科目数 2 実 外部幼稚園実習 施設実習 習 保育所実習 保育所実習	学共通科目科科A数数数世女数数数	春学期 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法III 保育内容指導法IX 保育内容指導法 X I 教育相談 7	和学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法区 保育内容指導法 X Ⅲ 保育内容指導法 X Ⅱ 児童文化演習 Ⅱ ~ 1	春学期 卒業研究ゼミ 和等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
科目 2 3 実習 外部幼稚園実習	学共通科目 科 科 本 数 数 数 数 数 数 数	春学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 初等教科容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法区 保育内容指導法区 保育内容指導法区 大学もの食と栄養	和学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X Ⅱ 保育内容指導法 X Ⅱ 児童文化演習 Ⅱ~1 6 社会的養護 Ⅱ 子どもの理解と援助	春学期 卒業研究ゼミ 和等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
目 2 3 実習 外部幼稚園実習 保育所実習 保育所実習	学共通科目 科 科	春学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 初等教科容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法区 保育内容指導法区 保育内容指導法区 大学もの食と栄養	和学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X Ⅱ 保育内容指導法 X Ⅱ 児童文化演習 Ⅱ~1 6 社会的養護 Ⅱ 子どもの理解と援助	春学期 卒業研究ゼミ 和等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
科目数 2 3 実 外部幼稚園実習 施設実習 保育所実習 保育所実習	学共通科目 科	春学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 初等教科容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法区 保育内容指導法区 保育内容指導法区 大学もの食と栄養	和学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X Ⅱ 保育内容指導法 X Ⅱ 児童文化演習 Ⅱ~1 6 社会的養護 Ⅱ 子どもの理解と援助	春学期 卒業研究ゼミ 和等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
実 外部幼稚園実習 保育所実習 保育所実習	学共通科目 科	春学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 初等教科容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法区 保育内容指導法区 保育内容指導法区 大学もの食と栄養	和学期 3 年次ゼミ 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X Ⅱ 保育内容指導法 X Ⅱ 児童文化演習 Ⅱ~1 6 社会的養護 Ⅱ 子どもの理解と援助	春学期 卒業研究ゼミ 和等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
習 施設実習 保育所美質 保育所美質	学共通科目 科 科 コース必修科目 科 保育士科目 数	春学期 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 祝育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法ⅠⅠ 保育内容指導法ⅠⅠ 保育内容指導法 I 教育相談 7 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅱ	和学期 3 年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法X II 児童文化演習Ⅱ~1 6 社会的養護Ⅱ 子どもの理解と援助 子育て支援	春学期 卒業研究ゼミ 和等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
自	学共通科目 科 科 A A B A B A B B B 学共通科目 A B	春学期 3年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科容指導法Ⅲ 保育内容指導法II 保育内容指導法IX 保育内容指導法 I 教育相談 7 子どもの食と栄養 乳児保育 Ⅱ	和学期 3 年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法X II 児童文化演習Ⅱ~1 6 社会的養護Ⅱ 子どもの理解と援助 子育て支援	春学期 卒業研究ゼミ 和等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
科目数計 10 10 5 5	学共通科目 科 科 本 A A A A B B B 学共通科目 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 数 数 数 数 数 日 数 数 数 数 数 数 数 3 数 3 数 3	春学期 3 年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科容指導法WII 保育内容指導法IX 保育内容指導法X I 教育相談 7 子どもの食育Ⅱ 2 外部幼稚園実習	和学期 3年次ゼミ 3年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育方容指導法 X 日 3	春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目	秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
	学共通科目 科 科 コース必修科目 科 保育士科目 数 数 数 数 数 数	春学期 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究研指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法区 保育内容指導法区 保育内容指導法 II 教育相談 7 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅲ 2 外部幼稚園実習 施設実習	3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X II 児童文化演習 II ~ 1 6 社会的養護 II 子どもの理解と援助子育て支援 3 保育所実習	奉学期 立 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	秋学期 本業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目

^{※ 4}年次に履修する領域科目の履修方法については、3年次のガイダンスで説明します。

_	28	_
_	20	_

児童学部 児童学科 保育士養成コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 (A類) 30単位以上、専門教育科目 (B類) 94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 保育士養成コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門	教育科目(B類)
必修科目	選択科目	B類計
91	3	94

- ③ 保育士養成コースの専門教育科目については、別表 $\Pi-10$ の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目 78 単位、 \triangle 印のついている科目から、保育実習 Π (保育所)・保育実習指導 Π (保育所)または保育実習 Π (施設)・保育実習指導 Π (施設)の組み合わせで3単位、専門領域科目の中からいずれか 1 領域 10 単位の合計 91 単位と、別表 $\Pi-10$ の選択科目及び別表 $\Pi-9$ 、11~17 に記載されている科目から3単位以上を履修してください。(同一科目を重複して履修することはできません)
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、小一免欄に ○印の付いている科目を履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑤ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、幼一免欄に ○印のついている科目と※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。
- ⑥ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表 $\Pi-16$ のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑦ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表II-17のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑧ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑨ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。(卒業所要単位数には算入されません)
- ⑩ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ① 単位を修得(成績表にS・A・B・C) した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの 防止に努めてください。

◎介護体験実習(介護等の体験)

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

<u> </u>	チェ	: / 授業科目	授業	東	卒	保育士	幼	小			履	修	年	次			別表Ⅱ−1	
	ーック		不の方	位	業必		免免免	一免	\vdash	1	_	2		3	_	4	備考	
	欄	i	法	2	修				春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
	-	児童学概論 児童学演習	演	2	0					0							-	
		3年次ゼミ	演	2	0								0	0			通年	
		卒業研究ゼミ	Spile	3	0										0	0	通年	
		キャリアデザイン I キャリアデザイン II	演演	1	0					0	0						-	
	-	日本語の基礎	154	2					0								1	
		英語の基礎		2						0]	
		環境論 児童学特論 I		2											•	•	-	
学		児童子特論 II		2					•	•	•	•	•	•	•	•	-	
科共	-	児童学特論Ⅲ		2					•	•	•	•	•	•	•	•	1	
通	-	児童学特論IV		2					•	•	•	•	•	•	•	•		
科目		児童学特論VI 児童学特論VI		2					•	•	•	•	•	•	•	•	-	
		児里子特論Ⅵ 児童学特論Ⅶ		2					•	•	•	•	•	•	•	•	-	
	-	児童学特論Ⅷ		2					•	•	•	•	•	•	•	•	1	
		児童学特論IX		2					•	•	•	•	•	•	•	•		
		児童学特論X	1	2					•	•	•	•	•	•	•	•	-	
		児童学特論XI 児童学特論XⅡ	1	2						•	•	•	•	•	•	•	-	
				2					•	•	•	•	•	•	•	•	1	
		児童学特論XIV		2					•	•	•	•	•	•	•	•]	
		児童学特論XV	1	2					•	•	•	•	•	•	•	•		
	-	子ども家庭福祉 社会福祉学 I		2	0	0			•	•							-	
	-	社会的養護 I		2	0	0			-		•	•					1	
		社会的養護Ⅱ	演	1	0	0							•	•				
	-	保育の心理学	N-6-	2	0	0			•	•							_	
		0	演	1 2	0	0			•	•			•	•			-	
	_	子どもの健康と安全	演	1	0	0					•	•					1	
		子どもの食と栄養	演	2	0	0							•	•]	
	-	子ども家庭支援の心理学		2	0	0					•	•					_	
		子ども家庭支援論 子育て支援	演	2	0	0					•	•	•	•			-	
		保育課程論	供	2	0	0					•	•					1	
		乳児保育 [2	0	0					•	•						
	-	乳児保育Ⅱ	演	1	0	0							•	•			_	
	_	障害児保育 保育実習 I (保育所)	演実	2	0	0					•	•		0			保育所実習	
		保育実習 I (施設)	実	2	0	0							0				施設実習	
コ		保育実習Ⅱ(保育所)	実	2	Δ	Δ									0		保育所実習(選択)	
	-	保育実習Ⅲ(施設)	実	2	Δ	Δ									0		施設実習(選択)	
1	_	保育実習指導 I 保育実習指導 II (保育所)	演演	2	Ο	Ο							0	0	0		必修事前·事後指導 選択事前·事後指導	
	_	保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1	Δ	Δ									Ö		選択事前・事後指導	
ス		初等教科研究·音楽実技 I	演	2	0	0	0	0	0	0	0	0					ピアノ(2年通年)	
	_	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	演	2	0	0	0	0					0	0	0	0	ピアノ(2年通年)	
必	-	初等教科研究·音楽理論 I 初等教科研究·音楽理論 II	演演	1	0	0	0	0	0	0							わらべ歌を含む わらべ歌を含む	
	_	初等教科研究·図画工作 I	演	1	0	0	0	0			0						1420 MV 5 B 42	
修		初等教科研究・図画工作Ⅱ	演	1	0	Ō	Ō	Ō			Ĺ	0]	
	_	初等教科研究·専門体育Ⅲ	演	1	0	0	0				0						_	
科	_	初等教科研究•専門体育IV	演	1	0	0	0					0						
	_	教職入門	-	2	0	0	0	0	•	•							-	
目	-	教育原理 保育原理 I	1	2	0	0	0	0	•	0							-	
	-	保育内容総論	演	1	0	0	0		0	Ť							-	
		保育内容指導法 I	演	1	0	0	0				0						健康	
	-	保育内容指導法Ⅱ	演	1	0	0	0					0					健康	
	-	保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ	演演	1	0	0	0		-				0	0			人間関係 人間関係	
	-	保育内容指導法V	演	1	0	0	0				0						環境	
	-	保育内容指導法VI	演	1	0	Ō	Ō				Ĺ	0					環境	
	_	保育内容指導法VII	演	1	0	0	0						0				言葉	
	_	保育内容指導法VIII 保育内容指導法IX	演演	1	0	0	0		1				0	0			言葉 音楽	
	-	保育内容指導法X	演	1	0	0	0							0			百栄 音楽	
	-	保育内容指導法XI	演	1	0	Ō	Ö						0	Ħ			造形	
	-	保育内容指導法XⅡ	演	1	0	0	0			_				0			造形	
	-	児童文化演習 I ~1 児童文化演習 I ~2	演	1	0	0	0		•	•							人形劇 折紙	
	-	児里又化演習 I ~2 児童文化演習 II ~1	演演	1	0	0	0						•	•			_ / / / / / / / / 表現あそび	
		教職実践演習(幼・小)	演	2	0	0	Ö	0		t						0	- 1	

チュ		授業	崩	卒	保	幼	小	履修年次								
ック	グラック 授業科目	水の方	位	業必修	育士	免免		_	1	<u> </u>	2	_	3	_	4	備考
橌		法	·	修				春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	【医療保育領域】			1												
	医療保育概論		2											•		
	保育士に必要な医学的知識		2											•	•	
	病棟保育の実践		2											•	•	
	病児保育の実践		2											•	•	
ŀ	医療保育とセーフティマネジメント		2	-										•	•	
F	【乳児保育領域】 赤ちゃん学概論		2	1											•	
	現代保育課題研究		2	-										•	•	
	現代休月珠趣研究 乳児保育の実践演習		2	-										-	•	
				-				\vdash	-	-	-	-	-	•	H	
	乳児期とメディア		2											•	•	
Ŀ	子育で支援と現代育児論		2	-					-	-	-	-	-	•	•	
-	【音楽表現領域】							<u> </u>						_	L	
_	音遊び・手遊び		2											•	•	
_	オペレッタ・ミュージカル		2													
	歌唱指導・わらべうた		2													
	ボディパーカッション・楽器遊び		2											•		
	リトミック		2	1												
ĺ	【造形表現領域】			領												
	立体表現		2	域												
	平面表現		2	10										•	•	
	造形表現デザイン		2	単										•	•	
	幼児と文化財		2	位										•	•	
	造形指導法		2	必修										•	•	
Γ	【障害児保育領域】															
Ē	障害児・者の権利論		2	11										•	•	
_	障害文化論		2	11										•	•	
	ライフステージ支援研究		2	11										•	•	
Ξ	医療·保育連携論		2	11										•	•	
	インクルーシブ保育研究		2	11										•	•	
	【多文化保育領域】			11												
	保育における多文化理解		2											•	•	
	世界の子どもの生活と文化		2											•	•	
	異文化間コミュニケーション論		2][•	•	
	保育における外国語活動		2][•	•	
	世界の就学前教育		2][•	•	
_	【運動·健康領域】][
	子どもの発育・発達と運動論		2][•	•	
	運動遊び研究		2											•	•	運動遊び・伝承遊び・リズム遊び
	遊具での運動遊びと安全		2											•	•	
	子どもの自然活動基礎論		2	1										•	•	
F	運動行事研究		2	1/												

	チ	科 保育士養成コース専門教	授		卒						履	修	年	次			別表Ⅱ-10
	エッ	授業科目	業の	単	業	保育	幼一	小一	<u> </u>	1	154	2	· ·	3			備考
	ク	12 来 行 日	方	位	必修	士	免	免	<u> </u>	秋	-	_	春				VMI ~
	欄	加效粉料加索 团篮	法	2	155		*/		H	<u> </u>	眘	杈	眘	极		-	(4. 女を取得) PSL-P7老は (4. 女棚の
	_	初等教科研究·国語 初等教科研究·数学		2			*	0	•	•							幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の ※の科目のうち2科目を選択履修すること。
	_	初等教科研究•生活		2			*	0	•	•			•	•		-	次の村日の752村日を選択機修すること。
	_	発達心理学 I		2			0	0				•	•				
	_	特別支援教育総論		2			0	0			•	•	0				
	_	教育社会学		1			0	0			•	•					
		教育方法学		2			0	0				•					
		教育課程論 I		2			0	0			•	•					
		幼児理解,保育相談		2			0		0		•	•				-	
	_	教育相談		2			0	0					•	•			
	_	幼児教育実習 I	実	1			0			0						-	事前・事後オリエンテ―ション等
	_	幼児教育実習Ⅱ	実	2			0			0						-	新聞・新俊々リエン / 一ンコン 寺 附属幼実習
		幼児教育実習Ⅲ	実	2			0						0				外部幼実習
		初年教科研究•書道	演	1			0	0	•	•							外部列天白
		初等教科研究•社会	供	1				0	•	_	0						0
		初等教科研究•理科		1				0		0							0
		初等教科研究• 家庭		1				0								_	0
コ	-		冷	<u> </u>				_			•	•					0
	_	初等教科研究•専門体育 I	演	1				0			•	+-					
ス選	_	初等教科研究·専門体育Ⅱ 小学校外国語	演	1				<u> </u>			•	0					
択		小子校外国 間 道徳教育の指導法		2				0			•						
		担徳教育の指导伝 総合的な学習の時間の指導法		2				0			•	•		•		_	
		特別活動の指導法		1				0					•			_	
,		村別店動の指导伝 国語科教育法 I	沙中					0					•			_	0
		国語科教育法Ⅱ	演	1							0						
	_		演	1				0				0				_	
	_	社会科教育法 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	演	2				0				0				_	
		算数科教育法 I	演	1				0			0						
		算数科教育法Ⅱ	演	1				0				0					
		理科教育法	演	2				0			0						
		生活科教育法	演	2				0						0		_	
		音楽科教育法	演	2				0			•	•				_	
	_	図画工作科教育法	演	2				0		-		-	•	•		_	
	_	家庭科教育法	演	2				0		<u> </u>		<u> </u>	•	•			
	_	体育科教育法	演	2				0		-		-	•	•			
		小学校外国語の指導法	演	2				0		-			0			_	
		生徒指導(進路指導含む)	ct+	2				0		<u> </u>	•						素分 素似 1-11. → 、
		初等教育実習I	実	1				0		<u> </u>	0	0			\cup	_	事前・事後オリエンテーション等
		初等教育実習Ⅱ	実	4				0		<u> </u>	•	•				0	2年附属小, 4年小学校教育実習
	Ш	介護体験実習	実	1			= 0	0		<u> </u>	0	0				_	
1		計			91	70	56	71									

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。 【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期 いずれかに配当される。 諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。 ◆1 幼一免は、幼一免欄の※の科目のうち2科目必修。 ◆2 保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)または保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設) いずれかの組合せを選択すること。 ◆3 キャリアデザインⅠ及びキャリアデザインⅡは学科の指示に従い講義に出席すること。

秋学期 保育・養護の専門性を深めよう 専門分野を強みに変え、就職活動を展開する 教職実践演習 ①保育・養護に関する知識と技能とを兼ね備える、②子どもや保護者から信頼される、③子どもの最善の利益を実現できる、保育士を養成しています 【領域科目】 (1領域10単位必修) 4年生 多文化保育領域 單害児保育領域 重動・健康領域 乳児保育領域 音楽表現領域 造形表現領域 医療保育領域 外部幼稚園実習 保育実習 I (保育所) 又は保育実習 II (施設) 春学期 事前・事後指導 児童学部 児童学科 保育士養成コース 児童文化演習 I~1(表現遊び) 保育内容指導法IN(人間関係) 保育内容指導法X(音楽) 保育内容指導法呱(言葉) 保育内容指導法加(造形) 秋学期 聖徳教育工(海外研修) 保育・養護の実践力を伸ばそう これまでに学んだ理論と実践力を更に磨く 保育実習 I (保育所) 子どもの理解と援助 社会的養護I 子育て支援 選択外国語 (ドイツ語・フランス語) V~呱 3年生 保育内容指導法皿(人間関係) 聖徳教育 I(シリーズコンサート・文化講演会・アセンブリアワー) 初等教科研究:音楽実技I 保育内容指導法IX(音楽) 保育内容指導法XI(造形) 保育内容指導法VII(言葉) 事前・事後指導 保育実習 I (施設) 初等教科研究・生活 子どもの食と栄養 春学期 特別支援教育総論 選択英語∨~Ⅲ 乳児保育II 教育相談 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 初等教科研究·図画工作I 初等教科研究·専門体育IV 保育内容指導法11(健康) 保育内容指導法M(環境) 保育・養護の理論と実践力を 身につけよう保育・養護の理論と実践を学ぶ 小笠原流礼法基礎講座 秋学期 子ども家庭支援論 教育課程論I 聖徳大学 社会的養護 1 障害児保育 教育社会学 2年生 初等教科研究・専門体育皿 初等教科研究·図画工作I 子ども家庭支援の心理学 保育內容指導法 I (健康) 保育内容指導法V(環境) 令和2年度 キャリアデザインII 子どもの健康と安全 春学期 発達心理学I 教育方法学 保育課程論 乳児保育 I (**蒙**) B猫 聖徳教育皿 SEITOKU Academic Literacy II 聖徳の新しい教養科目(A類 児童文化演習 I ~ 2 (折紙) 初等教科研究・音楽理論I 聖徳教育Ⅱ(志賀高原) 附属幼稚園実習 ※はさらに幼稚園一種免許を取る場合の選択科目 秋学期 初等教科研究・数学 (幼保)基礎専門体育Ⅱ キャリアデザイン I 情報活用演習(教職) 保育・養護の基礎を学ぼう 保育・養護の理論と実践の基礎を学ぶ 事前・事後指導 子どもの保健 保育の心理学 社会福祉学I 保育原理I 児童学演習 教育原理 選択外国語 (ドイツ語・フランス語) I ~IV 1年生 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy I 児童文化演習 I ~ 1(人形劇) 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・音楽理論 1 (幼保)基礎専門体育 I 初等教科研究·国語 情報活用演習(基礎) 幼児理解,保育相談 日本国憲法 (D類) 春学期 聖徳教育 I (FC) 子ども家庭福祉 保育内容総論 教職入門 実践力を育む実習を通して高い 児童学を契機として子どもの世界を探究する 豊かな教養を高める 人間性を高める

(学びで得られる成果)

Learning Outcomes (学び7 保育士を養成しています		卒業認定・学位授与の古外に指示さきを計画		礼節や思いやり、豊かな 子ども観などをもって子ども に接するとともに、自律的に 学び続けながら、よりよい社	会の形成に貢献することができる。		児童の心や成長に関する知 識や技能を体系的に理解する とともに、子どもに関する情	報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。		身体表現や音楽、造形など 豊かな表現方法で子どもとコ ミュニケーションするととも に 国のとな働いがに維み	な問題に対して主体的に解決することができる。		
	保育・養護の専門性を深めよう 専門分野を強みに変え、認識活動を展問する	春学期 4年生 秋学期	保育士・幼稚園教員としての専門性を 身につけ、その多様な職務と職業倫理 について理解することができる。	実習評価・実習録・レポート		各専門領域(専門群)の専門的な知識 と技能を獲得し、実践力を高めること ができる。	試験・卒業論文・卒業制作		グローバル社会で保育・養護、幼児教育に携わる者に必須の国際感覚を活用することができる。	試験・レポート・GPA		様々な芸術や文化に触れ、将来の保育 士・幼稚園教員としての人間性に一層 の磨きをかけることができる。	レポート・参加機関
児童学部 児童学科 %保護者から信頼される、③子と	保育・養護の実践力を伸ば そう これまでに学んが理論と実践力を更に語く	春学期 3年生 秋学期	各種の実習を通して、子どもの特性、 教職員の援助、そこでの生活全般につ いて理解することができる。	実習評価・実習録		保育・養護、幼児教育を構想し、多様 な実践の方法を考えることができる。	試験・レポート・GPA		より高度な語学力を身につけ、国際感覚を形成することができる。	試験・レポート・GPA		海外の教養や文化に直接触れながら、 将来の保育士・幼稚園教員としての教 養や人間性を高めることができる。	レボート・聖徳祭学科コーナー展示物
/	保育・養護の理論と実践 カを身につけよう _{保育・養護の理} 論と実践を学ぶ	春学期 2年生 秋学期	幼稚園実習等を通して、自分自身を理 解し、振り返ることができる。	レポート・SDチャート		保育・養護、幼児教育の理論と実践の 方法を理解することができる。	試験・レポート・GPA		基礎的な学力を身につけ、多方面に顕 味・関心を広げ、幅広い教養を身につ けることができる。	試験・レポート・GPA		礼法やグループワークを通して、対人 関係を適切に形成することができる。	試験・レポート・GPA
令和2年度 ①保育・養護に関する知識と技能とを兼ね備える	保育・養護の基礎を学ぼう 保育・養護の理論と実践の基礎を学ぶ	春学期 1年生 秋学期	幼稚園実習を通して、幼児の実態や幼 稚園教育、幼稚園教員の役割について 理解することができる。	実習評価・実習録		子ども及び子どもを取り巻く諸課題を 理解し、学びの基礎を確立することが できる。	試験・レポート・GPA		基礎的な学力や語学力、ICT活用力を 獲得することができる。	試験・レポート・GPA		子どもに対する深い愛情をもち、保育 土・幼稚園教員になろうとする意欲を もつことができる	試験・レポート・GPA
	Ⅲ 45		高い実践力実習を通			- こもの世界をごまを記念を見る。			豊かな教養を	りを登り		人間性を高	810

□の数字は1週間割りの授業科目数

	-	F		とは1週間割りの授業科目数
	 春学期	年		年
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語 I 基礎専門体育 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 英語 II ドイツ語 I ドイツ語 II 基礎専門体育 II	を 教養科目 教養科目 英語Ⅲ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流社法基礎講座 教養科目 英語IV
⇔ □ ₩		情報活用演習(教職)	_	
科目数学			5	4
科必修科目	冗里子 似丽	元里子側自 キャリアデザインΙ	キャリアデザインⅡ	
科目数	加兹势利亚克,立取研验 1	2 初等教科研究・音楽理論Ⅱ	】	知 <u>然</u> 势到现象,圆画工作 II
コース必修科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 社会福祉学 I 保育の心理学 児童文化演習 I ~ 1 子ども家庭福祉 保育内容総論	初等教科研究・音楽理論II 初等教科研究・音楽実技 I 教職入門 保育原理 I 児童文化演習 I ~ 2 子どもの保健 教育原理	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育Ⅲ 保育内容指導法 I 保育内容指導法 V 子ども家庭支援の心理学 保育課程論 子どもの健康と安全 社会的養護 I	初等教科研究・図画工作Ⅱ 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育Ⅳ 保育内容指導法Ⅵ 保育内容指導法Ⅵ 子どもの家庭支援論 乳児保育 I 障害児保育
科目数	7	7	9	8
幼稚園科目	幼児理解,保育相談	初等教科研究・国語	教育課程論 I 教育社会学	発達心理学 I 教育方法学
科目数	1	1	2	2
実	<u> </u>	÷	一	
習			門馬列作園天白	
科目数計	14	18	17	14
		•		
		年 秋学期		14 年 秋学期
全学共通科目	3	年	4	年
本日数計 全学共通科目 科目数 科目数	春学期	年 秋学期	春学期	年 秋学期
全学共通科目 目学科必修科目 数	3	年	4	年
全学共通科目 数 科心修科	春学期	年 秋学期	春学期	年 秋学期
AT全学共通科目科学科必修科目目カース必修科数	3 春学期 3 有学期 3 有次ゼミ 3 4 7 4 4 7 4 7 4 7 7 8 3 7 8 3 7 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8	年 秋学期 3年次ゼミ 3年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導活 X 保育内容指導活 X 保育内容指導活 X 保育内容指導活 X 保育方容指導活 X 保育方容指導活 X 保育方容指導活 X 保育方容指導活 X 保育方容指導活 X 保育方容指導活 X 民童文化演習 II ~ 1 子どもの理解と援助 子育て支援	本業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技 II 領域科目 領域科目	年 秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目
全学共通科目	3 春学期 3 春学期 3 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	年 秋学期 3年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法WII 保育内容指導法XII 保育内容指導法 XII 児童文化演習 I と援助 子育て支援 8 初等教科研究・生活	本業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 和等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目 領域科目	年 秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
本 全学共通科目 科学科必修科目目 コース必修科目 科 幼稚園科目 数 財 数 数 数 数	3 春学期 3 春学期 3 4 7 3 4 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 7 8 8 8 8 8	年 秋学期 3年次ゼミ 3年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法W 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導 I 接 見登むの理解を接 初等教科研究・生活	本業研究ゼミ 本業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技 II 領域科目 領域科目 領域科目	年 秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
全学共通科目	3 春学期 3 春学期 3 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	年 秋学期 3年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法WII 保育内容指導法XII 保育内容指導法 XII 児童文化演習 I と援助 子育て支援 8 初等教科研究・生活	本業研究ゼミ 卒業研究ゼミ 和等教科研究・音楽実技Ⅱ 領域科目 領域科目 領域科目	年 秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目
本 全学共通科目 科学科必修科目 4 コース必修科目 4 幼稚園科目 数 数 数 数 数 数 数 数 数	3 春学期 3 春学期 3 4 7 3 4 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 7 8 8 8 8 8	年 秋学期 3年次ゼミ 3年次ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法W 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導 I 接 見登むの理解を接 初等教科研究・生活	本業研究ゼミ 本業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技II 領域科目 領域科目 領域科目	年 秋学期 卒業研究ゼミ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小) 領域科目 領域科目

^{※ 4}年次に履修する領域科目の履修方法については、3年次のガイダンスで説明します。

- 38 -	
--------	--

児童学部 児童学科 小学校教員養成コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 (A類) 30単位以上、専門教育科目 (B類) 94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 小学校教員養成コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門	教育科目(B类	頁)	
必修科目	選択科目	計	
91	3	94	

- ③ 小学校教員養成コースの専門教育科目については、別表 $\Pi-11$ の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目 81 単位と 10 専修の中からいずれか 1 専修 10 単位との合計 91 単位と、別表 $\Pi-11$ の選択科目及び別表 $\Pi-9\sim10$ 、12 \sim 17 に記載されている科目から 3 単位以上を履修してください。(同一科目を重複して履修することはできません)
- ④ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-11 の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、幼一免欄に○印のついている科目と、※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑤ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表Ⅱ-11 の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、 保育士欄に○印の付いている科目と、△印のついている科目から、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習 指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)の組み合わせで2科目履修して ください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑥ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表 II-11 の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目に加え、別表 II-16 のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑦ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表 II-11 の卒業必修欄にO印の付いている科目に加え、別表 II-17 のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑧ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑨ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。(卒業所要単位数には算入されません)
- ⑩ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ① 又、単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C$)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。
- ② 小学校教員養成コースにおいては「介護体験実習(1単位)」を修得してください。(教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です)

児童学科 小学校教員養成コース授業科目配当表 (B類) 別表Ⅱ-11 履修年次 小 幼 保 業 授業科目 2 3 備考 W. 方法 免 免 位 士 春秋春秋春秋春秋 修 児童学概論 2 児童学演習 演 通年 □ 3年次ゼミ 演 2 ○ 通年 □ 卒業研究ゼミ 3 キャリアデザイン I 浦 \bigcirc キャリアデザインⅡ 演 日本語の基礎 2 英語の基礎 環境論 2 児童学特論 I 2 • • • • • • 児童学特論Ⅱ 2 • • • • • 科 児童学特論Ⅲ 2 • • 共 通 児童学特論IV 2 科 児童学特論V 2 児童学特論VI • • • • 2 lacktriangle児童学特論Ⅶ 2 児童学特論VII 2 児童学特論IX 2 • • • 児童学特論X 2 児童学特論XI 2 • • • • • 児童学特論XⅡ 2 • • • • • • • • 2 児童学特論XⅢ 2 • . . . 児童学特論XIV 児童学特論XV 2 • • 初等教科研究 · 国語 • • 幼一免を取得しようと 2 0 * 初等教科研究•書道 演 する者は、幼一免欄の □ 初等教科研究•社会 ※の科目のうち2科目 1 □ 初等教科研究·数学 0 0 を選択履修すること。 2 * 初等教科研究•理科 1 \bigcirc \bigcirc 初等教科研究 • 生活 • • 2 * ピアノ(2年通年) 初等教科研究·音楽実技 I 2 0 初等教科研究・音楽実技Ⅱ ○ ピアノ(2年通年) 2 演 初等教科研究·音楽理論 I わらべ歌を含む 演 わらべ歌を含む 初等教科研究・音楽理論Ⅱ 演 0 \bigcirc 初等教科研究·図画工作 I 演 初等教科研究・図画工作Ⅱ 演 \bigcirc \bigcirc □ 初等教科研究·家庭 • • • • □ 初等教科研究·専門体育 I 演 \bigcirc \bigcirc □ 初等教科研究•専門体育 Ⅱ • コ 演 1 小学校外国語 教職入門 2 0 • □ 教育原理 2 発達心理学 I 0 0 0 2 ス □ 特別支援教育総論 2 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 教育社会学 教育方法学 2 必 2 • П 教育課程論 I • □道徳教育の指導法 2 0 修 総合的な学習の時間の指導法 • 2 \bigcirc □特別活動の指導法 1 国語科教育法 I 演 0 科 □国語科教育法Ⅱ 演 1 0 0 1 社会科教育法 演 2 目 □ 算数科教育法 I 演 1 \bigcirc \bigcirc 算数科教育法Ⅱ 演 理科教育法 演 2 □ 生活科教育法 浦 2 □ 音楽科教育法 演 0 • 演 2 □図画工作科教育法 \bigcirc 家庭科教育法 演 • • П 体育科教育法 演 2 □ 小学校外国語の指導法 2 演 □ 生徒指導(進路指導を含む) 2 0 0 • 教育相談 2 0 事前・事後オリエンテ―ション等 初等教育実習 I 実 初等教育実習Ⅱ 実 4 \bigcirc 1年附属小,3年小学校教育実習 □ 教職実践演習(幼・小) 0 演 2 \bigcirc □ 介護体験実習 実

児童	学	科 小学校教員養成コース授業	料目	配当	表(B類)											別表Ⅱ-11
	チェ		授業	単	卒業	小	幼	保					年				
	ック	授業科目	の方	位	必	免	免	育士		1		2		3	1	<u> </u>	備考
	欄	【学校教育実践専修】	法	71/	修 \	76	76		春	秋	春	梑	春	沝	春	秋	
		現代教育課題論		2	1								•	•			
	-	カリキュラムマネジメント論		2	-										•		
	_	生徒指導•教育相談演習	演	2	11										•	•	
		学級経営論		2	11										•	•	
		カリキュラムデザイン演習	演	2											•	•	
		【英語教育専修】															
	_	英語教育教材づくり論		2												•	
		英語教育評価論		2											•	•	
		異文化・国際理解教育		2											•	•	
	_	ストーリーテリング		2											•	•	
	Ш	英語科実践場面演習		2											•	•	
		【国語専修】 現代文学概論		2	1												
		古典文学概論		2												•	
		日本語学概論		2												•	
		日本語表現概論		2	11				<u> </u>				0		_		
		国語科実践場面演習		2	11							0	Ť				
	_	【社会専修】															
		地理学		2											•	•	
		歴史学		2											•	•	
		政治学		2													
コ		社会学		2											•	•	
	_	社会科実践場面演習		2												•	
]		【算数・数学専修】															
	-	初等代数学		2											•	•	
	_	初等幾何学		2	1										•	•	
ス		初等解析学		2	専										•	•	
		基礎確率・統計		2	修							0	0				
必	Ш	算数科実践場面演習 【理科専修】															
	П	エネルギー		2	位											•	
修	_	粒子		2	一必										•		
,,,		生命		2	修										•	•	
TO!		地球		2											•	•	
科		理科実践場面演習		2											•	•	
		【音楽専修】															
目		ソルフェージュ	演	2												• ◎	
		歌唱法基礎演習	演	2												• ◎	
		合奏	演		.										•	• ◎	
		音楽科教育内容研究		2											•	•	
		音楽科実践場面演習		2	.										•	•	
		【家庭専修】		0													
		ライフデザイン 食生活学		2	11				-		-	-	-			•	
		大田環境学 人間環境学		2	11	-					-		-			•	
		消費生活と環境		2	11											•	
		家庭科実践場面演習		2	11											•	
	F	【図画工作·美術専修】		Ť	11										_	–	
		美術理論·美術史		2	11										•	•	
		絵画デザイン表現	演	2	11										•	• ©	
	-	立体表現	演	2]										•	• ©	
		工芸	演	2												• ©	
		図画工作科·美術科実践場面演習		2												•	
		【体育専修】															
		スポーツ基礎理論		2											•	•	
		学校保健		2	11										•	•	
		運動生理学		2					ļ						•	•	
		体育原理		2	11	<u> </u>									•	•	
		体育科実践場面演習		2	/	<u> </u>				<u> </u>							

児童学科 小学校教員養成コース授業科目配当表 (B類) 別表Ⅱ-11 履修年次 小 幼 保 改業の方法 業 備考 授業科目 2 3 必 免 免 位 士 春 秋 春秋春秋春秋 初等教科研究・専門体育Ⅲ 0 演 1 初等教科研究·専門体育IV 演 □ 保育原理 I 2 0 □ 保育内容総論 演 1 □ 保育内容指導法 I 演 \bigcirc \bigcirc 健康 1 健康 保育内容指導法Ⅱ 演 1 0 保育内容指導法Ⅲ 演 人間関係 人間関係 □ 保育内容指導法IV 演 1 環境 □ 保育内容指導法 V 演 1 環境 □ 保育内容指導法VI 演 1 0 保育内容指導法VII 演 0 言葉 1 保育内容指導法VII 演 言葉 j 保育内容指導法IX 0 音楽 演 1 0 音楽 保育内容指導法X 演 1 \bigcirc 保育内容指導法XI 演 1 \bigcirc \bigcirc 造形 保育内容指導法XⅡ 演 造形 0 1 幼児理解,保育相談 2 0 幼児教育実習 I 実 事前・事後オリエンテ―ション等 1 幼児教育実習Ⅱ 実 2 附属幼実習 ○ 外部幼実習 実 幼児教育実習Ⅲ 2 \bigcirc 児童文化演習 I ~1 演 人形劇 1 0 児童文化演習 I ~2 演 • • 折紙 児童文化演習Ⅱ~1 演 1 2 0 • • 子ども家庭福祉 社会福祉学 I 2 \bigcirc • • 社会的養護 I 2 • 社会的養護Ⅱ 演 1 \bigcirc □保育の心理学 0 2 • • 子どもの理解と援助 0 演 1 子どもの保健 • • 2 \circ 子どもの健康と安全 演 0 • 1 子どもの食と栄養 演 2 0 □子ども家庭支援の心理学 2 子ども家庭支援論 2 0 子育て支援 油 1 \bigcirc 保育課程論 0 □ 乳児保育 I 0 2 □乳児保育Ⅱ 演 1 • 障害児保育 演 2 0 実 保育所実習 保育実習 I (保育所) 2 保育実習 I (施設) 実 2 施設実習 実 保育所実習(選択) 保育実習Ⅱ(保育所) 2 \triangle □ 保育実習Ⅲ(施設) 実 2 施設実習(選択) \triangle 保育実習指導I 演 2 \bigcirc 必修事前 • 事後指導 0 選択事前 • 事後指導 保育実習指導Ⅱ(保育所) 演 1 \triangle □ 保育実習指導Ⅲ(施設) 選択事前 • 事後指導 演 91 71 56 70 計

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。 備考欄◎印の科目は、演習30コマで2単位とする。

履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期 【履修年次】 いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。

- ◆1 幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の※の科目のうち2科目選択履修すること。 ◆2 小一免と幼一免を両方取得する場合は、幼一免の必修科目である保育内容指導法 I ~ X II のうち半数 (6単位)は、小一免の必修科目である各教科教育法及び特別活動の単位取得をもって履修を免除する ことができる。ただし、保育士資格を取得する場合は、この限りでない。
- ◆3 保育士資格を取得しようとする者は、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・ 保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択履修すること。
- ◆4 キャリアデザイン I 及びキャリアデザイン II は学科の指示に従い授業に出席すること。

令和2年度 聖徳大学 児童学部 児童学科 小学校教員養成コース 教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する

1 年生 秋学期 IRIBA/学校観察実習 介書 キャリアデザイン1 キャリアデザイン1 教職入門 数額	春学期 24				
		2年生 秋学期	钥	3 年生 秋学期	春学期 4年生 秋学期
			事前・事後指導		(10.4%, 46.4.) 韓日棒
11、大声イン1	介護体験実習		田村, 田父む道		TAYIM MILANA
	キャリアデザインエ		事則 , 事後指導		中高教育実習
90					
			3年次ゼミ		卒業研究ゼミ
	教育課程論I	教育社会学	教育相談		
The state of the s	生徒指導(進路指導を含む)	教育方法学	現代教育課題論		郑审韶韦导条交系
	発達心理学I		総合的な学習の時間の指導法	特別活動の指導法	4
頭	道徳教育の指導法				
初等教科研究・書道	国語科教育法 I	国語科教育法工			
		国語科実践場面演習	日本語表現概論		
初	初等教科研究・社会	社会科教育法			社会專修
和加	算数科教育法 1	算数科教育法II			
J		算数科実践場面演習	基礎確率・統計		算数・数学専修
初等教科研究·理科	理科教育法		初等教科研究·生活	生活科教育法	多章 校証
	初等教科研究:音楽実技 I		初等教科研究:音楽実技工		
初等教育研究・音楽理論Ⅱ		音楽科教育法			多 章
90%	初等教科研究,図画工作1	初等教科研究·図画工作Ⅱ	図画工作科教育法		図画工作・美術専修
初等	初等教科研究・家庭		家庭科教育法		家庭事 修
砂	初等教科研究,専門体育1	初等教科研究·専門体育Ⅱ	体育科教育法		体育專
		小学校外国語	小学校外国語の指導法		英語教育專修
英語II	英語皿	英語IV	選択英語V	選択英語VI	選択英語伽
基礎数学	基礎科学				
スポーツと健康エ					
情報活用演習(教職)					
聖徳の新しい教養科目 (A類 B類 C類)					
		聖徳教育 1 (ツリーズコンサート・	ト・文化講演会・アセンブリアワー)		
聖徳教育亚(志賀高原)				聖德教育 I (海外研修)	
聖德教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II SEITOKU Academic Literacy II		聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅢ			

(学びで得られる成果)

小学校教員養成コース 児童学科 児童学部

・ルロアはいやり、豊かな 子ども観などをもって子ども に接するとともに、自律的に 学び続けながらよりよい社会 の形成に貢献することができ る。 卒業認定・学位授与の 識や技能を体系的に理解する とともに、子どもに関する情報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。 身体表現や音楽、造形など 豊かな表現方法で子どもとコ ミュニケーションするととも に、周りと協働しながら様々 な問題に対して主体的に問題 解決することができる。 方針に掲げる学修成果 児童の心や成長に関する知 Outcomes どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する 秋学期 学級集団づくりの方法や保護者・地域 住民との関係について理解を深め、適 切に対応することの意義を理解することができる。 様々な芸術や文化に積極的に触れることを通して教師としての教養や人間性を高めている。 指導方法や指導内容等についてより専 門性を高めることができる。 英語力を高め指導力を身につける。 授業力のある教師になろう 得意分野を学び将来に活かす · GPA 試験・レポート・GPA GPA 4年生 レポート 試験・レポート しポート・ 春学期 秋学期 教育相談等の意義を理解し、児童理解 力を高めながら個性の伸長を図る指導 方法等を工夫した授業づくりを身につ ける。 指導方法や指導技術を駆使して教科指 導や学級経営の力を身につける。 海外の教育や文化に直接触れながら、 教師としての教養や人間性を高めている。 る。 英語力を高め指導力を身につける。 実践力を身につけよう GPA 試験・レポート・GPA レポート・GPA 年生 実習評価 アポート 3 試験. 春学期 令和2年度 聖徳大学 子ども一人一人の実態や状況を把握し、 良さや可能性を引き出し伸ばすことが できる力を身につけることができる。 秋学期 施設実習を通して子どもや保護者等と のかかわり方を理解することができる。 教材研究・教材解釈の意義を理解し、 指導方法等を工夫した授業づくりをす ることができる。 各教科等の指導内容にかかわる基礎的・基本的な知識や、小学校教育に関する課題や動向等に関する知識を身に しけている。 教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、 指導法を理解しよう数が研究や指導法を深く学ぶ 試験・レポート・GPA ・レポート・GPA 試験・フポート 2年生 実習評価 試験 春学期 秋学期 学習指導要領の位置づけや基準性、各 教科等の目標・内容等について理解し ている。 子どもの発達段階や小学校教育の概要 を理解することができる。 小学校教師に求められる常識を身につ けている。 建学 子どもに対する深い愛情をもち、 の精神に基づく行動ができる。 子どもを理解しよう · GPA 試験・レポート・GPA 試験・レポート・GPA 1年生 試験・フポート・ 実習評価 春学期 III K 学級経営の力を身につける魅力ある授業づくりと 実践を通して学ぶ 豊かな教養を言める 人間性を高める

	1	年		10回割りの技業科目級 年
		1		·
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 日本国憲法 基礎数学 英語 II スポーツと健康 II 情報活用演習 (教職)	基礎科学 英語Ⅲ	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語IV
科目数	4	9	2	3
学科当	児童学概論	児童学演習 キャリアデザイン I	キャリアデザインⅡ	
科目数	1	2	1	
コース必修科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・国語 初等教科研究・数学 教育原理 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽理論II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・書道 初等教科研究・理科 教職入門	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体会 I 初等教科研究・家	初等教科研究・図画工作II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体 教育社会学 教育方法学 国語科教育法II 社会科教育法法 算数科教育法法 事業科教場面演習 小学校外国語
科目数	6	5	12	12
選択、特支科目			障害者教育論 知的障害者の心理 知的障害者教育 視覚障害者の指導	障害者教育史 知的障害者の生理・病理 知的障害者の言語指導 LD等障害者の指導
科目数			4	4
実習		附属小学校観察実習	介護体験実習(春・秋どちらか)	介護体験実習(春・秋どちらか)
科目数	11	16	19	19

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学	英語V	英語VI	英語Ⅵ	英語Ⅷ
共通				
科目				
科目数	1	1	1	1
学	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科科				
目必				
修				
科目数	1	1	1	1
	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ
	初等教科研究・生活	特別活動の指導法	専修制科目	教職実践演習(幼・小)
コ	図画工作科教育法	生活科教育法	専修制科目	専修制科目
	家庭科教育法		専修制科目	専修制科目
ス	体育科教育法			
必	教育相談			
修	日本語表現概論			
科	基礎確率・統計			
目	現代教育課題論			
	総合的な学習の時間の指導法			
	小学校外国語の指導法			
科目数	11	3	4	4
選択	肢体不自由者の心理	病弱者の生理・病理		
坎、	肢体不自由者の生理・病理	病弱教育		
特	病弱者の心理	重複障害者の指導		
支科	肢体不自由者教育	聴覚障害者の指導		
目		学特論 1 (小学校教育実践研	开究)	
科目数	5	4		
実習		小学校教育実習		障害児教育実習
科目数	18	9	6	6

^{※ 4}年次に履修する専修制科目の履修方法については、3年次のガイダンスで説明します。

	² 科 免許・資格取得履修モ			
児童等	学科小学校教員養成コース	(小学校教諭+幼稚園教諭 年	□の数字は1週	間割りの授業科目数 年
		秋学期		秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 日本国憲法 基礎数学 英語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	基礎科学	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語IV
科目数	4	<u> </u>	2	3
学	児童学概論	児童学演習	ű	Ü
科必修科目	1	キャリアデザインI	キャリアデザインⅡ	
科目数	→ I 初等教科研究・音楽理論 I		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	知效势到研究。 网面工作 II
コース必修科目	初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・国語 初等教科研究・数学 教育原理 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・書道 初等教科研究・理科 教職入門	初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 I 初等教科研究・専門社会 初等教科研究・才 発達心理学 I 教育 A 道徳教育の指導法 国語科科教育法 I 理科教育法 I 理科教育法 (進路指導を含む)	初等教科研究・図画工作Ⅱ 初等教科研究・音楽実体Ⅰ 初等教科研究・専門 教育社会学 国語会社会科教育法出 社会科教育法法 算数科方法法 第数年法 国語科実践場面演 和学校外国語
科目数	6	5	12	12
幼稚園科目	保育内容総論 児童文化演習 I 〜 1 幼児理解・保育相談	保育原理 I 児童文化演習 I ~ 2	初等教科研究・専門体育Ⅲ 保育内容指導法 I 保育内容指導法 V	初等教科研究・専門体育Ⅳ 保育内容指導法Ⅱ 保育内容指導法Ⅵ
科目数	3	2	3	3
実		附属小学校観察実習	介護体験実習(春・秋どちらか)	
習 科目数計	1.4			18
作日 9久日	14	18	10	10
		年	4年	
V 777	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
学		3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目修 数	1	1	1	1
口口奴	初等教科研究·音楽実技Ⅱ			
コース必修科目	初等教科研究・生活 図画工作科教育法 家庭科教育法 本育科教育法 教育相談 日本語表現概論 基礎確率・統計 現代教育課題論 総合的な学習の時間の指導法 小学校外国語の指導法	特別活動の指導法生活科教育法	專修制科目 專修制科目 專修制科目	教職実践演習(幼・小) 專修制科目 專修制科目
科目数	11	3	4	4
選択 科目	保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅶ 児童文化演習Ⅱ~1	保育内容指導法IV 保育内容指導法VIII		
稚園	児童	学特論1(小学校教育実践研	十 究)	
科目数	4	2.		
実	ı	小学校教育実習		外部幼稚園実習
習				
科目数計	17 1年次に履修する専修制科目	7 7 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	┃ 6 E次のガイダンスで説明しま	6

児童学部 児童学科 特別支援教育コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 (A類) 30単位以上、専門教育科目 (B類) 94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 特別支援教育コースの専門教育科目 (B 類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

Ę	專門 教育科	·目(B類)	
コース選択	必修科目	選択科目	計
小学校教諭一種免許	93	1	94
幼稚園教諭一種免許	79	15	94

※小学校教諭一種免許状または幼稚園教諭一種免許状の取得に加え、原則として特別支援学校教諭 一種免許状を取得することになります。(小学校教諭一種免許状または幼稚園教諭一種免許状の みを取得して卒業することも可能です) どちらを卒業要件とするかを、全員が選択します。

- ③ 特別支援教育コースの専門教育科目については下記のとおりに履修してください。
 - 1. 小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合 卒業必修欄〇の全科目+小免欄〇の全科目+特別支援科目群の特支欄〇の全科目を履修してく ださい。
 - 2. 幼稚園教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合 卒業必修欄〇の全科目+幼免欄〇の全科目及び※より2科目選択必修+特別支援科目群の特支 欄〇の全科目を履修してください。
 - 3. 小学校教諭一種免許状と幼稚園教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合 卒業必修欄〇の全科目+小免欄〇の全科目+幼免欄〇の全科目+特別支援科目群の特支欄〇の全科目を履修してください。

なお、特別支援科目群の科目と別表II-12 の選択科目及び別表 $II-9\sim11$ 、 $13\sim17$ に記載されている科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目に計上することができます。

- ④ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表Ⅱ-12の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、 保育士欄に○印の付いている科目と、△印のついている科目から、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習 指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)の組み合わせで2科目履修して ください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑤ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表 II-12 の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目に加え、別表 II-17 のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑥ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑦ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。(卒業所要単位数には算入されません)
- ⑧ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑨ 又、単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C$)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護体験実習(介護等の体験)

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に 基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

児童	学	科 特別支援教育コース授業系	4 目配	当表	(B <u>*</u>	夏)												別表Ⅱ-12
	チェ		授業	東	卒業	小	幼	特支	保				修	_				
	ック欄	授業科目	の方法	位	心修	免	免	免	育士	_	1 秋	_	2 秋	_	3 秋		4 秋	備考
		児童学概論	体	2				76			701	78*	701	78*	701	781	701	
		児童学演習	演	2	0						0			0	0			NZ hos
		3年次ゼミ 卒業研究ゼミ	演	2	0									0	0	0		通年
	_	キャリアデザイン [演	1	0						0							NE 1
	-	キャリアデザインⅡ	演	1	0							0						
	_	日本語の基礎 英語の基礎		2						0	0							
	_	環境論		2												•	•	
学	-	児童学特論I		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
科共		児童学特論Ⅱ 児童学特論Ⅲ		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
通	_	児童学特論IV		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
科目		児童学特論V		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
	_	児童学特論VI 児童学特論VII		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
		児童学特論VII		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
		児童学特論IX		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
		児童学特論X		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
		児童学特論XI 児童学特論XⅡ		2						•		•	•	•		•	•	
		児童学特論ⅩⅢ		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
		児童学特論XIV		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
-	-	児童学特論 X V 初等教科研究·音楽実技 I	演	2	0				0	0	0	0	\bullet	•	•	•	•	ピアノ(2年通年)
	-	初等教科研究•音楽実技Ⅱ	演	2	0	0	0		0					0	0	0	0	ピアノ(2年通年)
コ		初等教科研究·音楽理論 I	演	1	0	0	0		0	0								わらべ歌を含む
	-	初等教科研究・音楽理論Ⅱ	演	1	0	0	0		0		0							わらべ歌を含む
1	-	初等教科研究·図画工作 I 初等教科研究·図画工作 II	演演	1	0	0	0		0			0	0					
	_	教職入門	1円	2	0	0	0		0	•	•							
ス	-	教育原理		2	0	0	0		0	•	•							
		発達心理学 I		2	0	0	0					•	•					
必	_	特別支援教育総論 教育社会学		2	0	0	0			0		•	•					
	_	教育方法学		2	0	Ō	Ō					•	•					
修	-	教育課程論 I		2	0	0	0					•	•		_			
1:50	_	教育相談 教職実践演習(幼·小)	演	2	0	0	0		0					•	•		0	
科	_	障害者教育論	124	2	0			0				0						
1-1	_	知的障害者教育		2	0			0				0						
	_	肢体不自由者教育 病弱教育		2	0			0						0	0			
目		LD等障害者の指導		2	0			0					0					
		インクルーシブ教育論		2	0										•	•		
幼共		初等教科研究·国語 初等教科研究·数学		2		0	*			•	•							小免群:全て履修すること。 幼免群:※の科目のうち2科目選択
小通	-	初等教科研究•生活		2		0	*			•	•			•	•			履修すること。
	-	初等教科研究·書道	演	1	1	Ō				•	•			Ť	Ť			
		初等教科研究・社会		1	1	0						0						0
		初等教科研究·理科 初等教科研究·家庭		1	1	0					0	•	•					0
	-	初等教科研究·専門体育 I	演	1	1	0						•	•					
	-	初等教科研究・専門体育Ⅱ	演	1	1	0						•	•					
	_	小学校外国語 道徳教育の指導法	演	1 2	(1)	0						•	<u> </u>					
	-	総合的な学習の時間の指導法		2	1	0								•	•			
	_	特別活動の指導法		1	1	0								•	•			0
		国語科教育法 I 国語科教育法 II	演演	1	(1)	0						0	0					
小学		社会科教育法	演	2	(1)	0							0					
校		算数科教育法 I	演	1	1	0						0						
教員		算数科教育法Ⅱ	演	1	1	0							0					
免許	_	理科教育法 生活科教育法	演演	2	(l)	0				-		0			0			
科		音楽科教育法	演	2	1	0				L		•	•					
目群	-	図画工作科教育法	演	2	1	0								•	•			
11+	-	家庭科教育法 体育科教育法	演演	2	(l)	0				\vdash				•	•			
		 小学校外国語の指導法	演演	2	1	0				\vdash				0				
	-	生徒指導(進路指導を含む)		2	1	0						•	•	Ĺ				
	_	初等教育実習I	実	1	1	0				0	0			0	0			事前・事後オリエンテーション等
	-	初等教育実習Ⅱ 介護体験実習	実実	4	1)	0				\vdash	0	•	•		0			1年附属小, 3年小学校教育実習
	-	現代教育課題論	ズ	2						T		-		•	•			
		日本語表現概論		2										0				
	_	国語科実践場面演習		2						-			0					小免取得希望者は
		基礎確率·統計 算数科実践場面演習		2						-			0	0				履修することが望ましい
		7. 70 I 7. 80 W W IS I			1					-			$\overline{}$	ь.	_			I-

	チ	科 特別支援教育コース授業科	授業	単	卒	小	幼	特	保			履	修	年	次			別表Ⅱ-1
	エック	授業科目	かった		業必	-	-	支一	育	_	1	_	2	_	3	_	4	備考
	欄		法	位	修	免	免	免	士	春	秋		秋	春	秋	春	秋	
		初等教科研究•専門体育Ⅲ	演	1	2		0		0			0						-
		D. 4 C	演	1	2		0		0				0					
		保育原理I	No.	2	2		0		0		0							
		保育内容総論	演	1	2		0		0	0								late etc
		保育内容指導法I	演	1	2		0		0			0						健康
	_	保育内容指導法Ⅱ	演	1	2		0		0				0					健康
		保育内容指導法Ⅲ	演	1	2	-	0		0	-				0				人間関係
-23	_	保育内容指導法IV	演	1	2	-	0		0	-					0			人間関係
DOM:		保育内容指導法V	演	1	2		0		0			0						環境
教	_	保育内容指導法VI	演	1	2		0		0				0					環境
員	_	保育内容指導法VII	演	1	2		0		0	-				0				言葉
免		保育内容指導法W	演	1	2		0		0	-					0			言葉 音楽
許	_	保育内容指導法IX	演	1	2		0		0	-				0				音楽
科 目	_	保育内容指導法XI	演	1	2		0		0						0			造形
群	_	保育内容指導法XI	演	1	2		0		0	1				0				造形
	_	保育内容指導法XⅡ 幼児理解,保育相談	演	2	2		0	1		0					0			AE/I/
		幼児教育実習 I	実	1	2		0	1	1		0			0				
		切児教育美省 I 幼児教育実習 II	実実	2	2		0	1	1		0							新削・争後オリエンケーション等 附属幼実習
	_	幼児教育実習Ⅲ	実	2	2		0							0				外部幼実習
		切允教育長百皿 児童文化演習 I ~1	演	1	2		0		0	•	•			0				人形劇
	_	児童文化演習 I ~2	演	1	(2)		0		0	•	•							折紙
		児童文化演習Ⅱ~1	演	1	(2)		0		0	_	•				•			21 144
\dashv	-	障害者教育史	供	2	\ \(\alpha\)			0		1	<u> </u>		0	•	•			
		視覚障害者の指導		2	1			0		0								1
		聴覚障害者の指導		2				0			0							-
特	_	重複障害者の指導		2	原			0							0			1
別	_	知的障害者の心理		2	則			0		1		0						-
支 援	_	知的障害者の生理・病理		2	とし			0		1			0					-
	_	肢体不自由者の心理		2	17			0		1				0				-
	_	肢体不自由者の生理・病理		2	全			0						0				1
科	_	病弱者の心理		2	て			0						0				1
目		病弱者の生理・病理		2	履			0		1					0			1
群		知的障害者の言語指導		2	修			Ö					0					-
		特別支援学校教育実習	実	3	11			Ō		1			_	0	0	0	0	事前事後指導を含む
		特別支援教育実践研究		2	1									•	•	•		7137 (2117)
	-	子ども家庭福祉		2					0	•	•							
	_	社会福祉学 I		2					Ŏ	•								1
	_	社会的養護 I		2					Ō	Ť	Ť	•	•	İ	İ	İ	İ	1
		社会的養護Ⅱ	演	1					Ö		Ī	Ē	Ī	•	•	İ	İ	1
	_	保育の心理学	É	2					Ō	•	•		İ	Ī	Ī	İ	İ	1
	_	子どもの理解と援助	演	1					Ō					•	•			1
		子どもの保健		2					0	•	•							1
		子どもの健康と安全	演	1					0			•	•					1
コ		子どもの食と栄養	演	2					0					•	•			1
		子ども家庭支援の心理学		2					0			•	•					1
ス		子ども家庭支援論		2					0			•	•]
		子育て支援	演	1					0					•	•			1
択		保育課程論		2					0			•	•]
科		乳児保育 I		2					0			•	•]
		乳児保育Ⅱ	演	1					0					•	•]
		障害児保育	演	2					0		L	•	•	L	L	L		
		保育実習 I (保育所)	実	2					0						0			保育所実習
	_	保育実習 I (施設)	実	2					Ō					0				施設実習
		保育実習Ⅱ(保育所)	実	2					Δ							0		保育所実習(選択)
		保育実習Ⅲ(施設)	実	2					Δ							0		施設実習(選択)
		保育実習指導 I	演	2					0					0	0			必修事前•事後指導
		保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1					Δ							0		選択事前·事後指導
		保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1					Δ							0		選択事前•事後指導
		計				71	56	35	70									

◆4 キャリアデザイン I 及びキャリアデザイン II は学科の指示に従い授業に出席すること。



専門的な実践力を磨こう 特別支援教育に関する専門的な実践力を磨く	春学期 4年生 秋学期	教職実践演習	特別支援学校教育実習		卒業研究ゼミ																											
実践力を身につけよう 幼稚園・小学校教育実習で実践力を高める	春学期 3年生 秋学期	事前·事後指導 外部幼稚園実習 小学校教育実習	事前・事後指導		3年次ゼミ 本	特別支援教育実践研究	 大人 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	肢体不自由者の心理病弱者の生理・病理	肢体不自由者の生理・病理 重複障害者の指導	病弱者の心理病弱教育	教育相談(共通)	現代教育課題論	総合的な学習の時間の指導法特別活動の指導法	小学校外国語の指導法	日本語表現概論★			基礎確率・統計★	初等教科研究·生活(共通)	初等教科研究:音楽実技II(共通)	図画工作科教育法	体育科教育法	児童文化演習 $1 \sim 1 (表現遊び)$	保育内容指導法皿・IV(人間関係) M・M(言葉)IX~M(音楽・造形)	選択英語V~伽(共通) 選択外国語 ドイツ語・フランス語 V~伽						聖德教育 II(第外研修)	
障害のある子どもの理解と 専門知識を身につけよう 数が研究や指導法を深く学ぶ	春学期 2年生 秋学期	介護等体験実習		「していたい」		障害者教育論	知的障害者の心理・病理	知的障害者教育 知的障害者の言語指導	L D等障害者の指導		教育課程論 I (共通) 教育社会学 (共通)	生徒指導(進路指導を含む) 教育方法学(共通)	発達心理学 I (共通)	道徳教育の指導法 小学校外国語	国語科教育法 I 国語科教育法 I	国語科実践場面演習★	初等教科研究·社会社会科教育法	算数科教育法 I 算数科教育法 I	理科教育法 算数科実践場面演習★	初等教科研究:音楽実技 1 (共通) 音楽科教育法	初等教科研究・図画工作 1 (共通) 初等教科研究・図画工作 1 (共通)	初等教科研究·家庭	初等教科研究·専門体育I/皿	保育内容指導法 I · II (健康) V・Ⅵ (環境)		基礎科学(専門基礎科目)			CM)	聖徳教育 I (シリーズコンサート・文/	小笠原流礼法墓碇闢座	聖德教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅢ
子どもを知ろう 内容 幼稚園・小学校教育の基礎を学ぶ	春学期 1年生 秋学期	事前・事後指導	MINISTER DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF THE PR	1/トゥイン・ウイナー I/トゥイン・ウィー・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック	児童学振論(共通)	視覚障害者の指導				(小、共通)	1001	特別支援教育総論(共通)			初等教科研究・国語(共通) 初等教科研究・書道			初等教科研究·数学(共通)	初等教科研究・理科	初等教育研究・音楽理論 1 (共通) 初等教育研究・音楽理論 11 (共通)	幼) 基礎専門体育 I ・ II	幼児理解保育相談	児童文化演習 1~1(人形劇) 児童文化演習 1~2 (折紙)	保育内容総論 保育原理 I	英語 I ~IV (共通) 選択外国語 ドイツ語・フランス語 I ~IV	日本国憲法 (D類) (共通) 基礎数学 (専門基礎科目)	スポーツと健康Iスポーツと健康I	情報活用演習(基礎)(共通) 情報活用演習(教職)(共通)	聖徳の新しい教養科目(A類 B類 C		(FC) 聖徳教育 II	聖德教育皿 SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II
	子どもを知ろう 障害のある子どもの理解と 実践力を身につけよう 専門知識を身につけよう か権國・小学校教育実習で実践力を高める 教が研究や指導法を深く学ぶ	子どもを知ろう 専門知識を身につけよう 実践力を身につけよう 専門的な実践力を磨りを 知知報酬・小学校教育実習で実践力を高める 専門的な実践力を磨りを 知知報酬・小学校教育実習で実践力を高める 専門的な実践力を磨りを 知知報酬・小学校教育実習で実践力を高める 専門的な実践力を磨りを 知知報酬・加速教育に関する専門的な実践力を高める 春学期 1年生 秋学期 春学期 2年生 秋学期 4年生	子どもを知ろう 専門知識を身につけよう 実践力を身につけよう 専門的な実践力を磨っました。 本学期 1年生 秋学期 7年生 秋学期 春学期 3年生 秋学期 4年生 前・季後時 山田小学が創設 「選等体験装置 「選等体験装置 「選等体験装置 「対学期 4年生	音どもを知ろう が傾面・小学校教育の基礎を学ぶ 者が描言・小学校教育の基礎を学ぶ を学期 1年生 秋学期 専門的協実践力を高める 教材研究や問題を発送。 教材研究や問題を発送。 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本年生 和受的報酬 和学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本年生 和受的報酬 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本年生 和学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本学期 本年生 和学教育業習	音学期 1年生 秋学校教育の選択を含かる子どもの理解と 教が研究や指導法表で学が 新が研究や指導法表で学が かけます。 本格的な実践力を身につけよう が研究や指導法表で学が 新し手を指導 本学期 春学期 2年生 秋学期 春学期 3年生 秋学期 春学期 4年生 前 事後指導 財産が確認表面 までリアデザイン1 本でリアデザイン1 キャリアデザイン1 事前・事後指導 事前・事後指導 小学校教育実習で実践力を高める 春学期 本学期 春学期 4年生 前 事後指導 までリアデザイン1 本でリアデザイン1 キャリアデザイン1 事前・事後指導 事前・事後指導 小学校教育実習で実践力を寄育 本学期 4年生	音学期 1年生 秋学期 2年生 秋学期 音学期 3年生 秋学期 有学期 3年生 秋学期 有学期 3年生 秋学期 有学期 3年生 秋学期 有学期 4年生 前前・事後指導 加橋園・事後指導 「加藤少林園東書」 「加藤・藤俊藤」 「加藤・藤俊藤」 「中央大教育・関係の本書」 「中央大教育・関係の本書」 「中央大教育・関係の本書」 「中央大教育・関係の本書」 「中央大学の本書」 「中央大学会議会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	存送机ろう が順回・小学校演育の基礎を学ぶ が順面・事後/3時 有学期 (MED/MERIZERS) 本学期 (MED/MERIZERS) 学校が育の基礎を学ぶ が傾回・小学校が育の基礎を学ぶ 動・事後指導 力様性別 を持導しいます。 本学的 の機能を持しつけよう。 表が研究や評談を深く学ぶ が開通・事後指導 本学期 の機等者の指導を指導 本学期 の機等者の指導をの指導 本学期 の機能者をの指導をの指導をの指導を は関連者の指導をの指導 本学的 の機能者のとませ。 を表がするとは、表述を の機能者をの指導をの指導をのとます。 本学期 の機能者をの指導をのとます。 本学期 の機能者をのとます。 本学期 の機能者をのとます。 本学期 の機能者をのとます。 本学期 の機能者のとます。 本学期 の機能者のとます。 本学期 の機能者のとます。 本学期 の機能者のとます。 本学期 の機能者のとます。 本学期 ので表明など表す。 本学期 の機能者のとます。 本学期 の機能者のとます。 本学期 の機能者のとます。 本学期 の関連者のとます。 本学期 の関連者のとます。 本学期 の関連者のとます。 本学期 の関連者のとます。 本のとまます。 本学期 の関連者のとます。 本のとまます。 本学期 の関連者のとます。 本のとまます。 本学期 の関連者のとます。 本のとまます。 本学期 の関連者のとまます。 本学期 の関連者のとまます。 本のとまますままます。 本学期 の関連者のとまますす。 本学期 の関連者のとまますます。 本学期 の関連者のとまますするとは、表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	音学期 1年生 秋学期	音学期 1 年生	音学期 1年生	音学館 Auffall (18) 子どもを知ろう (19) 障害のある子どもの理解と (19) 実践力を自己力よう (19) 専門的な実践力を (19) 専門的な実践力を (19) 専門的な実践力を (19) 事門的な場別の影響を表できます。 (19) 専門的な実践力を高める (19) 特別 (18) 有学期 (14生 (19) 本学期 (14生 (19) 本学期 (14生 (19) 本学期 (14生 (19) 本学期 (14生 (19) 本学期 (14年 (19) 本学期 (14年 (19) 本学期 (14年 (19) 本学期 (14年 (19) 本学期 (14年 (19) 本学期 (14年 (19) 本学期 (1	音学 (1) (1) (2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	音学期 14年		特別		音学期 1 年生 秋学期 百学的 2 子ともの理解と	音学語 (24) (24) (24) (24) (24) (24) (24) (24)		1	## 1			中央				1	1	1		

	卒業認定・学位授与の	万計に掲げる字修成果	礼節や思いやり、豊かな 子ども観などをもって子ども 「・ギャ・レー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	になってして、日本的に 学び続けながらよりよい社会 の形成に貢献することができ る。	日十二十十六八十二	が単のいいで放送に関するが、 職や技能を体系的に理解する とともに、子どもに関する情報を分析し、論理的かつ創造 的に考えることができる。			身体表現や音楽、造形など	豊かな表現方法で子ざもとコニュニケーションするとともに、周りと協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解されて記録解決することができる。			
TELL CAXEX WARP SOLD MANA CALLA CAMA SOLD MANA MANA MANA MANA MANA MANA MANA MAN	春学期 4年生 秋学期	子どもの実態を的確に把握し、個々の 発達や障害の状態等に応じた授業を進 める力を身につけている。	実習評価·実践発表	イングルーシブ教育の考え方とその実際について理解し、組織的・計画的に 推進する意義を理解している。	レポート・GPA	指導方法や指導内容等についてより専 門性を高めることができる。	試験・卒業論文・GPA	各専門領域の専門的な知識を獲得し、 実践力を高めることができる。	試験・卒業論文・卒業制作	子どもや教育に関する情報に関心をもち、主体的に考えようとする態度を身につけている。	試験・レポート・GPA	様々な芸術や文化に積極的に触れることを通して教師としての教養や人間性を高めている。	A. B. A. GPA
また (1 大阪 T) (1 大阪 T	春学期 3年生 秋学期	指導方法や指導技術を駆使して教科指 導や学級経営の力を身につけている。	美習評価	障害についての専門知識を深め、指導 計画や学習指導案の作成に生かすこと ができる。	試験・レポート・GPA	教育相談等の意義を理解し、児童理解 力を高めながら個性の伸長を図る指導 方法等を工夫した授業づくりができる。	試験・レポート・GPA	幼児教育・保育を構想し、多様な実践 の方法を考えることができる。	試験・レポート・GPA	海外に通用する語学力と国際感覚を形成するとともに、指導力を身につけている。	買機・レポート・GPA	海外の教育や文化に直接触れながら、 教師としての教養や人間性を高めている。	
#X T B *X C X Y X T X	春学期 2年生 秋学期	介護等体験実習を通して障害のある人 や高齢者への理解を深めるとともにか かわり方を理解することができる。	実習評価	特別支援教育の理念や歩みを理解する とともに、障害についての専門知識、 指導法の概要を理解している。	試験・レポート・GPA	教材研究・教材解釈の意義を理解し、 指導方法等を工夫した授業づくりをす ることができる。	試験・レポート・GPA	幼児教育の理論の実践の方法を理解す ることができる。	試験・レポート・GPA	基礎的な学力を身につけるとともに、 多方面に興味・関心を広げ、幅広い教 養を身につけている。	試験・レポート・GPA	子ども一人一人の実懸や状況を把握し、 よさや可能性を引き出し延ばすことが できる力を身につけることができる。	・大・製造・
シイトの公司・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	春学期 1年生 秋学期	子どもの発達段階や幼稚園・小学校教育の概要を理解することができる。	実習評価	視覚障害及び聴覚障害についての専門 知識、指導法の概要を理解している。	試験・レポート・GPA	学習指導要領の位置づけや基準性、 1/ 各教科等の目標・内容等について理解している。	試験・レポート・GPA	子ども及び子どもを取り巻く諸課題 幼 を理解し、学びの基礎を形成するこ とができる。	試験・レポート・GPA	教員に求められる常識を身につけている。	試験・レポート・GPA	子どもに対する深い愛情をもち、建学 の精神に基づく行動ができる。	訓練・レポート・GPA

	1	年		
l l				秋学期
$\vdash \vdash \vdash$	春学期	秋学期	在子别	V • 4 7/4
全学共通	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 基礎数学	教養科目 基礎科学	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 小笠原流礼法基礎講座 教養科目
科目	英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	英語Ⅱ スポーツと健康Ⅱ 情報活用演習(教職)	英語Ⅲ	英語IV
科目数	5	8	3	4
学科必修科目	児童学概論	児童学演習 キャリアデザイン I	キャリアデザインⅡ	
科目数	1	2	1	
コース必修科目	初等教科研究·音楽理論 I 初等教科研究·音楽実技 I 初等教科研究·国語 初等教科研究·数学 教育原理 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽理論 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・書道 初等教科研究・理科 教職入門	初等教科研究・・音楽生作 I 初等教科研究・・音楽集育 I 初等教科研究・・専門 社会 初等教科研究・・専門 社会 初等教科研究・ I 教育企業 I 教育 I 道徳 語科教育 I 道徳 語科教育 法 I 算数科教育 法 I 算数科教育 I 连 1 算	初等教科研究・図画工作Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅰ 初等教科研究・専門 教育社会学 教育力法学 国語科教育方法Ⅱ 社会科教育育法Ⅱ 音楽科教有活 LD等障害者の指導
科目数	6	5	14	11
選択、特支科目	視覚障害者の指導	聴覚障害者の指導	知的障害者の心理	障害者教育史 知的障害者の生理・病理 知的障害者の言語指導 国語科実践場面演習 算数科実践場面演習
科目数	1	1	1	5
実習		附属小学校観察実習	介護等体験実習(春・秋どちらか)	介護等体験実習(春・秋どちらか)
科目数	13	16	19	20

	3	年	1	年
		秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目	英語 V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
学科目必修	3年次ゼミ	3 年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	初等教科研究・音楽実技II 初等教科研究・生活 図画工作科教育法 家庭科教育法 体育科教育法 教育相談 小学校外国語の指導法 肢体不自由者教育	初等教科研究・音楽実技II 特別活動の指導法 生活科教育法 病弱教育 インクルーシブ教育記 総合的な学習の時間の指導法	初等教科研究・音楽実技Ⅱ (いずれかで履修)	初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
科目数	8	6	1	2
選択、特支	肢体不自由者の心理 肢体不自由者の生理・病理 病弱者の心理	病弱者の生理・病理 重複障害者の指導		
科		特別支援教育実践研究		
目 科目数	4	3		1
実習	•	小学校教育実習		特別支援学校教育実習
科目数	14	11	3	5

児童学科特別支援教育コース (幼稚園教諭+特別支援免許+保育士資格 履修モデル)

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1	左	□────────────────────────────────────	年
		. 年	_	1
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	教養科目	SEITOKU Academic Literacy III
_	聖徳教育Ⅱ(FC,志賀)	教養科目	教養科目	小笠原流礼法基礎講座
全			秋 後行日	
学	日本国憲法	教養科目		教養科目
共	英語 I	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語IV
通	7 () ()	(選択外国語) ドイツ語 I	(選択外国語) ドイツ語Ⅲ	7 () ()
科		(選択外国語)ドイツ語Ⅱ	(選択外国語)ドイツ語IV	
目	基礎専門体育 I	基礎専門体育Ⅱ		
		情報活用演習(教職)		
	情報活用演習(基礎)	情報活用) () () () ()		
科目数	6	8	5	4
科必学	児童学概論	児童学演習		
目修科	70 <u>32</u> 1 190 mm	キャリアデザイン I	キュリマゴヸ ハνπ	
			キャリアデザインⅡ	
科目数	1	2	1	
	初等教科研究·音楽理論 I	初等教科研究・音楽理論Ⅱ	初等教科研究·図画工作 I	初等教科研究・図画工作Ⅱ
コ	初等教科研究・音楽実技 I	初等教科研究·音楽実技 I	初等教科研究·音楽実技 I	初等教科研究·音楽実技 I
]	初等教科研究・国語	教職入門	初等教科研究・専門体育Ⅲ	初等教科研究·専門体育IV
7				
ス	保育原理I	保育内容総論	保育内容指導法I	保育内容指導法Ⅱ
必	児童文化演習 I ~ 1	児童文化演習 I ~ 2	保育内容指導法V	保育内容指導法VI
修	幼児理解,保育相談	教育原理	発達心理学 I	教育社会学
		秋月亦生		
科	特別支援教育総論		教育方法学	教育課程論 I
目			障害者教育論	LD等障害者の指導
				トレ 寸陸 日石 の旧等
			知的障害者教育	
科目数	7	6	9	8
	視覚障害者の指導	聴覚障害者の指導	知的障害者の心理	障害者教育史
選択特	1元見早古石 ツ拍等	心見呼音110111年	70日71年11日11日11日	
支科目				知的障害者の生理・病理
又行口				知的障害者の言語指導
				MHN楼日日 67日 田田 1日 1日
科目数	1	1	1	3
1111111	子ども家庭福祉	子どもの保健	子ども家庭支援の心理学	子どもの家庭支援論
保		するもの休隆		
保 科育	社会福祉学 I		社会的養護 I	乳児保育 I
目上	保育の心理学		保育課程論	障害児保育
十士	N H いたます			平口儿小月
$\overline{}$			子どもの健康と安全	
科目数	3	1		3
科目数	3		子どもの健康と安全 4	3
実習		附属幼稚園実習	4	
	3 17			3 15
実習		附属幼稚園実習	4	
実習	17	附属幼稚園実習 17	4 19	15
実習	17	附属幼稚園実習 17 3年	4 19	15 年
実習 科目数計	17	附属幼稚園実習 17	4 19	15
実習	17	附属幼稚園実習 17 3年	4 19	15 年
実習 科目数計	17	附属幼稚園実習 17 3年	4 19	15 年
実習 科目数計 全学共 通科目	17	附属幼稚園実習 17 3年	4 19	15 年
実習 科目数計 全学共	17	附属幼稚園実習 17 3年	4 19	15 年
実習 科目数計 全学共 通科目数	17 春学期	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期	4 19 4 春学期	年 秋学期
実習 科目数計 全学共目 科目数 学科必	17	附属幼稚園実習 17 3年	4 19	15
実習 科目数計 全学科目 科目数 学科目	17 春学期	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期	4 19 4 春学期	15 年 秋学期
実習 科目数計 全学共目 科目数 学科必	17 春学期 3年次ゼミ 1	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	15 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1
実習 科目数計 全学科目 科目数 学科目	17 春学期 3年次ゼミ 1	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	15 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1
実習 科目数 生月 数 4 日 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 5 6 7 6 7 8 9	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実習 科目数 学科目科科目 学修科目 3 公通 2 3 4 5 6 4 7	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	15 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1
実習 科目数計 全通科目科科目科科目数 科目数 4	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実習 科目数 学科目科科目 日本 学科目 サリー 1 2 3 4 4 5 6 4 7 7 8 9 9 1 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 7 8 9 <td>17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ</td> <td>附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV</td> <td>4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1</td> <td>年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ</td>	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実習科全通 科 学修 科コース	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅶ	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法Ⅷ	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実科全通 科 学修 科コース必	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅸ	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV 保育内容指導法WII 保育内容指導法WII 保育内容指導法X	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実科全通科日ス全通科月科日スよ日大日数とよよ日大日大日よよ日大日日よよ	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅸ	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV 保育内容指導法WII 保育内容指導法WII 保育内容指導法X	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実 日数 女通 科 学修 科 コース必修	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法IX 保育内容指導法 X I	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法WⅢ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X Ⅱ	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実 目数 共日数 当日 コース必修科 当日 20 40 40 40 40 10 40 <td>17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅸ</td> <td>附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法WⅢ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 民育内容指導法X Ⅱ 児童文化演習Ⅱ~1</td> <td>4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1</td> <td>年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ</td>	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅸ	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法WⅢ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 民育内容指導法X Ⅱ 児童文化演習Ⅱ~1	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実 日数 女通 科 学修 科 コース必修 本月 数 必日 数	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法IX 保育内容指導法 X I	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法WⅢ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X Ⅱ	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実科全通 科 学修 科コース必修科世報サ目 数 必目 数	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法IX 保育内容指導法 X I 教育相談	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法WⅢ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 II 児童文化演習 II ~ 1 病弱教育	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実科全通 科 学修 科コース必修科目3共目 数 必目 数	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X インクルーシブ教育諸	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実科全通 科 学修 科コース必修科世報サ目 数 必目 数	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法IX 保育内容指導法 X I 教育相談 肢体不自由者教育 8	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法WⅢ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 II 児童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育語 8	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
実科全通 科 学修 科コース必修科目3共目 数 必目 数	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法IX 保育内容指導法 X I 教育相談 肢体不自由者教育 8	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法WⅢ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 II 児童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育語 8	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実 料 全通 科 学修 科 コース必修科目 科 要数 学科 目 科科 目 コース必修科目 財数	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 N 展童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育語 8 病弱者の生理・病理	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実科全通 科 学修 科コース必修科目科 選要サ目 数 必目 数 特	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者のと理・病理	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法WⅢ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 II 児童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育語 8	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実 料 全通 科 学修 科 コース必修科目 科 要数 学科 目 科科 目 コース必修科目 財数	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 N 展童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育語 8 病弱者の生理・病理	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実科全通 科 学修 科コース必修科目科 選要サ目 数 必目 数 特	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者のと理・病理	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 N 現童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育語 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実 科 全通 科 学修 科 四 工	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 保育内容指導法Ⅶ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者のと理・病理	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法IV 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 II 児童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育諸 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	T5 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実 日本 <	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 保育内容指導法Ⅷ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 病弱者の心理	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法VII 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 展育内容指導法 X 展育内容指導法 N 見童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育部 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究 2	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	T5 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実 日本 <	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 保育内容指導法Ⅷ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 病弱者の心理	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法VII 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 展育内容指導法 X 展育内容指導法 N 見童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育部 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究 2	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	T5 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実 科 全通 科 学修 科 日	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 初等教科研究・音楽実技III 保育内容指導法VII 保育内容指導法IX 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 病弱者の心理 4 子どもの食と栄養	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法VII 保育内容指導法XII 児童文化演習II~1 病弱教育 インクルーシブ教育部 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究 2 社会的養護II	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	T5 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実 財 全通 科 学修 科 コース必修科目 科 選支 科 科 母 愛 新 特 目 数 保育 選 計 共 日 数 必 目 数 サ 日 教 特 目 数 保育	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 保育内容指導法Ⅷ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 病弱者の心理	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法VII 保育内容指導法XII 児童文化演習II~1 病弱教育 インクルーシブ教育部 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究 2 社会的養護II 子どもの理解と援助	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	T5 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実 日本 <	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 初等教科研究・音楽実技III 保育内容指導法VII 保育内容指導法IX 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 病弱者の心理 4 子どもの食と栄養	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法VII 保育内容指導法XII 児童文化演習II~1 病弱教育 インクルーシブ教育部 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究 2 社会的養護II	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	T5 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実 科 全通 科 学校 科 コース必修科目 科 選支 科 科 日 大科 目 大科 目 大科 日 大科 大科 日 大科 日 大科 日 大科 日 大科 日 大科 日 大科 日 大科 日 大科 日 大科 日 大科 日 大科 日	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法IX 保育内容指導法X I 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 大でもの食と栄養 乳児保育Ⅱ	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法VII 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 II 児童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育諸 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究 2 社会的養護 II 子どもの理解と援助 子育て支援	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	T5 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実 科 全通 科 学校 科 コース必修科目 科 選支 科 科 科 目 大科 科 科 日 大科 科 科 日 大科 日 <	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 保育内容指導法Ⅷ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法X I 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 大でもの食と栄養 乳児保育Ⅱ 2	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法VII 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 展育内容指導法 N 見童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育部 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究 2 社会的養護 II 子どもの理解と援助	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	T5 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実用 全通科 学修科 1 1 2 4 <t< td=""><td>17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 初等教科研究・生活 保育内容指導法WI 保育内容指導法IX 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 大でもの食と栄養 乳児保育Ⅱ 2 外部幼稚園実習</td><td>附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指演習Ⅱ~1 病弱教育 インクルーシブ教育部 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究 2 社会の理解と援助 子育て支援 3</td><td>4 19 本春学期 本業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ (いずれかで履修) 1</td><td>年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)</td></t<>	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 初等教科研究・生活 保育内容指導法WI 保育内容指導法IX 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 大でもの食と栄養 乳児保育Ⅱ 2 外部幼稚園実習	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指演習Ⅱ~1 病弱教育 インクルーシブ教育部 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究 2 社会の理解と援助 子育て支援 3	4 19 本春学期 本業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ (いずれかで履修) 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実用 全通 科 学修 科 コース必修科目 科 選支 科 科目 科 科目 数 保育士 数	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 保育内容指導法Ⅷ 保育内容指導法Ⅸ 保育内容指導法X I 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 大でもの食と栄養 乳児保育Ⅱ 2	附属幼稚園実習 17 3年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II 保育内容指導法VII 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 II 児童文化演習 II ~ 1 病弱教育 インクルーシブ教育諸 8 病弱者の生理・病理 重複障害者の指導 特別支援教育実践研究 2 社会的養護 II 子どもの理解と援助 子育て支援	4 19 4 春学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技II	T5 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実用 全通 科 学修 科 コース必修科目 科 選支 科 科目 科目 財 要計 共目 数 以日 数 特目 数 特目 数 保育士 数	17 春学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 初等教科研究・生活 保育内容指導法WI 保育内容指導法IX 保育内容指導法XI 教育相談 肢体不自由者教育 8 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の心理 大でもの食と栄養 乳児保育Ⅱ 2 外部幼稚園実習	附属幼稚園実習 17 3年	4 19 本春学期 本業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ (いずれかで履修) 1	年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)

児童学部 児童学科 児童心理コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 (A類) 30単位以上、専門教育科目 (B類) 94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 児童心理コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門	教育科目(B类	頁)
必修科目	選択科目	計
51	43	94

- ③ 児童心理コースの専門教育科目については、別表II-13の卒業必修欄にO印の付いている科目 51 単位と別表II-13の選択科目及び別表 $II-9\sim12$ 、 $14\sim17$ に記載されている科目から 43 単位以上を履修してください。(同一科目を重複して履修することはできません)
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表II-13の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目に加え、小一免欄に \bigcirc 印の付いている科目を履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑤ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表 II-13 の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目に加え、幼一免欄に \bigcirc 印のついている科目と※印の付いている科目から 2 科目を選択履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑥ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表Ⅱ-13の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、 保育士欄に○印の付いている科目と、△印のついている科目から、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習 指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)の組み合わせで2科目履修して ください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑦ 認定心理士の資格を取得しようとする者は、別表II-13の認定心理士欄に \bigcirc 印の付いている科目を履修してください。(卒業所要単位数に必修科目として算入されます)
- ⑧ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表 $\Pi-13$ の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目に加え、別表 $\Pi-16$ のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑨ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表 $\Pi-13$ の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目に加え、別表 $\Pi-17$ のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑩ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ① 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表〒1、2、3、4、5のとおり履修してください。(卒業所要単位数には算入されません)
- ② 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に〇印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ③ 単位を修得(成績表に S・A・B・C) した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

○介護体験実習(介護等の体験)

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

大学学校の	<u>見童学科 児童心理コース授業科目</u> ^チ																		
** ** ** ** ** ** ** *	2	ェリク	授業科目		l	業	<u> </u>	<u> </u>	育	定心理		_	:	2	:	3		_	備考
□ 関連を設置 第 2 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	#		旧本兴州弘	法	_	修	免	免	士	土	T .	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	_	_		油	 	_					0								
本学の子化		-			_	_									0	0			涌年
□ Pedro 79 Fe / 20		_								0						_	0		
□ はあの基礎			キャリアデザイン I	演	1	0						0							
安庆中海祖			キャリアデザインⅡ	演		0							0						
国政治権					1						0								
歴史学特権日 2												0							
型成字特別	г	_			1														
□ 民産学特論V 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	f	-			1						1 -	-	_	_		_	-	_	
□ 医療学育論 □ 医療学育論 □ 医療学育論 □ 医療学育論 □ 医療学育論 □ 医療学育論 □ 医療学育論 □ E E E E E E E E E E E E E E E E E E E		-									•		_				•		
○ 元宗守将領域	Đ [児童学特論IV		2						•	•	•	•	•	•	•	•	
一元元字を指領	□ ⊢	_									•	•	•	•	•	•	•	•	
□ 及産学特論 X	L	-									•	•	•	-		_	-	-	
□ 及展で吟誦X		_									-	-	_	_		-	_	_	
□ RA C P M N N N N N N N N N N N N N N N N N N		_									1	-	_	_	-	_	_	_	
□ 民産学育能X II		_										-	-	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	
□ 及展学等級 X II		_									•	•	-	-		_	-	-	
□ R		_									•	•	-	-		_	-	-	
D. Ray 学 学		_			2						•		•	•	-	•	•	•	
子ども発達機等分 - ルド 2 0 0 0 0 0 0 0 0		_			1						+ -	-	-			•	•	_	
□ ○世界全職大戦		$\overline{}$			2		_				•	•	•	•	•	•	•	•	
□ 心理学基础实验Ⅱ	-	_			0														
□ 心理学科学注:		_		宇	i	_				.									
□ 心理学研究法 I		_		-	-					 									
□ 心理総計法日					_	_									0				
□ 記幼児心理学 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		_				_				.						0			
□ 別の現の理学 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			心理統計法 I		2	0				0				0					
□ 児童心理学 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		_		演	1	0				0					0				
古年心理学		_				<u> </u>				-	0								
社会心理学		_			_	_				_			0						
記知心理学	_	_				_													
「子ど免達支援フィールド	- 1	-			<u> </u>	-				 									
「子ども強速支援フィールド]	Ī	_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1	_				_					0				
□ 臨床心理学 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	多	_																	
□ カウンセリング心理学 2 □ □ □ □ □ □ □ □ □	4 [特別支援教育総論		2	0	0	0			0								
○ 小理療法面接実習 演 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0	_ ⊢	-			<u> </u>	-				-			0						
○ 小理検査法実習 I		_		No.		_								0					
□ 心理検査法実習 I		_	0.TWDEIX// 1		H	_				l ~					0				
□ ○ 理検査法実習Ⅱ		_			1	_				H						_			
□ 大門関係論 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		_			-	_				H							\cap		
数育心理学		_		124		_									0				
神経心理学					2	0				0						0			
□児童精神医学 2 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			家族心理学		_	0				0							0		
発達臨床心理学	_	_			1											•	•		
□ 心理英語 2 ○ ※ ● ● □ □ が等教科研究・国語 2 ○ ※ ● ● □ □ が等教科研究・書道 演 1 ○ □ が等教科研究・書道 演 1 ○ □ が等教科研究・社会 □ 初等教科研究・数学 □ ② ※ ● ● □ □ が等教科研究・数学 □ ② ※ ● ● □ □ が等教科研究・変学 □ ② ※ ● ● □ □ が等教科研究・選科 □ □ が等教科研究・音楽実技 I □ ② □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○		_									<u> </u>				0				
□ 初等教科研究・書道 演 1 ○ ※ ● ● ○ ※ が ● ● ○ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ※ ● ● ○ ※ ※ ※ ※		=	, - · - · · · · · · · · · · · · · · · ·		1			-			1		-			\circ		-	
□ 初等教科研究・書道 演 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		_					\cap	*											
□ 初等教科研究・社会 1 □ ○ ※ □ ○ ○ ※ ○ ○ ○ ※ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		_		演	-						1 -	-							
□ 初等教科研究・理科 □ 初等教科研究・主活 □ 初等教科研究・音楽実技 I 演 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		_			1						Ė		0						
□ 初等教科研究・音楽実技 I 演 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		_			2		0	*			•	•							を選択履修すること。
□ 初等教科研究・音楽実技 I 演 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		_										0							0
□ 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 演 2 □ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		_		Spiles	1				_						•	•			18マン(のケマケ)
□ 初等教科研究・音楽理論 I 演 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		_					_	_	_		10	O	U	\circ					–
□ 初等教科研究·音楽理論 □ 演 1		_		_	-				1										–
□ 初等教科研究·図画工作 I 演 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	Ī	_			 				_			\cap							
□ 初等教科研究·図画工作Ⅱ 演 1 ○	E -	_			 				H		t		0						
□ 初等教科研究·専門体育 I 演 1 ○ ● ● □ 初等教科研究·専門体育 II 演 1 ○ ● ● □ 小学校外国語 1 ○ ○ ● ● □ 教育原理 2 ○ ○ ● ● ● □ 教育原理 2 ○ ○ ●	_	_			 				H				Ť	0					
□ 初等教科研究·専門体育Ⅱ 演 1 ○ ● ● □ 小学校外国語 1 ○ ○ ● ● □ 教育原理 2 ○ ○ ● ● □ 教育原理 2 ○ ○ ● ● □ 教育社会学 1 ○ ○ ● ● □ 教育大法学 2 ○ ○ ● ● □ 教育課程論 I 2 ○ ○ ● ● □ 道徳教育の指導法 2 ○ ● ● ●	₹ [初等教科研究•家庭		1		0						•	•					0
□ 小学校外国語 1 ○		_			H								•	-					
□ 小学校外国語 1 ○ ● ● □ 教育原理 2 ○ ● ● □ 発達心理学 I 2 ○ ● ● □ 教育社会学 1 ○ ● ● □ 教育方法学 2 ○ ● ● □ 教育課程論 I 2 ○ ● ● □ 道徳教育の指導法 2 ○ ● ●	+ -	_		演	_			-			-		•	⊢-					
□ 教育原理 2 ○ ● ● □ 発達心理学 I 2 ○ ● ● □ 教育社会学 1 ○ ● ● □ 教育方法学 2 ○ ● ● □ 教育課程論 I 2 ○ ● ● □ 道徳教育の指導法 2 ○ ● ●		_			1									\circ					
□ 発達心理学 I 2 ○ ● ● □ 教育社会学 1 ○ ● ● □ 教育方法学 2 ○ ● ● □ 教育課程論 I 2 ○ ● ● □ 道徳教育の指導法 2 ○ ● ●		_						_	-										
□ 教育社会学 1 ○ ● ● □ 教育方法学 2 ○ ● ● □ 教育課程論 I 2 ○ ● ● □ 道徳教育の指導法 2 ○ ● ●		_			1									•					
□ 教育方法学 2 ○ ● ● □ 教育課程論 I 2 ○ ● ● □ 道徳教育の指導法 2 ○ ● ●					-								-	⊢-					
□ 道徳教育の指導法 2 ○ ● ●		_											•	-					
		_			1		0	0					•	•					
	_	_			1		0						•	•					

[ェッ		心理コース授業科目配当表 (B類) * 単 革 小 幼 保 * ■ 履 修		修	年	<i>7</i> /c											
[١ 🕻	授 業 科 目	業の土	١.	業必	_	<u> </u>	育	定心		1		2	_	3	L	4	備考
	ク 欄		の方法	位	修	免	免	士	理士	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	_	特別活動の指導法		1		0								•	•			0
	_	国語科教育法 [演	1		0						0						
—	_	国語科教育法Ⅱ	演	1		0							0					
	_	社会科教育法	演	2		0							0					
- ⊨	-	算数科教育法 I	演	1		0						0						
-	-	算数科教育法Ⅱ	演	1		0							0					
-	-	理科教育法	演	2		0						0						-
—	_	生活科教育法	演	2		0									0			-
_	_	音楽科教育法	演	2		0						•	•					-
—	_	図画工作科教育法	演											•	•			-
—	_	家庭科教育法 体育科教育法	演演	2		0								•	•			-
—	_			2										_	•			-
-	-	小学校外国語の指導法	演	2		0							•	0				-
—	_	生徒指導(進路指導を含む)										•	•					-
—	_	教育相談 知等教育宝羽 [4	2		0	0							•	•			 事前・事後オリエンテ―ション等
-	-	初等教育実習 I	実実	4								0	0		-	0	_	争削・争仮オリエンアーション等 2年附属小、4年小学校教育実習
- ⊨	=	初等教育実習Ⅱ 教職実践演習(幼·小)	海	2		0	0	0				•	•				0	4 中的病小,4 中小子仪钗目夫百
		教職美践演省(幼・小) 介護体験実習	庚	1		0						0	0		-			1
-	-	初等教科研究•専門体育Ⅲ	海	1			0	0				0						1
-	-	初等教科研究•専門体育IV	演	1			0	0				0	0					-
-	-		供	2			0				0		0					-
	_	保育原理 I	冷	1			-	0			0							-
—	_	保育内容総論	演				0			0								健康
_ I —	-	保育内容指導法I	演	1			0	0				0	0					健康
-	-	保育内容指導法Ⅱ 保育内容指導法Ⅲ	演演	1			0	0					U	0				人間関係
-	-	保育内容指導法IV	演	1			0	0							0			人間関係
-	-	保育内容指導法V	演	1			0	0				0						環境
—	_		演	1			0	0				0						環境
1乗	_	保育内容指導法VI 保育内容指導法VII		1			0	0					0	0				言葉
	_	保育内容指導法VII	演演	1			0	0							0			言葉
		保育内容指導法IX	演	1			0	0						0				音楽
· E	-	保育内容指導法X	演	1			0	0							0			音楽
г	_	保育内容指導法XI	演	1			0	0						0				造形
个 十	-	保育内容指導法XⅡ	演	1			0	0							0			造形
- ⊨	-	幼児理解,保育相談	供	2			0			0								12/12
-	-	幼児教育実習 I	実	1			0					0				0		」 事前・事後オリエンテ─ション等
- F	_	幼児教育実習Ⅱ	実	2			0					0						附属幼実習
	_	幼児教育実習Ⅲ	実	2			0									0		外部幼実習
	_	児童文化演習 I ~1	演	1			0	0		•								人形劇
		児童文化演習 I ~2	演	1			0	0		•								折紙
F	=	児童文化演習Ⅱ~1	演	1			0	0						•	•			表現あそび
		子ども家庭福祉	154	2				0		•	•			•				34960
	_	社会福祉学 I		2				0		•								-
	_	社会的養護 I	 	2				0		-	_	•	•			-		1
	_	社会的養護Ⅱ	演	1				0				•	•	•	•	-		1
-	-	保育の心理学	1共	2				0		•		\vdash	\vdash	-		\vdash	\vdash	1
	_	子どもの理解と援助	演	1				0		-		\vdash	\vdash	•	•	\vdash	\vdash	1
	_	子どもの保健	1共	2				0				\vdash	\vdash	-		\vdash	\vdash	1
		子どもの健康と安全	演	1				0		-	_	•	•			-		1
		子どもの食と栄養	演	2				0				•	•	•	•	-		1
	_	子ども家庭支援の心理学	1共	2				0				•	•	•		-		1
		子ども家庭支援論	 	2				0										1
<u> </u>	_	子育て支援	演	1				0				-	-	•	•			1
-	-	保育課程論	伊	2				0				•		-				1
	_	乳児保育 I	 	2				0				•						1
-	-	乳児保育Ⅱ	演	1			-	0				•	•		•			1
		電子	演演	2			-	0				•	•	•	•			1

別表Ⅱ-13 小 幼 作育士 免 免 春秋春秋 春秋春秋 保育所実習 保育実習 I (保育所) 施設実習 保育実習 I (施設) □ 保育実習Ⅱ(保育所) 実 2 保育所実習(選択) Δ 選 □保育実習Ⅲ(施設) 実 2 Δ 施設実習(選択) 択 保育実習指導 I 演 必修事前•事後指導 2 選択事前•事後指導 保育実習指導Ⅱ(保育所) 演 1 Δ 保育実習指導Ⅲ(施設) 選択事前·事後指導 演 1

70

47 71 56

- 【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。 【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期 いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。 ◆1 幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の※の科目のうち2科目を選択履修すること。 ◆2 小一免と幼一免を両方取得しようとする場合は、幼一免の必修科目である保育内容指導法 I ~ X II のうち半数 (6単位)は、小一免の必修科目である各教科教育法及び特別活動の単位取得をもって履修を免除する ことができる。ただ」 保育土資格を取得したシレオス提合は、この関いでない。 ことができる。ただし、保育士資格を取得しようとする場合は、この限りでない。
- ◆3 小一免又は幼一免を取得しようとする者は、教育相談の代わりに、カウンセリング論の単位取得をもって履修の
- ◆ 3 たんはあり、たんは行とようとするもは、収育生成の人はから、カッショック・ この単位は行ともって機能の免除をすることができる。 ◆ 4 保育士資格を取得しようとする者は、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択履修すること。 ◆ 5 キャリアデザインⅠ及びキャリアデザインⅡは学科の指示に従い授業に出席すること。

心理学を実践で使おう 心理学の活用力を高める

心理学を実践につなごう

心のはたらきを探ろう

心のしくみを知るう 心理学の基礎を知る

国内蒙察

心理学を学び、子どもと保護者を支援できる先生になろう

教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する 児童学科 児童心理コース 児童学部 令和2年度 聖徳大学

子ども発達理解フィールド 子ども発達支援フィールド 秋学期 小学校教育実習 教職実践演習 4年生 保育実習 II (保育所) 又は保育実習 II (施設) 外部幼稚園実習 春学期 心理検査法実習Ⅱ 事前・事後指導 事前・事後指導 家族心理学 卒業研究ゼミ 心理英語 聖徳教育』(海外研修) 秋学期 保育実習 I (保育所) 心理療法面接実習II 心理検査法実習I 発達臨床心理学 心理学研究法Ⅱ 神経心理学 教育心理学 選択外国語(ドイツ語・フランス語) V~M 3年生 聖徳教育 I (シリーズコンサート・文化講演会・アセンブリアワー) 事前・事後指導 保育実習 I (施設) 春学期 心理療法面接実習I 選択英語∨∼Ⅲ 心理学研究法I 心理統計法工 児童精神医学 人格心理学 人間関係論 ※希望の免許・資格取得に必要な実習 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 秋学期 カウンセリング心理学 小笠原流礼法基礎講座 附属小学校観察実習 心理学基礎実験I 心理統計法 1 2年生 ※希望の免許・資格取得に必要な科目 キャリアデザインII 心理学基礎実験I 春学期 附属幼稚園実習 事前・事後指導 児童心理学 認知心理学 臨床心理学 C類) 事前・事後指導 B類 聖德教育 II BETTOKU Academic Literacy I SETTOKU Academic Literacy II 聖徳の新しい教養科目(A類 聖徳教育Ⅱ(志賀高原 秋学期 キャリアデザインI 情報活用演習 (教職) スポーツと健康エ 青年心理学 社会心理学 軽択外国語(ドイツ語・フランス語) I ~IV 1年生 情報活用演習(基礎) 聖徳教育 II (FC) 日本国憲法 (D類) スポーツと健康I 春学期 特別支援教育総論 乳幼児心理学 心理学概論 英語 I ~IV 心のメカニズムを学ぶ 豊かな教養を高める 人間性を高める 実践を通して学ぶ

今和2年度 聖徳大学 児童学部 児童学科 児童小理コース

	卒業認定・学位授与のよれて指導を	力車に拘びる子信成系	礼節や思いやり、豊かな子ども観などをもって子ども	に接するとともに、自律的に 学び続けながらよりよい社会 の形成に貢献することができ る。		児童のいで成長に関する知識や技能を体系的に理解する	とともに、子ともに関する情報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。		身体表現や音楽、造形など	ニュニケーションするとともに、周りと協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解験することができる。		
<u>心理学を実践で使わう</u> 心理学の活用力を高める	春学期 4年生 秋学期	小学校や幼稚園、保育所等での責任実習に、これまでの理論や実践における学びを生かすことができる。	美國對個		自らの関心に合わせて心理学の知見や手法を活用できる。	試験・レポート・GPA		子ども支援に役立つ教養を高め、自らの進路に役立てることができる。	試験・レポート・GPA		様々な芸術や文化に積極的に触れることを通して教育・保育の領域で活躍するための人間性を高めようとしている。	アポート・参加熊鹿
小理学を実践につなごう ○理学の専門性を深める	春学期 3年生 秋学期	施設実習や保育所実習を通して福祉領域における保育士の役割や仕事を理解 することができる。	実習評価		教育・保育の実践で求められる心理学 的な支援を説明できるとともに、心理 学研究に必要なデータ解析の仕方を身 につけている。	試験・レポート・GPA		豊かな教養を身につける。	試験・レポート・GPA		海外の教育や文化に直接触れながら、 国際的な視野で子どもの心理支援を考 えることができる。	ト・GPA
心のはたらきを探ろう 心理学の研究方法を知る	春学期 2年生 秋学期	小学校実習や附属幼稚園実習を通して 子どもや保護者等とのかかわり方を理 解することができる。	実習評価		教育・保育で求められる心理学の基礎 的な知識や心理学における基本的な データの扱い方を身につけている。	試験・レポート・GPA		教育・保育領域に限らずさまざまな領域で必要とされる常識を身につけている。	試験・レポート・GPA		仲間と支え合い、協調して課題解決を 試みる力を身につける。	い。
売 心のしくみを知ろう シ理学の基礎を知る	春学期 1年生 秋学期	子どもの発達段階や教育・保育の概要 を理解することができる。	実習評価		自己や他者、社会を心理学的に捉え直し、説明できる。	試験・レポート・GPA		教育・保育領域において求められる常識を身につけている。	試験・レポート・GPA		子どもに対する深い愛情をもち、教育・保育の領域に心理学を生かして貢献する意欲をもつことができる。	試験・レポート・GPA
皿 & 庫 你		実践を通し	ント学ぶ	<u>ن</u> خ	3メカニズムを	針に		豊かな教養を	る割っ	9 	間性を高める	

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1	左		² は1週間割りの授業科目数 年
		年	_	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	教養科目	SEITOKU Academic Literacy III
字	英語I	日本国憲法	教養科目	小笠原流礼法基礎講座
共	スポーツと健康I	英語Ⅱ	英語Ⅲ	教養科目
通	情報活用演習(基礎)	フランス語 I	フランス語Ⅲ	教養科目
科		フランス語Ⅱ	フランス語IV	教養科目
目		スポーツと健康Ⅱ		英語IV
科目数	4	6	5	6
学	児童学概論	児童学演習		
科		キャリアデザインI	キャリアデザインⅡ	
必				
修				
科				
目				
科目数	1	1		
コ	心理学概論	青年心理学	心理学基礎実験 I	心理学基礎実験Ⅱ
1	乳幼児心理学	社会心理学	認知心理学	心理統計法 I
ス 必	特別支援教育総論		児童心理学	カウンセリング心理学
修			臨床心理学	
科			,,,,,, – – ,	
目				
科目数	3	2	4	3
	初等教科研究·音楽理論 I	初等教科研究・音楽理論Ⅱ	初等教科研究·図画工作 I	初等教科研究・図画工作Ⅱ
	初等教科研究·音楽実技 I	初等教科研究·音楽実技 I	初等教科研究·音楽実技 I	初等教科研究·音楽実技 I
١, ١	初等教科研究・書道	初等教科研究・国語	初等教科研究・専門体育 I	初等教科研究・専門体育Ⅱ
小	教育原理	初等教科研究・数学	初等教科研究・社会	初等教科研究・家庭
免		初等教科研究・理科	国語科教育法 I	国語科教育法Ⅱ
科		教職入門	算数科教育法 I	算数科教育法Ⅱ
目			理科教育法	社会科教育法
			発達心理学 I	音楽科教育法
特			教育社会学	道徳教育の指導法
支			教育課程論 I	教育方法学
科			障害者教育論	障害者教育史
			知的障害者の心理	知的障害者の生理・病理
			知的障害者教育	知的障害者の言語指導
			視覚障害者の指導	LD等障害者の指導
				小学校外国語
科目数	4	6	14	15
実			附属小学校観察実習(春・秋どちらか)	附属小学校観察実習(春・秋どちらか)
習			介護体験実習(春・秋どちらか)	介護体験実習(春・秋どちらか)
科目数計	12	15	23	24

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学				
共通				
科目				
科目数	0 F /4 K 3	のケルドこ	去 坐 用办 以 >	去类形态以下
科必学 目修科	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コ	心理統計法Ⅱ	心理学研究法Ⅱ	心理検査法実習Ⅱ	
	心理学研究法 I	心理療法面接実習Ⅱ	家族心理学	
スッ	人間関係論	心理検査法実習I		
必修	人格心理学 心理療法面接実習 I	教育心理学		
科	心理原依則依美百 1			
1				
科目数	5	4	2	
小	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ
免	初等教科研究・生活	生活科教育法		教職実践演習(幼・小)
科	体育科教育法	図画工作科教育法		
目	特別活動の指導法	家庭科教育法 病弱者の生理・病理		
•	総合的な学習の時間の指導法 小学校外国語の指導法	一		
特	肢体不自由者の心理	聴覚障害者の指導		
士				
	肢体不目由者の生理・病理	車 復 障害者の 指導		
支科	肢体不自由者の生理・病理 病弱者の心理	重複障害者の指導		
科目	版体不目由者の生理・病理 病弱者の心理 肢体不自由者教育	重視障害者の指導		
目 科目数	病弱者の心理	里復障害者の指導 8	1	2
科目数実	病弱者の心理 肢体不自由者教育		1	小学校教育実習
目 科目数	病弱者の心理 肢体不自由者教育		1 4	

□の数字は1週間割りの授業科目数

	□の数字は1週間割りの授業科目 											
		•	_									
	春学期	秋学期	春学期	秋学期								
全学	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	教養科目	SEITOKU Academic Literacy III								
学	英語 I	日本国憲法	教養科目	小笠原流礼法基礎講座								
共	スポーツと健康 I	英語Ⅱ	英語Ⅲ	教養科目								
通	情報活用演習(基礎)	フランス語 I	フランス語Ⅲ	教養科目								
科		フランス語Ⅱ	フランス語IV	教養科目								
目		スポーツと健康Ⅱ	. , . , , ,	英語IV								
科目数	4	6	5	6								
	児童学概論	児童学演習	-									
学	70 = 1 Public	キャリアデザインI	キャリアデザインⅡ									
科		(() / / / 1	(())))									
必												
修												
科												
目												
科目数	1	2.										
コ	心理学概論	青年心理学	心理学基礎実験I	心理学基礎実験Ⅱ								
1	特別支援教育総論	社会心理学	認知心理学	心理統計法Ⅰ								
ス	乳幼児心理学	[[五元]]	児童心理学	教育心理学								
必	和初几心建于		臨床心理学	カウンセリング心理学								
修			临八心生于	カリンピリング心理子								
科目												
科目数	3	2	1	4								
有自然	初等教科研究・音楽理論 I	初等教科研究·音楽理論 II	初等教科研究·図画工作 I									
幼	初等教科研究·音楽実技I	初等教科研究·音楽実技I	初等教科研究·音楽実技I	初等教科研究·音楽実技 I								
稚			初等教科研究・専門体育Ⅲ									
園	保育内容総論	保育原理I		初等教科研究・専門体育IV								
- 風	児童文化演習 I ~ 1	教職入門	保育内容指導法I	保育内容指導法Ⅱ								
	幼児理解・保育相談	児童文化演習 I ~ 2	保育内容指導法V	保育内容指導法VI								
保衣	子ども家庭福祉	初等教科研究・国語	発達心理学 I	教育方法学								
育	社会福祉学 I	初等教科研究·数学	教育社会学	子どもの健康と安全								
士	保育の心理学	教育原理	教育課程論 I	子ども家庭支援の心理学								
科		子どもの保健	社会的養護 I	障害児保育								
目			乳児保育 I	子ども家庭支援論								
			保育課程論									
科目数	8	9	11	10								
実			附属幼稚園実習									
習												
科目数計	16	19	20	20								

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学	H 1/91	V 1 791	H 1/71	7 1 //1
共通				
科目				
学	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科				
必				
修科				
目				
科目数	1	1	1	1
コ	心理統計法Ⅱ	心理学研究法Ⅱ	心理検査法実習Ⅱ	*
1	心理学研究法 I	心理療法面接実習Ⅱ	家族心理学	
ス	人間関係論	心理検査法実習I		
必	人格心理学	教育心理学		
修	心理療法面接実習 I			
科				
目				
科目数	5	4	2	
幼	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究·音楽実技Ⅱ
稚	保育内容指導法Ⅲ	保育内容指導法IV		教職実践演習(幼・小)
園	保育内容指導法VII	保育内容指導法VIII		
	保育内容指導法IX	保育内容指導法X		
保	保育内容指導法XI	保育内容指導法XⅡ		
育	児童文化演習Ⅱ~1 教育相談	乳児保育Ⅱ 社会的養護Ⅱ		
士		任芸的養護 子どもの理解と援助		
科	子どもの食と栄養	子育て支援		
目		丁月(又饭		
科目数	8	9	1	2
実	施設実習	保育所実習	外部幼稚園実習	
習			保育所実習	
科目数計	14	14	4	3

児童学部 児童学科 児童文化コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 (A類) 30単位以上、専門教育科目 (B類) 94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 児童文化コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目(B類)									
必修科目	選択科目	計							
47	47	94							

- ③ 児童文化コースの専門教育科目については別表Ⅱ-14の卒業必修欄に○印の付いている科目 47 単位及び ★印の付いている科目から 2 単位以上と、別表Ⅱ-14 の選択科目及び別表Ⅱ-9~13、15~17 に記載されている科目から 47 単位以上を履修してください。(同一科目を重複して履修することはできません)
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-14のコース必修科目に加えて小一免欄に ○印の付いている科目を履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑤ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-14のコース必修科目に加えて幼一免欄に ○印のついている科目と※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。(卒業所要単位 数に選択科目として算入されます)
- ⑥ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表Ⅱ-14のコース必修科目に加えて保育士欄に○印の付いている科目と、△印のついている科目から、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)の組み合わせで2科目履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑦ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表 II-14 のコース必修科目に加えて、別表 II-16 のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑧ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表II-14のコース必修科目に加えて、別表II-17のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑨ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑩ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加えて別表Ⅷ−1、2、3、4、5のとおり履修してください。(卒業所要単位数には算入されません)
- ⑪ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ② 単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C$) した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護体験実習(介護等の体験)

小学校·中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

児童学科 児童文化コース授業科目配当表 (B類) 別表Ⅱ-14 履修年次 幼 保 小 授業科目 育 備考 2 3 N. 免 免 位 \pm 春秋 春秋春秋春秋 □ 児童学概論 □ 児童学演習 演 2 3年次ゼミ 诵年 演 □ 卒業研究ゼミ 3 通年 油 □ キャリアデザイン I 演 1 \bigcirc キャリアデザインⅡ 演 □日本語の基礎 2 □英語の基礎 2 □ 環境論 2 児童学特論 I 2 □ 児童学特論 Ⅱ 2 • • 2 □児童学特論Ⅲ 共 □児童学特論IV 2 诵 □ 児童学特論 V • • • • 科 2 2 • • • • • • • • 児童学特論VI □ 児童学特論VII 9 □児童学特論Ⅷ 2 • • • • • • □児童学特論IX 2 2 • • • • • • • • □ 児童学特論 X 児童学特論XI 2 • • □ 児童学特論 X II 2 □ 児童学特論 X III 2 □ 児童学特論 X IV 2 • • • • • • □ 児童学特論 X V 2 【子ども環境・交流フィールド】 □野外活動論 2 レクリエーションインストラクター科 目 □ 生涯学習とボランティア活動 子どものための地域活動 2 □ レクリエーション基礎演習 演 1 レクリエーションインストラクター科 目 0 生涯学習論 □子どもビジネスの世界 2 演 【子ども文化・表現フィールド】 コ 児童文化概論 П 2 絵本 □ 昔話・わらべうた 2 ス 伝承遊び 演 □ 児童文化実習 実 2 0 诵年 N. 2 □ 児童文学 □ 玩具·遊具 2 修 造形ワークジ 演 □ 絵画表現基礎 2 科 □ 写真·映像表現 演 1 目 マンガ・アニメ論 I □リズム遊び 0 1 演 □ 身体とリズム 演 1 0 児童文化実践演習 演 □ 舞台芸術演習 ★の科目から3年次に1科目以 * 演 1 上、4年次に1科目以上を選択 □ 子どものための演奏□ 子どもとことば 演 1 * 履修し、合計2科目以上を選択 * 履修すること。 □ マンガ・アニメ論 Ⅱ 演 1 □レクリエーション概論 レクリエーションインストラクター科目 2 □ レクリエーション実習 I 実 1 レクリエーションインストラクター科目 □レクリエーション事業参加 レクリエーションインストラクター科目 □ 初等教科研究·国語 2 \bigcirc 幼一免を取得しようと * □ 初等教科研究•書道 \bigcirc する者は、幼一免欄の 演 1 □ 初等教科研究•社会 1 \bigcirc ○ ※の科目のうち2科目 □ 初等教科研究·数学 2 0 を選択履修すること。 * コ 初等教科研究·理科 1 2 □ 初等教科研究•生活 ** □ 初等教科研究·音楽実技 I 2 ピアノ(2年通年) 演 0 ピアノ(2年通年) □ 初等教科研究・音楽実技 Ⅱ 演 2 0 \bigcirc わらべ歌を含む □ 初等教科研究·音楽理論 I 演 1 初等教科研究・音楽理論Ⅱ 演 わらべ歌を含む 1 □ 初等教科研究·図画工作 I 演 1 択 □ 初等教科研究・図画工作 Ⅱ 演 1 0 0 \bigcirc 科 □ 初等教科研究•家庭 1 \bigcirc □ 初等教科研究·専門体育 I • • 浦 1 \bigcirc 目 初等教科研究・専門体育Ⅱ 演 1 □教職入門 0 2 \bigcirc □ 教育原理 2 0 • □ 発達心理学 I 2 0 0 □特別支援教育総論 2 \bigcirc □ 教育社会学 1 2 □教育方法学

児童学科 児童文化コース授業科目配当表 別表Ⅱ-14 履修年次 単 小 幼 保 育士 授業科目 備考 1 2 3 位 免 免 春秋春秋春秋 春秋 2 □ 教育課程論 I 0 □小学校外国語 1 • □ 道徳教育の指導法 2 \bigcirc □総合的な学習の時間の指導法 2 • • \bigcirc 小学校外国語の指導法 2 0 □特別活動の指導法 0 • \bigcirc 1 □ 国語科教育法 I 演 1 □国語科教育法Ⅱ 演 1 \bigcirc □社会科教育法 演 2 算数科教育法 I 演 1 □算数科教育法Ⅱ \bigcirc 演 1 □理科教育法 演 2 □生活科教育法 演 2 \bigcirc 演 2 \bigcirc □音楽科教育法 □図画工作科教育法 演 0 □家庭科教育法 0 2 演 □ 体育科教育法 演 2 □ 生徒指導(進路指導を含む) 2 \bigcirc 2 □ 教育相談 0 \bigcirc 事前・事後オリエンテ―ション等 □ 初等教育実習 I 実 1 □初等教育実習Ⅱ 実 4 0 2年附属小, 4年小学校教育実習 □ 教職実践演習(幼・小) 演 2 0 □介護体験実習 実 0 1 □ 初等教科研究·専門体育III 演 1 \bigcirc \bigcirc □ 初等教科研究·専門体育IV 演 1 □ 保育原理 I 2 □ 保育内容総論 演 1 □ 保育内容指導法 I 0 0 健康 演 1 0 □ 保育内容指導法 II 演 1 \bigcirc 0 健康 □保育内容指導法Ⅲ 人間関係 演 1 保育内容指導法IV 演 人間関係 1 選 □ 保育内容指導法 V \bigcirc 環境 演 1 \bigcirc 0 環境 □ 保育内容指導法VI 演 1 択 □保育内容指導法VII 演 1 \circ \circ \bigcirc 言葉 科 □保育内容指導法VII 言葉 溜 \circ 0 1 □ 保育内容指導法IX 演 1 \bigcirc 0 音楽 目 □ 保育内容指導法X 音楽 演 1 □ 保育内容指導法X I 造形 演 1 □ 保育内容指導法 X II 演 1 \bigcirc \bigcirc 诰形 □ 幼児理解,保育相談 2 幼児教育実習 I 実 事前・事後オリエンテ―ション等 □幼児教育実習Ⅱ 2 実 附属幼実習 実 2 0 □幼児教育実習Ⅲ 外部幼実習 □ 児童文化演習 I ~1 演 1 0 • • 人形劇 演 • • 折紙 □ 児童文化演習 I ~2 1 \bigcirc \circ 児童文化演習Ⅱ~1 演 • • 表現あそび 1 □ 子ども家庭福祉 2 \bigcirc □ 社会福祉学 I 2 0 • □ 社会的養護 I 2 \bigcirc □社会的養護Ⅱ 演 1 \bigcirc 保育の心理学 2 \bigcirc 子どもの理解と援助 演 1 □子どもの保健 2 • □ 子どもの健康と安全 1 演 □ 子どもの食と栄養 2 演 \bigcirc • 子ども家庭支援の心理学 2 • 子ども家庭支援論 2 • □子育て支援 演 1 □保育課程論 2 \bigcirc □ 乳児保育 I 2 \bigcirc □乳児保育Ⅱ 溜 1 \bigcirc □障害児保育 演 2

<u>児童学科 児童文化コース授業科目配当表 (B類)</u> 別表Ⅱ-14 履修年次 幼 卒業必修 授業科目 備考 3 免 免 位 士 春秋 春秋 春秋春秋 保育所実習 □ 保育実習 I (保育所) 実 2 □ 保育実習 I (施設) 実 2 0 施設実習 □ 保育実習 II (保育所) 実 2 保育所実習(選択) \triangle □ 保育実習Ⅲ(施設) 選 実 施設実習(選択) 2 \triangle 択 □ 保育実習指導 I□ 保育実習指導 II (保育所) 必修事前·事後指導 演 2 \bigcirc 科 演 \triangle 選択事前•事後指導 選択事前 • 事後指導 □ 保育実習指導Ⅲ(施設) 演 1 Δ 56 70 47

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。 【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期 いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。 ◆1 幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の※の科目のうち2科目選択履修すること。 ◆2 小一免と幼一免を両方取得しようとする場合は、幼一免の必修料目である保育内容指導法 I ~ X II のうち

- 半数(6単位)は、小一免の必修科目である各教科教育法及び特別活動の単位取得をもって
- 履修を免除することができる。ただし、保育士資格を取得しようとする場合は、この限りでない。 ◆3 保育士資格を取得しようとする者は、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・ 保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択履修すること。
- ◆4 キャリアデザイン I 及びキャリアデザイン II は学科の指示に従い授業に出席すること。

1 **今和7年度 聖海大学 旧籍学部 旧籍学科 旧籍女仆二**

ない問題解決力で社会に貢献する 子どもがよりよく生きる地域社会 を考えようハッロ率(Look < 条を考えよう シッロ = ※ を考えよう シッロ = ※ を考えよう シッロ = ※ を考えよう シッロ = ※ を考えよう ※ を を を を まる を を を を を を を を を を を を を を	春学期 4年生 秋学期	事前・事後指導 教職実践適当 中部が相談実習 小学校教育実習 保育実習工(施設) 又は保育実習工(施設)	大学 医牙状皮肤	子ども環境・交流フィールド	子どもとことは * 子ども文化・表現フィールド 第台芸術演習 *			
教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する どもと遊ぶ・交流するスキルを 子どもと遊ぶ・交流するスキルを 子ども文化を創造し、地域に提案 子どもがよりよく生きる地域 こつけようgiexttoosaagoogs	春学期 3年生 秋学期	g習 事前・事後指導 保育実習 I(施設) 保育実習 I(保育所)	3# % ゼミ	無配本五社	玩具 遊員 子とものための演奏 * マンガ・アニメ論 II *	×3.4.ハC.4.4.A.C.6.1.でもはから1988 逐択、選択英語V~VII	選択 外国語(ドイツ語・フランス語) V ~呱	文化講演会・アセンブリアワー) 聖徳教育 II (増外研修)
(能と創造的な思考力、子どもや保護者な、 子どもと遊ぶ・交流するスキルを 実践で活かそう/max/lac.esを接の理解	春学期 2年生 秋学期		※希望の免許・資格取得に必要な科目	レグリエーション基際演習子ともビジネスの世界	児童文学 児童文学	OCATORIA MAG	(8)	聖徳教育 I(シリーズコンサート・文化講演会・アセンブリアワー) 小笠原流礼法是磋蹋座 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy III
教育課題に対応する深い知識や技 目標 子どもと遊ぶ・交流するスキルを MB 身につけようNE文(Lの基礎の理解	春学期 1年生 秋学期	事前・事後指導 キャリアデザイン1	児童学術論 1~XV 児童学規論	野外活動論 生理学習とボランティア活動 子どものための地域活動	児童文化概論 - 售話・わらベラた 伝承遊び リズム遊び 造形ワークショップ	英語 I ~ IV	選択 外国語 (ドイツ語・フランス語) 1~IV 情報活用演習 (基礎) スポーツと程原 I スポーツと程原 I 基礎専門体育 I 星徳専門体育 I 国徳の新しい教養科目 (A類 B類 (集) (集) (表)	聖徳教育 II (FC) 聖徳教育 II (志賀高原) 聖徳教育 II (本賀高原) 聖徳教育 II BETTOKU Academic Literacy II SETOKU Academic Literacy II SETOKU Academic Literacy II SETOKU Academic Literacy II

C1元字 C貝眦/9 る	卒業認定・学位授与の 古針に掲げろ学修む	ARMS FO VELLIEU	礼節や思いやり、豊かな 子ども観などをもって子ども に接するとともに、自律的に 学び経行がバテドのよい社会	の形成に貢献することができる。	児童の心や成長に関する知 識や技能を体系的に理解する ととちに、子どもに関する情 ととれて、子どもに関する情	教を力を行う、調子的グラーの間に表えることができる。	身体表現や音楽、造形など 豊かな表現方法で子どもとコ ミュニケーションするととも	に、周り <i>と協働しながら様々</i> な問題に対して主体的に問題 解決することができる。	
ID エC3X 長、	春学期 4年生 秋学期	各資格に応じた子どもや地域との関係 について理解を深め、適切に対応する ことの意義を理解することができる。	イポン	児童文化の得意分野を深め、地域社会に活かせる。	試験・レポート・実技・GPA	英語力を高め文交流できる力を身につける。	試験・レポート・GPA	様々な芸術や文化に積極的に触れることを通して社会人としての教養や人間性を高めようとしている。	レポート・GPA
J C O 小 K 接 目 A C J J J I A C A C M I L C A X I S X X X X X X X X X X X X X X X X X	春学期 3年生 秋学期	各資格に応じた指導方法や指導技術を 身につけられている。	実習評価	児童文化の得意分野を深められる。	試験・レポート・実技・GPA	英語力を高め表現力を身につける。	試験・レポート・GPA	海外の教育や文化に直接触れながら、 国際人としての教養や人間性を高めよ うとしている。	レポート・GPA
女 目 味	春学期 2年生 秋学期	児童館実習、各資格実習を通して子ど もや保護者等とのかかわり方を理解す ることができる。	実習評価	児童文化、交流するスキルを実践で活かせる。	試験・レポート・実技・GPA	子どもや地域との交流を通して社会人としての常識を身につけている。	試験・レポート・GPA	様々な芸術や文化に触れ、子どもや地域社会を支援する意欲を高く持つことができる。	試験・レポート
₹ %	春学期 1年生 秋学期	子どもの発達段階や各資格の概要を理解することができる。	実習評価	児童文化の概略と基礎を理解している。	試験・レボート・実技・GPA	社会人に求められる基本的な常識を身につけている。	試験・レポート・GPA	様々な芸術や文化に触れ、子どもや地域社会を支援する意欲を持つことができる。	試験・レポート・GPA
三 素 物		実践を通し	つて挙ば	児童文化を3遊びや交流(チぶ 3中で育まれる	豊かな教	養を高める	人間性を高める	9

	-	年	0	年
	↓	年 秋学期	上 2 春学期	午 秋学期
全学共通科目	を子物 SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 英語 II フランス語 I フランス語 I スポーツと健康 II	教養科目 教養科目 英語Ⅲ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	M子知 SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 小笠原流礼法基礎講座 英語Ⅳ
11 11 114		情報活用演習(教職)		0
科学科必修科目	5 児童学概論	9 児童学演習 キャリアデザイン I	5 キャリアデザインⅡ	3
科目数	1	2	1	
コース必修科目	児童文化概論 絵本 野外活動論 造形ワークショップ 生涯学習とボランティア活動	昔話・わらべうた 伝承遊び リズム遊び 子どものための地域活動	児童文化実習 絵画表現基礎 レクリエーション基礎演習 身体とリズム	児童文化実習 児童文学 写真・映像表現 マンガ・アニメ論 I
小免科目	5 初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・書道 教職入門	4 初等教科研究・音楽理論Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅰ 初等教科研究・国語 初等教科研究・理科 初等教科研究・数学 教育原理	4 初等教科研究·図画工作 I 初等教科研究·音楽実技 I 初等教科研究·电門体育 I 初等教科研究·社会 国語科教育法 I 算数科教育法 I 理科教育法 I 理科教育法 発達心理学 I 教育課程論 I	4 初等教科研究・図画工作II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 初等教科研究・専門体育 国語科教育法 II 算数科教育法 II 社会科教育法 音楽科教育法 者等方法学 道徳教育の指導法 生徒指導(進路指導を含む) 小学校外国語
科目数	4	6	10	12
実習			附属小学校観察実習(春・秋どちらか) 介護体験実習(春・秋どちらか)	附属小学校観察実習(春・秋どちらか) 介護体験実習(春・秋どちらか)
科目数計	15	21	20	19
	10			
		年		年 (1.3% 世界
全学共通科目	春学期	秋学期	春学期	秋学期
科目数学和				
必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
A W修科目 数 コース	1 玩具・遊具 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論Ⅱ★	3年次ゼミ 1 こどもビジネスの世界 生涯学習論	卒業研究ゼミ 1 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論Ⅱ★	卒業研究ゼミ 1 児童文化実践演習
必修科目(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)<td>1 玩具・遊具 舞台芸術のの演奏★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 5 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽生活 極両工の事育作者教育 特別活動有相談 総合的な学習の時間の指導法 特別支援教育 特別支援教育の指導法 小学校外国語の指導法</td><td>1 こどもビジネスの世界 生涯学習論 2 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 家庭科教育法 生活科教育法 外国語活動教育法</td><td>1 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ</td><td>1 児童文化実践演習 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)</td>	1 玩具・遊具 舞台芸術のの演奏★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 5 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽生活 極両工の事育作者教育 特別活動有相談 総合的な学習の時間の指導法 特別支援教育 特別支援教育の指導法 小学校外国語の指導法	1 こどもビジネスの世界 生涯学習論 2 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 家庭科教育法 生活科教育法 外国語活動教育法	1 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	1 児童文化実践演習 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
必修科目 科 必修科目 科 小免科目 数	1 玩具・遊具 舞台芸術のの演奏★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 5 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽生活 体育科件の音法 特別活動育相談 総合的な学習の時間の指導法 特別支援教育総論	1 こどもビジネスの世界 生涯学習論 2 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 家庭科教育法 生活科教育法	1 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論Ⅱ★	1 児童文化実践演習 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ
必修科目(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)<td>1 玩具・遊具 舞台芸術のの演奏★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 5 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽生活 極両工の事育作者教育 特別活動有相談 総合的な学習の時間の指導法 特別支援教育 特別支援教育の指導法 小学校外国語の指導法</td><td>1 こどもビジネスの世界 生涯学習論 2 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 家庭科教育法 生活科教育法 外国語活動教育法</td><td>1 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ</td><td>1 児童文化実践演習 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)</td>	1 玩具・遊具 舞台芸術のの演奏★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 5 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・音楽生活 極両工の事育作者教育 特別活動有相談 総合的な学習の時間の指導法 特別支援教育 特別支援教育の指導法 小学校外国語の指導法	1 こどもビジネスの世界 生涯学習論 2 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 家庭科教育法 生活科教育法 外国語活動教育法	1 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	1 児童文化実践演習 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
必修科目 科 必修科目 科 小免科目 科 要 財 日本	1 玩具・遊具 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 5 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 初等教科研究・生活 体育科教教育法 図画工作科教育法 特別活動の指導法 特別方質者育総論 小学校外国語の指導法 9	1 こどもビジネスの世界 生涯学習論 2 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 家庭科教育法 生活科教育法 外国語活動教育法	1 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論Ⅱ★ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	1 児童文化実践演習 1 初等教科研究・音楽実技Ⅲ 教職実践演習(幼・小) 2 小学校教育実習 4

□の数字は1週間割りの授業科目数

	□の数字は1週間割りの授業科目数											
		年	2年									
	春学期	秋学期	春学期	秋学期								
	3	SEITOKU Academic Literacy II	教養科目	SEITOKU Academic Literacy III								
全	日本国憲法	教養科目	教養科目	小笠原流礼法基礎講座								
学	英語 I	英語Ⅱ	英語Ⅲ	教養科目								
共	スポーツと健康 I	フランス語 I	フランス語Ⅲ	教養科目								
通	情報活用演習 (基礎)	フランス語Ⅱ	フランス語IV	英語IV								
科		スポーツと健康Ⅱ	. , , , , ,) (FIL - 1								
目		情報活用演習(教職)										
科目数	5	7	5	5								
	児童学概論	児童学演習										
学	3 4 /3=////	キャリアデザイン I	キャリアデザインⅡ									
科												
必												
修												
科												
目												
科目数	1	2.	1									
7	児童文化概論	昔話・わらべうた	児童文化実習	児童文化実習								
1	絵本	伝承遊び	絵画表現基礎	児童文学								
	野外活動論	リズム遊び	レクリエーション基礎演習	写真・映像表現								
ス	造形ワークショップ	子どものための地域活動	身体とリズム	マンガ・アニメ論Ⅰ								
必	生涯学習とボランティア活動	1 0 0 0 / 1 0 0 0 / 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0	3 17 2 7 7 2	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
修	工作子目とボクシノイノ旧動											
科												
目												
科目数	5	4	4	4								
	初等教科研究·音楽理論 I	初等教科研究·音楽理論 II	初等教科研究·図画工作 I	初等教科研究・図画工作Ⅱ								
幼	初等教科研究·音楽実技 I	初等教科研究·音楽実技I	初等教科研究·音楽実技 I	初等教科研究·音楽実技 I								
	教職入門	保育原理 I	初等教科研究・専門体育Ⅲ	初等教科研究·専門体育IV								
稚	保育内容総論	児童文化演習 I ~ 2	保育内容指導法I	保育内容指導法Ⅱ								
園	児童文化演習 I ~ 1	初等教科研究・国語	保育内容指導法V	保育内容指導法VI								
•	子ども家庭福祉	初等教科研究・数学	発達心理学 I	教育方法学								
保	社会福祉学 I	教育原理	教育社会学	子ども家庭支援の心理学								
育	保育の心理学	・ 教育原理 子どもの保健	教育課程論 I	子ども家庭支援論								
士		丁でもの体度										
科	幼児理解・保育相談		社会的養護 I	子どもの健康と安全								
目			乳児保育 I	障害児保育								
			保育課程論									
科目数	9	8	11	10								
実	<u> </u>	Ŭ		10								
習			附属幼稚園実習									
科目数計	20	21	21	19								

	3	年	4	手				
	春学期	秋学期	春学期	秋学期				
全学	F. 4 7/4	¥ : 4 / / /		2.4.77				
共通								
科目								
科目数								
学	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ				
科	, , , ,							
必								
修								
科								
目								
科目数	1	1	1					
コ	玩具・遊具	こどもビジネスの世界	舞台芸術演習★	児童文化実践演習				
ス	舞台芸術演習★	生涯学習論	子どものための演奏★					
必	子どものための演奏★		子どもとことば★					
修	子どもとことば★		マンガ・アニメ論 Ⅱ★					
科	マンガ・アニメ論 Ⅱ★							
目								
科目数	5	2	4	1				
7.1	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ┃				
幼	保育内容指導法Ⅲ	保育内容指導法IV		教職実践演習(幼・小)				
稚	保育内容指導法Ⅶ	保育内容指導法Ⅷ						
園	保育内容指導法IX	保育内容指導法X						
	保育内容指導法XI	保育内容指導法XⅡ						
保	児童文化演習Ⅱ~1	乳児保育Ⅱ						
育	教育相談	社会的養護Ⅱ						
士	子どもの食と栄養	子どもの理解と援助						
科	特別支援教育総論	子育て支援						
Ħ								
-								
科目数	9	9	1	2				
実	施設実習	保育所実習	外部幼稚園実習					
習			保育所実習					
科目数計	15	12	6	4				
₩ • F			同じ科目の重複履修け不可					

^{※★}印の付された科目は3年次、4年次ともに1科目以上履修(同じ科目の重複履修は不可)。

児童学部 児童学科 スポーツ健康コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 (A類) 30単位以上、専門教育科目 (B類) 94単位以上、計124単位以上となります。
- ② スポーツ健康コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目(B類)									
必修科目	選択科目	計							
41	53	94							

- ③ スポーツ健康コースの専門教育科目については別表II-15の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目 37 単位及び%1 印の付いている科目から 4 単位以上の合計 41 単位と、別表II-15 の選択科目及び別表 $II-9\sim14$ 、16、17 に記載されている科目から 53 単位以上を履修してください。(同一科目を重複して履修することはできません)
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-15のコース必修科目に加えて小一免欄に ○印の付いている科目を履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑤ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-15のコース必修科目に加えて幼一免欄に ○印のついている科目と※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。(卒業所要単位 数に選択科目として算入されます)
- ⑥ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表Ⅱ-15のコース必修科目に加えて保育士欄に○印の付いている科目と、△印のついている科目から、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)の組み合わせで2科目履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑦ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表 II-15 のコース必修科目に加えて、別表 II-16 のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑧ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表II-15のコース必修科目に加えて、別表II-17のとおり履修してください。(卒業所要単位数に選択科目として算入されます)
- ⑨ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑩ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加えて別表WI-1、2、3、4、5のとおり履修してください。(卒業所要単位数には算入されません)
- 即 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ② 単位を修得(成績表に S・A・B・C) した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。
 - ◎介護体験実習(介護等の体験)

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

児重	字	科 スポーツ健康コース授業科目								l I I	履修年 次							別表Ⅱ-15				
	ュッ	授 業 科 目	授業の	単	業	J S	健運	障 S	レ	ャ	小	幼一	保育	1:	年		復修 年		下 丰	4:	年	備考
	ク欄	汉 采 行 日	方法	位	必修	指	指		ク	ンプ	免	免					秋					NHB 17
		児童学概論		2	0					Ĺ					-		-		ν.		-	
		児童学演習	演	2	0										0							
		3年次ゼミ	演	2	0													0	0			
		卒業研究ゼミ キャルアデザ クィレ	演	3	0															0	0	
		キャリアデザイン I キャリアデザイン II	演演	1	0										0	0						
		日本語の基礎	供	2										0			H					
		英語の基礎		2											0							
		環境論		2											_						•	
		児童学特論 I		2											•	•	•	•	•	•	•	
学		児童学特論Ⅱ		2										•	•	•	•	•	•	•	•	
科共		児童学特論Ⅲ		2										•	•	•	•	•		•	•	
通		児童学特論IV		2										•	•	•	•	•	•	•	•	
科		児童学特論V		2										•	•	•	•	•	•	•	•	
目		児童学特論VI		2										•	•	•	•	•	•	•	•	
		児童学特論VII		2										•	•	•	•		•	•	•	
		児童学特論Ⅷ		2										•	•	•	•	•	•	•	•	
		児童学特論IX		2										•	•	•	•		•	•	•	
		児童学特論X		2																		
		児童学特論X I		2													•	•		•		
		児童学特論XⅡ		2													•	•	•	•		
		児童学特論XⅢ		2													•	•		•	•	
		児童学特論XIV		2																		
		児童学特論XV		2												•					•	
		スポーツ文化論		2	0	0	0								0							
コ		生涯スポーツ論	Nobe	2	0	0		0						0								
		子どもの発育発達論と運動論	演	2	0	0								0								
]		スポーツコーチング論 スポーツ基礎理論	演	2	0	0								0	0		H					
ス		スポーツ栄養学	供	2	0	0	0									0						
^	Ħ	スポーツ生理学		2	0	0	0								0							
共		スポーツバイオメカニクス		2	Ö	Ŭ	Ö											0				
		スポーツ心理学		2	0	0	0										0					
通		運動処方論	演	2	0	0	0									0						
科		スポーツトレーニング	実	1	0		0								0							
17		スポーツ医学	演	2	0	0	0										0					
目		スポーツ現場実習 I スポーツ実技 I ~1(ダンス)	演	2	0	0									0							
		スポーツ社会学	実	2	0	0										0	H		0			
		健康管理論		2													H			0		
		スポーツ実技Ⅱ~1(陸上運動)	実	1	※ 1		0							0			Н	\dashv				※1より4科目以上選択
選		スポーツ実技Ⅲ~1(体操・器械運動)	実	1	※ 1		Ō								0							必修
択必		スポーツ実技IV~1(水泳)	実	1	※ 1		0							\circ								
修		スポーツ実技 V ~1 (球技)	実	1	※ 1		0							0								
科		スポーツ実技VI~1(エアロビック・エクササイズ)	実	1	※ 1		0		\ 0 /0	\ 0 / 0						0						※2、※3印を付された科
目	片	レクリエーション実習 I (夏季野外スポーツ)	実実	1	% 1					※ 3						0						目をどちらか1科目履 修。
		レクリエーション実習Ⅱ(冬季野外スポーツ) スポーツ解剖学	夫	2	※ 1				% 2	※ 3		\vdash				_	\circ	\dashv	0		_	1150
		スポーツ経営学		2														0				
		アダプテッドスポーツ論		2				0										Ō				
		運動遊び研究	演	2				Ľ												0		
		遊具での運動遊びと安全	演	2																\circ		
		子どもの自然活動基礎論	L	2					0	0						0	Ш					
コ		運動行事研究	演	2																	0	
1		オリンピック・パラリンピック概論	沪宁	2													0	-				1
		体育科実践場面演習 レクリエーション概論	演	2					0					\cap			\vdash	-			0	
ス		レクリエーション依論	実	1					0								H					
\pp.		レクリエーション事業参加		1					Ö								H					
選		スポーツ現場実習Ⅱ	演	2					Ĺ								0					※ 4
択		スポーツ実技 I ~2(ダンス)	実	1													0					
		スポーツ実技Ⅱ~2(陸上運動)	実	1													Ш	0				※4 ※4印を付された科
科		スポーツ実技Ⅲ~2(体操・器械運動)	実	1															0			※4 目は、それぞれ「1」
		スポーツ実技IV~2(水泳)	実	1												0						※4 の履修が必須
目		スポーツ実技V~2(球技)	実	1			-										0			-		※ 4
		スポーツ実技VI〜2(エアロビック・エクササイズ) スポーツ実技VII(ヨガ・ピラティス)	実実	1													\vdash	0		0		※ 4
		スポーク美技VII(コカ・ロフティス) スポーツ実技VII(レクリエーションスポーツ)	実	1				0									\vdash	\dashv	0			(含:アダプテッドスポーツ)
	\Box			1			1		1	\vdash	 		\vdash				\vdash)	0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
		スポーツ実技IX(ゴルフ)	美																	()		
		スポーツ実技IX(ゴルフ) 野外活動実習 I (アクアティックスポーツ)	実実	1												0						

スポーツ健康コース授業科目配当表 (B類) 別表Ⅱ-15 障 S 保育 履修年次 崩 小一 J S + 運指 授業科目 1年 4年 備考 2年 3年 | ク 指 指 免 免 位 士 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 0 0 初等教科研究·国語 幼一免を取得しようとす 2 **※**5 る者は、幼一免欄の※5 初等教科研究•書道 演 1 の科目のうち2科目を選 初等教科研究·社会 1 択履修。 初等教科研究•数学 2 **※**5 初等教科研究•理科 1 初等教科研究•生活 \bigcirc 2 × 5 2 初等教科研究·音楽実技 I 演 初等教科研究・音楽実技Ⅱ Ō 演 初等教科研究·音楽理論 I 演 1 初等教科研究•音楽理論Ⅱ 演 初等教科研究·図画工作 I 演 1 初等教科研究・図画工作Ⅱ 演 1 初等教科研究·家庭 • • 1 初等教科研究·専門体育 I 演 1 初等教科研究•専門体育Ⅱ • 演 1 小学校外国語 1 教職入門 • 2 0 0 教育原理 発達心理学 I 2 • 教育社会学 1 ス 2 教育方法学 特別支援教育総論 選 教育課程論 I 2 道徳教育の指導法 択 2 総合的な学習の時間の指導法 • 特別活動の指導法 1 科 国語科教育法 I 演 1 目 国語科教育法Ⅱ 演 1 社会科教育法 演 2 算数科教育法 I 演 1 \bigcirc 算数科教育法Ⅱ 演 理科教育法 2 演 生活科教育法 演 2 0 2 • 音楽科教育法 演 図画工作科教育法 2 • 演 • 家庭科教育法 演 2 2 • 演 体育科教育法 小学校外国語の指導法 2 生徒指導(進路指導を含む) 2 2

教育相談

初等教育実習 I

初等教育実習Ⅱ

介護体験実習

教職実践演習(幼・小)

実 1

実

演 2

実 1

4

授業和 「保育原理 I □ 保育原理 I □ 保育内容能論 □ 保育内容指導法 I □ 保育内容指導法 II □ 保育内容指導法 II □ 保育内容指導法 V □ 保育内容指導法 V □ 保育内容指導法 V □ 保育内容指導法 W □ 保育内容指導法 I □ 保育内容指導法 I □ 保育内容指導法 I □ 保育内容指導法 X □ 保育内容指導法 X □ 保育内容指導法 X □ 保育内容指導法 X □ 保育内容指導法 X □ 以 □ 以 □ 以 □ 以 □ 以 □ 以 □ 以 □ 以 □ 以 □	長業の方法 演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演	単 位 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	卒業必修	J S 指	運	障 S 指	レク	キャンプ	免	幼一免○○○	保育士〇〇		秋	24	年	年次 3年 春	F.		年 秋	備考
□ 保育原理 I □ 保育内容総論 □ 保育内容指導法 I □ 保育内容指導法 II □ 保育内容指導法 III □ 保育内容指導法 IV □ 保育内容指導法 VI □ 保育内容指導法 VI □ 保育内容指導法 VIII □ 保育内容指導法 IX □ 保育内容指導法 IX □ 保育内容指導法 X II □ 保育内容指導法 X II	海演演演演演演演演演演演演演演演演	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	必修	指	指		ク -		免	0	± 0	春	秋							
□ 保育原理 I □ 保育内容総論 □ 保育内容指導法 I □ 保育内容指導法 II □ 保育内容指導法 III □ 保育内容指導法 IV □ 保育内容指導法 VI □ 保育内容指導法 VI □ 保育内容指導法 VIII □ 保育内容指導法 IX □ 保育内容指導法 IX □ 保育内容指導法 X II □ 保育内容指導法 X II	演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	185	7,4	74	76			<u> </u>	0	0			TF.	701	1	72/	事	701	
□ 保育内容総論 □ 保育内容指導法 I □ 保育内容指導法 II □ 保育内容指導法 III □ 保育内容指導法 IV □ 保育内容指導法 VI □ 保育内容指導法 VIII □ 保育内容指導法 VIII □ 保育内容指導法 IX □ 保育内容指導法 X II □ 保育内容指導法 X II	演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演	1 1 1 1 1 1 1 1 1								Ō	0	0			\vdash		\dashv			
□ 保育内容指導法 I □ 保育内容指導法 II □ 保育内容指導法 II □ 保育内容指導法 IV □ 保育内容指導法 VI □ 保育内容指導法 VII □ 保育内容指導法 VIII □ 保育内容指導法 VIII □ 保育内容指導法 IX □ 保育内容指導法 X II □ 保育内容指導法 X II	演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演	1 1 1 1 1 1 1 1								_		\cup	- 1	ı	1 1					1
□ 保育内容指導法Ⅱ□ 保育内容指導法Ⅲ□ 保育内容指導法Ⅳ□ 保育内容指導法Ⅵ□ 保育内容指導法Ⅶ□ 保育内容指導法Ⅷ□ 保育内容指導法Ⅷ□ 保育内容指導法Ⅷ□ 保育内容指導法Ⅱ□ 保育内容报单独补□ 保育内容报单独补□ 保育内容报单独补□ 保育内容报单独补□ 保育中报单独补□ 保育中报单独补□ 保育中报单独补□ 保育中报单独补□ 保育中报申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申	演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演	1 1 1 1 1 1 1								()				$\overline{}$			\rightarrow	┢	-	/
□ 保育内容指導法Ⅲ□ 保育内容指導法Ⅳ□ 保育内容指導法Ⅵ□ 保育内容指導法Ⅶ□ 保育内容指導法Ⅷ□ 保育内容指導法Ⅷ□ 保育内容指導法Ⅷ□ 保育内容指導法Ⅸ□ 保育内容指導法Ⅺ□ 保育内容指導法Ⅺ□ 保育内容指導法Ⅺ□	演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演	1 1 1 1 1 1									0		_	0		_	_	H		健康
□ 保育内容指導法IV□ 保育内容指導法V□ 保育内容指導法VI□ 保育内容指導法VI□ 保育内容指導法W□ 保育内容指導法IX□ 保育内容指導法IX□ 保育内容指導法X□ 保育内容指導法X□ 保育内容指導法XⅡ□ 保育内容指導法XⅡ□ 保育内容指導法XⅡ□	演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演	1 1 1 1								0	0			\dashv	0	$\overline{}$	_		-	健康
□ 保育内容指導法 V □ 保育内容指導法 V I □ 保育内容指導法 W I □ 保育内容指導法 W I □ 保育内容指導法 I I □ 保育内容指導法 X I □ 保育内容指導法 X I □ 保育内容指導法 X I □ 保育内容指導法 X I □ 保育内容指導法 X I □ 保育内容指導法 X I □	演 演 演 演 演 演 演 演	1 1 1								0	0			_		0			₽	人間関係
□ 保育内容指導法VI□ 保育内容指導法VI□ 保育内容指導法VI□ 保育内容指導法IX□ 保育内容指導法IX□ 保育内容指導法 X□ 保育内容指導法 X□ 保育内容指導法 X□	演 演 演 演 演	1 1 1								0	0				\vdash		0	-	-	人間関係
□ 保育内容指導法W□ 保育内容指導法W□ 保育内容指導法IX □ 保育内容指導法IX □ 保育内容指導法 X □ 保育内容指導法 X □ 保育内容指導法 X □	演 演 演 演	1								0	0			0			_		₽	環境
□ 保育内容指導法W□ 保育内容指導法IX□ 保育内容指導法X□ 保育内容指導法X□ 保育内容指導法X□ 保育内容指導法XⅡ□	演 演 演	1								0	0				\circ					環境
□ 保育内容指導法IX □ 保育内容指導法 X □ 保育内容指導法 X I □ 保育内容指導法 X I	演 演									0	\circ					0				言葉
□ 保育内容指導法X □ 保育内容指導法X I □ 保育内容指導法X I	演									0	\circ						\circ			言葉
□ 保育内容指導法 X I □ 保育内容指導法 X II		1								0	\circ					\circ				音楽
□ 保育内容指導法 X II	演	1								0	\circ			l		. 1	\bigcirc			音楽
	159	1								0	0					0				造形
	演	1								0	0						0			造形
		2								0		0								1
□ 幼児教育実習 I	実	1								Ö				0				0		事前・事後オリエンテーション
□幼児教育実習Ⅱ	実	2								Ō				Ō			\neg	Ť		附属幼実習
□幼児教育実習Ⅲ	実	2								Ö				$\check{}$			\dashv	0	t	外部幼実習
□ 児童文化演習 I ~1	演	1		1					Н	\overline{C}	0	•	•	\dashv		-+	\dashv		┢	人形劇
□ 児童文化演習 I ~2	演	1								0	0			\dashv	\vdash	_	\dashv		-	折紙
□児童文化演習Ⅱ~1	演	1	1	1	1				Н	0	0			\dashv	\vdash			┢	┢	表現あそび
□ 子ども家庭福祉	供	2		1			-		Н		0			\dashv	\vdash		_		├	1 2 3 2 0 C O
口力とも豕庭悟性				-									•	\dashv	\vdash		-		-	-
□ 社会福祉学 I		2		-							0						-		-	-
□ 社会的養護 I		2	-	-	-		-				0			•					-	-
□社会的養護Ⅱ	演	1	1	-	1		-				0			\dashv	\vdash			-	-	4
□保育の心理学	N.E.	2									0				\vdash	_			₽	<u> </u>
□子どもの理解と援助	演	1									0								ـــــ	<u> </u>
□ 子どもの保健		2									\circ				Ш					
□子どもの健康と安全	演	1									\circ									
□ 子どもの食と栄養	演	2									\circ									
□ 子ども家庭支援の心:	里学	2									\circ									
□子ども家庭支援論		2									\circ									
□子育で支援	演	1									0						•			1
□保育課程論		2									0									
□ 乳児保育 I		2									0									1
□乳児保育Ⅱ	演	1									Ō			Ť			•		t	1
□障害児保育	演	2		1							Ö						Ť		t	1
□ 保育実習 I (保育所)	実	2	1								Ö			-		\dashv	\circ	H	\vdash	1
□ 保育実習 I (施設)	実	2	1	1	1		 		H		0			\dashv		0	$\overline{}$	H	\vdash	1
□ 保育実習 II (保育所)		2	1		1	-					Δ			\dashv	\vdash	$\overline{}$	\dashv	\circ	\vdash	1
□ 休月天百Ⅱ (休月月)□ 保育実習Ⅲ(施設)		2	1	1	1	-	-	-												
	· +													\dashv	\vdash	-	-	_	\vdash	1
□ 保育実習指導 I			1	1							Δ							0		- -
□ 保育実習指導Ⅱ(保	演	2														0	0	_		- - -

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

保育実習指導Ⅲ(施設)

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期いずれかに 配当される。 諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること。

◆1 幼一免を取得しようとする者は、幼一免欄の※の科目のうち2科目選択履修すること。

演

- ◆2 小一免と幼一免を両方取得しようとする場合は、幼一免の必修科目である保育内容指導法 I ~ X II のうち 半数(6単位)は、小一免の必修科目である各教科教育法及び特別活動の単位取得をもって 履修を免除することができる。
- ◆3 キャリアデザイン I 及びキャリアデザイン II は学科の指示に従い授業に出席すること。

【資格名称】

JS指:ジュニアスポーツ指導員 健運指:健康運動実践指導者 障S指:初級障がい者スポーツ指導員 レク:レクリエーションインストラクター キャンプ:キャンプインストラクター

【幼稚園一種免許状並びに保育士資格取得希望者は以下の科目を取得すること】

子どもの発育発達論と運動論、子どもの自然活動基礎論、遊具での運動遊びと安全、運動遊び研究、運動行事研究、スポーツ実技 I-1、I-2

【小学校一種免許状取得希望者は以下の科目を取得すること】

スポーツ文化論、スポーツ基礎理論、スポーツ生理学、体育科実践場面演習、健康管理論(学校保健)、スポーツ実技 I-1

カリキュラムマップ

保育実習 I (保育所) 又は保育実習 II (施設) 秋学期 体育科実践場面演習 小学校教育実習 教育課題に対応する深い知識や技能と創造的な思考力、子どもや保護者などから信頼される人間性と教養、協働的な問題解決力で社会に貢献する 運動行事研究 4年生 スポーツ実技価(ヨガ・ピラティス) 外部幼稚園実習 遊具での運動遊びと安全 健康管理論(学校保健) 春学期 事前・事後指導 事前・事後指導 **社会に貢献できるスポーツ指導**者 運動遊び研究 卒業研究ゼミ スポーツ健康コース スポーツ実技皿-2(体操・器械運動) レクリエーションスポーツ (合:アダプテッ) スポーツ) ーツ活動の実践 秋学期 聖徳教育工(海外研修) 保育実習 I (保育所) スポーツ解剖学 スポーツ社会学 選択外国語 (ドイツ語・フランス語) V~価 3年生 (スポーツ・健康科学の理論に基づく実技能力を高める学び) スポーツ実技M-2(エアロビック・エクササイズ) スポーツ実技 II-2 (陸上運動) 野外活動実習2 (スクーバダイピング) 事前・事後指導 保育実習 I (施設) (スポーツ・健康科学に関する理論の学び) スポーツバイオメカニクス スポーツ実技区 (ゴルフ) アダプテッドスポーツ鄙 児童学科 が次 実践力を磨く 春学期 活動を通し スポーツ指導の実践力を 高めよう スポーツ経営学 選択英語∨~呱 3年次ゼミ ※希望の免許・資格取得に必要な実習 様々なス 児童学部 レクリエーション実習 I (冬季野外スポーツ) 集中 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅢ **メ**ンソアック・パリンソアック 截編 聖徳教育 I (シリーズコンサート・文化講演会・アセンブリアワー) スポーツ実技 1-2 (ダンス) スポーツ実技 V-2 (球技) 附属小学校観察実習 秋学期 スポーツ現場実習2 小笠原流礼法基礎講座 スポーツ心理学 スポーツ医学 令和2年度 聖徳大学 レクリエーション実習 I (夏季野外スポーツ)集中 2年生 スポーツ指導方法を深く理解する (希望の免許・資格取得に必要な科目 野外活動実習1(アクアティックスポーツ) スポーツ実技1v-2(エアロビック・エクササイズ) 子どもの自然活動基礎論(野外活動論) 運動処方論 (含: 測定・評価) スポーツ指導方法を スポーツ実技 I-1 (ダンス) スポーツ実技M-2 (水泳) 春学期 キャリアデザインII スポーツ栄養学 事前・事後指導 附属幼稚園実習 C類) B猫 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy II スポーツ実技皿- I (体操・器械運動) スポーツトレーニング (コンディショニング) ダンス II (基礎専門体育工:ダンス基礎) レクリエーション 基礎演習 I 聖徳の新しい教養科目 (A類 基礎専門体育 II (ダンス技術・理論) 聖徳教育 II (志賀高原) 秋学期 スポーツコーチング論 スポーツ現場実習1 情報活用演習(教職) キャリアデザインI **スポーツとは何かを 理解しよう** スポーツに関する基礎的知識を学ぶ 事前・事後指導 スポーツ文化論 スポーツ生理学 児童学演習 軽択外国語(ドイツ語・フランス語) I ∼IV 1年生 聖徳教育 II SEITOKU Academic Literacy I : ダンス基礎) スポーツ実技II-1 (陸上運動) 子供の発育発達論と運動論 基礎専門体育 I (ダンス基礎) スポーツ実技IV-1(水泳) スポーツ実技 N-1(球技) フクフエーション転縮 ダンスI (基礎期7体育1 情報活用演習 (基礎) 春学期 聖徳教育 II (FC) 日本国憲法 (D類) スポーツ基礎理論 生涯スポーツ論 英語 I ~IV 実践を通して学ぶ 豊かな教養を高める 多様なスポーツ活動に対応できる資質を高める 人間性を高める

Learning Outcomes (学びで得られる成果)

ì	卒業認定・学位将与の	方針に掲げる学修成果		OJFDX/に員柄/9 のにこがてきる。	児童の心や成長に関する知 識や技能を体系的に理解する とともに、子どもに関する情 報を分析し、論理的かつ創造 的に考えることができる。	身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で子どもとコ	ニュニケーションするたともに、周りと励働しながら様々 た問題に対して主体的に問題 解決することができる。	
社会に貢献できるスポーツ指導者 を目指そう スポーツ活動の実践力ある指導者として社会貢献 できる将来を考える	春学期 4年生 秋学期	スポーツに関する各資格に応じた子ど もや地域の人々との関係について理解 を深め、これまでの理論や実践におけ る学びを生かすことができる。	更	スポーツ・健康科学に関する基礎的理論やこれに基づく実践能力を高める方法を身につけ、自己課題解決と多様なスポーツ活動に対応する力を身につけ	ている。 試験・レポート・GPA	より高度な語学力を身につけ、国際感覚を形成する力を身につけている。	試験・レポート・GPA	様々なスポーツ活動に積極的に触れる ことを通して、社会で活躍するための 教養や人間性を高めることができる。 レポート・参加職度
スポーツ指導の実践力を 高めよう 様々なスポーツ活動を通して 実践力を置く	春学期 3年生 秋学期	スポーツに関する各資格に応じた指導 方法や指導技術を身につけながら、ス ポーツの果たす社会的貢献を理解する ことができる。	美國評価	スポーツ・健康科学に関する基礎的理 論やこれに基づく実践能力を高める方 法を身につけ、他者とスポーツの楽し さを共有しようとする力を身につけて	いる。 試験・レポート・GPA	高度な語学力を身につけ、国際感覚を形成する力を身につけている。	試験・レポート・GPA	諸外国の文化に直接触れながら、国際的な視野を持ち、スポーツ活動の社会的貢献について考えることができる。
スポーツ指導方法を 理解しよう スポーツ指導方法を深く理解する	春学期 2年生 秋学期	子どもの発達段階の理解や実践能力を 高めながら、スポーツ現場実習等を通 して、人々とスポーツとのかかわり方 を理解することができる。	業器計価	スポーツ・健康科学に関する基礎的理論やこれに基づく実践能力を高める方法を身につけ、実践力を身につけている。	試験・レポート・GPA	子どもや地域との交流を通して社会人としての常識を身につけている。	試験・レポート・GPA	スポーツ活動を通じて、仲間と支え合い、協働して課題解決を図る力を高めることができる。 試験・レポート
スポーツとは何かを 理解しよう スポーツに関する基礎的知識を学ぶ	春学期 1年生 秋学期	子どもの発達段階の理解や実践能力を 高めながら、スポーツ現場実習等を通 して、その指導概要を理解することが できる。	集習評価	スポーツ・健康科学に関する基礎的理 論やこれに基づく実践能力を高める方 法を身につけている。	試験・レポート・GPA	社会人に求められる基本的な常識を身につけている。	試験・レポート・GPA	子どもや人々に対する深い愛情をもち、 スポーツ活動を生かして社会貢献する 意欲をもつことができる。 試験・レポート・GPA
Ⅲ 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		実践を通して	がが	対応できる%多様なスポー	真質を高めるーツ活動に	豊かな教養を言	© \$00	人間性を高める

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語 I 基礎専門体育 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 英語 II フランス語 I フランス語 II 基礎専門体育 II	教養科目 教養科目 英語Ⅲ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語IV
科目数	5	情報活用演習(教職) 9	5	3
学科			3	3
必修科目	儿里于似岫	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ	
科目数	1	2	1	
コース共に	生涯スポーツ論 子どもの発育発達論と運動論 スポーツ基礎論	スポーツ文化論(体育原理) スポーツコーチング論 スポーツ生理学 スポーツ現場実習 1 スポーツトレーニング	運動処方論(測定・評価) スポーツ栄養学 スポーツ実技 I - 1 (ダンス)	スポーツ心理学 スポーツ医学
通科目	※スポーツ実技Ⅱ-1(陸上運動) ※スポーツ実技Ⅳ-1(水泳) ※スポーツ実技V-1(球技)	※スポーツ実技Ⅲ-I(器械運動)	※レクリエーション実習 I (夏季野外実習)	※レクリエーション実習Ⅱ(冬季野外実習)
科目数	5	5	3	2
小免科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・書道 教職入門	初等教科研究・音楽理論II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・国語 初等教科研究・理科 初等教科研究・数学 教育原理	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・専門体育 I 初等教科研究・社会 国語科教育法 I 算数科教育法 I 理科教育法 発達心理学 I 教育課程論 I	初等教科研究・図画工作II 初等教科研究・専門体育II 初等教科研究・専門体室 国語科教育法II 算数科教育法II 集会科教育法 音楽科教育法 音楽科教育法 首徳教育の指導法 生徒指導(進路指導を含む) 小学校外国語
科目数	4	6	10	12
実習			附属小学校観察実習(春・秋どちらか) 介護体験実習(春・秋どちらか)	附属小学校観察実習(春・秋どちらか) 介護体験実習(春・秋どちらか)
科目数計	15	22	19	17

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学				
共通				
科目				
科目数				
学科	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
必修				
科目				
科目数	1	1	1	1
共通科目	スポーツバイオメカニクス		健康管理論	体育科教育学
型				
目				
科目数	1		1	1
	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	初等教科研究・音楽実技Ⅱ
	初等教科研究・生活	家庭科教育法		教職実践演習(幼・小)
小	体育科教育法	生活科教育法		
免	図画工作科教育法	外国語活動教育法		
科	小学校外国語の指導法			
目	特別活動の指導法			
	教育相談			
	総合的な学習の時間の指導法			
	特別支援教育総論			
科目数	9	4	1	2
実				小学校教育実習
習				小子区级月天白
科目数計	11	5	3	4

※の付されたスポーツ実技科目で、健康運動実践指導員資格には、陸上運動、水泳、エアロビクスが必修となる。 ※の付されたスポーツ実技科目から、4科目以上は選択必修となる。

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1	左		Eは1週間割りの授業科目数 年
		年	<u> </u>	秋学期
	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	教養科目	SEITOKU Academic Literacy III
全学	日本国憲法	教養科目	教養科目	小笠原流礼法基礎講座
子 共	英語 I 基礎専門体育 I	英語Ⅱ フランス語 I	英語Ⅲ フランス語Ⅲ	教養科目 教養科目
通	情報活用演習(基礎)	フランス語Ⅱ	フランス語IV	英語IV
科		基礎専門体育Ⅱ		
目 科目数	Г	情報活用演習(教職)	5	E
学科	5 児童学概論		0	5
必修) 1 <u>2</u> 1 1901m	キャリアデザイン I	キャリアデザインⅡ	
科目				
科目数	<u>1</u> 生涯スポーツ論	<u>2</u> スポーツ文化論(体育原理)	1 運動処方論(測定・評価)	スポーツ心理学
コー	子どもの発育発達論と運動論		運動処力論(例足・計画) スポーツ栄養学	スポーツ医学
コス	スポーツ基礎論	スポーツ生理学	スポーツ実技 I - 1 (ダンス)	
共		スポーツトレーニング		
通	 ※スポーツ実技Ⅱ − 1 (陸上運動)	スポーツ現場実習 1 ※スポーツ実技Ⅲ – I (器械運動)	※スポーツ実技VI - 1 (エアロビ・エクササイズ)	※1.カリテーション宝羽 II (友委厩が宝羽)
科	※スポーク美技II - I (陸工運動) ※スポーツ実技IV - I (水泳)	かいい ノ大汉田 1 (命怀)理別/	※スホーツ美技VI-I(エアロビ・エクササイズ)※レクリエーション実習I(夏季野外実習)	M・ノノー マコマ大日 II (令字野介夫首)
目	※スポーツ実技V-1(球技)			
科目数	3	4 +11 th the thirty to the total to	4 711/3/24/2017 11/10 12 12 12 14 1	3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
幼	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I	初等教科研究・音楽理論Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅰ	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I	初等教科研究・図画工作Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅰ
稚	教職入門	保育原理I	初等教科研究・専門体育Ⅲ	
遠	保育内容総論	児童文化演習 I ~ 2	保育内容指導法I	保育内容指導法Ⅱ
· /□	児童文化演習 I ~ 1	初等教科研究・国語	保育内容指導法V	保育内容指導法VI
保育	子ども家庭福祉 社会福祉学 I	初等教科研究・数学 教育原理	発達心理学 I 教育社会学	教育方法学 子ども家庭支援の心理学
士	任云僧位子 I 保育の心理学	・ 教育原塩 子どもの保健	教育課程論 I	子ども家庭支援論
科	幼児理解・保育相談	1 5 0 12 1/4/10	社会的養護 I	子どもの健康と安全
目			乳児保育I	障害児保育
科目数	9	0	保育課程論	10
T1 D 3A				
	3	8	11	10
実習			附属幼稚園実習	20
実	18	21	11 附属幼稚園実習 21	18
実習	18	21	21	18
実 習 科目数計	18		21	20
実習科制数計	18		21	18
実習料理数計	18		21	18
実習 ^{科目数計} 全学通 科目	18		21	18
実習 料目	18		21	18
実習 料 学 通 目 数 科 学 必 管 通 目 数 科 修	18 3 春学期	年 秋学期	21 春学期	18 年 秋学期
実習 報酬 全共科科学必科科学的目	18 3 春学期	年 秋学期	21 春学期	年 秋学期
実習 数	18 3 春学期	年 秋学期	21 春学期	年 秋学期
実習 数	18 	年 秋学期	21 春学期 卒業研究ゼミ	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ
実習 数	18 	年 秋学期	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ
実習 ^{数計} 全共科科学必科科 共通科目 学通目数科修目数 コース	18 	年 秋学期	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ
実習 数	18 	21 年 秋学期 3年次ゼミ	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 運動行事研究
実習 数 学通目 数 学通目 数 1 コース 数 1 数 1 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4	18 春学期 3 年次ゼミ 1 スポーツバイオメカニクス 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅲ	21 年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ
実習 数 学通目 数 科 で 当 科 で 当 科 で 当 科 で 当 科 で 当 科 で ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま	18 	21 年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法Ⅷ	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ 立 重動行事研究
実習 数 学通目 数 学通目 数 1 コース 数 1 数 1 数 3 コース 数 1 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4 数 4	18 - 本学期 3 年次ゼミ - 3 年次ゼミ - 1 - スポーツバイオメカニクス - 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法III 保育内容指導法IX	21 年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法Ⅷ 保育内容指導法X	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ 立 重動行事研究
実習 繁 全共科科学 公科科 共通科目 科 が 稚園・保 学 通 目 数料 修 目 数 コース 数	18 	21 年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X II	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ 立 重動行事研究
実習 繁 全共科科学 の科科 共通科目 科 が イ 報 で 保育士 学 通 目 数 オ 修 目 数 コース 数	18 	21 年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法XⅢ 保育内容指導法XⅡ 乳児保育Ⅱ 社会的養護Ⅲ	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ 直動行事研究
実習 繁 全共科科学 必科科 共通科目 科 学通目 数科修目数 コース 数	18 	21 年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 II 乳児保育 II 社会的養護 II 子どもの理解と援助	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ 立 重動行事研究
実習 繁 全共科科学必科科 共通科目 科 学通し 数科修 目 数 コース 数	18 	21 年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 運動行事研究 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実習 数 学通目数科修目数 コース 数 学通目数科修目数 コース 数 数	18 	21 年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法X II 乳児保育 II 社会的養護 II 子どもの理解と援助 子育て支援 9	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究 2 初等教科研究・音楽実技 II	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ 立 重動行事研究
実習 数 学通目数科修目数 コース 数 学通目数科修目数 コース 数	18 	21 年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X 果育内容指導法 X	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究 2 初等教科研究・音楽実技 II 外部幼稚園実習	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 運動行事研究 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)
実習 数 全共科科学 公科科 共通科目 科 切稚園・保育士科目 1 世 2 世 3 世 3 世 4 世 4 世 4 世 4 世 4 世 4 世 4 世 4	18 	21 年 秋学期 3年次ゼミ 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法X 保育内容指導法X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 II 乳児保育 II 社会的養護 II 子どもの理解と援助 子育て支援 9 保育所実習	21 春学期 卒業研究ゼミ 1 遊具での運動遊びと安全 運動遊び研究 2 初等教科研究・音楽実技 II 外部幼稚園実習 保育所実習 4	18 年 秋学期 卒業研究ゼミ 1 運動行事研究 1 初等教科研究・音楽実技Ⅱ 教職実践演習(幼・小)

※の付されたスポーツ実技科目で、健康運動実践指導員資格には、陸上運動、水泳、エアロビクスが必修となる。 ※の付されたスポーツ実技科目から、4科目以上は選択必修となる。

別表Ⅱ-16

チェ		授業	11/	特			Ā	覆修	年次	Ž.			
ツ	授業科目	の	単 位	支一		1	2	2		}	4	1	備考
ク 欄		方法	7 <u>1/.</u>	免	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	特別支援教育の基礎理論に関する科目	100		70		Б.							
	障害者教育史		2	0				\bigcirc					
	障害者教育論		2	0			0						
	特別支援教育領域に関する科目	<u> </u>											
	・心身に障害のある幼児、児童又は生	徒の心	理、生	三理及で	が病:	理に	関す	-る和	計目				
	知的障害者の心理		2	0			\bigcirc						
	知的障害者の生理・病理		2	\circ				\circ					
	肢体不自由者の心理		2	0					0				
	肢体不自由者の生理・病理		2	0					0				
	病弱者の心理		2	0					\bigcirc				
	病弱者の生理・病理		2	0						0			
	・心身に障害のある幼児、児童又は生	徒の教	育課程	是及び打	旨導	法に	関す	-る和	計目				
	知的障害者教育		2	0			\circ						
	知的障害者の言語指導		2	\circ				\circ					
	肢体不自由者教育		2	0					\bigcirc				
	病弱教育		2	\circ						\bigcirc			
	免許状に定められることとなる特別支	接教育	領域」	以外の	領域	に関	する	る科	目				
	・心身に障害のある幼児、児童又は生												
	・心身に障害のある幼児、児童又は生	.徒の教	育課程	是及び打	旨導	法に	関す	-るŧ	計目				
	視覚障害者の指導		2	0			0						【特別支援学校教育実
	聴覚障害者の指導		2	0						\circ			習について
	LD等障害者の指導		2	0				\circ					実習時期は4年秋学期
	重複障害者の指導		2	\circ						\bigcirc			となります。実習事 前・事後指導は3年春
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒		いての	教育実·	習								学期~4年秋学期まで
	特別支援学校教育実習	実	3	0					\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	の期間で実施します。
	計		35										

[注]

- 1. 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、 特支一免欄に○印を付された科目を修得しなければならない。
- 2. 授業の方法欄に演印を付された科目は演習科目、実印を付された科目は実習科目、無印は講義科目。
- 3. 履修年次欄に○印を付された通り履修すること。
- 4. 特別支援学校教諭一種免許状の課程履修は、原則として児童学科の学生のみを対象とする。
- 5. 原則として幼稚園教諭一種免許状又は、小学校教諭一種免許状を取得する者を対象とする。

[ピアヘルパー受験資格関係科目] **別表Ⅱ-17**

													/引张 = 17
チェ		授		ピア			J	覆修	年沙	7			
ツク	授業科目	業の	単 位	ヘル		1	4	2		3	4	4	備考
欄		方法		パー	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	児童心理学		2	☆				0					
	青年心理学		2	☆	0								
	教育心理学		2	☆			\circ						
	人間関係論		2	☆					0				カウンセリング心理学、心理
	臨床心理学		2	☆			\circ						療法面接実習Ⅱは必修。そ
	児童精神医学		2	☆					0				の他☆印より2科目選択必
	特別支援教育総論		2	☆					0				修。
	カウンセリング心理学		2	0				0					
	心理療法面接実習 I	演	1	☆					\circ				
	心理療法面接実習Ⅱ	演	1	\circ						\circ			



心理·福祉学部 心理学科

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

心理・福祉学部心理学科は、心理学を基礎から幅広く学び、社会における様々な心の問題に向き合い解決に取り組む力をもつ人材を多く輩出してきました。

現代社会において心理学の知識やスキルが求められるフィールドは拡大し続けており、 目の前の課題に対して他者と協働しながら自分自身で考え行動する実践力が本学科の学生 に求められています。さらに、国や文化の垣根を超えた支援の力も今後求められます。

そのような社会的要請に応える人材育成のため、心理・福祉学部心理学科では豊かな感性と相互扶助の心を備えた上で、心の働きに関する科学的根拠に基づいた学問知を有するとともに、現実社会の様々な場面において課題を発見・解決するフィールド知を備え、グローバルに活躍できる女性を育成します。このような人材育成のため、本学科では、心理支援専修、産業・社会心理専修、危機管理専修、教育・発達心理専修、家族支援専修の五つの専修を設けます。また、心理支援専修を中心にいくつかの専修を組み合わせることによって、公認心理師資格取得のために大学で必要な科目も履修することができます。本学科は、心の健康や福祉の増進等の社会からの要請に応えることを理念とし、以下の六つの教育目標を設けます。

【教育目標】

- 1. 心の働きと多様性を学び、人間を複眼的に見ることによって、広い視野を育成する。
- 2. 心理演習および実習科目を通して、心のケアを必要とする人を支援するための基本的な技能を育成する。
- 3. 他者と協働するために豊かな感性をもって自分と相手双方に配慮できる対人コミュニケーション能力を育成する。
- 4. 物事の真意を検証する実証的態度を育成する。
- 5. 科学的な情報を適切に扱い、自己の考えを明確に説明する情報リテラシーを育成する。
- 6. 日常生活の中から未解決の課題を発見し、解決策を提案し実行する力を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下のような学修成果を設定します。

【学修成果】

- 1. 心理学の基礎領域を幅広く学び、人の心の仕組みを科学的に捉えることができる。
- 2. 実践現場で応用される心理学を学び実際に体験することで、多様な価値観に基づく心の働きや課題に関する知識を獲得し、複眼的に人の心の働きを捉え、心のケアを必要とする人の支援ができる。
- 3. 他者と協働し課題解決に取り組む中で、コミュニケーション・スキルを活用しチームで働くことができる。
- 4. 文化的・芸術的な作品を体験するプログラム、語学教育や海外研修といったプログラムを通して、豊かな感性を持ち自国以外の文化や価値観を受け入れ理解しながら活躍

する素養を身につけることができる。

- 5.曖昧な心の働きを明確な概念として定義し、他者にも理解できる指標で測定できる。
- 6. 心理学研究法の知識及びスキルによって、心の働きを科学的に検証することができる。
- 7. 研究倫理を遵守し適切な手法で心理データを測定・管理し、自分の考えを適切なソフトウェアや機器を活用しながら他者にプレゼンテーションすることができる。
- 8. 大学内で学んだことを活かし、フィールドワークにおいて自治体や企業における心理 的課題を見出すことができる。
- 9. 発見した課題に対して、自身の学びや他者との連携に基づいて解決策を提案し実行することができる。

上記の学修成果に基づく教育課程において所定の単位を修得した人に学士(心理学)の 学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

心理・福祉学部心理学科では、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目(全学共通科目)と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い 実践力を育む専門教育科目の教育課程を、以下の方針に基づいて編成しています。

本学科では、学科の教育目標を達成するために五つの専修を設け、専門性の高い実践力を育成する教育課程を編成しています。その編成は次の基本方針に基づいています。

1. 人間の心の仕組みについて理解を深める科目群を設定し、実践を通して、多様で複眼的な視点から身近な現象を科学的に説明できる学術的な基礎力を育成します。

心理支援専修では、心理支援に必要な専門的知識や技能を実践的に学び、心の問題を 抱える人に対して心理的援助のできる基礎的技能を育みます。

産業・社会心理専修では、企業の広告や商品開発に必要な消費者心理などを学び、マーケティング・リサーチ技術の力を育みます。

危機管理専修では、事故や災害、ストレスなど、傷ついた心の回復を助ける応急処置 や、ストレス・マネジメントに関する専門性を育みます。

教育・発達心理専修では、学校や福祉施設など、子どものそばで心の支援ができる力を育成します。

家族支援専修では、子どもから高齢者まで様々な世代を支える家族支援のできる専門性を育みます。

- 2. 心理支援専修に加えて、いくつかの専修を組み合わせて学び、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働などの分野の施設において実習を行い、チームアプローチ、 多職種連携および地域連携、職業倫理について理解し、心の問題を抱える人たちを支援することのできる実践力を育成します。
- 3. コミュニケーション・スキルおよびチームワーク力を高める科目群を設定し、「心理学 基礎講座」を中核として自分の考えを伝え、他者の話に耳を傾け、互いを大切にしつ つグローバルな社会で豊かな感性を持って共に生きる力を育みます。

- 4. 物事の真意を検証するスキルを磨く科目群を設定し、「心理学実験実習 I・Ⅱ」を中核として、曖昧な「心の働き」を科学的に捉える力を育成します。
- 5. 科学的研究を行うための基礎力を高める科目群を設定し、「心理学演習」を中核として 心理学研究に取り組むために必要な情報検索力、情報整理力、論理的思考力などの情報リテラシーを育成します。
- 6. 社会の中で課題を発見し解決する科目群を設定し、「フィールド学習」を中核として、 心理学の理論を活かし他者と連携しながら環境を動かす実践力を育成します。

【教育課程実施の方針】

心理・福祉学部心理学科では、学修成果を効果的に達成するために、授業計画に以下の 教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

- 1. 一年次は心理学の基礎を学び、二年次以降は学生の興味関心に対応した学びの専門性を深めるため、特色のある五つの専修から複数の専修を組み合わせて学んでいきます。
- 2. 授業方法として大学内での専門的な講義や実習、演習とともに、社会現場におけるフィールドワーク学習と心理演習および実習を導入し、実践的な心理学の学びを促進しています。
- 3. 社会で心理学スキルを活用するために、さまざまな課題発見や解決を実践に移す方法を、専門性を深めながら繰り返し段階的に学んでゆきます。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

心理・福祉学部心理学科は、フィールドにおける実地体験を通して実践的な心理学を学ぶことができる、という他大学には見られない特質を活かして、ディプロマ・ポリシーでも挙げた「豊かな感性と人間の心の仕組みに関する学問知を有し、課題を発見・解決するフィールド知とコミュニケーション能力を備えた人材」を育成するために、以下の資質を持った入学者を求めています。

- 1. 心理学を幅広く学ぶための基礎的学力を有している人。
- 2. 心のメカニズムを解明するための論理的思考能力と情報処理技能をもっている人。
- 3. 実習や理論学習などの授業に主体的、協働的に取り組むことができる人。
- 4. 大学院進学も視野にいれ、臨床心理士や公認心理師資格取得を目指し、心理支援の専門家になって社会に貢献したい人。

心理・福祉学部心理学科ではこのような人を受け入れるために、多くの受験機会を設け、 多種類の入学試験を行っています。こうした試験を通して、本学科では、学びに必要な基 礎的な文章読解力や表現力、情報を収集したり活用したりする技能、独自性のある自己表 現と周囲との協働力などについて、書類審査 (調査書、推薦書など)、学力試験、小論文、 作文、面接などによって多面的・総合的に評価します。



心理・福祉学部 社会福祉学科

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

心理・福祉学部社会福祉学科では、現代社会の福祉・教育問題の解決に必要な専門的知識と高度な技術を取得し、福祉・教育分野で活躍する人材の養成を目的として社会福祉コース、介護福祉コース、養護教諭コースの三コースを設け、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、養護教諭、保育士などとして活躍する人材を社会に輩出してきました。

現在我が国は少子高齢化、グローバル化(地球規模化)が進行する中で福祉・教育ニーズが複雑化・多様化しています。このような複雑化・多様化する福祉・教育ニーズに対応するためには個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本として、社会と個人の生活のかかわりについて深く洞察し、福祉社会づくりに寄与できる幅広い知識・能力、感性を持った専門職の養成が求められています。心理・福祉学部社会福祉学科では、このような社会の要請に応えるため、個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本として、女性の立場から生活の視点を持ち、それを福祉・教育分野で活躍する専門職の養成を目指し、福祉社会づくりに貢献します。

以上の教育理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げます。

【教育目標】

- 1. 個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活の視点を持ち、人々の生活を支援することができる人間力を備えた人材を育成する。
- 2. 社会福祉学の専門的知識・技術・態度を身につけ、それに基づいた判断力と課題解決力をもった人材を育成する。
- 3. 人々の個別の福祉・教育ニーズに応じたサービスを提供することができる実践力を備 えた人材を育成する。
- 4. 保健・医療など他業種と連携を図りながら、福祉社会づくりに貢献できる人材を育成する。

上記の学科共通の教育目標をもとに、各コースに次のような具体的目標を設定します

- (1) 社会福祉コースでは、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活 の視点を持ち、生活の総合相談ができる能力をもったソーシャルワーカーを育成す る。
- (2) 介護福祉コースでは、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活 の視点を持ち、高齢者・障害者など介護を必要とする人びとの介護福祉の実践がで きる介護福祉士を育成する。
- (3)養護教諭コースでは、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活の視点を持ち、子どもの心身の発達・成長の支援と生涯にわたる健康づくりに貢献できる養護教諭を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下のような学修成果を設定します。

【学修成果】

- 1. 確かな人間性を有し福祉・教育の実践者としての資質を兼ね備えている。
- 2. 社会福祉学の専門的な理論・知識・態度を習得し、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら福祉・教育課題を探求し課題解決策を提示することができる。
- 3. 福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点を持ち、個々人の福祉・教育ニーズに応じたサービス提供を実践することができる。
- 4. 他業種間の連携を図り、地域社会づくりや福祉社会づくりなど社会貢献ができる。 以上のような学修成果に基づいて編成された教育課程を履修し、修了した人に学士(社会福祉学)の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

心理・福祉学部社会福祉学科は、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目(全学共通科目)と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

- 1. 社会福祉分野の基礎となる個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本とした専門基礎科目 群を設定し、福祉・教育の実践に必要な基礎的能力を養成します。
- 2. 社会福祉分野の専門的知識・技術・態度を高めるための科目群を設定し、現代的課題に対応した判断力や課題解決力を育成します。そこで学習した内容をもとに演習科目や実習科目を配置し、福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点を持ち、課題解決に向けた実践力を育成します。
- 3. 福祉・教育の課題解決のための科目群を設定し、専門職業人として自立し、卒業後の 各種福祉現場、学校、地域社会で他職種との連携の下、幅広く活躍できる専門性の高 い資質・能力を育成します。

【教育課程実施の方針】

心理・福祉学部社会福祉学科では、学生自ら課題を発見し解決するという主体的、創造的な方法で教育課程を実施します。また、福祉的な問題を科学的に理解するための文献やデータを収集分析し、少人数で討論するなどの演習形式の授業やフィールドワークやインタビューを行うなど、問題発見・解決型学習(Problem-Based Learning)を取り入れながら実施します。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

現代社会の福祉ニーズに対応するための人材育成が急務となっています。心理・福祉学部社会福祉学科では、それに応えるため個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本として「一人ひとり」を支え、守り、育てる福祉・教育の専門職の養成を目指しています。

こうした目的を理解し、目的を達成できる資質を持った人を心理・福祉学部社会福祉学 科では求めています。具体的には、次のような入学者を求めています。

- 1. 主体的に福祉・教育を学習する意欲があり、授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。
- 2. 社会福祉の基礎的・基本的な知識・技能を習得しようと考えている人。
- 3. 現代社会の課題に関心を持ち社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、養護教諭、 保育士など福祉・教育の専門家として社会に貢献する夢を持っている人。

心理・福祉学部社会福祉学科では、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での修学に必要な基礎学力、知識、技術、コミュニケーション力、他者と協働する能力などについて、書類審査、学力試験、小論文、作文、面接などを組み合わせて多面的・総合的に評価します。

_	98	_

心理·福祉学部 全学共通科目 履修要項

① 心理・福祉学部各学科の卒業所要単位数は、下表のとおりです。

学科名	全学共通科目	専門教育科目	計
	(A類)	(B類)	
心理学科	30 単位	94 単位	124 単位
社会福祉学科	30 単位	96 単位	126 単位

② 心理・福祉学部の全学共通科目 (A類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

	全学	共 通 科 目	(A類)	
聖徳教育	教養科目と 外国語	健康教育	情報活用	#
7	20	2	1	30

- ③ 心理・福祉学部の学生は、全学共通科目 (A類) については、別表III-1、2、3、4、5、6、7 のとおり履修してください (同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④ 聖徳教育科目(別表Ⅲ-1)はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目(別表Ⅲ-2)は外国語科目と併せて20単位以上を修得すること(外国語は8単位以上)。 1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類~D類まで一つの群に集中することな くバランスよく履修してください。
 - D類の「日本国憲法」は、教員免許状・保育士資格を取得しようとする者は必修です。
- ⑥ 外国語科目(別表Ⅲ-3)は、英語 I、英語 II、英語II、英語IV、英語 V、英語 V、英語 VI、英語 VI、英語 VI 、 文語 VI 、
- ⑦ 健康教育科目(別表Ⅲ-4、Ⅲ-5)及び情報活用科目(別表Ⅲ-6)は備考に記載のとおり履修してください。
- ⑧ 単位を修得した場合(成績表に S・A・B・C・Nと表記される)には、各別表の履修チェック欄に 印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目(心理学科)

別表皿-1

チェ		授業	単	卒			履	修	年	次			
ッ	授 業 科 目	の		業必		1	2	2		3		1	備考
ク欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	小笠原流礼法基礎講座		2	0									● 春学期または秋学期に開講
	聖徳教育I	演	1	0	0	0	0	\circ	\circ	\circ	\circ	0	△ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を
	聖徳教育Ⅱ	演	1	0	0			\circ	\circ				参照すること。
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	0	0								
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)	演	1	0	0	\circ							(通年履修)
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	0									
	計		7										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

聖徳教育科目(社会福祉学科)

別表Ⅲ-1

チェ		授業	単	卒			履	修	年	次			
ッ	授 業 科 目	0)	'	業必		1	4	2	ć	3	4	Į.	備考
ク欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	小笠原流礼法基礎講座		2	0			•	•					● 春学期または秋学期に開講
	聖徳教育 I	演	1	0	0	0	0	0	0	0	\circ	\circ	△ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を
	聖徳教育Ⅱ	演	1	0	0			0	0				参照すること。
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	0	0								
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)	演	1	0		0							
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	0									
	計		7										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

教養科目

類

D

類

日本国憲法

チ

工

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

自然・社会・科学技術を考える(環境領域)

心とからだの美的本質を追求する(心の領域) □ 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)

心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)

心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)

業 ッ 授業科目 0 2 3 4 備考 必 方 位 ク 修 春 秋 春秋春秋 春秋 法 □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域) 2 △ 教養科目と別表Ⅲ-3の外国語科目を 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域) 2 併せて20単位以上修得すること 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域) 0 \bigcirc 2 (外国語は8単位以上)。 類 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅰ) 2 С 2 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ) 演 △ 教養科目は表中のA類、B類、及びC類から 2 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) 0 \bigcirc \bigcirc 1科目以上選択し、12単位以上を 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) 2 0 修得すること。 粨 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) 2 0 0 0

履修年次

授

業 単 厺

2 2

2

2

2

2

計 28 【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。又●印の付された授業科目は時間割編成上、春学期又は秋学期いずれかに配当 されるので時間割を確認すること。

 \bigcirc \bigcirc

0

0

別表皿-2

△ 同じ科目(領域)を重複履修することは

△ 日本国憲法は、教育職員免許状及び 社会福祉学科で保育士資格を取得する

者は必ず修得すること。

できません。

外国語科目配当表 別表Ⅲ一3

チェ		授業	単	卒		J	覆 1	修	年	次			
ッ	授 業 科 目	0		業必		1	2		3		4	ŀ	備考
ク欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	英語 I	演	1	0	\bigcirc								△ 外国語科目については、英語 I、英語 II、英語II、英語II、英
	英語Ⅱ	演	1	\circ		\bigcirc							語IV、英語V、英語VI、英語VII、英語VII(8単位)を必
	英語Ⅲ	演	1	\circ			\bigcirc						修とする。
	英語IV	演	1	\circ				0					
	英語V	演	1	0					\bigcirc				
	英語VI	演	1	\circ						\bigcirc			
	英語Ⅵ	演	1	\circ							\bigcirc		
	英語Ⅷ	演	1	0								0	△ 教養科目と外国語科目を併せて20単位以上必修。
	計		8										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

健康教育科目(心理学科) 別表Ⅲ-4

<u> </u>													が 発血 キ
チェ		授業	単	卒		J	蕧	修	年	次			
ッ	授 業 科 目	の		業必		1	2	2	3	3	4	1	備考
ク欄		方法	位		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	スポーツと健康 I	*	1	0	\bigcirc								△ スポーツと健康 I・IIを履修すること。
	スポーツと健康 Ⅱ	*	1	0		\bigcirc							
	スポーツと健康Ⅲ		2										
	スポーツと健康IV~1	*	1										
	スポーツと健康IV~2	*	1										
	計		6										

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

健康教育科目(社会福祉学科) 別表Ⅲ-5

VE /A	《秋月竹日(江云佃江于 /	<u> 1517 </u>											別投出 5
チェ		授業	単	卒)	蕧	修	年	次	(
ッ	授 業 科 目	か +		業必		1	2	2	3		4	1	備考
ク欄		法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	スポーツと健康 I	*	1		\circ								△ 1)社会福祉学科で保育士資格を取得しようとする者
	スポーツと健康 Ⅱ	*	1			\bigcirc							は、基礎専門体育 I・Ⅱを履修すること。
	スポーツと健康Ⅲ		2										2)上記以外の学生は、スポーツと健康 I・IIを履修す
	スポーツと健康IV~1	*	1										ること。
	スポーツと健康IV~2	*	1										
	基礎専門体育 I	*	1		\circ								
	基礎専門体育Ⅱ	*	1			\circ							
	≅ +		8										

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

情報活用科目 別表皿-6

チェ		授業	業の単業が			J	覆	修	年	次	ζ.		
ツカ	授 業 科 目	0				1		2		3		ŀ	備考
欄		法	位	修	春	春秋		秋	春	秋	春	秋	
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	\circ								△ 1) 情報活用演習(基礎)必修。
	情報活用演習(教職)	演	1										2) 教育職員免許状を取得しようとする者は情報活用
			2										演習(基礎)・(教職の)両科目とも修得すること。

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

【受講区分】注

<u> </u>	<u> </u>												73132.11
チェ		授業	単	卒		J	覆	修	年	次			
ッ	授 業 科 目	の		業必	1	Ĺ	2	2	3		4		備考
ク欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	阦:	春	秋	
	日本語 I	演	1		\bigcirc								△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に
	日本語Ⅱ	演	1			\circ							替えることができる。
	日本語Ⅲ	演	1				\bigcirc						
	日本語IV	演	1					\bigcirc					
	日本語V	演	1						\circ				
	日本語VI	演	1						(\circ			
	日本の社会と歴史 I		2						0	I			
	日本の社会と歴史Ⅱ		2						(\supset			
			10										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

心理学科 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 30 単位以上、専門教育科目 94 単位以上、計 124 単位以上です。
- ② 専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数は、下表のとおりとします。

専門参	女育科目(B i	類)
必修科目	選択科目	計
64	30	94

- ③ 専門教育科目 (B類) については、別表Ⅲ-8のとおり卒業必修に○の付された科目 64 単位と、選 択科目(学部共通科目、基礎科目、専門科目、専修科目)を30単位以上履修して下さい。
- ④ 公認心理師受験資格取得に必要となる科目の履修を希望する人は、別表Ⅲ-8 の「公認心理師」欄に○のついた科目すべてを履修して下さい。履修の仕方は、毎年度最初のオリエンテーションで説明します。
- ⑤ 認定心理士の資格取得を希望する人(認定心理士資格取得に必要な単位は、必修科目を履修することで満たされます)は、申請の仕方を2年次および3年次のオリエンテーションで説明します。
- ⑥ 准学校心理士を取得しようとする者は、別表Ⅲ-8 の「准学校心理士」欄に○のついた科目すべて を履修して下さい。履修の仕方は、毎年度最初のオリエンテーションで説明します。
- ⑦ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表WI-1、2、3、4、5により、履修してください(卒業要件に算入することはできません)。
- ⑧ 単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot N$ と表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

心理学科 専門教育科目 別表Ⅲ-8

ı(ز)؛	里字科	專門教育科目														別表Ⅲ一8
区	チ		授	単	卒	公	准				層修	年次				
	工		業		業	認	学					1				
	ツ	授業科目	0)		未	心	校、		1		2		3	4	4	備考
	ク		方		必	理	心理	+-	τl.	+:	T1.	+-:	ert.	+:	æ١.	
分	欄		法	位	修	師	士	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
学		法学	124	2	192	Hills			0							
部		社会学		2				0								
共通		倫理学		2					0							
科		環境論		2					0							
目	_	小計		8												
		心理学概論 心理学基礎講座 I		2	0	0		0								
		心理学基礎講座Ⅱ		2	0			0								
		心理統計法		2	0	0				0						
		心理統計法演習	演	2	Ö						0					
		データ解析	125	2	Ŏ							0				
		データ解析演習	演	2	0								0			
		心理学英語講読		2								0				
-+		心理学英語演習	演	2									0			
基		心理学研究法		2	0	0				0						
礎		心理学調査法		2	0						0					
HAC		心理学実験I	実	1	0	0				0						オムニバス
科		心理学実験Ⅱ	実	1	0	0			-		0					オムニバス
		心理的アセスメントI	#	2	0	0	0					0				
目		心理的アセスメントⅡ キャリア戦略 I	実演	2	0				0			0				
		キャリア戦略Ⅱ		1	0											
		キャリア戦略演習	演演	1	0					0	0					
		フィールド学習(目標の設定)	演	2	0			0								
		フィールド学習(解決策の提案)	演	2	Ŏ				0							
		フィールド学習 (解決策の実行)	演	2	0					0						
		フィールド学習 (解決策の評価)	演	2	0						0					
		心理実習 I	実	1	0	0						0				◎集中
		小計		42	38	15	4									
		障害者・障害児心理学		2		0	0						0			
		学習・言語心理学		2	0	0			0							
		知覚・認知心理学		2	0	0				0						
		応用認知心理学 神経·生理心理学		2		0			0		0					
		心理学ゼミ	演	2	0							0				
		心理学特別ゼミ	演	2	Ŏ								0			
専		卒業論文	125	4	Ŏ									0	0	
		心理学論文講読		2	0									0		
門		心理学論文講読演習	演	2	0										0	
科		臨床心理学概論		2	0	0				0						
-11		社会·集団·家族心理学 I		2	0	0		0								
目		社会·集団·家族心理学Ⅱ		2	0	0		0								
		感情•人格心理学		2	0	0		0								
		発達心理学Ⅰ		2	0	0	0		0							
		精神疾患とその治療 健康・医療心理学		2		0		0					0			
		心理学史		2										0		
		人体の構造と機能及び疾病	1	2	1	0	1		0							
		公認心理師の職責		2		0			0							
心		カウンセリング特講		2		Ĺ			Ť			0				
専理		心理学的支援法	L	2	L	0	0		L		0					
修支		心理演習	演	2		0						0				
援		心理実習Ⅱ	演	1		0								0		◎集中
教		教育·学校心理学		2		0	0						0			
専育		福祉心理学		2		0	0				0					
修発 達		教育心理学		2		0					0					
$\overline{}$		発達心理学Ⅱ 危機管理論	-	2	-		0	-	-	-	-	0				
危 専機		ル機官理論 ストレス心理学		2		-				0						
修管		司法・犯罪心理学		2		0				0						
理		関係行政論		2		0						0				
家		家族臨床心理学		2								Ö				
専族		老年心理学		2								Ť	0			
修支		ジェンダー論		2				0								
援		家族心理学特講		2							0					
産		産業・組織心理学		2		0							0			
専業		人間関係論		2							0					
修組		社会心理学特講		2						0						
織		メンタルヘルス論		2	0.0	40	10			0						
卦下		小計	1	81	26	43	12		1							
計				131	64	58	16		1							

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。 【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

聖徳大学 心理・福祉学部 心理学科 カリキュラムマップ 心理学スキルをグローバルなフィールドで活用できる女性を目指して

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期	
	で理学への一つ。	心理学への一歩を踏み出そう ~心理学とは向かを学ぼう~	学問としての心理学を知ろう ~専修制で心理学を多面的に学ぼう~	理学を知るう 多面的に学ぼう~	心理学の専門性を高めよう ~生活の中の心理学的課題を発見しよう~	±を高めよう 課題を発見しよう~	心理学を生活 一の研究成果をプレ	stに活かそう レゼンしよう~	
心の働きと多様性を学び、 人間を機能的に見ることにより、 広い視野を育成する。	心理学概論 社会・集団・家族心理学 1 社会・集団・家族心理学 1 際情・人格心理学	学習・言語心理学 神経・生理心理学 発達心理学 I	知覚・認知心理学	応用認知心理学 教育心理学(教育発達) 家族心理学特請(家族支援	発達心理学工(教育発達)	教育·学校心理学(教育発盪) 杏年心理学(家族支援)	心理学史	V	
INのケアを必要とする人を支援する 基本的技能を育成する。	精神疾患とその治療	人体の精造と機能及び疾病	臨床心理学概論 メンタルヘルス論(産業組織) ストレス心理学(危機管理)	心理学的支援法心理支援)	心理アセスメント I ・ II ・ II ・ II ・ II ・ II ・ II ・ II	健康・医療心理学カウンセリング特講心理支援)		心里	
自分と相手双力に配慮できる 対人コミュニケーション能力を 育成する。	心理学基礎講座 ・ ジェンダー論(家族支援)	公認心理師の職責(倫理学)	社会心理学特講(産業組織) イラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	福祉心理学(教育発達) 人間関係論(産業組織)	関係行政論(危機管理) 家族臨床心理学(家族支援) 危機管理論(危機管理)	障害者・障害児心理学産業組織産業・組織の理学産業組織		编文	
物事の真意を検証する 実証的態度を育成する。			心理学研究法 1	心理学調查法 心理学実験 I	心理学ゼミ	心理学特別ゼミ		く 臑は	
科学的情報用いて考えを説明する 情報リテラシーを育成する。	情報活用演習(基礎)	情報活用演習(教職)	心理学統計法	心理学統計法演習	データ解析	データ解析演習		照過	
日常生活から未解決課題を発見し、 解決策を提案・実行する力を 育攻する。	フィー) 社会学	フィールド学習 法学 環境論	パート C	イールド学習	心理実習	I R	心理実習 [] (心理支援)		
グローバル社会に活きる 英語力を身につける	英語 I	英語工	英語皿	英語IV アメリカ海外研修 (聖徳教育II)	英語 V 心理学英語講読	英語VI 心理学英語演習	英語呱	英語‴	
人間性を高め、 思考力、分析力、表現力、 チームワーク力を身につける	SEITOKU 聖徳教育II(FC、学外研修 スポーツと健康 I スオ	SEITOKU Academic Literacy 、学外研修) I スポーツと健康II	聖 徳 教 I・I SETOKU Academic Lite	育 I (シリーズ 小笠原流礼法基礎講座 aracy II (Self directing)	I(シリーズコンサート、アセンブリーアワー) 去基礎講座 if directing)	-アワー)			
キャリアをデザインする		キャリア戦略Ⅰ	キャリア戦略エ :	キャリア戦略演習	(教養) インターンシップ				
	<u> </u>	1年次	2年次	(次)	3年次	汝	41	4年次	
教育目標	心理学を学	心理学を学習するための スキルを身につける	心のメカニズムと心理的問題との関係を 理解する専門性を身につける	里的問題との関係を を身につける	心理学の専門知識を 社会現象理解に応用する力をつける	門知識を Bする力をつける	社会や生活に心理学の方法を調めて言います。	社会や生活にある問題を 心理学の方法を使って解明し 論文にまとめる	
	イナルを :	場につける	世階96号に正	を写につける	任芸	兄≫य無に心を	5米 甘暦 こ 同田 9 の 乙 名 し げ る		

心理学スキルをグローバルなフィールドで活用できる女性

聖徳大学心理・福祉学部 心理学科 学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 心理学スキルをグローバルなフィールドで活用できる女性を目指して

	卒業認定・学位授与の方針 に掲げる学修政果	心理学の基礎領域を学び、人の心 の仕組みを科学的に捉えることが できる	多様な心の働きや課題に関する知 調を獲得し、心の働きを復眼的に 抗え支援ができる	他者と協働し課題解決に取り組む 中で、コミュケーション・スキ ルを活用しチームで働くことがで きる。	曖昧な心の働きを明確な概念として記載し、 他者にも理解できる指標で過程できる。	研究倫理を遵守しながら心理データを測定・管理し、自己の考えを プレゼンデーションできる。	フィールドワークにおいて心理的 課題を見出すことができる。	豊かな際性を持ち多様な価値観を 理解しながら活躍する素養を身に リアている	課題に対して、自身の学びや他者 との連携に基づいて解決策を提案 実行できる	自治体や企業における心理的課題 を見出すことができる。	卒業認定・学位授与の方針に掲 げる学修成果
4年次秋学期	舌に活かそう 『レゼンしよう~			自己の関心に関わる心理学研究を遂行し、	世が改集のプレゼンデーションができる。		研究成果評価	スキルを獲得し、 アーションに活用できる GPA			4年次 社会や生活にある問題を心理学の 方法を使って解明し稿文にまとめる
4年次春学期	心理学を生活に活かそう ~研究成果をプレゼンしよう	心理学諸理論の 歴史的背景について 説明できる GPA	現場実践を経験し、 心の専門家としての素 養を高めている 実習評価					高度な英語スキルを獲得し、 実践的なコミュニケーションに活用でき GPA			43 社会や生活にある 方法を使って解明
3年次秋学期	心理学の専門性を高めよう 日常生活の中の心理学的課題 を発見しよう~	.応用できる こついて説明できる GPA	援助場面における実践に必要な、 心のケアスキルを獲得している GPA/実習評価	N7で他者と協力して学び、 1[cBu&できる 報告発表会	身で立案した計画に基づいて 共同研究活動を遂行できる 研究成果評価	こアを活用しながら、 タの解析と説明ができる GPA	イールドにおける 食を見いだすことができる 実習評価	心理学に関する専門的な英語に習熟し、 英語文献の內容を理解説明できる GPA			3年次 心理学の専門知識を 社会現象理解に応用する力をつける
3年次春学期	心理学の専門 ~日常生活の4 を発見	実践に応用できる 心理学諸理論について説明でき GPA	接助場面におけ 心のケアスキル GPA//	非日常場面において他者と協力して学び 相互に配慮できる 報告発表会	自身で立案した 共同研究活動	統計ソフトウェア 実践的な研究データ G	多様なフィールドにおける 様々な心理的課題を見いだすことだ 実習評価	心理学に関する専門 英語文献の内容			3. (小理学の) 社会現象理解に向
2年次秋学期	心理学を知ろう を多面的に学ぼう~	1学諸分野の視点から 説明することができる GPA	心を取り巻く諸問題について 説明することができる GPA	の多様性に関する 身についている GPA	の方法論を理解し、 ハた論理的説明ができる V 報告発表会	スキルを獲得し、 びいた推論や説明ができる GPA	協働しながら、 解決策を探り提案できる 報告発表会	より実践的な英語スキルを獲得し、 語彙力を高めている GPA	日本の文化を知り、 しきたりを理解する事が出来る GPA	自己理解や職業理解を深め、 キャリア形成について認識している GPA	2年次 心のメカニズムと心理的問題との関係を 理解する専門性を身につける
2年次春学期	学問としての心理学を知ろ ~専修制で心理学を多面的に学	複数の心理学語のの働きを説明の働きを説明	心を取り巻く 説明する()	人間関係の3 知識が身に G	心理学研究の7 データに基づいた GPA/≇	統計学スキ 数的根拠に基づいた G	他者と協働 見出した課題の解診	より実践的な英語 語彙力を	日本の文 しきたりを理解 0	自己理解や職 キャリア形成に1 G	2 心のメカニズムとに 理解する専門
1年次秋学期	心理学への一歩を踏み出そう ~心理学とは何かを学ほう~	基礎的な心の働きについて説明できる GPA	心と体の仕組みについて説明でき、 専門家としての心得が身についている GPA	多様な価値観や立場があることを理解 している GPA		スキルを習得し、 術を利用できる GPA	身近な事例から自己の関心に基づく 課題を見いだすことができる GPA/報告発表会	スキルを獲得し、 を理解できる GPA	論理的思考力を備え、 課題の本質を把握しながら 自ら学ぶ姿勢を獲得している GPA	学びを理解し、 :体像を説明することが できる GPA	1 年次 心理学を学習するための スキルを身につける
1年次春学期	心理学への	基礎的な心の働きに	心と体の仕組みに 専門家としての心(G			基礎的なPCスキルを習得し、 情報活用技術を利用できる GPA	身近な事例から自 課題を見いだ? GPA/報	基礎的な英語スキルを獲得し、 文法事項を理解できる GPA	論理的思考 課題の本質を 自ら学ぶ姿勢? G	大学での学びを理解し、 心理学の学びの全体像を説明するこ できる GPA	14 心理学を学習 スキルを
		心の働きと多様性を学び、人間 を複眼的に見ることにより、 広い視野を脅成する。	心理演習・実習科目を通して、 心のケアを必要とする人を支援 するための基本的な技能を育成 する。	他者と協働するため豊かな際性で自分と相手がに配慮できる 対人コミュニケーション能力を 育成する。	物事の真意を検証する 実証的態度を育成する。	科学的情報を適切に扱い、 考えを明確に説明するための 情報リテラシーを育成する。	日常生活の中から 未解決課題を発見し、 解決策を提案・実行する力を 育成する。	グローバル社会に活きる英語力を身につける	人間力を高か、 思考力、分析力、 表現力、チームワーク力を 身につげる	キャリアをデザインする	教育目標

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	5	5	4	4
必 修 科 目	心理学概論 心理学基礎講座 I 心理学基礎講座 II フィールド学習 (目標の設定) 社会・集団・家族心理学 I 社会・集団・家族心理学 I 感情・人格心理学	キャリア戦略 I フィールド学習 (解決策の提案) 学習・言語心理学 発達心理学 I	心理統計法 心理学研究法 心理学実験 I キャリア戦略 II フィールド学習 (解決策の実行) 知覚・認知心理学 臨床心理学概論	心理統計法演習 心理学調査法 心理学実験Ⅱ フィールド学習 (解決策の評価) キャリア戦略演習
科目数	7	4	7	5
選 択 科 目	社会学	法学 倫理学 環境論 神経・生理心理学	ストレス心理学 司法・犯罪心理学 メンタルヘルス論 社会心理学特講	応用認知心理学 心理学的支援法 人間関係論
科目数	1	4	4	3
科目数計	13	13	15	12

	3	年	4	年
	春学期	秋学期		秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
必修科目	データ解析 心理的アセスメント I 心理的アセスメント II 心理実習 I 心理学ゼミ	データ解析演習 心理学特別ゼミ	卒業論文 心理学論文講読	卒業論文 心理学論文講読演習
科目数	5	2	2	2
選択科目	危機管理論 関係行政論	障害者・障害児心理学 健康・医療心理学 産業・組織心理学		
科目数	2	3	0	0
科目数計	8	6	3	3

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy Ⅱ 英語 Ⅱ スポーツと健康 Ⅱ 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	5	5	4	4
必 修 科 目	心理学概論 心理学基礎講座 I 心理学基礎講座 II フィールド学習 (目標の設定) 社会・集団・家族心理学 I 社会・集団・家族心理学 I 感情・人格心理学	キャリア戦略 I フィールド学習 (解決策の提案) 学習・言語心理学 発達心理学 I	心理統計法 心理学研究法 心理学実験 I キャリア戦略 II フィールド学習 (解決策の実行) 知覚・認知心理学 臨床心理学概論	心理統計法演習 心理学調査法 心理学実験 II フィールド学習 (解決策の評価) キャリア戦略演習
科目数	7	4	7	5
選択科目	社会学 精神疾患とその治療	環境論 神経・生理心理学 人体の構造と機能及び疾病 公認心理師の職責	司法・犯罪心理学	心理学的支援法 福祉心理学 教育心理学
科目数	2	4	1	3
科目数計	14	13	12	12

	3	年	4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
必修科目	データ解析 心理的アセスメント I 心理的アセスメント II 心理実習 I 心理学ゼミ	データ解析演習 心理学特別ゼミ	卒業論文 心理学論文講読	卒業論文 心理学論文講読演習
科目数	5	2	2	2
選択科目	心理学英語講読 カウンセリング特講 心理演習 発達心理学Ⅱ 関係行政論	心理学英語演習 障害者・障害児心理学 健康・医療心理学 教育・学校心理学 産業・組織心理学	心理実習Ⅱ	
科目数	5	5	1	0
科目数計	11	11	4	3

社会福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目(A類)30単位以上、専門教育科目(B類)96単位以上、計126単位以上です。
- ②社会福祉コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教	女育科目 (B	類)
必修科目	選択科目	計
35	61	96

- ③社会福祉コースの専門教育科目 (B類) については別表III-9の通り卒業必修欄にO印の付いている科目 35 単位と選択科目から 61 単位以上を履修してください。
- ④高等学校教諭一種免許状(福祉)を取得しようとする者は、高一免(福祉)欄に〇印の付いている科目を履修してください。併せて別表III-13、14に記載の通り履修してください(III-14の科目は卒業要件に算入できません)。
- ⑤養護教諭一種免許状を取得しようとする者は、専門教育科目(B類)に記載の養護教諭欄に〇印の付いている科目を履修してください。併せて別表III-15、16に記載の通り履修してください(III-16の科目は卒業要件に算入できません)。
- ⑥社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士欄に○印の付いている科目を履修してくだ さい。
- ⑦精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、精神保健欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑧保育士の資格を取得しようとする者は、保育士欄に○印と△印の付いている科目を履修してください。 なお、△印のついている科目については、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)あるいは 保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択し履修してください。
- ⑨准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑩図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表WI-1、2、3、4、5により、履修してください(卒業要件に算入することは出来ません)。
- ⑪単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot N$ と表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ 履修漏れの防止に努めてください。

チ		授	単	卒	社	精	高一	保	養		履修年次							
エッ	授業科目	業の		業	会福	神	免(育	護		1		2	:	3	4	4	備考
ク欄	IA.N.H.	方法	位	必修	祉士	保健	(福祉)	士	教諭	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	un J
	法学 社会学	14	2	0	0				PHU		0	0						
	倫理学		2	Ŏ							0							
	環境論 社会福祉学 I		2	0	0	0	0	0		0							0	
	社会福祉学Ⅱ		2		0	Ö	0				0							
	社会保障論 I		2		0	0						0						
	社会保障論Ⅱ 諸外国の社会福祉 I		2	0	0	0	0					0	0					
	諸外国の社会福祉Ⅱ		2	Ō			Ŏ					Ŭ	0					
	社会福祉演習 卒業論文	演	3	0										0	0	0	0	
	社会調査法 I		2	0	0							0						
	社会調査法Ⅱ		2	0	0								0					
	保健医療制度論 医療ソーシャルワーク論		2		0	0									0	0		
	社会福祉援助技術総論 I		2		0		0			0								
	社会福祉援助技術総論Ⅱ		2		0		0				0							
	ソーシャルワーク論 I ソーシャルワーク論 I		2		0		0					0	0					
	ソーシャルワーク論Ⅲ		2		Ö								Ŭ	0				
	ソーシャルワーク論IV キャリアデザイン I	演	2	0	0					0					0			
	キャリアデザイン II	演演	1	0						0	0							
	保育原理 I		2					0			0							
	保育原理Ⅱ 保育者論		2					0		0	0							
	乳児保育 I	演	2					0			0							
	乳児保育Ⅱ	演	1					0				0						
	社会的養護 I 社会的養護 II	演	2					0					0	\cap				
	福祉計画論		2		0	0									0			
	社会福祉運営管理論 社会福祉行財政論		2		0	0						0	0					
	介護概論I		2	0	0		0			0								
	介護概論Ⅱ	\	2		0						0							
	介護技術 児童福祉学 I	演	2	0	0		0	0			0	0						
	児童福祉学Ⅱ		2		0)						0					
	地域福祉論 I		2		0	0								0				
	地域福祉論Ⅱ 公的扶助論		2		0	0								0	0			
	障害福祉論 I		2		0	0	0					0	_					
	障害福祉論Ⅱ 障害児保育	演	2		0	0		0					0	0				
	高齢者福祉論 I	1円	2		0		0					0						
	高齢者福祉論Ⅱ		2		0								0					
	就労支援論 更生保護制度論		2		0									0	0			
	精神保健福祉論 I		2			0						0						
	精神保健福祉論 II 精神障害者の生活支援システム		2			0							0	0				
	精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)		2			0						0						
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2			0							0					
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ		2			0								0				
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ		2			0									0			
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開IV	冷	2			0									0			
	社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術演習 II	演演	2		0									0	0	0		
	社会福祉援助技術演習Ⅲ	演	1		0												0	
	社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 I	実	4		0		0								0	0	0	
	在芸福祉援助技術現場美習指導 I 社会福祉援助技術現場実習指導 II		1		0											0		
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1		Ō												0	

別表皿-9

チ		授	単	卒	社	精	高	保	養				履修	年次				
工		業		業	会	神	免		護		1	Ι ,					4	Alte also
ツク	授業科目	の方		必	福祉	保	福	育	教		1	4	2		3	4	4	備考
欄		法	位	修	士	健	祉	士	諭	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	精神保健福祉援助演習(基礎)	演	1			0								0)			
片	精神保健福祉援助演習(専門) I 精神保健福祉援助演習(専門) Ⅱ	演演	1			0									0	0		
	精神保健福祉援助実習指導 I		1			0									0			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1			0										0	0	
H	精神保健福祉援助実習	実	5			0									0	0		
	保育内容総論	演	1					0		0								64 p.
H	保育内容指導法 I 保育内容指導法 II	演演	1					0				0	0					健康
	保育内容指導法Ⅲ	演	1					Ö				0						人間関係
	保育内容指導法IV 保育内容指導法V	演演	1					0				0	0					人間関係 環境
H	保育内容指導法VI	演演	1					0					0					環境
	保育内容指導法Ⅶ	演	1					0				0						言葉
ዙ	保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法IX	演演	1					0					0	0				言葉 音楽
븁	保育内容指導法X	演	1					0							0			音楽
	保育内容指導法XI	演	1					0						0				造形
ዙ	保育内容指導法XⅡ 保育課程論	演	1 2					0				0			0			造形
	子育て支援	演	1					0							0			
	保育実習 I (保育所)	実実	2					0						0				保育所実習(必修)
片	保育実習 I (施設) 保育実習 II (保育所)	実	2					<u> </u>						0	\bigcirc			施設実習(必修)保育所実習(選択)
	保育実習Ⅲ(施設)	実	2					Δ							Ö			施設実習(選択)
	保育実習指導 I 保育実習指導 II (保育所)	演演	2					Δ						0	0			事前·事後指導(必修) 事前·事後指導(選択)
\vdash	保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1					Δ							0			事前・事後指導(選択)
	保育技能 I	実	2					0		0	0	0	0	((音楽実技
	保育技能Ⅱ 保育技能Ⅲ	実演	2					0		0				0	0	0	0	音楽実技 音楽理論
H	保育技能IV	演	1					0			0							音楽理論
	保育技能V	演	1					0						0				図画工作
片	保育技能VI 保育技能VII	演演	1					0				0	0					図画工作 専門体育
	保育技能Ⅷ	演	1					0					0					専門体育
	保育技能IX	演	1					0						0				児童文化
	保育技能X 保育技能X I) 演	1 1					0							0	0		児童文化 児童文化
	保育実践演習	演	2					Ō									0	
\blacksquare	介護実習 I 医学一般 I	実	2	0	0	0	0			0					0			
	医学一般Ⅱ		2	0	0	0	0				0							
	こころとからだのレくみI		2				0					0						
片	こころとからだのしくみ Ⅱ 精神医学 I		2			0	0					0	0					
	精神医学Ⅱ		2			Ō							0					
	精神保健学 I 精神保健学 II		2			00						0						
旹	精神保健学Ⅱ 子どもの保健		2			0		0				0	0					
	子どもの健康と安全	実	1					Ö	_		_			0]
	養護概説 学校保健 I		2						0	0	0							
	学校保健Ⅱ		2						0				0					
	健康相談活動		2						0			0						
	健 康科学 衛生学		2						0	0			0					-
	公衆衛生学		2						0				0					
	免疫学		2						0							0		
H	解剖生理学 基礎看護		2						0	0								
	小児看護		2						0		0							
	成人看護		2						0		0							
$\sqcup \sqcup$	学校救急看護		2		<u> </u>		<u> </u>				L	0				l	l	

社会福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目(B類)

別表皿-9

チ		授业	単	卒	社	精	高一	保	養				履修	年次				
エッ	授業科目	業の		業	会福	神	免	育	護		1		2		3	4	1	備考
ク	1又未行口	方		必	祉	保	(福:	Ħ	教			-	_		<u> </u>		1	'VIII 45
欄		法	位	修	士	健	祉	士	諭	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	精神看護		2						0				0					
	看護実習	実	1						0					0				
	精神保健		2						0				0					
	母性保健		2						0						0			
	心理学		2	0	0	0	0			0								
	保育の心理学		2					0			0							
	子ども家庭支援の心理学	演	2					0				0						
	子どもの理解と援助	演	1					0					0					
	発達心理学 I		2								0							*
	発達心理学Ⅱ		2									0						
	教育心理学		2										0					*
	家族援助論		2	0				0							0			
	栄養学		2						0					0				
	食品学		2						0				0					
	子どもの食と栄養		2					0							0			
	権利擁護と成年後見制度		2		0	0							0					
	教育原理		2					0			0							*
	社会福祉学特論 I		2												0			
	社会福祉学特論Ⅱ		2														0	
	社会福祉学特論Ⅲ		2													0		
	計			35	80	71	40	70	37									
	卒必と行	合わせ	た単	位数	95	85	55	98	66									

備考欄の★の科目は、発達心理学 I =発達心理学、教育心理学=教育心理学、教育原理=教育基礎論の教職関係科目の単位として充当することが出来ます。

保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育士)または保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択すること。

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。 【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。◎印は開講時期に週2コマの授業があることをさす。

社会の課題解決に貢献できる福祉・教育職

			□ □ □ □						
	4年次秋学期	ての総合力を高めよう	卒業論文 社会福祉援助技術 現處実習指導工 社会福祉援助技術現場実習 精神保健福祉援助実習指導工	教職実践演習《養護教諭》 社会福祉援助技術演習Ⅲ 保育技能Ⅱ 保育実践演習		제도 연호 변호	英語『	聖徳教育 [4年次 社会福祉専門職としての資質・能力を高める
マップ	4年次春学期	福祉実践者として	卒業績次 社会福祉援助技術 現處集習指導工 社会福祉援助技術別處実習 精神保護福祉援助実習指導工 精神保護福祉援助実習指導工	医療ソーシャルワーク論 社会福祉援助議習(専門) II 精神保健福祉援助議習(専門) II 保育技能11、XI 社会福祉学特論 II		計 短 安	英語狐	聖徳教育】	社会福祉専門職とい
く カリキュラムマッ	3年次秋学期	を理解しよう	社会福祉演習 社会福祉援助技術 精學表現 精神保護福祉援助実習指導 [保育実習指導 [保育所] 保育実習指導 [保育所] 保育実習日 (保育的) 保育実習日 (保育的)	オーシャルワーク線W 精神保護福祉の阻塞と 相談援助の展開工 精神保護福祉の理像と 精神保護福祉超前後 精神保護福祉超前後 展子衛生養 保育な版工 保育な版工 保育な歴史 保育な歴史 保育な歴史 保育な歴史表 保育な歴史表 保育な歴史表 保育な歴史表 保育な歴史表	更生保護制度論 加速荷社論工 福祉計劃論 母性保健 中性保健 7. 保健医療制度論 第合的法学習時間の指導法	家族援即論 教育社会学	英語VI	聖徳教育 [3年次・実習を通して社会福祉専門職としての 実践力を身につける
社会福祉コース	3年次春学期	福祉の専門性を理解しよ	(社会衛社演習) 保育支配指導 [保育子 市股) 保育美國 [保育子 市股) 保育 [保育內	ソーシャルワーク論正 精神保護福祉の延騰と 相談援助の展開 精神保護福祉の理論と 社会福祉援助技術演習 持事保護福祉援助技術演習 開華月長 開華月長 開華月長 保育技能工、ソ、K 保育技能工、ソ、K 保育技能工、ソ、K 保育技能工、ソ、K	社会的機能工 公的共和制 公的共和制 公的共和制 然外支援論 解神障略者の生活支援システム。 新神	高価数割の活場法 米騰米	英語 (聖徳教育工聖徳教育工	3年次 演習・実習を通して社会権 実践力を身に
7 社会福祉学科	2年次秋学期	を身につけよう		ソーシャルワーク編工 精神保健高社和設績的の 基盤 (専門) 保育技能 保育技能 保育技能 保育技能 保育内容指導法 保育内容指導法 保育内容指導法 保育内容指導法 保育内容指導法 保育内容指導法 保育人 保育人 保育人 保育人 保育人 保育人 保育人 保育人	社会の表現を記載している。 「大学の表現を記載している。 大学の表現を記載している。 大学の表現を記載している。 大学の表別を記載している。 「大学会社会」では、大学会社会には、大学会社会には、大学会社会には、大学会社会には、大学会社会には、大学会社会には、大学会社会には、大学会社会によっている。 「「スタイプの「アクトクタ」	語外國の社会福祉 II	英語IV [2	聖徳教育工工學物質工工	なり知識を学ぶ
心理・福祉学部	2年次春学期	福祉の専門的知識を		*GD	社会保護部1 連続を配金に第1 所属を配金に第1 外外の発売を加 保護を表表の 保護を表表の は、大人なの が、大人なのなが が、大人なのなが が、大人なのなが が、大人なのなが が、大人なのなが が、大人なのなが が、大人なのなが が、大人なのなが が、大人なのなが が、大人なのなが が、大人が が、大人が が、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大	5. 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	英語皿 英語	聖徳教育 I SETIOKU Academic Literacy II	2年次 社会福祉の專門的知識を学/5
聖徳大学	1年次秋学期	そいてみよう		社会福祉援即技術総論 II 保育技能 I	本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	英語 II 情報活用演習 (教職) 基礎專門体育 II スポーツ C健康 II	聖徳教育 I SBTOKU Academic Literacy II S キャリアデザインII	次る基礎を学ぶ
	1年次春学期	福祉の世界をのそいてみよう		社会福祉援助技術総譜 1 保育技能 1 保育内容総議	等	の ・	英語 1 情報活用演習 (基礎) 基礎専門体育 1 スポーツと健康 1	SBTOKU Academic Literacy I 】 聖徳教育エ〜1 聖徳教育エ〜2 キャリアデザインI	1年次 社会福祉に関する基礎を学/3
			実践能力を養う	対人援助・学校保健等 の理論を学び、 技能を導につける	社会福祉・学校保健 の専門的な知識を学ぶ	社会福祉・学校保健 り基礎となる知識を学び 闘の	学びの基礎を言うについる	人間性を高める	教育目標

学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 社会福祉学科 社会福祉コース 心理・福祉学部 聖徳大学

学位授与の方針に掲げる学修成果	他業種間の連携を図り、地域社会づくのなる。 相性社会づくのなど社会 会貢献ができる	福祉・教育の実践場面 で女性の立場から生活 の視点を持ち、個な人 の福祉・教育ニーズに 応じたサービス提供を 実践することができる	社会福祉学の専門的な 理論・知識・態度を習 得し、個人の尊厳と基 本的人権を尊重しなが ら宿祉・教尊課題を探 がし課題解決策を提示 することができる	確かな人間性を有しっています。	101年 - 女祖の外表は たしての資調が兼な 語えてこめ		
4年次春学期 4年次秋学期 福祉実践者としての総合力を高めよう	社会福祉実践等と政策の連関 的な取り組みを説明できる GPA/実習報告会	支援の展開にあたって多機 関・多職種とのチームアプ ローチを理解し実践する能力 を示している GPA/実習報告会				あらゆる場面において「和」の 精神を発揮することができる GPA/自己評価シート	4年次社会福祉専門職としての資質・能力を高める
3年次春学期 3年次秋学期 福祉の専門性を理解しよう	他者と協働してより良い共生社会を築くための役割を示している ている	個人の尊厳を重視した支援が できる能力を示している GPAコンピテンスアセスメントシート	福祉課題について解決策をプレゼンテーションすることが でる GPAコンピテンスアセスメントシート			情操豊かで円満な女性として振 舞うことができる GPA/自己評価シート	3年次 演習・実習を通して社会福祉専門職としての 実践力を身につける
2年次春学期 2年次秋学期福祉の専門的知識を身につけよう		福祉ニーズ等に応じた支援方法を説明できる GPA	差別や社会的排除等の社会的 問題を説明できる GPA GPA	利用者・住民の特性をふまえた福祉課題を発見することができる (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日)	社会福祉実践に必要な教養を身に つけている GPA/SD Chart	社会の多様性を受け入れ、尊重す ることができる GPA/自己評価シート	2年次社会福祉の専門的知識を学ぶ
1年次春学期 1年次秋学期福祉の世界をのそいてみよう		対人援助等の基本的な支援方 法を説明できる GPA	社会福祉実践に関わる理論・ 方法を説明できる 	社会福祉実践に関わる価値・ 倫理を説明できる 	社会福祉の基礎的な基礎的な知 識を有している GPA/SD Chart	建学の精神「和」について、説 明することができる GPA/自己評価シート	1年次社会福祉に関する基礎を学ぶ
	実践能力を養う	対人援助・学校 保健等の理論を 学び、技能を身 につける	- 社会福祉・学校 保健の専門的な 知識を学ぶ	社会福祉・学校 保健の基礎となる知識を学ぶ	学びの基礎を身につける	人間性を高める	教育目標

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	4	5	4	4
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 介護概論 I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザインⅡ 医学一般 Ⅱ 倫理学	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉Ⅱ 社会調査法Ⅱ
科目数	5	4	4	2
社会福祉士、 精神保健福祉士 科目	社会福祉援助技術総論 I	社会福祉学Ⅱ 社会福祉援助技術総論Ⅱ 介護概論Ⅱ	社会保障論 I ソーシャルワーク論 I 社会福祉行財政論 障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 精神保健福祉論 I 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎) 精神医学 I 精神保健学 I	社会保障論 II ソーシャルワーク論 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 高齢者福祉論 II 精神保健福祉論 II 精神保健福祉器 (専門) 精神医学 II 精神保健学 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	1	3	9	11
科目数計	10	12	17	17

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
学科必修科目	社会福祉演習 家族援助論	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	2	1	1	1
社会福祉士、 精神保健福祉士 科目	保健医療制度論 ソーシャルワーク論Ⅲ 地域福祉論Ⅰ 公的扶助論 精神障害者の生活支援システム 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習(基礎)	福祉計画論 ソーシャルワーク論IV 地域福祉論II 更生保護制度論 精神保健福祉の理論と相談援助の展開III 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I 精神保健福祉援助演習(専門) I 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 I	社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅲ 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ
科目数	9	11	6	4
科目数計	12	13	8	6

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 基礎専門体育 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 基礎専門体育 II 日本国憲法 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	4	5	4	4
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 介護概論 I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザインⅡ 医学一般Ⅱ 倫理学	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉Ⅱ 社会調査法Ⅱ
科目数	5	4	4	2
社会福祉 士、 保育士 科目	社会福祉援助技術総論 I 保育原理 I 保育者論 保育内容総論 保育技能Ⅲ	社会福祉学II 社会福祉援助技術総論II 介護概論II 乳児保育 I 保育技能IV 保育の心理学 教育原理	I 論論 I 編論 I 編論 I A	社会保証 II 論論 II 論論 H 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
科目数	6	8	16	16
科目数計	15	17	24	22

	2	年	1	年
		<u>中</u> 秋学期		秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VII
科目数	1	1	1	1
学科必修科目	社会福祉演習 家族援助論	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	2	1	1	1
社会福祉 士、 保育士 科目	保健医療制度論 III	福祉計画論 ソーシャルワーク論IV 地域福祉論 II 更生保護制度論 社会福祉援助技術項場実習指導 任会福祉援助技術項場等者指導法 X 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X II 子育習 II または III 保育技能 II 保育技能 X 子どもの食と栄養	社会福祉援助技術演習I 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導II 保育技能II 保育技能XI	社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 保育技能Ⅲ 保育実践演習
科目数	15	14	5	5
科目数計	18	16	7	7

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 日本国憲法 情報活用演習(教職) 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	4	6	4	4
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 介護概論 I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザインⅡ 医学一般Ⅱ 倫理学	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉Ⅱ 社会調査法Ⅱ
科目数	5	4	4	2
社会福祉 士、 養護教諭 科目	社会福祉援助技術総論 I 学校保健 I 解剖生理学 基礎看護	社会福祉学Ⅱ 社会福祉援助技術総論Ⅱ 介護概説 水児看護 成人看護	社会保障論 I	社会保障論Ⅱ ・
科目数	4	6	14	16
科目数計	13	16	22	22

	3	年	4	年
	春学期	· 秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
学科必修科目	社会福祉演習 家族援助論	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	2	1	1	1
社会福祉 士、 養護教諭 科目	保健医療制度論 ソーシャルワーク論Ⅲ 地域福祉論Ⅰ 公的扶助論 社会福祉援助技術演習Ⅰ 看護実習 発達心理学 道徳教育の指導法 養護実習	福祉計画論 ソーシャルワーク論IV 地域福祉論 II 更生保護制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場習 I 性保健 教育社会学 総合的な学習の時間の指導法	社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 免疫学	社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 教職実践演習(養護教諭)
科目数	9	9	4	4
科目数計	12	11	6	6

社会福祉学科 介護福祉コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目(A類)30単位以上、専門教育科目(B類)96単位以上、計126単位以上です。
- ②介護福祉コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目(B類)					
必修科目	選択科目	計			
35	61	96			

- ③介護福祉コースの専門教育科目(B類)については別表Ⅲ-10の通り卒業必修欄に○印の付いている科目35単位と選択科目から61単位以上を履修してください。
- ④介護福祉士受験資格を取得しようとする者は、介護福祉士欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑤高等学校教諭一種免許状(福祉)を取得しようとする者は、高一免(福祉)欄に〇印の付いている科目を履修してください。併せて別表III-13、14に記載の通り履修してください(III-14の科目は卒業要件に算入できません)。
- ⑥養護教諭一種免許状を取得しようとする者は、専門教育科目(B類)に記載の養護教諭欄に〇印の付いている科目を履修してください。併せて別表III-15、16に記載の通り履修してください(III-16の科目は卒業要件に算入できません)。
- ⑦社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士欄に○印の付いている科目を履修してくだ さい。
- ⑧精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、精神保健欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑨准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別 途オリエンテーションで説明します。
- ⑩図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表Ⅷ-1、2、3、4、5により、履修してください(卒業要件に算入することは出来ません)。
- ⑪単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot N$ と表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ 履修漏れの防止に努めてください。

チ		授	単	卒	介	社	精	高	養				履修	年次				
エッ	授業科目	業の		業	護福	会福	神	免	護		1		2		3	2	4	. 備考
ク	1文未行日	方		必	祉	祉	保	福祉	教	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	加持
欄		法	位 2	修	± 0	士	健		諭	1	12/	币	17/	甘	17/	1	17/	
	社会学		2	Ö	Ö	0	0					0						
	倫理学 環境論		2	0	0						0							
	社会福祉学 I		2	0	0	0	0	0		0								
	社会福祉学Ⅱ 社会保障論 I		2			0	0	0			0	0						
	社会保障論Ⅱ		2			Ŏ	Ŏ						0					
	諸外国の社会福祉 I 諸外国の社会福祉 II		2	0				0				0	0					
	社会福祉演習	演	2	Ŏ				Ŭ						0	0	0		
	卒業論文 社会調査法 I		3 2	0	0	0						0				0	0	
	社会調査法Ⅱ 保健医療制度論		2	0		00							0		0			
	医療ソーシャルワーク論		2 2				0									0		
	社会福祉援助技術総論 I 社会福祉援助技術総論 II		2		0	00		00		0	0							
	ソーシャルワーク論 I		2			0		0				0						
	ソーシャルワーク論 II ソーシャルワーク論 III		2			00							0	0				
	ソーシャルワーク論Ⅳ	N. P	2			0									0			
	キャリアデザイン I キャリアデザイン II	<u>演</u> 演	1	0						0	0							
	福祉計画論	125	2	Ŭ		0	0								0			
H	社会福祉運営管理論 社会福祉行財政論		2			0	0					0	0					
	介護概論 I		2	0	0	0		0		0								
	<u>介護概論 Ⅱ</u> 介護福祉専門職論 I		2		0	0					0					0		
	介護福祉専門職論Ⅱ		2		0							0		0				
	介護福祉専門職論Ⅲ セーフティマネジメント論		2		0								0					
	介護技術 生活支援技術 I	演演	1					0		0	0							
	生活支援技術Ⅱ	演	1		Ŏ						0							
	生活支援技術Ⅲ 生活支援技術Ⅳ	演演	1		0					0	0							
	生活支援技術V	演	1		Ŏ							0						
	生活支援技術Ⅵ 生活支援技術Ⅶ	演演	1		0						0							
	生活支援技術WⅢ 生活支援技術IX	演	1		0									0				
	生活支援技術X	<u>演</u>	1		0									0	0			
	介護におけるコミュニケーションの基本 I 介護におけるコミュニケーションの基本 II	<u>演</u> 演	1		0					0	0							
	介護過程 I	演	1		0								0					
	介護過程Ⅱ 介護過程Ⅲ	演演	1		0									0	0			
	介護事例研究 I	演	1		Ō											0		
H	介護事例研究Ⅱ 介護福祉管理論	演演	1		0										0		0	
	児童福祉学 I		2	0	0	0		0				0						
	児童福祉学Ⅱ 地域福祉論Ⅰ		2 2		L	00	0						0	0				
	地域福祉論 II 公的扶助論		2 2		*	0	00							0	0			※下記参照
	障害福祉論 I		2		%	Ŏ	Ō	0				0						本「記参照
	障害福祉論 II 高齢者福祉論 I		2		0	0	0	0				0	0					
	高齢者福祉論Ⅱ		2		Ö	Ŏ							0					
	就労支援論 更生保護制度論		2			0								0	0			
	精神保健福祉論 I		2			Ĭ	0					0						
	精神保健福祉論Ⅱ 精神障害者の生活支援システム		2				0							0				
	精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)		2				0					0						
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I		2 2				0						0	0				
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ		2				00							0	0			
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開IV		2				Ö								Ö			

-		授	単	卒	介	社	精	高	養				E	<u> </u>				
チェ		業	半	業	護	会	神	_					履修	年次				
ツ	授業科目	の			福	福		免 (護		1	4	2	;	3	4	4	備考
ク欄		方		必	祉	祉	保	福祉	教	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
17.4	51.人特特拉氏++	法	位	修	士	士	健		諭	- Д	7/1	7P.	7/1			-10-	7/1	
	社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術演習 II	演演	2			0								0	0	0		
	社会福祉援助技術演習Ⅲ	演	1			Ŏ											0	
	社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 I	実	4			0		0								0	0	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1			0									0	0		
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1			Ō											0	
	精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門) I	演演	1				0							0	0			
H	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	演	1				0									0		
	精神保健福祉援助実習指導 I		1				Ō								0			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1				0									0	0	
	精神保健福祉援助実習	実	5				ŏ								0	0		
	介護実習 I	実	2		0			0				0	0					I ∼1 デイサービス
	介護実習Ⅱ 介護実習Ⅲ	実実	2		0									0	0			I ~2 特別養護老人ホーム Ⅱ 障害者支援施設
	介護実習Ⅳ	実	4		Ö													Ⅲ 介護老人保健施設
	介護総合演習 I	演	1		0							0						IV 特別養護老人ホーム
	介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ	演演	1		0								0	\bigcirc				
	介護総合演習IV	演	1		Ŏ										0			
	医学一般 I		2	0	0	00	00	00		0								
	医学一般 II こころとからだのしくみ I		2	0	0	0	0	0			0	0						
	こころとからだのしくみ Ⅱ		2		Ŏ			Ŏ					0					
	医療的ケア I		2		0									0				
	医療的ケアⅡ 医療的ケアⅢ		2		0									0	0			
	医療的ケアIV	演	1		Ŏ										Ŏ			
	精神医学 I 精神医学 II		2				0					0	0					
	精神保健学I		2				Ö					0						
	精神保健学Ⅱ		2				0						0					
	養護概説 学校保健 I		2						0	0								
	学校保健Ⅱ		2						Ō				0					
	健康相談活動 健康科学		2						0	0		0						
H	衛生学		2						0				0					
	公衆衛生学		2						0				0					
	免疫学 解剖生理学		2						0		0					0		
	基礎看護		2						0	0								
	小児看護		2						0		00							
H	成人看護 学校救急看護		2						0		0		0					
	精神看護		2						0				Ö					
	看護実習	実	1						00					0	0			
	精神保健 母性保健		2						00				0		0			
	心理学		2	0	0	0	0	0	Ĭ	0					Ĭ]
H	発達心理学 I 発達心理学 II		2								0	0						*
H	教育心理学		2										0					*
	高齢者の心理		2		0						0							
	障害者の心理 家族援助論		2	0	0								0		0			
	栄養学		2						0					0				
	食品学		2			_			0				00					
H	権利擁護と成年後見制度 教育原理		2			0	0						0			0		*
	社会福祉学特論 I		2												0			
	社会福祉学特論Ⅱ		2														0	
\vdash	社会福祉学特論Ⅲ 計		2	35	87	80	71	40	37							0		
	H I				, ,,				, J.									

備考欄の★の科目は、発達心理学 I =発達心理学、教育心理学=教育心理学、教育原理=教育基礎論の教職関係科目の単位として充当することが出来ます。

※「公的扶助論」生活保護法等重要な法案を学ぶ必要があるため、可能な限り履修してください。

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。◎印は開講時期に週2コマの授業があることをさす。

	4年次秋学期	実践者としての総合力を高めよう	卒業局文 社会福祉援助技術 工会福祉援助技術現場実習指導工 社会福祉援助技術現場実習 精神保健福祉援助実習指導工	介護事例研究 II 社会福祉援助技術漢習 II 教職実践演習 (養護教諭) 社会福祉学特論 II		(4年 祖氏 祖氏	英語価	聖德教費	4年次	社会福祉・介護福祉専門職としての 資質・能力を高める
ነ ጉ ሥ	4年次春学期	福祉・養護教諭実践者	卒業局文 社会福祉援助技術 社会福祉援助技術銀屬実習指導 社会福祉援助技術銀屬業營 精神保健福祉援助実習指導工	(集事例研究 1 (素) イーンマルワーク論 会福祉援助技術演習 I (年) 年	介護福祉專門關請 1	免疫等 教育原理	英語VI	聖徳教育]		社会福祉・介置
ス カリキュラムマップ	3年次秋学期	福祉・介護の専門性を理解しよう	社会福祉簿置 介護卖智(N) (基础) (基础) (基础) (基础) (基础) (基础) (基础) (基础		介護福祉管理論 原權医義制度論 理任民權制度論 地域福祉第1 地域福祉第1 安性保護 份於文学習時間の指導法	黎族援助論 教育社会学	英語VI	聖徳教育]	3年次	演習・実習を通して社会福祉・介護福祉専門職としての 実践力を身につける
介護福祉コーブ	3年次春学期	福祉・介護の専	社会福祉演習 介麗総合演習出 (陳雲智工 (摩雷吉支援施設) 介陽実習工 (介護老人保健施設) 養護実習	介護過程 I ソーシャルワーク語 I 精神保健宿祉の理論と 持神保健宿祉の理論と 持瀬保保温化の理論と 持瀬神保健温化の提論と 社会宿祉援助技術演習 I 社会宿祉援助技術演習 I 生活支援技術区	介護福祉専門闘論Ⅲ 医療的ケア 1~1、2 医療的ケア 1~1、2 医療的ケア 1~1 地域組制 1 以の状間論 別の状間論 精神障害者の生活支援システム	首衙教育O指導法 米護学	英語V	聖德教育 I 聖德教育 II	31	演習・実習を通して社会福祉 実践力を
₩	2年次秋学期	識を身につけよう	間の変化を変われる。	が騰適程 1 一の論 1 精神保護者が10一の論 1 精神保護者が10一の論 1 基盤 (専門) 生活支援技術 1 基盤 (専門) 生活支援技術 1 1 生活支援技術 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	なしフティマネジメント語 なが保護を記 種がと機能では手工 精力機能では手工 精力機能では手工 学校教の看護 厚田和記書工 持分流・通子語 精本の保護工 特ののこのした。 「このしたののこのとの工 を記しているのこのにある。 特別と様と	商外国の社会福祉 I 児童福祉学工 食知等 食品等 有品的 精和 基礎 精神 医腱 精神 医腱 社分 副	英語IV	聖徳教育工聖徳教育工	Δ	福祉・介護福祉の専門的知識を学ぶ
心理·福祉学部	2年次春学期	福祉・介護の専門的知識を身	が護総合演習 1 が 1 2 2 2 2 (特別整選 2 人 1 人 2 2 (特別整選 3 人 2 2 2 4 2 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 4 2 4 4 2 4	7 - シャルワーク論 1	が機能性・ ない。 ない。 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、	語外国の社会福祉 [] 海縣 國 [] 海縣 國 [] 海縣 國 [] 海縣 國 [] 海縣 國 [] 海縣 國 [] 海縣 [] ана [] а	英語 工工 大学 工工 大学 工工 大学 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工	聖德教育 I Baraca I Baraca II Baraca II II 还原流礼法基礎講座	2年次	社会福祉・介護福祉の
聖徳大学	1 年次秋学期	のそいてみよう	<i>T</i>	小器における □ ニケーションの基本 II 対会福祉援助技術総論 II 井台を投援が II 生活支援技術 II 生活支援技術 II (生活支援技術 II (主達支援 II (主達支援 II (主達支援 II (主達支援 II (主達支援 II (主達支援 II (主達支援 II (主達支援 II (主達支援 II (主達支援 II (主達支援 II (主達支援 II (主章 (主達支援 II (主章 (注章 (注章 (注章 (注章 (注章 (注章 (注章	が護橋論 T 神社 会 は ない は ない は ない は ない は ない は ない は ない は	所 所 所 我 是 中 一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所	英語 正 英語	聖徳教育 I 国 国 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	2	関する基礎を学ぶ
	1年次春学期	福祉・介護の世界をのそいてみよう			/	所及 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种	英語 1 情報活用演習 (基礎) 情 スポーツと健康 1 スポーツと健康 1	SETOKU Academic Literacy I SETTOKU Academic Literacy II 聖徳教育ニーイ 聖徳教育ニーイ キャリアデザインI	1年次	社会福祉・介護福祉に関する基礎を学ぶ
L			実践能力を養う	が人類的・学校保護等 年 の理論を学び、 技能を身につける	学 社会福祉・学校保護 の専門的な知識を学ぶ	(で) 社会福祉・学校保証 は の基礎となる知識を学ぶ 確認 (の) を (の)	英 学びの基礎を身につける ス	SC 公 公 公 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 を し を し を		教育目標

学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 介護福祉コース 社会福祉学科 心理・福祉学部 聖徳大学

		1年次春学期 1年次秋学期 福祉の世界をのそいてみよう	2年次春学期 2年次秋学期 福祉の専門的知識を身につけよう	3年次春学期 3年次秋学期 福祉の専門性を理解しよう	4年次春学期 4年次秋学期 福祉実践者としての総合力を高めよう	学位授与の方針に掲げる学修成果
A	意		介護福祉実践と地域福祉につ いて説明できる	他者と協働してより良い共生 社会を築くための役割を示し ている	介護福祉実践と政策の連関的 な取り組みを説明できる	他業種間の連携を図り、地域社会づくのや 福祉社会づくのなど社会調ができる
が人援助等の基本的な支援方 介護福祉ニーズに応じた支援 個人の尊敬を重視した支援が関・多様を重視した支援が関・多様を重視した方の子したアプカランとランプアをスメントシート 内容理解してきる。 在名名を記りる理案の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象を対象を表現してきる。 金Aコンとテンプアをスメントシート GPA G			GPA/実習報告会	GPA/コンピテンスアセスメントシート	GPA/実習報告会	
GPA GPA GPA GPA/実習報告会 社会福祉集機に関わる理論・	学論をる 校を身	対人援助等の基本的な支援方法を説明できる	ニーズに応じるなる説明できる	個人の尊厳を重視した支援が できる能力を示している	5援の展開にあたって	福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点を持ち、個々人の視点を持ち、個々人の福祉・教育ニースに向いたサービス提供を通じたサービス提供を実践することができる
社会福祉実践に関わる理論・ 方法を説明できる (GPA) 差別や社会的排除等の社会的 (BIBを説明できる) 介護福祉課題について解決策 (GPA) 介護福祉課題について解決策 (GPA) 介護福祉課題について解決策 (GPA) 介護福祉課題について解決策 (GPA) 介護福祉課題に関いる場合 (GPA) 介護福祉課題に関いる場合 (GPA) イ業福祉課題に関いる場合 (GPA) イ業福祉課題に関いる場面において「利」の (GPA) イ会福祉の専門の知識を学ぶ (GPA) イ会福祉の専門の知識を学ぶ (GPA) イ会福祉の専門の知識を学ぶ (GPA) イ会福祉時期間 イ会福祉時期間 イ会福祉時期間 イ会福祉時期間 イ会福祉を通ります 社会福祉に関する基礎を学ぶ 社会福祉に関する基礎を学ぶ 社会福祉時期間 本会福祉時期間 本会福祉時期 本会福祉時期 本会福祉時期 本会福祉を通ります 本会福祉を通ります 本会福祉時期 本会福祉を通ります 本会福祉を通ります 本会福祉を通ります 本会福祉を通ります 本会福祉を通ります 本会福祉を通りまます 本会福祉を通ります 本会福祉を開かる 本会福祉を開かる 本会福祉を開かる 本会福祉を開かる 本会福祉を開かる 本会権権		GPA	GPA	コンピテンスアセスメントシー		
GPA GPA GPA GPA GPA 介護福祉実践に関わる価値・ 開理を説明できる 前接宿祉の基礎的な基礎的な基礎的な基礎的な基礎的な基礎的な基礎的な基礎的な基礎的な基礎的な	学的が 校存	社会福祉実践に関わる理論・ 方法を説明できる	差別や社会的排除等の社会的問題を説明できる	介護福祉課題について解決策 をプレゼンテーションするこ とがでる	介護福祉を取り巻く法体制について総合的に説明できる	社会福祉学の専門的な理論・知識・態度を習得し、個人の尊厳と基帯の人権を尊重しながらる協力の協力を認定を対しる福祉・教育課題を探え、課題解決策を提示
介護福祉実践に関わる価値・ 倫理を説明できる 利用者の特性をふまえた介護福祉 課題を発見することができる CPA CPA (GPA/SD Chart ま学の精神「和」について、説 は会の多様性を受け入れ、尊重す 情楽豊かで円満な女性として版 期することができる まことができる まことができる のとんができる まことができる まことができる は会権に対している まます。		GPA	GPA	GPA/コンピテンスアセスメントシート	GPA	することができる
GPA GPA GPA 介護福祉の基礎的な基礎的な知 譲を有している GPA/SD Chart 建学の精神「和」について、説 社会の多様性を受け入れ、尊重す 情操豊かで円満な女性として振 期待を発揮することができる 明することができる 明することができる 日本/自己評価シート GPA/自己評価シート GPA/自己評価シート GPA/自己評価シート GPA/自己評価シート GPA/自己評価シート GPA/自己評価シート は会権社に関する基礎を学ぶ 社会福祉の専門的知識を学ぶ (第2000年) (1年次 3年次 1年次 1年次 1年次 1年次 1年次 1年次 1年次 1年次 1年次 1	学を改なる	介護福祉実践に関わる価値・ 倫理を説明できる	利用者の特性をふまえた介護福祉課題を発見することができる			
介護福祉の基礎的な知 調を有している (GPA/SD Chart (GPA/SD Chart (GPA/BD Epimely—ト(GPA/BD Chart (GPA/BD Epimely—ト (GPA/自己評価シート(GPA/自己評価シート (GPA/自己評価シート(GPA/自己評価シート (GPA/自己評価シート(GPA/自己評価シート (GPA/自己評価シート(GPA/自己評価シート (GPA/自己評価シート(GPA/自己評価シート (GPA/自己評価シート(GPA/自己評価シート (GPA/自己評価シート(GPA/自己評価シート (GPA/自己評価シート1 年次 社会福祉に関する基礎を学ぶ 社会福祉に関する基礎を学ぶ2年次 (社会福祉の専門的知識を学ぶ (A 年次)3年次 (東端かを見におります) (東端かを見におります) (本名社本書の) (本名社本書の) (本名社本書の) (本名社本書の) (本名社本書の) (本名社本書の) (本名社本書の) (本名社本書の) (本名社本書の) (本名社本書の)4年次 (本名社本書の) 		GPA	GPA			確かな人間性を有し
は学の精神「和」について、説 社会の多様性を受け入れ、尊重す 間探豊かで円満な女性として振ることができる 情操豊かで円満な女性として振ったの多様性を受け入れ、尊重す 情操豊かで円満な女性として振ったのできる BJ (2017、説 社会を受け入れ、尊重す 情操豊かで円満な女性として振ったのでできる 第5ことができる GPA/自己評価シート (GPA/自己評価シート (GPA/自己評価シート 1年次 2年次 3年次 3年次 は会福祉の専門的知識を学ぶ (ASA) (AS	強する	介護福祉の基礎的な基礎的な知 調を有している	を身			福祉・教育の実践者 としての資質を兼ね 備えている
GPA/自己評価シート GPA/自己評価シート GPA/自己評価シート 1年次 2年次 3年次 社会福祉に関する基礎を学ぶ 社会福祉の専門的知識を学ぶ 演習・集習を通して社会福祉専門職としての事践がを導につける。	\$ \$			情操豊かで円満な女性として振 舞うことができる	て「和」に対けています。	
1年次 2年次 3年次 社会福祉に関する基礎を学ぶ 社会福祉の専門的知識を学ぶ 演習・集習を通して社会福祉専門職としての 実践力を身につける		GPA/自己評価シート	GPA/自己評価シート	GPA/自己評価シート	自己評価シー	
社会福祉に関する基礎を学ぶ 社会福祉の専門的知識を学ぶ 演習・実習を通して社会福祉専門職としての 実践力を身につける	H	1年次	2年次	3年次	4年次	
	#K	社会福祉に関する基礎を学ぶ	社会福祉の専門的知識を学ぶ	•	社会福祉専門職としての資質・能力を高める	

	1	年	2.	年
		秋学期		秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 日本国憲法 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	4	5	4	4
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 介護概論 I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザインⅡ 医学一般Ⅱ 倫理学	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉Ⅱ 社会調査法Ⅱ
科目数	5	4	4	2
介護福祉士、 社会福祉士 科目	社会福祉援助技術総論 I 介護福祉専門職論 I 生活支援技術 I 生活支援技術 II 生活支援技術 III 介護におけるコミュニケーションの基本 I	介護概論 II 生活支援技術 II 生活支援技術 IV 生活支援技術 VII 介護におけるコミュニケーションの基本 II 高齢者の心理 社会福祉学 II 社会福祉援助技術総論 II	障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 社会保障論 I 介護福祉専門職論 II 生活支援技術 V 介護総合演習 I 介護総合でのしくみ I ソーシャルワーク論 I 社会福祉行財政論	セーフティマネジメント論 高齢者を 高齢者を 音を 音を 一介護総合 で 一定 をからだの心理 社会を 社会を で で で で で で で で で で で で で で で で で で が で の で で が に が に が に が に が に が り に る に る に る に る に る に る に る に る に る に
科目数	5	8	10	14
科目数計	14	17	18	20

	3	年	1	年
		秋学期		秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VII
科目数	1	1	1	1
学科必修科目	社会福祉演習 家族援助論	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	2	1	1	1
介護福祉士、 社会福祉士 科目	生活支援技II 介介表護護II 介介方支護護国II 生活支援時間 生活支援専門IX 介護護接導所IX 介護護接時間 生活社総的方で 護療的が方で 医療医療を療 医療を変をがある。 いっした。 はいないはいない。 はいないはいない。 はいないはいない。 はいないはいないはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいは	介育護Ⅲ 介介護護Ⅲ 介介護護運Ⅲ 介介介護護事項Ⅳ 生活護護実実接合配が 作業を受けるです。 介括支統ででででは ののでは、 のでは、	介護事例研究 I 社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II 介護福祉専門職論 I	介護事例研究Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ
科目数	14	15	5	4
科目数計	17	17	7	6

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 日本国憲法 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	4	5	4	4
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 介護概論 I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザインⅡ 医学一般Ⅱ 倫理学	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉Ⅱ 社会調査法Ⅱ
科目数	5	4	4	2
介護福祉士、 精神保健福祉士 科目	社会福祉援助技術総論 I 生活支援技術 I 生活支援技術 II ・ 介護におけるコミュニケーションの基本 I	介護概論 II 生活支援技術 II 生活支援技術 IV 生活支援技術 VII 介護におけるコミュニケーションの基本 II 高齢者の心理 社会福祉学 II	障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 介護福祉 専門職論 II 生活支護 I 介護総合 で	セーフティオ論Ⅱ 生一フティオ論Ⅲ 生不を 高活支護選Ⅰ 介介護総長型習Ⅱ 介護総らだの心理 で こころとかまでの心理 社会保障社証 管害保健・ 管害保健・ で 管等保値を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
科目数	4	7	13	15
科目数計	13	16	21	21

	_	年		年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
学科必修科目	社会福祉演習 家族援助論	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	2	1	1	1
介護福祉士、 精神保健福祉士 科目	生活支援技術 X 介護 II 介護 II 介護 II 介護 II 介護 II 介護 II 介護 II 介護 II 介護 II	介護過程Ⅲ 介護過程Ⅲ 介護実習Ⅳ 介護実習Ⅳ 介護等会演習Ⅳ 生活支援技術Ⅵ 介護福祉管理論 医療的ケアⅢ 医療的計計 地域福祉組計 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ 精神保健福祉援助演習(専門) Ⅰ 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 Ⅰ	介護事例研究 I 精神保健福祉援助演習(専門) Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 介護福祉専門職論 I	介護事例研究 II 精神保健福祉援助実習指導III
科目数	16	16	5	2
科目数計	19	18	7	4

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 日本国憲法 情報活用演習(教職) 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	4	6	4	4
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 介護概論 I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザインⅡ 医学一般 Ⅱ 倫理学	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉Ⅱ 社会調査法Ⅱ
科目数	5	4	4	2
介護福祉 士、教諭 科目	社会福祉援助技術総論 I 介護福祉専門職論 I 生活支援技術 II 生活支援技術 III 外護におけるコミュニケーションの基本 I 学校保健 I 解剖生理学 基礎看護	介護概論 II 生活支援技術 IV 生活支援技術 IV 生活支援技術 VII 介護におけるコミュニケーションの基本 II 高齢者の心理 養護概説 小児看護	障害福福語 I I I 所書 I I 所書 I I I 所書 I I I 所書 I I I 所書 I I I 所書 I I I I	セーフ高生 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
科目数	8	9	16	17
科目数計	17	19	24	23

	0	K	4	F
-		年 41.光井		. 年
	<u>春学期</u>	秋学期	春学期	<u> </u>
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
学科必修科目	社会福祉演習 家族援助論	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	2	1	1	1
介護福祉 士、 養護教諭 科目	生活支援技和II 介介。 主活主護護室III 生活主護護室III 生活支援技専門。 生活主護療所的 生活主義護療所的共助理 医療的的護心の 発達育 で大助習 発達で でき でき でき でき でき でき でき でき でき で	介護過程Ⅲ 介護実習Ⅲ 介護実実習Ⅲ 介護福祉接野理論 生活支援強習Ⅳ 介護福祉技術Ⅵ 介護総的ケアⅢ 医療的ケアⅢ 医療的ケアⅣ 母性保健 教育社会学 総合的な学習の時間の指導法	介護事例研究 I 免疫学 介護福祉専門職論 I	介護事例研究 II 教職実践演習 (養護教諭)
科目数	14	12	3	2
科目数計	15	14	5	4

社会福祉学科 養護教諭コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目(A類)30単位以上、専門教育科目(B類)96単位以上、計126単位以上です。
- ②養護教諭コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教	女育科目 (B	類)
必修科目	選択科目	計
35	61	96

- ③養護教諭コースの専門教育科目(B類)については別表Ⅲ-11の通り卒業必修欄に○印の付いている科目 35 単位と「養護教諭」欄に○印の付いている科目 37 単位を含み 61 単位以上を履修してください。
- ④養護教諭一種免許状を取得しようとする者は、専門教育科目 (B類) に記載の養護教諭欄に〇印のある科目と、別表III-12の教職に関する科目を併せて履修してください。さらに、別表III-15に記載のとおり履修してください。なお、別表III-12の教職に関する科目の単位は、専門教育科目 (B類) の選択科目の単位に計上することができます。
- ⑤高等学校教諭一種免許状(福祉)を取得しようとする者は、高一免(福祉)欄に〇印の付いている科目を履修してください。併せて別表III-13、14に記載の通り履修してください(III-14の科目は卒業要件に算入できません)。
- ⑥社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士欄に○印の付いている科目を履修してくだ さい。
- ⑦精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、精神保健欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑧保育士の資格を取得しようとする者は、保育士欄に○印と△印の付いている科目を履修してください。なお、△印のついている科目については、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)あるいは保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択し履修してください。
- ⑨准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑩図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成 講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表Ⅷ-1、2、3、4、5により、履修してくだ さい(卒業要件に算入することは出来ません)。
- ⑪単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot N$ と表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

別表Ⅲ-11

チェ		授	単	卒	養	社へ	精	高一	保				履修	年次				
エック	授業科目	業の		業	護	会福	神	免	育		1	:	2		3		4	備考
欄		方法	位	必修	教諭	祉士	保健	福 祉)	士	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	法学		2	0							0							
	社会学 倫理学		2	0		0	0				0	0						
	環境論		2														0	
	社会福祉学 I		2	0		0	0	0	0	0								
	社会福祉学Ⅱ 社会保障論 I		2			0	0	0			0	0						
	社会保障論Ⅱ		2			0	0						0					
	諸外国の社会福祉 I		2	0				0				0						
	諸外国の社会福祉Ⅱ 社会福祉演習	演	2	0				0					0	0	0			
	卒業論文	供	3	0												0	0	
	社会調査法 I		2	0		0						0						
	社会調査法Ⅱ 保健医療制度論		2	0		0							0					
			2			0	0								0	0		
	社会福祉援助技術総論 I		2			0		0		0						Ĭ		
	社会福祉援助技術総論Ⅱ ソーシャルワーク論 I		2			0		0			0							
_	ソーシャルワーク論 I ソーシャルワーク論 II		2			0		0				0	0					
	ソーシャルワーク論Ⅲ		2			0							L	0				
	ソーシャルワーク論IV		2			0									0			
	キャリアデザイン I キャリアデザイン II		1	0						0	0							
	保育原理 I		2						0	0	0							
	保育原理Ⅱ		2								0							
	保育者論		2						0	0								
	乳児保育 I 乳児保育 II	演	2						0		0			0				
	社会的養護 I	123	2						0				0					
	社会的養護Ⅱ	演	1						0					0				
	福祉計画論 社会福祉運営管理論		2			0	0						0		0			
	社会福祉行財政論		2			0	0					0						
	介護概論 I		2	0		0		0		0								
	介護概論Ⅱ 介護技術	演	2			0		0			0							
	児童福祉学Ⅰ	159	2	0		0		0	0			0						
	児童福祉学Ⅱ		2			0							0					
	地域福祉論 I 地域福祉論 II		2			0	0							0	0			
	公的扶助論		2			0	0							0				
	障害福祉論 I		2			0	0	0				0						
_	障害福祉論Ⅱ 磨寒思想	Seize	2			0	0						0					
	障害児保育 高齢者福祉論 I	演	2			0		0	0			0		0				
	高齢者福祉論Ⅱ		2			0							0					
	就労支援論		2			0								0				
	更生保護制度論 精神保健福祉論 I		2			0	0					0			0			
	精神保健福祉論 II		2				0						0					
	精神障害者の生活支援システム		2				0					_		0				
	精神保健福祉相談援助の基盤(基礎) 精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2				0					0	0					
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開I		2				0							0				
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ		2				0							Ö				
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開III 特神保健福祉の理論と相談援助の展開IV		2				0								0			
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開IV 社会福祉援助技術演習 I	演	2			0								0	0			
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	演	2			0										0		
	社会福祉援助技術演習Ⅲ	演	1			0											0	
	社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 I	実	4			0		0							0	0	0	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		1	L								L	L		Ľ	0		
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1			0											0	

チ		授	単	卒	養	社	精	高一	保				履修	年次				
エッ	授業科目	業の		業	護	会福	神	免	育		1		2		3	4	1	備考
ク 欄	以来有 日	方		必	教	祉	保	福祉	H				l				l	- HIV
.,,,	the LL tra fee to LL 198 pt Advisor (Advisor)	法	位	修	諭	士	健	ŢII.	士	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門) I	演演	1				0							0	0			
	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	演	1				0									0		
	精神保健福祉援助実習指導 I		1				0								0			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 特神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1				0									0		
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習	実	1 5				0								0	0	0	
	養護概説		2		0						0							
	学校保健 I		2		0					0								
	学校保健Ⅱ 健康相談活動		2		0							0	0					
	健康科学		2		0					0								
	衛生学		2		0								0					
	公衆衛生学 免疫学		2		0								0					
	解剖生理学		2		0						0					0		
	基礎看護		2		Ō					0								
	小児看護		2		0						0							
	成人看護 学校救急看護		2		0						0	0						
	精神看護		2		0								0					
	看護実習	実	1		0									0				
	精神保健 母性保健		2		0								0		0			
	栄養学		2		0									0				
	食品学		2		Ō								0					
	保育内容総論	演	1						0	0								(th. th.
	保育内容指導法 I 保育内容指導法 II	演演	1						0			0	0					健康
	保育内容指導法Ⅲ	演	1						0			0						人間関係
	保育内容指導法IV	演	1						0				0					人間関係
	保育内容指導法VI 保育内容指導法VI	演演	1						0			0	0					環境 環境
	保育内容指導法VII	演	1						0			0						言葉
	保育内容指導法VIII	演	1						0				0					言葉
	保育内容指導法IX	演	1						0					0				音楽
	保育内容指導法X 保育内容指導法XI	演演	1						0					0	0			音楽 造形
	保育内容指導法XII	演	1						0						0			造形
	保育課程論		2						0			0						
	子育て支援 保育実習 I (保育所)	演実	1 2						0					0	0			保育所実習(必修)
	保育実習 I (施設)	実	2						0					0				施設実習(必修)
	保育実習Ⅱ(保育所)	実	2						Δ						0			保育所実習(選択)
	保育実習Ⅲ(施設)	実	2						Δ						0			施設実習(選択)
	保育実習指導 I 保育実習指導 II (保育所)	演演	2						Ο					0	0			事前·事後指導(必修) 事前·事後指導(選択)
	保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1												0			事前・事後指導(選択)
	保育技能I	実	2						0	0	0	0	0					音楽実技
	保育技能Ⅱ 保育技能Ⅲ	実演	2						0	0				0	0	0	0	音楽実技 音楽理論
	保育技能IV	演	1						0		0							音楽理論
	保育技能V	演	1						0					0				図画工作
	保育技能VI	演演	1						0			0	0					図画工作 専門体育
	保育技能VII 保育技能VII	演演	1						0				0					専門体育
	保育技能Ⅸ	演	1						0				Ĭ	0				児童文化
	保育技能X	演	1						0						0			児童文化
	保育技能XI 保育実践演習	演演	1 2						0							0	0	児童文化
	介護実習I	実	2					0							0			
	医学一般 I		2	0		0	0	0		0								
	医学一般Ⅱ		2	0		0	0	0			0	0						
	こころとからだのしくみ I こころとからだのしくみ II		2					0					0					
						-												

社会福祉学科 養護教諭コース 専門教育科目(B類)

別表Ⅲ-11

チェ		授業	単	卒	養	社会	精	高一	保				履修	年次				
ック	授業科目	の		業必	護教	福	神保	免(福	育		1	4	2		3	4	4	備考
欄		方法	位	必修	教諭	祉士	健	祉	士	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	精神医学 I		2				0					0						
	精神医学Ⅱ		2				0						0					
	精神保健学 I		2				0					0						
	精神保健学Ⅱ		2				0						0					
	子どもの保健		2						0			0						
	子どもの健康と安全	実	1						0					0				
	心理学		2	0		0	0	0		0								
	保育の心理学		2						0		0							
	子ども家庭支援の心理学	演	2						0			0						
	子どもの理解と援助	演	1					0	0				0					
	発達心理学 I		2								0							*
	発達心理学Ⅱ		2									0						
	教育心理学		2										0					*
	家族援助論		2	0					0						0			
	子どもの食と栄養		2						0					0				
	権利擁護と成年後見制度		2			0	0						0					
	教育原理		2						0		0							*
	社会福祉学特論 I		2												0			
	社会福祉学特論Ⅱ		2														0	
	社会福祉学特論Ⅲ		2													0		
				35	37	80	71	40	70									

備考欄の★の科目は、発達心理学 I =発達心理学、教育心理学=教育心理学、教育原理=教育基礎論の教職関係科目の単位として充当することが出来ます。

保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育士)または保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択すること。

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。 〇印は開講時期に週2コマの授業があることをさす。

社会福祉学科 養護教諭コース 教職に関する科目

別表皿-12

養護教諭コースの学生は、専門教育科目(B類)の養護教諭欄に○印のある科目に加えて、次表のとおり履修してください。 なお、養護教諭コースの学生は、当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

	チェ		授	単	養				履修	年次				
	ツク	授業科目	業の方		護教		l	4	2		3	4	1	備考
	欄		法	位	諭	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
		教職入門		2				0						
		教育基礎論		2	0			0						
		教育心理学		2	\triangle									△よりいずれか2単位
±4-		発達心理学		2	\triangle			0						△ より (・
教職		特別支援教育総論		2	\circ				\circ					
川に		教育社会学 I		2	\circ						\circ			
関		教育課程論		2	\circ				\circ					
す		道徳教育の指導法		2	\circ					\circ				
3		総合的な学習の時間の指導法		2	\circ									
科		特別活動の指導法		2	\circ				\circ					
1		教育方法学		2	\circ			\circ						
		生徒指導論		2				0						
		教育相談		2	0				0					
		教職実践演習(養護教諭)	演	2	0								0	
		養護実習	実	5	0					0				
				33	31									

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

社会の課題解決に貢献できる福祉・教育職

			東 東部 海東記 昭指導 田	金 日						99
	4年次秋学期	としての総合力を高めよう	卒業論文 社会福祉援助技術 現場 社会福祉援助技術弱 精神保健福祉援助技術弱	教閥渠践演習(養護教師) 社会福祉援助技術演習Ⅲ 保育技能 II 保育実践演習		但 學 既	英語呱	聖徳教育 [4年次	としての資質・能力を高
アップ	4年次春学期	養護教諭・福祉実践者と	卒業論文 社会福祉援助技術 現處実習指導工 社会福祉援助技術現場実習 精神保健福祉援助実習指導 II 精神保健福祉援助実習	医療ソーシャルワーグ論 社会福祉援助技術演習 I 精神保健福祉援助演習 (専門) I 保育技能 II、 XI 社会福祉学特施 II		新	英語呱	聖徳教育 I	4	社会福祉・養護教諭専PJ職としての資質・能力を高める
ス カリキュラムマップ	3年次秋学期	福祉の専門性を理解しよう	社会福祉演習 社会福祉摄助技術 精神保護福祉援助渠器指導 [ソーシャルワーク線が 精神保健福祉の理論と 精神保健福祉の理論と 精神保健福祉の理論と 有機数節の展開別 精神保健福祉援助漢智(専門) I 社会福祉援助技術演習! イ会福祉援助技術演習! イ会福祉援助技術演習! 保育技能! I、X 保育内容指導法X、II	更生保護制度論 地域福祉論1 福祉計画語 福祉計画語 保健医療制度論 子ともの度に栄養 総合的な学習時間の指導法	零陈援助論 教育社会学	英語VI	聖徳教育 I	3年次	・実習を通して社会福祉・養護教諭専門職としての 実践力を身につける
・養護教諭コー	3年次春学期	養護教諭・福祉の	社会福祉演習 保育実習指導 [保育所・施設) 保育実習 [保育所] 保育実習 [保育所] 保育実習 [施設) 養護機関 音響表 [金融表]	ソーシャルワーク議正 精神保健福祉の短端と 精神保健福祉の延端と 計解数的の展問 社会福祉援助技術議習 1 精神保健福祉援助技術議習 1 精神保健福祉援助技術議選 1 保育技能 1、V、区 保育技能 1、V、区 保育技能 1、V、区 保育技能 1、V、区 保育技能 1、V、区	社会的機議工 地域福祉制 は いい は は は は は は は は は は は は は は は は は	投票品(0 無效影响 外觀狀	英語Ⅴ	聖徳教育 I 聖徳教育 II	34	演習・実習を通して社会福祉
驴 社会福祉学科	2年次秋学期	・福祉の専門的知識を身につけよう		ソーシャルワーク論 II 精神保健衛社和談選的の 基盤 (毎月9) 保育技能 II 保育技能 II 保育内容指導法 II 保育内容指導法 II 保育内容指導法 II 保育内容指導法 II 保育内容指導法 II 保育人容能導法 II	社会保護施工 高齢者福祉施工 精利養護の政策を見制度 社会的養護 1 対党 日報 対策 日報 学校 R權 財本 保護 世間 精力 保護 世間 精力 保護 世間 精力 保護 世間 精力 保護 世間 精力 保護 世間 精力 保護 世間	階外国の社会福祉工 開始工程 數層心理学 象記学 象記學 務別等 精切活動の指導法 精和青體 精神保體 精神保體 精神保體 精神保體 精神保體 持於國查法工 社於國查法工 社於國查法工 有益國查法工 有益國查法工 有益國查法工 有益國查法工 有益國金法工 有益國查法工 有益國金法工 有益國金法工 有益國金法工	英語Ⅳ	聖徳教育 [聖徳教育]	2年次	社会福祉・養護教諭の専門的知識を学ぶ
• 心理•福祉学部	2年次春	養護教諭・福祉の専門		ソーシャルワーク論 1 精神保護福祉相談援助の 兵闘技能 1 保育技能 1 保育技能で 保育内容指導法 1 保育内容指導法 1 保育内容指導法 1 保育内容指導法 1 保育内容指導法 1	社会保障等!	階外国の社会福祉! 精海瘤社學! 精海瘤社學! 数職人門 数爾声法學 教育声法學 社会體產法! 社会體產法! 社会學	英語皿	聖徳教育 I SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座	25	社会福祉・養護教諭
聖徳大学	1年次秋学期	界をのぞいてみよう		社会福祉援助技術総論 II 保育技能 I 保育技能 I 保育技能 I 介護技術	養護概約 7.發術配学工 7.發術配理 7.發術第四 保育原理 1 別尼保育 1 別尼保育 1 保育の心理学	解解 解 解 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经	英語 II 情報活用演習 (教職) 基礎専門体育 II スポーツと健康 II	聖徳教育 I SEITOKU Academic Literacy II キャリアデザイン II	×	こ関する基礎を学ぶ
	1年次春学期	養護教諭・福祉の世界をのぞいてみよう		社会福祉援助技術総論 [保育技能 [保育技能 保育内容総論	好好 玩響 []	心拉為他 心理等 你理學 中 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	英語 I 情報活用演習 (基礎) 基礎専門体育 I スポーツと健康 I	SEITOKU Academic Literacy I 聖徳教育エ〜1 聖徳教育エ〜2 キャリアチザイン I	1年次	社会福祉・養護教諭に関する基礎を学ぶ
			実践能力を養う	対人援助・学校保健等 の理論を学び、 技能を身につける	社会福祉・学校保健の専門的な知識を学ぶ	社会福祉・学校保健の基礎となる知識を学ぶ	学びの基礎を身につける	人間性を高める		教育目標

(Learning Outcomes)
学びで得られる成果(
養護教諭コース
社会福祉学科
福祉学部
り車・
聖徳大学 心理·福祉学部

4年次春学期 4年次秋学期 学位授与の方針に 福祉実践者としての総合力を高めよう 掲げる学修成果	学校保健と政策の連関的な取り、地域社会づくのやり組みを説明できる。 福祉会づくのなど社会を開ける 会員ができる ほんない おりがまる おりがまる おりがまる はんきょう はんり 実習報告会	制にあたって多機 電とのチームアプ で女性の立場から生活 ア女性の立場から生活 の視点を持ち、個々人 の福祉・教育ニーズに かいたサービス提供を 下している 実践することができる 実践することができる	社会福祉学の専門的な理論・知識・態度を習得し、個人の尊厳と基係し、個人の尊厳と基本的人権を負責しながら宿祉・教育課題を探り、明報の報告を表して、「は、「は、」は、は、は、は、	確かな人間性を有しったが、教育の事践者	世立ての資質を兼ね 備えている 順えている 事することができる 自己評価シート	4年次
3年次春学期 3年次秋学期 4年次春学期 福祉の専門性を理解しよう 福祉実践者とじ	他者と協働してより良い共生 社会を築くための役割を示し ている 学校保健と正 り組み者 GPA/コンピテンスアセスメントシート GPA/	個人の尊厳を重視した支援が 関・多職種とのチーできる能力を示している	教育課題について解決策をプ レゼンテーションすることが でる GPA/コンピテンスアセスメントシート		情操豊かで円満な女性として振 舞うことができる 第神を発揮すること GPA/自己評価シート GPA/自己評価シート	3年次 海路,电影先通:广社会管礼曹周围之二广任
2年次春学期 2年次秋学期 福祉の専門的知識を身につけよう		教育ニーズに応じた支援方法 を説明できる GPA	差別や社会的排除等の社会的 問題を説明できる GPA	児童・生徒の特性をふまえた教育 課題を発見することができる GPA	学校保健に必要な教養を身につけ ている GPA/SD Chart 社会の多様性を受け入れ、尊重す ることができる GPA/自己評価シート	2年次
1年次春学期 1年次秋学期 福祉の世界をのぞいてみよう		学校保健等の基本的な支援方 法を説明できる GPA	学校保健に関わる理論・方法を説明できる G説明できる GPA	学校保健に関わる価値・倫理 を説明できる GPA	教育・福祉の基礎的な知識を有 している GPA/SD Chart 建学の精神「和」について、説 明することができる GPA/自己評価シート	1年次
	実践能力を養う	対人援助・学校 保健等の理論を 学び、技能を身 につける	- 社会福祉・学校 保健の専門的な 知識を学ぶ -	社会福祉・学校 保健の基礎とな る知識を学ぶ	学びの基礎を身につける人間性を高める人間性を高める	教育目標

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 日本国憲法 情報活用演習(教職) 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	4	6	4	4
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 介護概論 I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザインⅡ 医学一般 Ⅱ 倫理学	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉Ⅱ 社会調査法Ⅱ
科目数	5	4	4	2
養護教諭、社会福祉士科目	学校保健 I 解剖生理学 基礎看護 社会福祉援助技術総論 I	養護概説 小児看護 成人看護 社会福祉学Ⅱ 社会福祉援助技術総論Ⅱ 介護概論Ⅱ	健康生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生生	学校相 健 健 は と 様 と 様 と を 様 り 支 育 は き り 支 育 い き 育 い 数 会 段 表 と 表 き う 育 は う る う る ら る り る 会 と り れ 。 を う る ら る り る と と り れ 。 し 。 と る と り と り と と と り と と と と と と と と と と
科目数	4	6	14	16
科目数計	13	16	22	22

	9	年	1	年
		秋学期		秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
学科必修科目	社会福祉演習 家族援助論	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	2	1	1	1
養護教諭、社会福祉士科目	看護実習 発達心理学 道徳教育の指導法 養護実習 保健医療制度論 ソーシャルワー論Ⅲ 地域福祉論Ⅰ 公的扶助論 社会福祉援助技術演習Ⅰ	母性保健 教育社会学 福祉計画論 ソーシャルワーク論IV 地域福祉論 II 更生保護制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I 総合的な学習の時間の指導法	免疫学 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	教職実践演習(養護教諭) 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ
科目数	9	9	4	4
科目数計	12	11	6	6

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 日本国憲法 情報活用演習(教職) 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	4	6	4	4
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 介護概論 I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザインⅡ 医学一般 Ⅱ 倫理学	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉Ⅱ 社会調査法Ⅱ
科目数	5	4	4	2
社会福祉 士、 養護教諭 科目	学校保健 I 解剖生理学 基礎看護	養護概説 小児看護 成人看護 社会福祉学Ⅱ	健康科学 衛生急保 衛教保學 等精神養人門 教育基 教育者指障 教育方指障 教育方指障 社会福福 社会福福祖祖 神保健福祖祖祖 精神保健福祖祖祖 精神保健 精神保健 精神保健 精神保健	学校保健Ⅱ 健康和談活動 公衆神看護 食と報神の表達 食養課程論 教育部 教育動の相談 特別活動育解論Ⅲ 障害保証を証明 管審報報報 精神保健福祉相談援助の基盤 精神保健福祉相談と学Ⅲ 精神保健学Ⅲ 精神保健学Ⅱ 権利擁護と成年後見制度
科目数	3	4	16	16
科目数計	12	14	24	22

		年		年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
学科必修科目	社会福祉演習 家族援助論	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	2	1	1	1
社会福祉 士、 養護教諭 科目	看護実習 発達心理学 道徳教育の指導法 養護実習 保健医療制度論 地域福祉論 I 公的扶助論 精神障害者の生活支援システム 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I 精神保健福祉援助演習(基礎)	母性保健 教育社会学 福祉計画論 地域福祉論II 精神保健福祉の理論と相談援助の展開III 精神保健福祉援助演習(専門) I 精神保健福祉援助演習(専門) I 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 I 総合的な学習の時間の指導法	免疫学 精神保健福祉援助演習(専門) Ⅱ 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	教職実践演習(養護教諭) 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ
科目数	11	10	4	2
科目数計	14	12	6	4

		年		年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 基礎専門体育 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 基礎専門体育 II 日本国憲法 情報活用演習(教職) 教養科目	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 教養科目 教養科目
科目数	4	6	4	4
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 介護概論 I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザインⅡ 医学一般Ⅱ 倫理学	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉Ⅱ 社会調査法Ⅱ
科目数	5	4	4	2
養護教諭、 保育士 科目	学校保健 I 解生看護 保育性 保育育內技能Ⅲ 保育技能Ⅲ	養護児看護 小成人保存 乳児保技能IV 保育技心原理 教育原理	健衛教神養入礎法導育 標衛教神養入礎法導育 学精学者 大型 教育育徒児容容容容課技技技 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	学康 和
科目数	8	8	20	19
科目数計	17	18	28	25

	20	左		1 h:
		年		↓年 秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
学科必修科目	社会福祉演習 家族援助論	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	2	1	1	1
養護教諭、 保育士 科目	看護工理学 道徳教育の習者 社会相談 在 在 在 在 在 在 在 在 在 在	母性保健教育社会学社会福祉援助技術演習 I 障害児保育 II 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X II 子育 II または III 保育 技能 II 保育技能 II 保育技能 X 子どもの食と栄養総合的な学習の時間の指導法	免疫学 保育技能Ⅱ 保育技能X I	教職実践演習(養護教諭) 保育技能 II 保育実践演習
科目数	15	13	3	3
科目数計	18	15	5	5

教職課程履修について〔高等学校教諭一種免許状 福祉〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許状」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。 原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅲ-13

チ		授業		要履			,	履修	年次				,,,,
エッ	授 業 科 目	\mathcal{O}	単 位	な修科が		1	6	2	ć	3	4	1	備考
ク 欄		方法	1-1-4	目必	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2	\circ	•	•							春学期または秋学期に開講
	英語 I	演	1	0	\circ								
	英語Ⅱ	演	1	\circ		\bigcirc							
	スポーツと健康 I	講、実	1	0	\bigcirc								保育士履修者は
	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	0		0							「基礎専門体育Ⅰ、Ⅱ」で充当
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	\bigcirc								します。
	情報活用演習(教職)	演	1	0		\bigcirc							

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわりなく、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

社会福祉学科各コースの専門教育科目(B類)に記載の高免(福祉)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表Ⅲ-14

													月衣皿 14
チ		授業		要履				履修	年次				
エ	运业 70 日		単	な修		,		,		`		4	/ -1/-
ツ	授 業 科 目	\mathcal{O}	位	科が	-	L	2	2		3	4	1	備考
ク		方法	1	目必	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
欄				н л.	个	17/	4	17/	个	17/	4	17/	
	教職入門		2				0						
	教育基礎論		2	0			\circ						
	教育心理学		2	\triangle									△はいずれか1科目必修
	発達心理学		2	\triangle				\circ					
	特別支援教育総論		2	\circ				\bigcirc					
	教育社会学 I		2	\circ						\bigcirc			
	教育課程論		2	0			0						
	福祉科教育法 I	演	2	\circ					\bigcirc				
	福祉科教育法Ⅱ	演	2	\circ						\bigcirc			
	総合的な学習の時間の指導法		2	\circ						•			
	特別活動の指導法		2	\circ				\bigcirc					
	教育方法学		2	\circ			\circ						
	生徒指導(進路指導を含む)		2	0			0						
	教育相談		2	0				\circ					
	教職実践演習(中・高)	演	2	0								\circ	
	高等学校教育実習	実	3	0									
	≅ 		33	31									

- [注] 1. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修すること。
 - 2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。
 - 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 - 4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

教職課程履修について〔養護教諭一種免許状〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許状」及び「教育職員 免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。 原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅲ-15

													,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
チェ		授業	224	要履				履修	年次	Ž.			
ツ	授業科目	\mathcal{O}	単位	な修科が		1	4	2	,	3	4	4	備考
ク 欄		方法	1	目必	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2	0	•	•							春学期または秋学期に開講
	英語 I	演	1	0	\circ								
	英語Ⅱ	演	1			\circ							
	スポーツと健康 Ι	講、実	1	0	\circ								保育士履修者は
	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	0		0							「基礎専門体育Ⅰ、Ⅱ」で充当
	情報活用演習(基礎)	演	1	0									します。
	情報活用演習(教職)	演	1	0		\circ							

2. 「専門教育科目」の履修について

「養護に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別に係わり無く、下記のとおりに履修してください。

○養護に関する科目

社会福祉学科各コースの専門教育科目(B類)に記載の養護教諭一種欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の養護に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表Ⅲ-16

			_		_								別我皿 10
チ		授業		要履		履修年次							
エッ	授 業 科 目	が	単位	な修 科が		1	6	2	,	3	4	1	備考
ク		方法	11/.	目必	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
欄				<u>н</u> ж.	中	121	É	101	中	101	乍	121	
	教職入門		2	0			\circ						
	教育基礎論		2				\circ						
	教育心理学		2	\triangle									△はいずれか1科目必修
	発達心理学		2	\triangle			\circ						
	特別支援教育総論		2	\circ				0					
	教育社会学 I		2							\circ			
	教育課程論		2	\circ				0					
	道徳教育の指導法		2						\circ				
	総合的な学習の時間の指導法		2										
	特別活動の指導法		2					0					
	教育方法学		2	0			\circ						
	生徒指導論		2	0			\circ						
	教育相談		2					\circ					
	教職実践演習(養護教諭)	演	2	\circ								\circ	
	養護実習	実	5	0					0				
			33	31									

- [注] 1. 養護教諭一種免許状を取得する者は、○印を付された科目全部と△印を付された科目より1科目を履修しなければならない。
 - 2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。
 - 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 - 4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

文学部 文学科

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

文学部文学科は、特色ある複数学科を統合し、2013年に新たな学部として誕生しました。いつの時代においても普遍的な理念である聖徳太子の「和」の精神を建学理念とする女性総合大学の文学部として、円満な人格を備えた社会人・家庭人としての良き女性の育成を教育の根幹としています。したがって、文学部文学科は心豊かな人間性、その表象となる気品、幅広い教養と人文科学に関する各領域の専門性を育むことに重きを置く教育を行っています。

一方、現代社会は多くの問題を抱えています。それらは既成の知や技術のみによって 解決を図ることは難しく、なによりも人間性への深い洞察に基づいた多文化社会に関する 広い視野と優れた識見を必要としています。

文学部文学科は、そのような現代社会の要請にも応え、人文科学に関する専門領域別に、英語・英文学コース、日本語・日本文学コース、歴史文化コース、書道文化コース、図書館情報コース、教養デザインコースの六コースを設け、専門性の高い人材育成を行っています。そして、さまざまな時代・地域の文学・文化・芸術に関する幅広く奥行きのある教養に基づき、時代や地域を超えて多様な他者の価値観を理解できる柔軟な思考力、社会の各領域において輝き続ける行動力を備えた人材を育成し、多くの問題を抱えた社会に広く貢献していきます。

以上の理念を具現化していくために、以下の三つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

- 1. 伝統の本物教育を重視し、女性としての心豊かな教養と日本社会の気品の模範として の礼法を備えた人材を育成する。
- 2. 現代社会を生きるための総合的な人間力を備えた人材を育成する。
- 3. 文学・文化・芸術に関する各学問領域の専門的な知識を有し、自らの考えを適切に表現できる社会的・職業的に自立した人材を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下のような学修成果を設定します。

【学修成果】

- 1. 伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、及び日本社会の気品の模範としての礼法を身につけ、実践できる。
- 2. グローバル社会を生きるための英語コミュニケーション力をも有した総合的な人間力を身につけ、実践できる。
- 3. 文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び各領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる。

文学部文学科では、以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定 の単位を修得した人に卒業を認定し、学士(文学)の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

文学部文学科では、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目 (全学共通科目)と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を 育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 学部共通科目

伝統の本物教育を具現化し、体験型・参加型教育を重視した科目を設置しており、それらの科目を RE (Reality Experience) 科目と名付けています。 RE 科目の他、ゼミ、キャリア論、コミュニケーション技法を学部共通科目として設定することにより、学生自らが課題を発見し自ら主体的に学修成果を高め、課題探求力を身につけます。

2. コース別専門科目群

(1) 英語・英文学コース

英米の文学・文化・言語を学び、英語の4技能(聞く、話す、読む、書く)の力を 着実に身につける教育課程を編成しています。

(2) 日本語・日本文学コース

日本語を専門的に学ぶことによって、日本語の基本的な運用能力を養い、日本の文学作品の鑑賞・批評・創作を通した自己表現力を育成する教育課程を編成しています。

(3) 歴史文化コース

歴史学・考古学・民俗学・美術史学の知識と専門理論を学び、歴史的に形成された 現代社会の課題に多面的に取り組む力を育成する教育課程を編成しています。

(4) 書道文化コース

書道学を学ぶことによって、書の実相を理論と実技を通して理解し、書の真髄を見極め作品を創作する力を育成する教育課程を編成しています。

(5) 図書館情報コース

図書館情報学を学ぶことによって、図書館の機能と情報資源の多様性を理解し、 情報技術を身につけて、現代図書館を運営する力を育成する教育課程を編成してい ます。

(6) 教養デザインコース

人文科学としての教養力の基盤の上に、相手志向で思いやるホスピタリティ力と、 人・組織・会社・世界と円滑な関係を築き上げるコミュニケーション力を養い、実 社会における総合的な人間力を育成する教育課程を編成しています。

【教育課程実施の方針】

文学部文学科では、全学共通科目と専門教育科目の教育課程を編成し、学修成果を効果 的に達成するために、以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開してい ます。

- 1. 伝統の本物教育を具現化し、体験型・参加型教育を重視した特別授業を開講し、学生 自らが課題を発見し自ら主体的に学修成果を高める方法を重要視しています。それら の科目を RE(Reality Experience)科目と名付けています。
- 2. 文学・文化・芸術に関する各学問領域の専門科目では、作品・学習対象の鑑賞・批評・ 創作をチームによるアクティブ・ラーニングやプロジェクト学習等を活用し実施して います。
- 3. キャリア科目におけるインターンシップやフィールドワークをはじめ、実習など、現地現物主義によって実践的な能力を身につけられるよう実施しています。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

文学部文学科は、建学の理念である「和」の精神を理解し、文学・文化・芸術に関する 学問領域に興味を持ち、将来、心豊かな教養と気品を持った女性として、社会の各分野で 活躍したいという基本的資質をもった人を求めています。具体的には以下のような入学者 を求めています。

- 1. 心豊かな女性として、気品ある行動を大切にできる人。
- 2. 協調性、誠実性、自主性を備え、自分の考えや気持ちを表現するなど、多様な人々と協働する意欲がある人。
- 3. 文学・文化・芸術に関する特定のテーマを掘り下げ深く学ぼうとする意欲がある人。
- 4. 高等学校等での学びを通して、文学部文学科での学修に必要な知識、技能、思考力、学ぶ力を身につけている人。

文学部文学科では、このような人を受け入れるために多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学修に必要な知識、技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査(調査書、推薦書など)、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

文学部 文学科 全学共通科目 履修要項

① 文学部文学科各コースの卒業所要単位数は、下表のとおりです。

コース名	全学共通科目	専門教育科目	計
	(A類)	(B類)	
英語・英文学	30単位	9 4 単位	124単位
日本語・日本文学	30単位	9 4 単位	124単位
歴史文化	30単位	9 4 単位	124単位
書道文化	30単位	9 4 単位	124単位
図書館情報	30単位	9 4 単位	124単位
教養デザイン	30単位	9 4 単位	124単位

② 文学部文学科の全学共通科目 (A類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

	全 学 共 通 科	目(A類)		
聖徳教育 科目	教養科目、専門基礎科目及び 外国語科目	健康教育 科目	情報活用 科目	計
7	20	2	1	30

- ③ 文学部の学生は、全学共通科目 (A類) については、別表 $IV-1\sim7$ のとおり履修してください(同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④ 聖徳教育科目 (別表IV-1) はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目(別表IV-2)は外国語科目と併せて14単位以上を修得すること(外国語は8単位以上)。 1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類~D類まで一つの群に集中することな くバランスよく履修してください。
 - D類の「日本国憲法」は、教育職員免許状を取得しようとする者は必修です。
- ⑥ 専門基礎科目 (別表IV-3) はすべて卒業必修です。
- ⑦ 外国語科目(別表IV-4)は、英語 I、II、III、IV(4単位)及び選択外国語として、英語、フランス語、ドイツ語、中国語のうち1か国語(4単位)、計8単位が必修です。
- ⑧ 健康教育科目 (別表IV-5) 及び情報活用科目 (別表IV-6) は、備考に記載のとおり履修してください。
- ⑨ 単位を修得(成績表に S・A・B・C・N と表記される) した場合には、各別表の履修チェック欄に 印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目 別表Ⅳ-1

チェック欄	授 業 科 目	授業の方法	単位	卒業必修	春		覆 2 春	2	3	3	4	4 秋	備考
	小笠原流礼法基礎講座		2	0			•	•					● 春学期または秋学期に開講
	聖徳教育 I	演	1	0	0	0	\circ	\circ	\bigcirc	0	0	0	△ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照
	聖徳教育Ⅱ	演	1	0	0			0	0				すること。
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	0	0								
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)	演	1	0		0							
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	0			•	•					
	計		7										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教養科目 別表Ⅳ-2

	チェ		授業	単	卒		屌	愛	修	年	次			
	ッ	授 業 科 目	0)		業必	1		2	2		3	4	4	備考
	ク棚		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
		自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2			\bigcirc	\bigcirc	0					△ 教養科目と別表IV-3の外国語科目を併せて
		自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2			\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					20単位以上修得すること(外国語は8単位以上)。
A 類		自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2			\bigcirc	\bigcirc	0					
//		自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)		2			\bigcirc	\circ	\circ					
		自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	1						0	0			△ 教養科目は表中のA類~D類から選択し、
		自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			\bigcirc	\bigcirc	0					6単位以上を修得すること。
В		自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			\bigcirc	\bigcirc	0					
類		自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			\bigcirc	0	0					
		自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2			\bigcirc	\bigcirc	\circ					△ 同じ科目(領域)を重複履修することは
		心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			\bigcirc	\bigcirc	0					できません。
С		心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			\bigcirc	0	0					
類		心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2			\circ	\bigcirc	0					
		心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			\bigcirc	\bigcirc	0					
D 類		日本国憲法		2		•	•							△ 日本国憲法は、教育職員免許状を取得する者は 必ず修得すること。
				27										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。又●印の付された授業科目は時間割編成上、春学期又は秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

専門基礎科目 別表Ⅳ-3

													,
チェ		授業	単	卒)	覆	修	年	次	:		
ッ	授 業 科 目	の	l	業必	1	l	4	2	9	3	4	4	備考
柳		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	ベーシックコミュニケーション I		2	0	\bigcirc								
	コンピュータ・コミュニケーション [1	0	\circ								
	コンピュータ・コミュニケーションⅡ		1	0		\bigcirc							
	異文化コミュニケーション		2	0									
	計		6										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

														/// 1
チ		授	単	卒		J	覆	修	年	次				
エッ	授業科目	業の	平	業	1		,	2	-	3		1		備考
ク		方	位	必	<u> </u>									た。 出八
欄		法	1	修		秋	春	秋	春	秋	春	秋		
	英語 I	演	1	0	\bigcirc								\triangle	別表IV-2の教養科目と外国語科目を併せて
	英語Ⅱ	演	1	0		\bigcirc								20単位以上修得すること。
	英語Ⅲ	演	1	0			\bigcirc							
	英語IV	演	1	\circ				\bigcirc					\triangle	外国語科目は、卒業必修科目として英語I、英
	英語V	演	1						\circ					語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ(4単位)及び選択外国語
	英語VI	演	1							\bigcirc				として(英語、フランス語、ドイツ語、中国語)のうち
	英語VII	演	1								\bigcirc			1か国語(4単位)、計8単位以上が必修です。
	英語VIII	演	1		Ш							\bigcirc		
	フランス語 I	演	1		Ш	\bigcirc							\triangle	「フランス語」、「ドイツ語」及び「中国語」は
	フランス語 Ⅱ	演	1			\bigcirc								各学期に週2回開講されるのでⅠとⅡ、
	フランス語Ⅲ	演	1				0							ⅢとⅣを同一学期に履修すること。
	フランス語IV	演	1				\circ							
	フランス語V	演	1							\circ				
	フランス語VI	演	1							\bigcirc				
	フランス語Ⅶ	演	1								\circ			
	フランス語Ⅷ	演	1								\bigcirc			
	ドイツ語 I	演	1			0								
	ドイツ語Ⅱ	演	1			0								
	ドイツ語Ⅲ	演	1				\circ							
	ドイツ語IV	演	1				\bigcirc							
	ドイツ語V	演	1							\bigcirc				
	ドイツ語VI	演	1							\bigcirc				
	ドイツ語VⅡ	演	1								0			
	ドイツ語VIII	演	1								\bigcirc			
	中国語 I	演	1			\bigcirc								
	中国語Ⅱ	演	1			0								
	中国語Ⅲ	演	1				0							
	中国語IV	演	1				0							
	中国語V	演	1							\bigcirc				
-	中国語VI	演	1							\bigcirc				
	中国語Ⅶ	演	1								0			
	中国語Ⅷ	演	1								0			
			32											
-		-	-				_	_	_			_		

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

健康教育科目 別表Ⅳ-5

チェ		授業	単	卒		J	覆	修	年	次			
ッ	授 業 科 目	0)	l '	業必		1	2	2	9	3	4	1	備考
ク 欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	スポーツと健康 I	*	1	0	\bigcirc								△ スポーツと健康 I・II を修得すること。
	スポーツと健康 Ⅱ	*	1	0		\circ							
			2										

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

情報活用科目 別表Ⅳ-6

チ		授業	単	卒		J	覆	修	年	次	:		
エッ	授業科目	の	'	業必		1	2	2	3	}	4	4	備考
ク欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	k
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	\circ								△ 情報活用演習(基礎)が必修です。教育職員免
	情報活用演習(教職)	演	1			\bigcirc							一 許状を取得しようとする者は、情報活用演習(基本)、(教職)の更利用した修復すること
			2										一 礎)・(教職)の両科目とも修得すること。

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

帰国子女科目 別表Ⅳ-7

カーカル	当 丁女件日												別衣Ⅳ 一 /
チェ		授業	単	卒		,	履	修	年	次	Ć.		
ッ	授 業 科 目	Ø		業必		1	4	2	3	3	4	1	備考
ク欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本語I	演	1		\bigcirc								△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に
	日本語Ⅱ	演	1			\bigcirc							替えることができる。
	日本語Ⅲ	演	1				\circ						
	日本語IV	演	1					\circ					
	日本語V	演	1						\bigcirc				
	日本語VI	演	1							\bigcirc			
	日本の社会と歴史 I		2						0				
	日本の社会と歴史Ⅱ		2							\bigcirc			
1			10										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

文学科 英語・英文学コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目 (A 類) 30 単位以上、専門教育科目 (B 類) 94 単位以上、計 124 単位以上です。
- ②英語・英文学コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

	専門教育科目	(B類)	
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
49	20	25	94

- ③英語・英文学コースの専門教育科目 (B 類) については、別表IV-8の通り卒業必修欄に〇印の付いている科目 49 単位と選択必修科目 20 単位、そして別表IV-8の選択科目及び別表IV-11、IV-14、IV-19、IV-22、IV-23 に記載されている科目から 25 単位以上を履修してください(同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④中学校教諭一種免許状(英語)、高等学校教諭一種免許状(英語)を取得しようとする者は、①に加えて、中一免(英語)、高一免(英語)欄に○印の付いている科目を全部と、△印の付いている科目より8単位以上を選択履修してください。併せて別表IV-9、10に記載の通り履修してください。
- ⑤図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表 \mathbf{w} $-1 \sim 5$ (P.273 \sim P.277) により履修してください(一部、卒業要件に算入できない科目があります)。
- ⑥単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot N$ と表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、 履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等の体験

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

 \triangle \triangle

 \triangle \triangle

演 1

演 1

演 1

演

科

目

英米の詩Ⅱ

英米の戯曲 I

英米の戯曲 Ⅱ

文:	学和	英語・英文学コース 専門教育	科目													別表Ⅳ—8
区	チェ		授業	単	卒	中一	高一			履	修	年	次			
	ツ	授 業 科 目	未の		業	免	免		•							備考
分	ク		方	14.	必	英語	英語)		1 秋		2 1 = 1		3 秋		£.	-
73	欄	 英米の小説 I	法演	位1	修	Δ	Δ		朳	1	秋	苷	水	苷	朳	
		英米の小説Ⅱ	演演	1		Δ	Δ				0					-
		英米の批評・随筆Ⅰ	演	1		\triangle	\triangle					0				
		英米の批評・随筆Ⅱ	演	1		Δ	Δ						0			
		グローバルコミュニケーションⅢ		2							0					SEEP
		グローバルコミュニケーションIV		2								0				SEEP
		ホスピタリティ英語Ⅲ ナスピタリティ英語W		2							0					-
		ホスピタリティ英語N メディアの英語		2						0		0				SEEP
		日本文化入門		2				0								JOELI
		日本古典文学史 I		2						0						
		日本古典文学史Ⅱ		2							0					
		日本近現代文学史 I		2				0								
		日本近現代文学史Ⅱ		2					0							-
		日本古典文学講読 I 日本古典文学講読 II		2							0					-
		日本近現代文学講読 I		2						0						
		日本近現代文学講読Ⅱ		2							0					
		比較文学 I		2						0						
		比較文学Ⅱ		2							0					
		書学入門		2				0								
コ		図書館概論		2				0								-
		図書館情報資源概論 ホスピタリティ概論		2				\cap	0							エアラインプラチナP
1		ホスピタリティコミュニケーションⅡ		2						0						エアラインプラチナP
		ホスピタリティマネジメントI		2						Ö						エアラインプラチナP
ス		ホスピタリティマネジメントⅡ		2							0					エアラインプラチナP
122		ホスピタリティ産業論 I		2						0						エアラインプラチナP
選		ホスピタリティ産業論Ⅱ		2							0					
択		プレゼンテーション I キャリア戦略Ⅲ		2						0						エアラインプラチナP エアラインプラチナP
		キャリア戦略IV		2								0	0			エアラインプファリア エアラインプラチナP
科		ベーシックコミュニケーションⅡ		2					0							
П		ビジネスコミュニケーションI		2						0						
I		ビジネスコミュニケーションⅡ		2							0					
		ビジネスコミュニケーションⅢ		2								0				
		日本語教育の概要Ⅰ		2						0						-
		日本語教育の概要Ⅱ 日本語教授法Ⅰ		2						0	0					-
		日本語教授法Ⅱ 日本語教授法Ⅱ		2							\cap					-
			演	1						0						1
		日本語教育教材研究Ⅱ	演	1							0					1
		日本語教育演習 I	演	1								0				1
		日本語教育演習Ⅱ	演	1									0			
		日本事情 I		2								0				
		日本事情Ⅱ		2									0			
		言語学概論 I		2						0						-
		言語学概論 II 学内フィールドワーク I		2				0	0	0	0	0	0			-
		学内フィールドワーク I		2					0	0	0	0	0			1
		学内フィールドワークⅢ		2				Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö			1
		短期インターンシップ		2						0	Ō	\circ	Ō			(1~3週まで/1単位~3単位)
		長期インターンシップ		20						0	0	0	0			(4週~20週/4単位~20単位)
		短期留学		12						0	0	0	0	0	0	
		長期留学		20						0	0	0	0	0	0	
-		特別講義 I ~ X X		170	25											各2単位 コース選択科目(計25単位)
\vdash		(小計)		265					_	<u> </u>		_	_			- ^医が作り(計20年位)

教職課程履修について〔中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 英語〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として 2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表IV-9

チェ		授業	単	要履				履修	年次				
ツ	授 業 科 目	の	単位	な修 科が		1	4	2	ć		4	1	備考
欄		方法	1-/-	目必	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2	0	•	•							春学期または秋学期に開講
	英語 I	演	1	0	0								
	英語Ⅱ	演	1	0		0							
	スポーツと健康 I	講、実	1	0	0								
	スポーツと健康 Ⅱ	講、実	1	0		0							
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0								
	情報活用演習(教職)	演	1	0		0							

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

英語・英文学コースの専門教育科目(B類)に記載の中一免(英語)、高一免(英語) 欄にある〇印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表IV-10

チェ		授業	単	中	高				履修	年次)JJ4XIV 10
ッ	授 業 科 目	の	位	免	免		1	4	2	,	3	4	1	備考
ク 欄		方法	11/.	兄	光	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	教職入門		2	0	0			0						
	教育基礎論		2	0	0			0						
	教育心理学		2	\triangle	\triangle				0					△はいずれか1科目必修
	発達心理学		2	\triangle	\triangle					0				□□ (3 V · Y) (1 0 M · 1 1 个 日 2 N IS
	特別支援教育総論		2	0	0				0					
	教育社会学 I		2	0	0						0			
	教育課程論		2	\circ	\circ				0					
	英語科教育法 I	演	2	\circ	\circ			\circ						
	英語科教育法Ⅱ	演	2	\circ	\circ				0					
	英語科教育法Ⅲ	演	2	\circ						\circ				
	英語科教育法IV	演	2	\circ							0			
	道徳教育の指導法		2	\circ						\circ				
	総合的な学習の時間の指導法		2	\circ	\circ									
	特別活動の指導法		2	\circ	\circ				0					
	教育方法学		2	\circ	\circ			0						
	生徒指導(進路指導を含む)		2	\circ	\circ			0						
	教育相談		2	\circ	\circ				\circ					
	教職実践演習(中·高)	演	2	0	0								0	
	中学校教育実習	実	5	0							0			
	高等学校教育実習	実	3		0						0			
	介護体験実習	実	1	0				\circ						
E),) 7	計	1 ~ 4	45		31									

- 「注」 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修すること
 - 2. 高学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修すること。
 - 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 - 4. 履修年次欄に○印を付された通り履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等体験を行うことが必要です。

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性

カリキュラムマップ 英語・英文学コース 文学科 文学部 聖徳大学 令和2年度

秋学期		Ωп	工・動卵・	ーキング・					141
4年次秋学期	実践力を養おう	教職実践演習	専門セミN 英米の批評・ 卒業研究	英語のスピープンプログラ			聖徳教育Ⅰ	4年次	課題解決のための実践力を 修得する
4年次春学期	実践力		専門セミエ 英米の批評・随筆 1 卒業研究	英語のスピーキング・ リスニング呱			聖徳教育Ⅰ	4	課題解決の日
3年次秋学期	・創作力を養おう	教育社会学 [総合的攻學智の時間の指導法 英語科教育法IV (中・高)教育実習	専門ゼ≈I 英語学 I 英米の戯曲 II アメリカの歴史	英語のリーティング・ 英語のスピーキング・ リスニングVI 英語のライティングVI 英語のライティングVI 英語のコニューグーションII	キャリア戦略IV		聖徳教育 I 聖徳教育 II	EX EX	・ 若える・ 議論する〉 ための 技能を修得する
3年次春学期	考える力・創	道徳活動の指導法 生徒指導 英語科教育法皿	専門セミ 英語学 I 英米の戯曲 I イギリスの歴史	英語のリーディングV 英語のスピーキング・ リスニングV 英語のライディングII プロー/W コミュニケーションII 英語の	キャリア戦略II プレゼンテーションII ホスピタリティ英語IV 短題インターンシップ		聖徳教育 I 聖徳教育 II	3年次	(調べる・考える・ 技能を修
2年次秋学期	専門的知識を身につけよう	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 英語科教育法 英語科教育法工 特別活動の指導法 教職特別講座	専門セミ入門 英文法 II 英語の語彙と用法IV 英米の小説 II 英米の時 II	英語のリーティングN 英語のスピーキング・ リスニングN 英語のライティング I グロー/ I/V コミュニケーション面	キャリア戦略 II ホスピタリティ マネシメント II ホスピタリティ産業論 II ホスピタリティ英語 II	英語IV 教養科目	聖徳教育 I 聖徳教育 II	2年次	専門分野の基礎を理解する
2年次春学期	専門的知識を	教職入門 教育与法学 教育方法学 年徒結等 中語統裁考 介護体験実習 教職特別講座	英文法 I 英語の語彙と用法皿 メディアの英語 英米の小説 I 英米の詩 I 海外英語特講	英語のソーティング II 英語のスピーキング・ リスニング II 女話のライティング II グロー/ バロ	キャリア戦略 I ホスピタリティ コミュニケーションI オスピタリティ マネジメント I プレゼンテーション I ホスピタリティ英語 II	英語 內國語 教養科田	聖徳教育 I 聖徳教育 II SBTOKU Academic Literacy II 小笠原流礼法基礎講座	21	専門分野の基
1年次秋学期	官を開こう	日本国憲法信報活用演習(教職)	基礎英文法 I 英語の語彙と用法 II 英語音音学 II 英語等入門 II イギリスダ学 II アメリカ文学史 II 関格 イギリス 書 ii	本語のスピーキング・ 本語のスピーキング・ リスニングエ グロー/ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	女性キャリア識工 無文化 コミュニケーション ホスピタリティ コミュニケーション! コミュニケーション! コミュニケーションI ホスピタリティ英語!	人文科学入門 I (RE科目) コンピュータ コミュニケーション I 英語 I 外国語	聖徳教育 I 聖徳教育 I SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II	年次	学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する
1年次春学期	学びの扉を開		基礎英文法 1 英語の語彙と用法 1 英語音音学 1 英語等 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		女性キャリア論 I ペーシック コミュニケーション I メディア舗入門 ホスピタリティ 概論	A文科学入門 I (R E 科目) コンピュータ コミュニケーション I 英語 I 横観活用演習(基礎)	聖徳教育 I 聖徳教育 II SETOKU Academic Literacy I スポーツと健康 I	~	学修の基礎学修への姿
		マ から 数 画	事 知識	4技能	革(は続)業職	基礎を パナる	高める		影
		専門的職業人 としての 資質・能力を 身につける	英語の専門知識アイが影が	事につける	社会人として 心要な 能力を身につ ける	学びの基礎を 身につける	人間性を高める		教育目標
				- 160 -					

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性

学びで得られる成果(Learning Outcomes) と一し 点 中田 ・ 田田 今学院 今学売 **会和2年度 即徳大学**

### 1990			5和2年度	聖徳大学 文字部 文字科	英語・英文学コース 学(学びで得られる成果 (Learning	g Outcomes)
# 2			学びの扉を開こう	専門的知識を身につけよう	* 考える力・創作力		学位授与の方針に掲げる学権限表
			1年次	2年次	3年次	4年次	
(成語評価・GPA) (CMTート・成語評価・GPA) (CMTート・成語評価・GPA) (CMTート・成語評価・GPA・実際評価) (体検評価・GPA) (体検評価・GPA) (な検評価・GPA) (CMTート・成語評価・GPA・TOEC等) (CMTート・成語評価・GPA・TOEC等) (A文・成体評価・GPA・TOEC等) (A工・下、成体評価・GPA) (A工・下、成体評価・GPA) (A工・下、成体評価・GPA) (A工・下、成体評価・GPA) (A工・下、成体評価・GPA) (A工・下、成体評価・GPA) (A工・下、成体評価・GPA) (A工・下、成体評価・GPA) (A工・下、成体評価・GPA) (A工・工、成体評価・GPA) (A工・工、工、工、工、工、工、工、工、工、工、工、工、工、工、工、工、工、工、工	専門的職業人 でイクレイの 経域・能力を 身につける	数。	数員として必要な基礎的知識が身についている	中学・高校の教員として必要な基礎的知識・技能が身についている	中学・高校の英語科教員として必要な知識・ 技術を身につけ、それを実習の場で活用する ことができる		
英語の監確的な知識・技能が同こっいている			(成績評価・GPA)	•	·GPA.	·GPA)	文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び各
社会人として必要な資産を雇用・GPA・TOEIC等) (レポート・成績評価・GPA・TOEIC等) (レポート・成績評価・GPA・TOEIC等) (レポート・成績評価・GPA・TOEIC等) (レポート・成績評価・GPA・TOEIC等) (レポート・成績評価・GPA・TOEIC等) (レポート・成績評価・GPA・TOEIC等) (レポート・成績評価・GPA) (ロポート・成績評価・GPA) (ロポート・成績評価・GPA) (ロポート・成績評価・GPA) (ロポート・成績評価・GPA) (日本のより記載を表していています。またのようにはないます。またのはます。またのようにはないます。またのようにはないます。またのはます。またのようにはないま	5の専門知識と4技能 につける	説の	英語の基礎的な知識・技能が見についている		調査・研究の技能を身につけ、資料を誘解し、自己の課題を深く探求することができる	Ŋ	領域の専門能力を与にづけ、主体的に課題を解決できる
# 1			(レポート・成績評価・GPA・TOEIC等)	(レポート・成績評価・GPA・TOEIC等)	(レポート・政績評価・GPA・TOEC等)	(論文・成績評価・GPA・TOEIC等)	
(レボート・成績評価・GPA) (レボート・成績評価・GPA) (レボート・成績評価・GPA) (レボート・成績評価・GPA) (レボート・成績評価・GPA) (レボート・成績評価・GPA) (発表・レボート・成績評価・GPA) (発表・レボート・成績評価・GPA) (発表・レボート・成績評価・GPA) (発表・レボート・成績評価・GPA) (発表・レボート・成績評価・GPA) (発表・レボート・成績評価・GPA) (発表・レボート・成績評価・GPA) (発表・レボート・成績評価・GPA) (発表・レボート・成績評価・GPA) (本文性の模範としての「気品」とは何かを理解をもって行動できる。 (中にあるさるさまなが)等した。 (中にあるできる。 (本会社の対象を場合していてきる。 (本会社の対象を場合していてきる。 (本会社の対象を場合していてきる。 (本会社の対象を認定する。 (本表社の対象を認定する。 (本表社の対象を得する。 (本表社の対象を認定する。 (本表社の対象を得する。 (本表社の対象を認定する。 (本表社の対象を認定する。 (本表社の対象を認定する。 (本表社の対象を認定する。 (本表述を考定する。 (本表述を考定する。 (本述を書きるまる・とのの、といの、といの、といの、といの、といの、といいの、といいのでは、またのの、といのでは、またいの	八として必要な能力につける	3九を身	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な 知識・技能が身についている	自己のキャリアビジョンを設定し、そのため に必要な知識・技能について理解している	課題に対する解答を論理的に導き出し、わか りやすく伝えることができる		
大学生として必要な教養を養うための学びの つけ、学院的洞察力を踏まえて応用し、表現 (レボート・成様評価・GPA) (発表・レボート・成様評価・GPA) 毎につけた「礼節」を応用し、実践できる。 (会表・レボート・成様評価・GPA) 毎につけた「礼節」を応用し、実践できる。 (会表・レボート・成様評価・GPA) 毎につけた「礼節」を応用し、実践できる。 (成績評価・GPA) 毎につけた「礼節」を応用し、実践できる。 (成績評価・GPA) 毎にいかなる場 (の機評価・GPA) (アチーブメントテスト・成績評価) (の機評価・GPA) (の機評価・GPA) (の機評価・GPA) (の機評価・GPA) (の機評価・GPA) (アチーブメントテスト・成績評価) (の機評価・GPA) 2年次 2年次 3年次 (関州である・著える・議論する) ための 技能を修得する。 (関州である・著える・議論する) ための 技能を修得する。 (関州での要認を確立する) (財産を修得する) 本年次 (関州である・書える・議論する) ための 技能を修得する 本年次 (関州である・書える・議論する) ための 技能を修得する。			(レポート・成績評価・GPA)	(フポート・ 奴績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)		グローバル社会を生きるための単語コミューケーションカ
建学の精神である「和」を理解し、「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日 数 身につけた「礼節」を応用し、実践できる。 身につけた「礼節」を応用し、実践できる。 身につけた「気品」と「礼節」をいがなる場 かませって行動できる かったさまな分野に かまって行動できる かったさまな分野に かまって行動できる かった かった かった かった かった かった は は いった かった かった いった かった いった いった いった いった いった いった いった いった いった い	学びの基礎を身につける		大学生として必要な救養を養うための学びの 基礎を身につける (レポート・成績評価・GPA)	教養を深め、高めるために必要な知識を身に つけ、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現できる (発表・レボート・成績評価・GPA)			を右背した総合的な人間力を 身につけ、実践できる 身につけ、実践できる
(フチーブメントテスト・成様評価) (DX機評価・GPA) (DX機評価・GPA) (DX機計 1 年次 2 年次 3 年次 学修の基礎を見しつける 学修への姿勢を確立する。 専門分野の基礎を理解する 技能を修得する 大郎を修得する	人間性を高める			「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日 本女性の模範としての「気品」とは何かを理 解できる	「礼節」 「猟め、	こつけた「気品」と「礼節」をいかなる場にも、自由に応用できる	伝統の本物教育により女性と しての心豊かな教養を養い、 日本社会の気品の模範として の礼法を身につけ、実践でき る
1年次 2年次 学修の基礎を与につける 学修への姿勢を確立する 専門分野の基礎を理解する 技能を修得する			(アチープメントテスト・成績評価)	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)	
学修の基礎を身につける 専門分野の基礎を理解する 学修への姿勢を確立する			1年次	2年次	3年次	4年次	
	教育目標		学修の基礎を身につける学修への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	•	課題解決のための実践力を 修得する	

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 英語Ⅲ	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	7	3	3
コース必修科目・学科必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 英語のリーディング I 基礎英文法 I 英語のスピーキング・リスニング I 英語の語彙と用法 I 英語音声学 I	人文科学入門Ⅱ ホスピタリティコミュニケーションI 女性キャリア論Ⅲ 英語のリーディングⅢ 基礎英文法Ⅲ 英語の記でキング・リスニングⅢ 英語の語彙と用法Ⅲ 英語音声学Ⅲ	キャリア戦略 I 英語のライティング I 英語の語彙と用法Ⅲ 海外英語特講	キャリア戦略Ⅱ 専門ゼミ入門 英語のライティングⅢ 英語の語彙と用法Ⅳ
科目数	7	8	4	4
必修科目	英語学入門 I 現代アメリカ事情 I 現代イギリス事情 I	英語学入門Ⅱ	英語のリーディングⅢ 英語のスピーキング・リスニングⅢ	英語のリーディングIV _{英語のスピーキング・リスニングIV}
科目数	3	1	2	2
選択科目			教職特別講座	現代アメリカ事情 II 教職特別講座
科目数	0	0	1	2
教職科目			教職入門 教育基礎論 教育方法学 英語科教育法 I 介護体験実習	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 英語科教育法Ⅱ
科目数	0	0	5	6
科目数計	16	16	15	17

	3年		4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語VI	英語Ⅵ	英語VⅢ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目・	専門ゼミ I	専門ゼミⅡ	専門ゼミⅢ 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	1	1	2	2
必修科目	イギリス文学史 I アメリカ文学史 I	イギリス文学史Ⅱ アメリカ文学史Ⅱ		
科目数	2	2	0	0
選択科目	英文法 I 英語学 I 英米の詩 I	英文法Ⅱ 英語学Ⅱ 英米の詩Ⅱ	英語のスピーキング・リスニングVII	英語のスピーキング・リスニングⅦ
科目数	2	2	2	2
教職科目	英語科教育法Ⅲ 道徳活動の指導法 生徒指導(進路指導を含む)	教育社会学 I 英語科教育法IV 総合的な学習の時間の指導法 (中・高)教育実習		教職実践演習(中・高)
科目数	3	4	0	1
科目数計	9	10	5	6

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	ベーシックコミュニケーション I	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 英語Ⅲ	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語Ⅳ 外国語科目 I II
科目数	6	6	3	5
コース 必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 英語のリーディング I 基礎英文法 I 英語のスピーキング・リスニング I 英語の語彙と用法 I 英語音声学 I	人文科学入門Ⅱ ホスピタリティコミュニケーションⅠ 女性キャリア論Ⅱ 英語のリーディングⅢ 基礎英文法Ⅲ 英語のスピーキング・リスニングⅢ 英語の語彙と用法Ⅲ 英語音声学Ⅲ	キャリア戦略 I 英語のライティング I 英語の語彙と用法Ⅲ 海外英語特講	キャリア戦略Ⅱ 専門ゼミ入門 英語のライティングⅢ 英語の語彙と用法Ⅳ
科目数	7	8	4	4
必修科目	現代アメリカ事情 I 現代イギリス事情 I	グローバルコミュニケーション I ホスピタリティ英語 I	英語のリーディングⅢ _{英語のスピーキング・リスニングⅢ} グローバルコミュニケーションⅡ ホスピタリティ英語Ⅲ	英語のリーディングIV _{英語のスピーキング・リスニングIV}
科目数	2	2	4	2
選択科目	学内フィールドワーク I	学内フィールドワークⅡ	英文法 I メディアの英語 英米の小説 I 英米の詩 I	英文法Ⅱ 現代イギリス事情Ⅲ 現代アメリカ事情Ⅲ ^{グローバルコミュニケーションⅢ} ホスピタリティ英語Ⅲ
科目数	1	1	4	5
教職科目				
科目数	1.0	17	1.5	1.0
科目数計	16	17	15	16

	3年		4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共	(英語V) 外国語科目ⅢIV	(英語VI)	(英語VII)	(英語Ⅷ)
共通科目				
科目数	2	0	0	0
コ学 	専門ゼミ I 英語のコミュニケーション I	専門ゼミ Ⅱ 英語のコミュニケーション Ⅱ	専門ゼミ Ⅲ 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
必修 科 目・				
科目数	2	2	2	2
必修科目コース選択	英語学入門 I キャリア戦略Ⅲ	英語のリーディングVI 英語のライティングIV 英語のスピーキング・リスニングVI 英語学入門II キャリア戦略IV		
科目数		5	0	0
選択科目	グローバルコミュニケーションIV ホスピタリティ英語IV 英語学 I イギリスの歴史 短期インターンシップ	英語学Ⅱ アメリカの歴史	英語のスピーキング・リスニングⅦ	英語のスピーキング・リスニングVII
科目数	5	2	1	1
教職科目				
科目数				
科目数計	14	9	3	3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

習熟度に応じ「グローバルコミュニケーションⅠⅡ」は、「ホスピタリティ英語ⅠⅡ」からの履修を推奨する。

文学科 日本語・日本文学コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目 (A 類) 30 単位以上、専門教育科目 (B 類) 94 単位以上、計 124 単位以上です。
- ②日本語・日本文学コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

	専門教育科目	(B類)	
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
53	18	23	94

- ③日本語・日本文学コースの専門教育科目(B 類)については、別表 $\mathbb{N}-11$ の通り卒業必修欄に〇印の付いている科目 53 単位と選択必修科目 18 単位、そして別表 $\mathbb{N}-11$ の選択科目及び別表 $\mathbb{N}-8$ 、 $\mathbb{N}-14$ 、 $\mathbb{N}-19$ 、 $\mathbb{N}-22$ 、 $\mathbb{N}-23$ から 23 単位以上を履修してください(同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④中学校教諭一種免許状(国語)、高等学校教諭一種免許状(国語)を取得しようとする者は、①に加えて、中一免(国語)、高一免(国語)欄に○印の付いている科目を全部履修してください。併せて別表Ⅳ-12、13に記載の通り履修してください。
- ⑤図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表 \mathbf{w} $-1 \sim 5$ (P.273 \sim P.277) により履修してください(一部、卒業要件に算入できない科目があります)。
- ⑥単位を修得(成績表にS・A・B・C・Nと表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、 履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等の体験

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

日本語・日本文学コース 専門教育科目 (B類) 別表IV-11 区 履修年次 エ 業 免 免 授 業 科 目 \mathcal{O} 備考 2 3 4 必 方 分 語 語 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 欄 法 位. 修 人文科学入門 I (RE科目) 2 人文科学入門Ⅱ (RE科目) 学 ホスピタリティコミュニケーション I 2 \bigcirc 女性キャリア論 I 女性キャリア論 II 2 科 2 キャリア戦略 I \bigcirc 2 必 キャリア戦略Ⅱ 2 \bigcirc 専門ゼミ入門 溜 1 修 専門ゼミⅠ (3年次ゼミⅠ) 専門ゼミⅡ (3年次ゼミⅡ) 演 1 演 1 科 専門ゼミ**Ⅲ** (4年次ゼミ I) 演 1 専門ゼミⅣ (4年次ゼミ II) 演 目 卒業研究 4 (小計) 23 23 学科必修科目(計23単位) \bigcirc □ 日本文化入門 2 0 国際文化論 2 \bigcirc 2 コ 日本文学概説 I 0 日本文学概説Ⅱ 2 日本語概説 I 2 \bigcirc 日本語概説Ⅱ \bigcirc 日本古典文学史 I 2 日本古典文学史Ⅱ 日本近現代文学史I 必 2 日本近現代文学史Ⅱ 2 修 □ 日本語の語法 I 2 \bigcirc 日本語の語法Ⅱ 2 科 日本語の歴史 I 日本語の歴史Ⅱ 2 Ħ 日本古典文学の基礎 I \bigcirc 溜 1 □ 日本古典文学の基礎Ⅱ 演 1 30 30 コース必修科目(計30単位) (小計) 日本文学特講 I 2 日本文学特講Ⅱ 2 古典語の研究 I 演 1 古典語の研究Ⅱ 演 1 コ 現代語の研究 I 演 1 現代語の研究Ⅱ 演 1 日本語学特講 I 2 日本語学特講Ⅱ 2 ス 漢文学の基礎 I 溜 1 選 漢文学の基礎Ⅱ 演 1 日本語表現法 I \bigcirc 演 1 択 日本語表現法Ⅱ 1 演 □ 日本古典文学講読 I 2 日本古典文学講読Ⅱ 日本近現代文学講読Ⅰ 必 2 2 日本近現代文学講読Ⅱ 修 2 書写・書道 I 演 1 \bigcirc 科 書写・書道Ⅱ 1 演 日本語の音声 2 Ħ 編集・ジャーナリズム論 2 文芸創作 I 2 \bigcirc 文芸創作Ⅱ 2 34 18 コース選択必修科目(計18単位) 日本古典文学特講 I 2 コ 日本古典文学特講Ⅱ 2 日本近現代文学特講 I 2 2 日本近現代文学特講Ⅱ 比較文学 I 2 比較文学Ⅱ 2 選 日本語の方言 I 2 2 日本語の方言Ⅱ メディア論入門 現代イギリス事情 I 択 演 1 科 □ 現代アメリカ事情 I \bigcirc 1 演 イギリス文学史 I 2 目 イギリス文学史Ⅱ 2

文	学科	日本語・日本文学コース 専門	教育	科	目 ((В 	頁)									別表Ⅳ—11
区	チ		授	単	卒	中	高			屋	体	左	\/ 			
	工		業		業	免	免			限	11多	年	伙			file de
	ツ	授 業 科 目	の		必	(国	(国]	1	2	2	3	3	4	1	備考
分	ク欄		方法	位	修	語)	語)	耟	秋	耟	秋	春	秋	春	秋	
		アメリカ文学史 I	伝	2	115				101	7H*	701	/H*	701	>H*	701	
		アメリカ文学史Ⅱ		2					0							
		英米の詩 I	演	1						0						
		英米の詩Ⅱ	演	1							0					
		英米の戯曲 I	演	1						0						
		英米の戯曲Ⅱ	演	1)	0					
		英米の小説Ⅰ	演	1						0						
		英米の小説Ⅱ	演	1							0					
		英米の批評・随筆 I	演	1								0				
		英米の批評・随筆Ⅱ	演	1									0			
		日本史概説 I		2				\circ								
		日本史概説Ⅱ		2					\circ							
		日本古代史 I		2				\circ								
		日本古代史Ⅱ		2					0							
		日本中世史 I		2						0						
		日本中世史Ⅱ		2							\circ					
		日本近世史 I		2				\circ								
		日本近世史Ⅱ		2					\circ							
		日本近現代史I		2						\circ						
		日本近現代史Ⅱ		2							\circ					
コ		古文書学 I		2								\circ				
		古文書学Ⅱ		2									0			
]		書学入門		2				\circ								
		ホスピタリティ産業論Ⅱ		2							0					
ス		プレゼンテーション I		2						\circ						
\zz.		プレゼンテーションⅡ		2								\circ				
選		キャリア戦略Ⅲ		2								\circ				
択		キャリア戦略Ⅳ		2									0			
170		ベーシックコミュニケーションⅡ		2					\circ							
科		ビジネスコミュニケーションI		2						0						
		ビジネスコミュニケーションⅡ		2							0					
目		ビジネスコミュニケーションⅢ		2								\circ				
		学内フィールドワーク I		2				\circ	\circ	0	\circ	\circ	0			
		学内フィールドワーク Ⅱ		2				\circ	\circ	\circ	\circ	\circ				
		学内フィールドワークⅢ		2				\circ	\circ	\circ	\circ	\circ	\circ			
		短期インターンシップ		2						0	0	\circ	0			(1~3週まで/1単位~3単位)
		長期インターンシップ		20						\circ	0	0	0			(4週~20週/4単位~20単位)
		短期留学		12						0	0					(1~12週まで/1単位~12単位)
		長期留学		20						\circ	0	0	0	0	\circ	(13週~/13単位~20単位)
		特別講義I~XX														各2単位
		日本語教育の概要 I		2						0						
		日本語教育の概要Ⅱ		2							0]
		日本語教授法 I		2						0]
		日本語教授法Ⅱ		2							0					1
		日本語教育教材研究 I	演	1						0]
		日本語教育教材研究Ⅱ	演	1							0]
		日本語教育演習 I	演	1								0				
		日本語教育演習Ⅱ	演	1									0]
		日本事情I		2								\circ]
		日本事情Ⅱ		2									0			
		言語学概論 I		2						0]
		言語学概論Ⅱ		2							0					
		(小計)			23											コース選択科目(計23単位)
		合 計		247	94											

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。 【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。 ●印は教職課程履修者の推奨履修年次を示す。

教職課程履修について〔中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 国語〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

<u>別表IV-12</u>

チェ		授	単	科心履				履修	年次				
27	授 業 科 目	法の	位			1	4	2		3	4	4	備考
柳		方	11/.	ロなが	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2		•	•							春学期または秋学期に開講
	英語 I	演	1	0	0								
	英語Ⅱ	演	1	\circ		\circ							
	スポーツと健康 I	講、実	1	0	0								
	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	0		\circ							
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0								
	情報活用演習(教職)	演	1	0		0							

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

日本語・日本文学コースの専門教育科目(B類)に記載の中一免(国語)、高一免(国語)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表Ⅳ—13

チェ		授業	単	中	高				履修	年次				为9获TV 13
27 22	授 業 科 目	0)	位				1	4		٠.۶	3	4	1	備考
棚		方法	11/	允	允	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	教職入門		2	0	0			0						
	教育基礎論		2	\circ	0			0						
	教育心理学		2	\triangle	\triangle				0					△はいずれか1科目必修
	発達心理学		2	\triangle	\triangle					0				△(3V·9 40//*1科自必修
	特別支援教育総論		2	\circ	0				0					
	教育社会学 I		2	\circ	0						0			
	教育課程論		2	\circ	0				0					
	国語科教育法 [演	2	\circ	0			\circ						
	国語科教育法Ⅱ	演	2	\circ	0				0					
	国語科教育法Ⅲ	演	2	\circ						0				
	国語科教育法IV	演	2	\circ							0			
	道徳教育の指導法		2	\circ	0					0				
	総合的な学習の時間の指導法		2	\circ	0									
	特別活動の指導法		2	\circ	0				0					
	教育方法学		2	\circ	0			\circ						
	生徒指導(進路指導を含む)		2	\circ	\circ			\circ						
	教育相談		2	\circ	0				0					
	教職実践演習(中・高)	演	2	\bigcirc	\bigcirc								0	
	中学校教育実習	実	5	\bigcirc							0			
	高等学校教育実習	実	3		\bigcirc						\circ			
	介護体験実習	実	1	\bigcirc				0						
	計		45		33									- 1到日門上を屋依したけれげたたたい

- [注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 2. 高学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 - 4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、 教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等体験を行うことが必要です。

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性

カリキュラムマップ 日本語・日本文学コース 女驴科 文学部 聖徳大学 令和2年度

4年次秋学期	ıO	教職実践演習	專問七三NV 卒業研究 日本文学特講 II 日本語学特講 II			X章 I	践力を
	実践力を養おう	教職集			英語型	聖徳教育	4年次 課題解決のための実践力を 修得する
4年次春学期		45	專門化派工 卒業研究 日本文学特講 日本語学特講		英語呱	聖徳教育Ⅰ	⊞
3年次秋学期	創作力を養おう	教育社会学 I 総合的な学習の時間の指導法(中・高)教育実習(中・高)教育実習 国語科教育法IV 日本語教育演習 I 日本語教育演習 I 日本書情 II	専門ゼミエ 文芸創作 II 日本近現代文学特講 II 日本古典文学特講 II 日本語の歴史 II 日本語の研究 II	キャリア戦略Ⅳ	英語VI.	聖徳教育 I 聖徳教育 II	3年次 考える・ 議論する〉 ための 技能を修得する
3年次春学期	考える力・創	教育相談 道徳教育の指導法 国語科教育法皿 日本語教育演習 I 日本事情 I	専門ゼミ1 文芸創作1 日本近現代文学特講1 日本古典文学特講1 日本語の歴史1 日本語の研究1 日本語の万言1	キャリア戦略エ プレゼンテーションエ ホスピタリティ英語IV 短期インターンシップ	英語Ⅴ	聖徳教育 I 聖徳教育 II	34 (調べる・考える 技能を値
2年次秋学期	専門的知識を身につけよう	特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 国語科教育法工 教職特別講座 日本語教育の概要工 日本語教育の概要工	専門セミ入門 日本近現代文学講読Ⅱ 日本古典文学史Ⅱ 日本古典文学規誌Ⅱ 日本語表現法Ⅲ 比較文学Ⅱ 日本語の語法Ⅱ 日本語の語法Ⅱ 現代語の研究Ⅱ	キャリア戦略 II 編集・ジャーナリズム語 ホスピタリティ産業論 II ホスピタリティ英語 エスピタリティ英語 II	英語V 教養科目	聖徳教育 I 聖徳教育 I	2年次 専門分野の基礎を理解する
2年次春学期	専門的知識を	教職入門 教育方法等 教育方法等 生徒指導 生徒指導 可題科教育法 I 內護体験学習 教職特別講座 日本語教育の概要 I 日本語教育の概要 I 日本語教授法 I	日本近現代文学講読1 日本古典文学史1 日本古典文学講読1 日本語表現法1 日本語表現法1 比較文学1 日本語の語法1 現代語の研究1 日本語の音声	キャリア戦略 I ブレゼンデーション I ホスピタリティ英語 II	国際文化調英語工業	聖徳教育 I 聖徳教育 I SETOKJ Azademic Literacy II 小笠原流礼法基礎講座	2:3
1年次秋学期	学びの扉を開こう	書写・書道II 日本国憲法 情報活用演習(教職)	日本文学概説 I 日本方現代文学 I 日本古典文学の基礎 I 漢文学の基礎 I 国本語概説 I	女性キャリア論 II 異文化 コミュニケーション ホスピタリティ コミュニケーション I コニケーション I コニケーション I エスペタリティ ベーシック コミュニケーション II ホスピタリティ英語 I 学内フィールドワーク I	人文科学入門 I (R E 科目) コンピュータ コミュニケーション I 英語 I	聖徳教育 I 聖徳教育 I SBTOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II	1年次 学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する
1年次春学期	重の込券	Ⅰ 東皇・6	日本文化入門 日本文学概説 1 日本方現代文学史 1 日本古典文学の基礎 1 漢文学の基礎 1 日本語概説 1	女性キャリア論 I ペーシック コミュニケーション I メディア論入門 学内フィールドワーク I	人文科学入問 I (RE科目) コンピュータ コミュニケーション I 英語 I 情報活用演習(基礎)	聖徳教育 I 聖徳教育 II SBTOKU Academic Literacy I スポーツと健康 I	学修の基礎・
		専門的職業人 教員 どしての 資質・能力を 身につける 日本語 教員	日本の言語と文学を理解する	社会人として 必要な 能力を身につ ける 企業 就職	学びの基礎を身につける	人間性を高める	教育目標

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性

	令和2年度	聖徳大学 文学部 文学科	日本語・日本文学コース	学びで得られる成果 (Learning	ning Outcomes	
	学びの扉を開こう	専門的知識を身につけよう	考える力・創作力 を身につけよう	実践力を養おう	学位授与の方針に掲げる学を成果	
	1年次	2年次	3年次	4年次		
教員	教員として必要な基礎的知識が身についている	中学・高校の教員として必要な基礎的知識・技能が身についている	中学・高校の国語科教員として必要な知識・ 技術を身につけ、それを教科の指導に応用で きる	実習における課題を振り返り、自己の課題を 発見することができる		
すごの選手へつしている。 高調・能力を	(成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(実習評価・成績評価・GPA)		
身につける 日本語 数員	ido	日本語教育に関する基礎的な知識・技能を説 明できる	日本語教育の専門的な知識・技能を身につけ、その応用的側面を学び、実践できる		文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び各	_
		(しポート・ 政績評価・GPA)	(実習評価・成績評価・GPA)		領域の専門能力を身につけ、 主体的に課題を解決できる	1
日本の言語と文学を理解し、 その豊かさを味わい実践でき る	日本文化の視底を成す日本語学・日本文学の ま本的な概念を学び、説明できる	日本語学・日本文学の基礎を踏まえたうえて、その歴史的観点や異文化との比較の観点 から、応用的側面を学び、身につける	日本語学・日本文学の学びの成果のうえに 立って、対話的アプローチや主体的体調査研 究を通して、その精髄に迫る	自己の課題探求の政果を、論文としてまとめ、 わかりやすく伝えることができる		
	(レポート・成績評価・GPA)	(レポート・成績評価・GPA)	(発表・レポート・成績評価・GPA)	(論文・成績評価・GPA)		
社会人として必要な能力を身につける	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な 知識・技能が身についている	自己のキャリアビジョンを設定し、そのため に必要な知識・技能について理解している	課題に対する解答を論理的に導き出し、わかりやすく伝えることができる		グローバル社会を生きるため	
	(レポート・改績評価・GPA)	(しポート・ 改績評価・GPA)	(レポート・攻績評価・GPA)		の英語コミュニケーションカ をも有した総合的な人間力を 負につば 電響でする	
学びの基礎を身につける	大学生として必要な教養を養うための学びの 基礎を身につける	教養を深め、高めるために必要な知識を身に つけ、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現 できる	課題に対する解答を論理的に導き出し、わか りやすく伝えることができる	現代社会の課題を認識し、社会に働きかける ことができる	が 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	
	(フポート・成績評価・GPA)	(発表・レポート・成績評価・GPA)	(発表・レポート・成績評価・GPA)	(発表・レポート・成績評価・GPA)		
人間性を高める	建学の精神である「和」を理解し、「礼節」 をもって行動できる	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日本女性の模範としての「気品」とは何かを理解できる	身につけた「礼節」を応用し、実践できる。 教養をさらに深め、それをさまざまな分野に 応用できる	身につけた「気品」と「礼節」をいかなる場合にも、自由に応用できる	伝統の本物数育により女性としての心豊かな教養を養い、 しての心豊かな教養を養い、 日本社会の気品の模能として の礼法を身につけ、実践できる。	
	(アチープメントテスト・成績評価)	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)		
	1年次	2年次	3年次	4年次		
教育目標	学修の基礎を身につける学修への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	〈調べる・考える・議論する〉 ための 技能を修得する	課題解決のための実践力を 修得する		

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II 情報活用演習 (教職)	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 英語Ⅲ	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	7	3	3
学科必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 日本文化入門 日本文学概説 I 日本語概説 I 日本近現代文学史 I 日本古典文学の基礎 I	人文科学入門Ⅱ ホスピタリティコミュニケーションⅠ 女性キャリア論Ⅱ 日本文学概説Ⅲ 日本語概説Ⅱ 日本近現代文学史Ⅱ 日本古典文学の基礎Ⅱ	キャリア戦略 I 国際文化論 日本古典文学史 I 日本語の語法 I	キャリア戦略Ⅱ 専門ゼミ入門 日本古典文学史Ⅱ 日本語の語法Ⅱ
科目数	7	7	4	4
科目・選択科目	書写・書道 I メディア論入門	書写・書道Ⅱ	日本古典文学講読 I 日本語表現法 I 漢文学の基礎 I 教職特別講座	日本古典文学講読Ⅱ 日本語表現法Ⅲ 漢文学の基礎Ⅲ 教職特別講座
科目数	2	1	4	4
教 職 科 目			教職入門 教育基礎論 教育方法学 生徒指導(進路指導を含む) 国語科教育法 I 介護体験実習	特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 教育心理学 国語科教育法Ⅱ
科目数			6	5
科目数計	15	15	17	16

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
コース 必修科目・	専門ゼミ I 日本語の歴史 I	専門ゼミⅡ 日本語の歴史Ⅱ	専門ゼミⅢ 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	2	2	2	2
修科目・選択と	日本古典文学特講 I 古典語の研究 I 日本語の音声 比較文学 I 日本近現代文学講読 I	日本古典文学特講Ⅱ 古典語の研究Ⅱ 比較文学Ⅲ 日本近現代文学講読Ⅲ	日本文学特講 I 日本語学特講 I	日本文学特講Ⅱ 日本語学特講Ⅱ
科目数	5	4	2	2
教職科目	道徳活動の指導法 国語科教育法Ⅲ	教育社会学 I 国語科教育法IV 総合的な学習の時間の指導法 教育相談 (中・高)教育実習		教職実践演習(中・高)
科目数	2	5	1	1
科目数計	10	12	6	5

	1	年	2年		
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 英語Ⅲ	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV	
科目数	6	6	3	3	
学科必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 日本文化入門 日本文学概説 I 日本語概説 I 日本近現代文学史 I 日本古典文学の基礎 I	人文科学入門Ⅱ ホスピタリティコミュニケーションⅠ 女性キャリア論Ⅱ 日本文学概説Ⅲ 日本語概説Ⅲ 日本証現代文学史Ⅲ 日本古典文学の基礎Ⅲ	キャリア戦略 I 日本古典文学史 I 日本語の語法 I 日本語の歴史 I 国際文化論	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本古典文学史 II 日本語の語法 II 日本語の歴史 II	
科目数	7	7	5	5	
選択科目目・		ベーシックコミュニケーションⅡ 学内フィールドワーク Ⅱ	日本近現代文学講読 I 比較文学 I 現代語の研究 I 日本語表現法 I 日本古典文学講読 I プレゼンテーション I	日本近現代文学講読Ⅱ 比較文学Ⅲ 現代語の研究Ⅲ 日本語表現法Ⅲ 日本古典文学講読Ⅲ 編集・ジャーナリズム論 ホスピタリティ産業論Ⅲ	
科目数		2	6	7	
科目数計	15	15	13	15	

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目・学科必修科目・	専門ゼミ I 日本語の歴史 I	専門ゼミⅡ 日本語の歴史Ⅱ	専門ゼミⅢ 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	2	2	2	2
選択科目 イス選択必修	日本近現代文学特講 I 文芸創作 I キャリア戦略Ⅲ プレゼンテーション Ⅱ 短期インターンシップ	日本近現代文学特講Ⅱ 文芸創作Ⅱ キャリア戦略Ⅳ	日本文学特講 I 日本語学特講 I	日本文学特講Ⅱ 日本語学特講Ⅱ
科目数	5	3	2	2
科目数計	8	6	5	5

文学科 歴史文化コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目 (A 類) 30 単位以上、専門教育科目 (B 類) 94 単位以上、計 124 単位以上です。
- ②歴史文化コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目(B類)					
必修科目 選択必修科目 選択科目 計					
51	16	27	94		

- ③歴史文化コースの専門教育科目 (B類) については、別表IV-14 の通り卒業必修欄に〇印の付いている科目 51 単位と選択必修科目 16 単位、そして別表IV-14 の選択科目及び別表IV-8、IV-11、IV-19、IV-22、IV-23 から 27 単位以上を履修してください(同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④中学校教諭一種免許状(社会)を取得しようとする者は、①に加えて、中一免(社会)欄に〇印の付いている科目を全部と、 \triangle 印の付いている科目のうち6単位を選択履修してください。併せて別表IV -15、16 に記載の通り履修してください。
- ⑤高等学校教諭一種免許状(地理歴史)を取得しようとする者は、①に加えて、高一免(地歴)欄に〇 印の付いている科目を全部と、 \triangle 印の付いている科目のうち4単位を選択履修してください。併せて 別表IV-17、18 に記載の通り履修してください。
- ⑥図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表 \mathbf{W} $-1 \sim 5$ (P.273 \sim P.277) により、履修してください (一部、卒業要件に算入できない科目があります)。
- ⑦単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot N$ と表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、 履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等の体験

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

歴史文化コース 専門教育科目 (B類) 別表IV-14 区 履修年次 業 エ 業 免 17 授 業 科 目 \mathcal{O} 備考 必 方 分 歴 春 秋 修 秋 春 春 秋 春 秋 法 位 欄 人文科学入門 I (RE科目) 2 人文科学入門Ⅱ(RE科目) 2 \bigcirc ホスピタリティコミュニケーションI 2 \bigcirc \bigcirc 女性キャリア論I 2 \bigcirc 科 女性キャリア論Ⅱ 2 キャリア戦略 I 2 必 キャリア戦略Ⅱ 専門ゼミ入門 (2年次秋) 演 1 修 専門ゼミ I (3年次ゼミ I) 演 1 専門ゼミⅡ (3年次ゼミⅡ) 演 \bigcirc 1 科 専門ゼミⅢ (4年次ゼミ I) 演 1 専門ゼミ**Ⅳ**(4年<u>次</u>ゼミⅡ) 演 \bigcirc 目 卒業研究 4 (小計) 23 23 学科必修科目(計23単位) 国際文化論 2 歴史文化入門 I コ 2 歴史文化入門 Ⅱ 日本史概説 I 2 日本史概説Ⅱ 0 2 0 \bigcirc 日本古代史 I 2 \bigcirc Δ □ 日本中世史 I 2 \triangle 必 □ 日本近世史 I 2 \bigcirc \bigcirc □ 日本近現代史 I 2 \bigcirc \triangle \bigcirc \bigcirc 修 □ 日本考古学 I 2 \bigcirc \bigcirc 民俗文化論 I 2 科 日本美術史 I 2 西洋史概説 2 \bigcirc 目 2 東洋史概説 28 コース必修科目(計28単位) (小計) 28 日本古代史Ⅱ 2 \triangle □ 日本中世史Ⅱ 2 \bigcirc \triangle \triangle 日本近世史Ⅱ 2 \triangle \triangle \bigcirc 2 □ |日本近現代史 || \triangle コ 2 日本考古学Ⅱ \triangle \bigcirc 民俗文化論Ⅱ 2 \bigcirc 日本美術史Ⅱ 2 \triangle 古文書学 I 2 ス 古文書学Ⅱ 2 日本史特講 I 2 選 日本史特講Ⅱ 2 択 日本考古学特講 2 民俗学特講 2 \bigcirc 必 芸術学特講 2 2 地理学 I \bigcirc \bigcirc 修 地理学Ⅱ 2 \bigcirc \bigcirc 地誌学 2 科 社会学入門 I 2 宗教学入門 倫理学入門 2 目 2 政治学入門 2 \bigcirc 経済学入門 2 \bigcirc (小計) 44 16 コース選択必修科目(計16単位) □ 日本文化入門 2 通年科目 文化財研究 I 2 文化財研究Ⅱ 2 ○ 通年科目 イギリスの歴史 2 アメリカの歴史 2 ス 2 日本文学概説 I 日本文学概説Ⅱ 選 \bigcirc 2 日本語概説 I 2 択 日本語概説Ⅱ 2 日本古典文学の基礎 I 演 1 科 日本古典文学の基礎Ⅱ 演 1 0 漢文学の基礎 I 演 1 目 漢文学の基礎Ⅱ 演

文章	学科	・ 歴史文化コース 専門教育科	目	(в#	額)											別表Ⅳ—14
区	チ		授	単		中	高			戸	lde	/T:	\/ 			
	エ		業		業	免	免			復	修	牛	伙			
	ツ、	授業科目	の		必	(社	_		1		2	:	3		4	備考
分	ク 欄		方法	位		社会	地歴		秋		_		秋	_		1
		日本古典文学史 I	14	2	113			н	- 1/3	0	100	н	100	н	- 1/ (
		日本古典文学史Ⅱ 日本古典文学史Ⅱ		2							0					
		日本近現代文学史 I		2				0								-
		日本近現代文学史Ⅱ		2					0							-
		日本語の歴史Ⅰ		2						0						-
		日本語の歴史Ⅱ		2							0					-
		書学入門		2				0								
		日本書道史概説		2							0					-
		図書館概論		2				0								
		図書館情報資源概論		2					0							
		メディア論入門		2				\cap								
		生涯学習概論		2						0						
		博物館概論								0						-
		博物館経営論		2												-
		博物館資料論									0					
		博物館資料保存論		2							0					-
コ				2								0				
		博物館展示論		2									0			-
]		博物館情報・メディア論		2								0				
		博物館教育論	-	2									0			
ス		博物館実習	実	3								0	0			
		キャリア戦略III		2								0				
選		キャリア戦略IV		2									0			
		ベーシックコミュニケーションⅡ		2					0							
択		プレゼンテーション I		2						0						
		プレゼンテーションⅡ		2												
科		ビジネスコミュニケーションI		2						0						
		ビジネスコミュニケーションⅡ		2							\circ					
目		ビジネスコミュニケーションⅢ		2								0				
		ホスピタリティ英語Ⅰ		2					0							
		ホスピタリティ英語Ⅱ	1	2						0					-	-
		ホスピタリティ英語Ⅲ		2							\circ					
		ホスピタリティ英語IV	1	2	-		-				-	0				-
		グローバルコミュニケーションI	-	2					0							
		グローバルコミュニケーションⅡ	1	2						0						-
	1	グローバルコミュニケーションⅢ	1	2							0					
		グローバルコミュニケーションIV	1	2								0				
		学内フィールドワークⅠ	1	2				0								
		学内フィールドワークⅡ	1	2					0							
		学内フィールドワークⅢ	1	2						0						
		短期インターンシップ	1	2						0	0	0	0			(1~3週まで/1単位~3単位)
		長期インターンシップ	1	20						0	0	0	0		L	(4週~20週/4単位~20単位)
		短期留学	1	12						0	0	0	0	0	0	(1~12週まで/1単位~12単位)
		長期留学	1	20						\circ	\circ	\circ	0	0	\circ	(13週~/13単位~20単位)

 合計
 250 94

 【授業の方法】
 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

□ 特別講義 I ~ X X

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。 ●印は教職課程履修者の推奨履修年次を示す。

155 27

各2単位

コース選択科目(計27単位)

 $_{1}$ 中一免 (社会) 取得希望者は中一免 (社会) 欄の $_{1}$ の科目のうち $_{2}$ 単位を選択履修すること。

教職課程履修について [中学校教諭一種免許状 社会]

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免 許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件 を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅳ—15

チェ		授業))/	要履				履修	年次				
ツカ	授 業 科 目	0)	単位	な修科が		1	4	2	9		4	1	備考
欄		方法	1	目必	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2	0									春学期または秋学期に開講
	英語 I	演	1	0	0								
	英語Ⅱ	演	1	0		0							
	スポーツと健康 Ι	講、実	1	0	0								
	スポーツと健康 Ⅱ	講、実	1	0		0							
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0								
	情報活用演習(教職)	演	1	0		0							

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

歴史文化コースの専門教育科目(B類)に記載の中一免(社会)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表Ⅳ—16

チェ		授業	単	中				履修	年次				7,1,2(1, 10
ツク	授 業 科 目	0)	単位	免		1	4	2	,	3	4	1	備考
欄		方法	1-1/-	76	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	教職入門		2	0			\circ						
	教育基礎論		2	\circ			\circ						
	教育心理学		2	\triangle				\circ					△はいずれか1科目必修
	発達心理学		2	\triangle					\circ				□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
	特別支援教育総論		2	\circ				\circ					
	教育社会学 I		2	\circ						\circ			
	教育課程論		2	\circ				\circ					
	社会科·地歷科教育法 I	演	2	\circ			\circ						
	社会科•地歴科教育法Ⅱ	演	2	\circ				\circ					
	社会科·公民科教育法 I	演	2	0					\circ				
	社会科·公民科教育法Ⅱ	演	2	0						0			
	道徳教育の指導法		2	0					\circ				
	総合的な学習の時間の指導法		2	0					•	•			
	特別活動の指導法		2	0				0					
	教育方法学		2	0			0						
	生徒指導(進路指導を含む)		2	0			0						
	教育相談		2	0			0						
	教職実践演習(中•高)	演	2	0								0	
	中学校教育実習	実	5	0						0			
	介護体験実習	実	1	0			0						
	計		42	40									

- [注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 2. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 - 3. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、 教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等体験を行うことが必要です。

教職課程履修について [高等学校教諭一種免許状 地歴]

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員 免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅳ-17

チェ		七授	224	要履				履修	年次				7,1,2(1)
ツク	授 業 科 目	ガ業	単 位	な修科が		1	4	2	9	3	4	1	備考
欄		¹¹¹ の	مائدا	目必	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2	0									春学期または秋学期に開講
	英語 I	演	1	0	0								
	英語Ⅱ	演	1	0		0							
	スポーツと健康 I	講、実	1	0	0								
	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	0		0							
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0								
	情報活用演習(教職)	演	1	0		0							

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

歴史文化コースの専門教育科目(B類)に記載の高一免(地歴)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表Ⅳ—18

チェ		授業	22.6	<u></u> .				履修	年次				
ツ	授 業 科 目	0)	単位	高免		1	4	2		3	4	1	備考
ク 欄		方法	11/.	允	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	教職入門		2	0			0						
	教育基礎論		2	0			0						
	教育心理学		2	Δ				0					△はいずれか1科目必修
	発達心理学		2	\triangle					\circ				
	特別支援教育総論		2	\circ				\circ					
	教育社会学 I		2	0						\circ			
	教育課程論		2	0				\circ					
	社会科·地歷科教育法 I	演	2	0			\circ						
	社会科•地歴科教育法Ⅱ	演	2	0				\circ					
	総合的な学習の時間の指導法		2	0									
	特別活動の指導法		2	0				\circ					
	教育方法学		2	0			\circ						
	生徒指導(進路指導を含む)		2	0			\circ						
	教育相談		2	0				\circ					
	教職実践演習(中・高)	演	2	0								0	
	高等学校教育実習	実	3	0						\circ			
	1 京笠学校教会 - 孫名弥出な取得する		33	31									

- [注] 1. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 2. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 - 3. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

カリキュラムマップ 女学科 歴史文化コース 文学部 聖徳大学 令和2年度

(学期							
4年次秋学期	実践力を養おう	教職実践演習	專門 之 IN 文化 B B B B B B B B B B B B B B B B B B			聖徳教育Ⅰ	4年次 課題解決のための実践力を 修得する
4年次春学期	実践力		專門 之 Ⅲ 文化財 研究 Ⅲ 文化財 研究 Ⅲ 本業 研究 本業 研究			聖徳教育Ⅰ	4. 課題解決のた
3年次秋学期	・創作力を養おう	教育社会学 I 総合的な学習の時間の指導法社会科・公民科教育法 I (中・高)教育実習 博物館展示論 博物館教育論	專門化≒Ⅱ 文化對研究Ⅰ 古文書学Ⅱ 日本史特講Ⅱ 日本告古学特講 民俗学特講 民俗学特講	キャリア戦略N		聖徳教育 I 聖徳教育 I	3年次 (調べる・考える・議論する) ための 技能を修得する
3年次春学期	考える力・創	道德教育の指導法 生徒指導 教育相談 教育方法学 社会科·公民科教育法工 情物館資料保存論 博物館情報·好 (7篇)	專門仗[[]] 文化財研究] 古文書学] 日本文書学] 芸術学特講	キャリア戦略エ ブレゼンテーションエ ホスピタリティ英語IV 短期インターンシップ		聖徳教育 I 聖徳教育 II	34 <調べる・考える 技能を4
2年次秋学期	身につけよう	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 社会科·地歷科教育法工 教職特別講座 博物館経営論 博物館資料論	專門ゼ≡入門 日本中世史工 日本考古学工 民俗文化論工 民格文化論工 東本英屬改工 地理等工 地理学工	キャリア戦略エホスピタリティ英語エ	英語V数養科目	聖徳教育 I 聖徳教育 II	2年次 専門分野の基礎を理解する
2年次春学期	専門的知識を身	教職入門 教育基礎論 社会科·地歷科教育法 [介護体験実習 教職特別講座 生涯学習論 博物館概論	日本中世史 I 日本活現代史 I 日本考古学 I 民俗文化論 I 日本美術 反 I 日本 主義	キャリア戦略 I ブレゼンテーション I ホスピタリティ英語 II	国際文化論 英語皿 外国語教養科目	聖徳教育 I 聖徳教育 I SETOKU Academic Literacy II 小笠原流礼法基礎講座	24
1年次秋学期	を開こう	日本国憲法 情報活用演習(教職)	歴史文化入門工 日本史機説 II 日本古代史 II 日本近世史 II 宗教学入門	女性キャリア論エ 実文化 コミュニケーション ホスピタリティ コミュニケーション I ベーシック コミュニケーション I ホスピタリティ英語 I ギスピタリティ英語 I 学体フィールドワーク I	人文科学入門 I (RE科目) コンピュータ コミュニケーション I 英語 I 外国語	聖徳教育 I 聖徳教育 I SETOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II	1年次学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する
1年次春学期	学びの扉を開		歷史文化入門 1 日本安概説 1 日本古代史 1 日本近世史 1 社会学入門 1	女性キャリア舗 I ペーシック コミュニケーション I メディア舗入門 学内フィールドワーク I	人文科学入門 I (RE科目) コンピュータ コミュニケーション I 英語 I 情報活用演習(基礎)	聖徳教育 I 聖徳教育 II SETOKU Academic Literacy I スポーツと健康 I	1 学修の基礎
		専門的職業人 教員 としての 資賃・能力を 身につける 学芸員	日本の歴史と文化を理解する	社会人として 必要な 能力を身につ ける 企業 就職	学びの基礎を身につける	人間性を高める	教育目標

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性

					XIV. N.					の口を			71 F141			
Outcomes)	学位授与の方針に掲げる学権成果				文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び	領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる				グローバル社会を生きるための英語コミュニケーションカをも有した総合的な人間力を	身につけ、実践できる		伝統の本物教育により女性と しての心豊かな教養を養い、 日本社会の気品の様節として の礼法を身につけ、実践できる)		
学びで得られる成果 (Learning C	> 実践力を養おう	4年次	実習における課題を振り返り、自己の課題を 発見することができる	(成績評価・GPA)			自己の課題探求の成果を、論文としてまと め、わかりやすく伝えることができる	(論文・成績評価・GPA)					身につけた「気品」と「礼節」をいかなる場合にも、自由に応用できる	(成績評価・GPA)	4年次	課題解決のための実践力を 修得する
歴史文化コース 学びで得	考える力・創作力 を身につけよう	3年次	中学・高校の社会科教員として必要な知識・ 技術を身につけ、それを実習の場で活用する ことができる	(レポート・成績評価・GPA・実習評価)	専門的な知識・技能を身につけ、博物館・美 術館における実習で活用することができる	(実習評価・成績評価・GPA)	調査・研究の技能を身につけ、資料を読解し、 自己の課題を深く探求することができる	(発表・レポート・成績評価・GPA)	課題に対する解答を論理的に導き出し、わか りやすく伝えることができる	(レポート・校績評価・GPA)			身につけた「礼節」を応用し、実践できる。 教養をさらに深め、それをさまさまな分野に 応用できる	(成績評価・GPA)	3年次	〈調べる・考える・講論する〉 ための 技能を修得する
聖徳大学 文学部 文学科	専門的知識を身につけよう	2年次	中学・高校の教員として必要な基礎的知識・ 技能が身についている	(しポート・収績評価・GPA)	博物館・美術館に関する基礎的な知識・技能 が身についている	(フポート・改織評価・GPA)	日本史学・考古学・民俗学・美術史学の専門 的知識を身につけ、自己の問題意識を発展さ せることができる	(フポート・収機関(面・GPA)	自己のキャリアビジョンを設定し、そのため に必要な知識・技能について理解している	(レポート・対義評価・GPA)	教養を深め、高めるために必要な知識を身に OI(、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現 できる	(発表・レポート・成績評価・GPA)	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日本女性の模範としての「気品」とは何かを理解できる	(成績評価・GPA)	2年次	専門分野の基礎を理解する
令和2年度	学びの扉を開こう	1年次	教員として必要な基礎的知識が身についている る	(成績評価・GPA)			日本史学・考古学・民俗学・美術史学の基礎的な知識・技能が身についている	(フポート・改績評価・GPA)	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な 知識・技能が身についている	(レポート・放績評価・GPA)	大学生と して必要な教養を養うための学びの 基礎を身につける	(フポート・収績評価・GPA)	建学の精神である「和」を理解し、「礼節」 をもって行動できる	(アチーブメントテスト・成績評価)	1年次	学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する
			松	141	学 #K				要な能力を身 「る		語をサープの		章 8 8			3件票
			重 Block 開業人	としての 資質・能力を	身につける		日本の歴史と文化を理解する		社会人として必要な能力を身につける		学びの基礎を 身につける		人間性を高める			教育目標

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II 中国語 I 中国語 I マポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 英語Ⅲ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	9	5	3
コース選択必修科目学科必修・コース必修・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 歴史文化入門 I 日本史概説 I 日本古代史 I 日本近世史 I 社会学入門 I	人文科学入門Ⅱ ホスピタリティコミュニケーションI 女性キャリア論Ⅲ 歴史文化入門Ⅲ 日本史概説Ⅲ 日本古代史Ⅲ 日本近世史Ⅲ 宗教学入門	キャリア戦略 I 国際文化論 日本中世史 I 日本近現代史 I 日本考古学 I 日本美術史 I 民俗文化論 I	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本考古学 II 日本美術史 II 民俗文化論 II
科目数	7	8	7	5
選択科目			教職特別講座	教職特別講座
科目数	0	0	1	1
教職科目			教職入門 教育基礎論 社会科・地歴科教育法 I 介護体験実習	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 社会科・地歴科教育法Ⅱ
科目数	0	0	4	5
科目数計	13	17	17	14

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数	0	0	0	0
コース選択必修科目学科必修・コース必修・	専門ゼミ I 古文書学 I 西洋史概説 地理学 I 倫理学入門 政治学入門	専門ゼミⅡ 古文書学Ⅲ 東洋史概説 地理学Ⅲ 地誌学 経済学入門	専門ゼミⅢ 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	6	6	2	2
選択科目			文化財研究Ⅱ(通年)	文化財研究Ⅱ(通年)
科目数	0	0	1	1
教職科目	社会科・公民科教育法 I 道徳活動の指導法 生徒指導(進路指導を含む) 教育相談 教育方法学	社会科・公民科教育法 II 教育社会学 I 総合的な学習の時間の指導法 (中・高)教育実習		教職実践演習(中・高)
科目数	5	4	0	1
科目数計	11	10	3	4

	1 4	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
	· ·	SEITOKU Academic Literacy II		4
全	ベーシックコミュニケーションI	日本国憲法	教養科目	教養科目
全学共通	コンピュータ・コミュニケーション I	コンピュータ・コミュニケーションⅡ	英語Ⅲ	英語IV
共	英語 I	異文化コミュニケーション		
迪	スポーツと健康I	英語Ⅱ		
科目	情報活用演習(基礎)	スポーツと健康Ⅱ		
科目数	6	6	3	3
	人文科学入門 I		キャリア戦略 I	。 キャリア戦略 II
学 コ科	女性キャリア論I	ホスピタリティコミュニケーションI	国際文化論	専門ゼミ入門
一一一	歴史文化入門 I	女性キャリア論Ⅱ	日本中世史I	日本中世史Ⅱ
ス修	日本史概説I	歴史文化入門Ⅱ	日本近現代史I	日本近現代史Ⅱ
選・	日本古代史I	日本史概説Ⅱ	日本考古学 I	日本考古学Ⅱ
択コールー	日本近世史 I	1. 1. 2	日本美術史 I	日本美術史Ⅱ
必っ			民俗文化論 I	民俗文化論Ⅱ
科必				
目修				
科目数	6	5	6	6
選っ	学内フィールドワークⅠ	学内フィールドワーク Ⅱ	ホスピタリティ英語Ⅱ	ホスピタリティ英語Ⅲ
ファード ファード	メディア論入門	ベーシックコミュニケーションⅡ	プレゼンテーションI	
科ス		ホスピタリティ英語 I	情報資源概論	
目へ				
科目数	2	3	3	1
科目数計	14	14	12	10
11 11 30 11	11	11	12	10
	3 4	-		年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全 学	英語V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
共				
通				
科				
科目数	1	1	1	1
	l 専門ゼミ I	 専門ゼミⅡ	l 専門ゼミⅢ	l 専門ゼミⅣ
学习科	日本史特講I	日本考古学特講	卒業研究	卒業研究
コ科	芸術学特講	民俗学特講	一 不明儿	一一 不明儿
ス修	西洋史概説	東洋史概説		
選・	政治学入門	経済学入門		
択コット	2010 1 / 41 1	/III/1 4 / *1 4		
必一修ス				
科必				
目修				
科目数	5	5	2	2
288	キャリア戦略Ⅲ	キャリア戦略IV		
選 択 l	ホスピタリティ英語Ⅳ			
N A A A A A A A A A	プレゼンテーションⅡ			
目	短期インターンシップ			
		i	i l	I
ショル	4	4	0	0
科目数計	4 10	1 7	0	0 3

文学科 書道文化コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目 (A 類) 30 単位以上、専門教育科目 (B 類) 94 単位以上、計 124 単位以上です。
- ②書道文化コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

	専門教育科目	(B類)	
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
49	8	37	94

- ③書道文化コースの専門教育科目 (B類) については、別表IV-19 の通り卒業必修欄に〇印の付いている科目 49 単位と選択必修科目 8 単位、そしてIV-19 の選択科目及び別表IV-8、IV-11、IV-14、IV-22、IV-23 から 37 単位以上を履修してください(同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④高等学校教諭一種免許状(書道)を取得しようとする者は、①に加えて、高一免(書道)欄に〇印の付いている科目を全部と、 \triangle 印の付いている科目のうち 6 単位を選択履修してください。併せて別表 IV-20、21 に記載の通り履修してください。
- ⑤図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表 $\mathbf{w} 1 \sim 5$ (P.273 \sim P.277) により、履修してください (一部、卒業要件に算入できない科目があります)。
- ⑥単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot N$ と表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、 履修漏れの防止に努めてください。

書道文化コース 専門教育科目 (B類) 別表IV-19 授 単 卒 履修年次 業 業 免 v 授 業 科 目 0) 備考 2 3 4 必 方 分 春 欄 法 位 修 春 秋 秋 春 秋 春 秋 人文科学入門 I (RE科目) 2 人文科学入門Ⅱ(RE科目) 2 学 ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 I2 2 科 女性キャリア論Ⅱ 2 キャリア戦略I 2 \bigcirc \bigcirc 必 キャリア戦略Ⅱ 2 専門ゼミ入門(2年次秋) \bigcirc 演 1 修 専門ゼミ I (3年次ゼミ I 演 1 専門ゼミⅡ (3年次ゼミⅡ) 演 1 \bigcirc \bigcirc 科 専門ゼミⅢ (4年次ゼミ I) 演 1 専門ゼミⅣ (4年次ゼミⅡ) 演 1 \bigcirc 目 卒業研究 4 学科必修科目(計23単位) (小計) 23 23 国際文化論 書学入門 2 2 日本書道史概説 楷書の技法(A) 演 1 0 楷書の技法 (A) \prod 演 1 楷書の技法 (B) 演 \bigcirc \bigcirc T 1 楷書の技法(B) Π 演 1 \bigcirc \bigcirc |行書の技法 I 演 1 行書の技法Ⅱ 演 1 \bigcirc |草書の技法 I 演 1 \bigcirc \bigcirc \bigcirc □ 草書の技法Ⅱ 演 1 必 □ | 隷書の技法 \bigcirc \bigcirc 演 1 \bigcirc □ 篆書の技法 演 1 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 修 かなの技法 I 演 1 かなの技法Ⅱ 演 1 \bigcirc 科 篆刻の技法 I 演 1 篆刻の技法Ⅱ 演 目 □ 中国書道史概説 2 書論・鑑賞 \bigcirc 2 漢文学の基礎 I \bigcirc 演 1 □ 漢文学の基礎 II 演 1 (小計) 26 26 コース必修科目(計26単位) □ | 漢字作品制作法 I 2 □ |漢字作品制作法 || 2 \bigcirc 2 |かな作品制作法 I 2 かな作品制作法Ⅱ 選 古文書学 I 2 択 古文書学Ⅱ 2 漢字かな交じり書法 必 1 修 実用書道 演 (小計) 8 コース選択必修科目(計8単位) 14 2 日本文化入門 日本文学概説 I 2 日本文学概説Ⅱ 2 日本語概説 I 2 コ 日本語概説Ⅱ 2 \bigcirc 2 日本古典文学史 I 2 日本古典文学史Ⅱ \bigcirc \bigcirc 日本近現代文学史 I 2 日本近現代文学史Ⅱ 2 \bigcirc 2 選 日本語の語法 I 2 日本語の語法Ⅱ 択 2 日本語の歴史 I 2 日本語の歴史Ⅱ 科 日本古典文学の基礎 I 演 1 日本古典文学の基礎Ⅱ 演 1 目 日本語表現法 I 1 \bigcirc 演 日本語表現法Ⅱ 演 1 日本古典文学講読 I 2 日本古典文学講読Ⅱ

文章	学科	・ 書道文化コース 専門教育科	目 ((B紫	頁)										別表IV—19
区	チ		授	単	卒	高一			層	修	年	₩			
	エ	155 기사 4V 17	業		業	免			/f发	115	+	1/			/+ts -tz.
	ツ	授 業 科 目	のナ		必	(書		1	6	2		3	4	4	備考
分	横		方法	位	修	道)	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
		書写・書道Ⅰ	演	1	19	0		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	H	ν.	Н	<i>D</i> (-	- V	
		書写・書道Ⅱ	演	1		\circ		0							
		日本語の音声	123	2							0				
		漢文講読I		2					0						
		漢文講読Ⅱ		2						0	Ŭ				
		日本史概説 I		2			0								
		日本史概説Ⅱ		2				0							
		日本古代史 I		2			\circ								
		日本古代史Ⅱ		2				0							
		日本中世史 I		2					\circ						
		日本中世史Ⅱ		2						0					
		日本近世史I		2			0								
		日本近世史Ⅱ		2				\circ							
		日本近現代史 I		2					\circ						
		日本近現代史Ⅱ		2						0					
コ		東洋史概説		2						0					
		図書館概論		2			\circ								
ì		図書館情報資源概論		2				0							
<u>'</u>		日本語教育の概要I		2					\circ						
ス		日本語教育の概要Ⅱ		2						0					
		日本語教授法I		2											
選	Ш	日本語教授法Ⅱ	Northe	2						0					
	Н	日本語教育教材研究I	演	1											
択	H	日本語教育教材研究Ⅱ	演	1						0					
	Н	日本語教育演習 I	演	1											
科	H	日本語教育演習Ⅱ	演	1								0			
	H	日本事情Ⅰ		2							0				
目		日本事情Ⅱ 壹鈺学概シ I	-	2					0			0			
	H	言語学概論 I 言語学概論 II	-	2					\cup						
	H	三冊子慨論Ⅱ キャリア戦略Ⅲ	-	2						0	0	-	-	-	1
		キャリア戦略IV	1	2								0			
		ベーシックコミュニケーションⅡ	1	2				0							
		ビジネスコミュニケーションI	1	2					0						
		ビジネスコミュニケーション I	1	2						0					
		ビジネスコミュニケーション Ⅲ		2							0				
		学内フィールドワーク I		2			0	0	0	0	0	0			
		学内フィールドワーク I		2			0	Ö	0	0	0	0			
		学内フィールドワークⅢ		2			Ö	Ö	0	Ö	Ö	Ö			
		短期インターンシップ		2					Ö	Ö	Ŏ	Ö			(1~3週まで/1単位~3単位)
		長期インターンシップ		20					0	0	Ö	Ö			(4週~20週/4単位~20単位)
		短期留学		12					Ö	Ö	Ö	Ö	0	0	(1~12週まで/1単位~12単位)
		長期留学		20					Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	(13週~/13単位~20単位)
		特別講義 I ~X X							_	Ť	Ĺ				各2単位
		(小計)		160	37	10					İ				コース選択科目(計37単位)
		· ·	_			_				1	1				T

合計22394【授業の方法】演: 演習、実: 実験・実習、無印: 講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。 ●印は教職課程履修者の推奨履修年次を示す。

教職課程履修について [高等学校教諭一種免許状 書道]

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免 許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅳ—20

チェ		授業		要履				履修	年次				73 7 25 2 1
ツ	授 業 科 目	0)	単 位	な修科が]	1	2	2	9		2	1	備考
ク 欄		方法	1	目必	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2	0	•	•							春学期または秋学期に開講
	英語 I	演	1	0	0								
	英語Ⅱ	演	1	0		0							
	スポーツと健康 I	講、実	1	0	0								
	スポーツと健康 Ⅱ	講、実	1	0		0							
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0								
	情報活用演習(教職)	演	1	0		0							

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

書道文化コースの専門教育科目(B類)に記載の高一免(書道)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表IV-21

チェ		授業	114	-				履修	年次				7,1,5(1)
ッ	授 業 科 目	0)	単 位	高免		1	2	2	Ç	3	4	1	備考
ク 欄		方法	1	76	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	教職入門		2	0			0						
	教育基礎論		2	0			\circ						
	教育心理学		2	\triangle				\circ					△はいずれか1科目必修
	発達心理学		2	\triangle					\circ				△ (
	特別支援教育総論		2	\circ				\circ					
	教育社会学 I		2	\circ						\circ			
	教育課程論		2	0				\circ					
	書道科教育法 I	演	2	\circ					\circ				
	書道科教育法Ⅱ	演	2	\circ						\circ			
	総合的な学習の時間の指導法		2	\circ									
	特別活動の指導法		2	0				\circ					
	教育方法学		2	\circ			\circ						
	生徒指導(進路指導を含む)		2	\circ			\circ						
	教育相談		2	0				\bigcirc					
	教職実践演習(中・高)	演	2	0								0	
	高等学校教育実習	実	3	0						0			
	計		33	31									

- [注] 1. 高学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 2. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 - 3. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性

書道文化コース カリキュラムマップ 女学科 文学部 聖徳大学 令和2年度

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
	他公 章	学びの扉を開こう	專門的知識有	専門的知識を身につけよう	考える力・倉	考える力・創作力を養おう	実践7	実践力を養おう
専門的職業人 としての 資質・能力 を身につける	知 知	日本国憲法 書写・書道工 情報活用演習(教職)	教職入門 教育方法学 教育方法学 教職特別講座	教育心理学教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 特別支援教育総論 教職特別講座	生活指導書道科教育法 [教育社会学 [書道科教育法工 總合的及学習の時間の指導法 (高校)教育実習		教職実践演習
	書学入門日本文学概説Ⅰ	日本文学概説工	中国書道史概説 日本近現代文学史 I	専門ゼミ入門 日本書道史概説 日本近現代文学史Ⅱ	専門ゼミ I 日本古典文学史 I	専門ゼニエ 書論・鑑賞 日本古典文学史II	専門ゼミⅢ 卒業制作 日本語の歴史 I	専門ゼミW 卒業制作 日本語の歴史II
理論と技法を学ぶを学ぶ		日本古典文学の基礎 II 漢文学の基礎 II 楷書の技法(A) II	日本語概説 I 楷書の技法(B) I 作書の技法 I	日本語概説 I 東洋史概説 楷書の技法(B) I	漢文講読1 古文書学 1 漢字作品制作法 1 草書の技法 1	漢文講読』 古文書学』 漢字作品制作法』 草書の技法』	漢字かな交じの書法	美田書 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
女 英				素書の投流 かなの技法 II	かな作品制作法 I 篆刻の技法 I	かな作品制作法工篆刻の技法工		
社会人としてが要な、必要な、またのに、	女性キャリア論 I ベーシック コミュニケーション I	女性キャリア論 II 解文化 コミュニケーション ホスピタリティ コミュニケーション I	キャリア戦略1	キャリア戦略エ	キャリア戦略	キャリア戦略IV		
4 Vo ブ グ 研究 無誤	メディア舗入門	バーシック コミュニケーションエ ホスパタリティ 英語 I 学场フィールドワークエ	プレゼンテーションI ホスピタリティ英語II	ホスピタリティ英語皿	プレゼンテーションII ホスピタリティ英語IV 短期インターンシップ			
学びの基礎を 身につける	A文科学入門 (RE科目) (RE科目) コンピュータ コミュニケーション [英語] 横語 I 情報活用演習 (基礎)	A文科学入門 (RE科目) (RE科目) コンピュータ コミュニケーション 英語 I 外国語 外国語	国際文化論 英語瓜外国語 外国語 教養科目	英語IV 教養科目				
人間性を高める	聖徳教育 I 聖徳教育 I SETOKU Academic Literacy I スポーツと健康 I	聖徳教育 I 聖徳教育 II I SETTOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II	聖徳教育I 聖徳教育II SETOKU Academic Literacy II 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育工	聖徳教育 I 聖徳教育 I	聖徳教育工聖徳教育工	聖徳教育 [聖徳教育 [
教育目標	学修の基礎	1年次 学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確率する	2:	2年次 専門分野の基礎を理解する	3: (調べる・考える 技能を	3年次 (調べる・考える・創作する〉 ための 技能を修得する	,	4年次 課題解決のための実践力を 修得する

書道文化コース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes) 女学部 女学科 令和2年度

卒業認定・学位授与の方針に 掲げる学修成果		文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び各領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる	グローバル社会を生きるため の英語コミュニケーションカ をも有した総合的な人間力を 身につけ、実践できる		伝統の本物教育により女性と しての心豊かな教養を養い、 日本社会の気品の模範として の礼法を身につけ、実践でき る		
実践力を養おう	実習における課題を振り返り、自己の課題を発見することができる (実習評価・成績評価・GPA)	書学と技法を身につけ、作品制作に結びつけることができる (レポート・成績評価・GPA) 書作品及び実用書道の書法を理解し、日常に応用できるようになる			身についた「気品」と「礼節」をいかなる場合にも、自由に応用できる (成績評価・GPA)	4年次 課題解決のための実践力を 修得する	
考える力・創作力を養 おう 3年次	高校の国語教員として必要な知識・技術を 身につけて、それを教科の指導に応用できる (レポート・GPA・課題提出)	書学と技法を身につけ、多角的な視点で作品を鑑賞・解説できる (レポート・成績評価・GPA) 楷・行・草・隷・篆・かなに加え、篆刻の特徴と技法をも理解し、漢字・かな・饗刻の作品制作法を与理解し、漢字・かな・篆刻の作品制作法を身につけることができる(GPA・課題提出)	社会人として必要な論理的思考力を身に つけ、それを表出する能力が養われる (成績評価・GPA・課題提出)		身についた「礼節」を実践できる 教養をさらに深め、それをさまざまな 分野に応用できる (成績評価・GPA)	3年次 〈調へる・考える・創作する〉ための 技能を修得する	
車門的知識を 身につけよう 2年※	高校の教員として必要な基礎的知識・技術 が身についている (フボート・課題評価・GPA	書道史を理解し、古典文学や漢文と書道との 関わりを理解することができる (レポート・政績評価・GPA) 楷・行・隷・篆の四書体及びかなの特徴と 技法を理解し、書くことができる (GPA・課題提出)	社会人として必要な教養と国際性を身に つけ、その成果を発信できる (成績評価・GPA・課題提出) 教養を深め、高めるために必要な知識を身 にづけ、学際的洞察力を踏まえて応用し、	表現できる (成績評価・GPA・課題提出)	「礼節」の基本を身につけ、実践できる日本女性の境範としての「気品」とは何かを理解できる (政績評価・GPA)	2年次 専門分野の基礎を理解する	
学びの扉を開こう14次	教員として必要な基礎的知識が身についている る (政績評価・GPA)	書道の基礎知識及び題材に使用する漢文の基礎知識を理解し習得する (レポート・成績評価・GPA) 楷書の技法を理解できる	社会人として必要な教養とコミュニケーション能力が身につく (攻縛評価・GPA・課題提出) 大学生として必要な教養を養うための学び	の金融であっている (成績評価・GPA・課題提出)	建学の精神である「和」を理し、「礼節」をもって行動できる (アチーブメントテスト・成績評価)	1年次学修の基礎を身につける	学修への姿勢を確率する
	専PB的職業人 といての 資質・能力を 身につける	田鵬仁技法を学び	社会人として必要な能力を争につける		人間性を高める	教育目標	

文学科 書道文化コース 教員免許取得履修モデル 高等学校教諭一種免許状 (書道)を取得する場合

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II 中国語 II 中国語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 英語Ⅲ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	9	5	3
学科必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 書学入門 楷書の技法 (A) I 漢文学の基礎 I	人文科学入門Ⅱ ホスピタリティコミュニケーションⅠ 女性キャリア論Ⅱ 楷書の技法(A)Ⅲ 漢文学の基礎Ⅱ	キャリア戦略 I 国際文化論 楷書の技法 (B) I 行書の技法 I 隷書の技法 かなの技法 I 中国書道史概説	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本書道史概説 楷書の技法 (B) II 行書の技法 II 篆書の技法 かなの技法 II
科目数	5	5	7	7
選択必修科目数				
選択科目	書写・書道 I 日本文学概説 I	書写・書道Ⅱ 日本文学概説Ⅱ	教職特別講座	教職特別講座
科目数	2	2	1	1
教職科目			教職入門 教育基礎論 教育方法学	特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 教育心理学
科目数			3	5
科目数計	13	16	16	16

	3	年	4	年
		秋学期		秋学期
全学共通科目	F 722		F 722	
科目数			F	
コース必修科目・	専門ゼミ I 草書の技法 I 篆刻の技法 I	専門ゼミⅡ 草書の技法Ⅲ 篆刻の技法Ⅲ 書論・鑑賞	専門ゼミⅢ 卒業研究	専門ゼミW 卒業研究
科目数	3	4	2	2
選択必修	漢字作品制作法 I かな作品制作法 I	漢字作品制作法Ⅱ かな作品制作法Ⅱ	漢字かな交じり書法	実用書道
科目数	2	2	1	1
選択科目	日本古典文学の基礎 I 日本語概説 I 日本古典文学史 I 日本近現代文学史 I 漢文講読 I	日本古典文学の基礎Ⅱ 日本語概説Ⅱ 日本古典文学史Ⅱ 日本近現代文学史Ⅲ 漢文講読Ⅲ 東洋史概説	日本語の歴史 I	日本語の歴史Ⅱ
科目数	5	6	1	1
教職科目	書道科教育法 I 生徒指導(進路指導を含む)	教育社会学 I 書道科教育法 II 総合的な学習の時間の指導法 高等学校教育実習		教職実践演習(中・高)
科目数	2	4		1
科目数計	12	16	4	5

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II 中国語 I 中国語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語III 中国語III 中国語IV	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	9	5	3
コース必修科目・学科必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 書学入門 楷書の技法 (A) I 漢文学の基礎 I	人文科学入門Ⅱ ホスピタリティコミュニケーションⅠ 女性キャリア論Ⅱ 楷書の技法(A)Ⅲ 漢文学の基礎Ⅱ	キャリア戦略 I 国際文化論 楷書の技法 (B) I 行書の技法 I 隷書の技法 かなの技法 I 中国書道史概説	キャリア戦略Ⅱ 専門ゼミ入門 日本書道史概説 楷書の技法(B)Ⅲ 行書の技法Ⅱ 篆書の技法 かなの技法Ⅱ
科目数	5	5	7	7
選択必修				
科目数				
選択科目	書写・書道 I 日本文学概説 I 日本文化入門 学内フィールドワーク I	書写・書道Ⅱ 学内フィールドワークⅡ	日本古典文学購読 I 日本近現代文学史 I 漢文購読 I	日本古典文学購読Ⅱ 日本近現代文学史Ⅱ 漢文購読Ⅱ 東洋史概説
科目数	4	2	3	4
教 職 科 目				
科目数	1.5	1.0	15	1.4
科目数計	15	16	15	14

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
コース 必修科目・	専門ゼミ I 草書の技法 I 篆刻の技法 I	専門ゼミⅡ 草書の技法Ⅲ 篆刻の技法Ⅲ 書論・鑑賞	専門ゼミ Ⅲ 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	3	4	2	2
選択必修	漢字作品制作法 I かな作品制作法 I	漢字作品制作法Ⅱ かな作品制作法Ⅱ	漢字かな交じり書法	実用書道
科目数	2	2	1	1
選択科目	日本古典文学史 I 日本語教育の概要 I 古文書学 I キャリア戦略Ⅲ 短期インターンシップ	日本古典文学史Ⅱ 日本語教育の概要Ⅲ 古文書学Ⅲ キャリア戦略Ⅳ	日本事情 I	日本事情Ⅱ
科目数	5	4	1	1
教 職 科 目				
科目数				
科目数計	10	10	4	4

文学科 図書館情報コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目 (A 類) 30 単位以上、専門教育科目 (B 類) 94 単位以上、計 124 単位以上です。
- ②図書館情報コースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目(B類)											
必修科目	必修科目 選択必修科目 選択科目 計										
51	51 10 33 94										

- ③図書館情報コースの専門教育科目 (B類) については、別表IV-22 の通り卒業必修欄に〇印の付いている科目 51 単位と選択必修科目 10 単位、そして別表IV-22 の選択科目及び別表IV-8、IV-11、IV-14、IV-19、IV-23 から 33 単位以上を履修してください(同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④図書館情報コースは、図書館司書資格取得が卒業必修となっており、卒業要件を満たすことにより図書館司書資格を取得することができます。
- ⑤学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表 \mathbf{W} $= 1 \sim 5$ (P.273 \sim P.277) により、履修してください(一部、卒業要件に算入できない科目があります)。
- ⑥単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot N$ と表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、 履修漏れの防止に努めてください。

図書館情報コース 専門教育科目 (B類) 別表Ⅳ-22 単 卒 区 履修年次 エ 業 業 授 業 科 0 備考 目 2 3 必 4 ク 方 分 修 欄 法 位 春 秋 春秋 春秋 春秋 □ 人文科学入門 I (RE科目) 2 0 □ 人文科学入門 II (RE科目) 2 \bigcirc 学 ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 I 2 2 科 □ 女性キャリア論Ⅱ 0 2 □ キャリア戦略 I 2 \bigcirc \bigcirc 必 □ キャリア戦略 II
□ 専門ゼミ入門 (2年次秋)
□ 専門ゼミ I (3年次ゼミ I 2 演 1 修 演 1 □ 専門ゼミ II (3年次ゼミ II) 演 1 科 □ 専門ゼミⅢ (4年次ゼミ I) 演 \bigcirc 1 \bigcirc □ 専門ゼミIV (4年次ゼミII) 演 1 Ħ □ 卒業研究 4 23 23 学科必修科目(計23単位) (小計) □国際文化論 0 2 \bigcirc □図書館概論 2 □ 生涯学習概論 \bigcirc 2 図書館情報資源概論 2 □ 情報資源組織論 2 □ 図書館情報技術論 2 □ 情報資源組織演習 I 演 □ 情報資源組織演習 II 演 1 \bigcirc 必 図書館サービス概論 2 □ 図書・図書館史 2 修 □情報サービス論 2 □ 情報サービス演習 I 演 \bigcirc 1 □ 情報サービス演習 II 科 演 1 児童サービス論 2 目 □図書館サービス特論 2 □ 図書館制度・経営論 2 0 (小計) 28 28 コース必修科目(計28単位) 図書館基礎特論 2 図書館施設論 2 2 □ 図書館情報資源特論 2 □ 図書館情報学特論 I □図書館情報学特論Ⅱ 2 □ 未来図書館論 2 ス 原典講読 2 選 □ 図書館総合演習 演 1 Δ △(図書館実習、図書館総合演習)は、 択 □図書館実習 実 1 Δ 必 □ 学校経営と学校図書館 演 2 修 □ 学習指導と学校図書館 2 演 科 □ 読書と豊かな八円 □ 情報メディアの活用 演 2 目 2 演 □ 古文書学 I 2 □ 古文書学Ⅱ 2 \bigcirc 10 28 コース選択必修科目(計10単位) (小計) □ メディア論入門 2 □ ホスピタリティ概論 2 □ ホスピタリティマネジメント] 2 □ ホスピタリティマネジメントⅡ 2 コ □ ホスピタリティ産業論 I □ ホスピタリティ産業論 II 2 2 □ ベーシックコミュニケーションⅡ 2 □ ホスピタリティコミュニケーションⅡ 2 □ キャリア戦略Ⅲ 2 □ キャリア戦略IV
□ プレゼンテーション I
□ プレゼンテーション I 2 選 2 択 2 2 科 2 2 目 2 □ ビジネスコミュニケーション I 2 □ ビジネスコミュニケーションⅡ 2 ビジネスコミュニケーションⅢ 2

図書館情報コース 専門教育科目 (B類) 別表Ⅳ-22 区 修 年 次 工 業 業 業 科 備考 授 目 0 2 3 必 4 方 ク 分 修 欄 位 春秋 春秋 春 秋 春秋 法 □ 英語のスピーキング・リスニング I 2 英語のスピーキング・リスニングⅡ 2 英語のスピーキング・リスニングⅢ 英語のスピーキング・リスニングⅣ 2 □ 英語のスピーキング・リスニング V 2 □ 英語のスピーキング・リスニングVI 2 \bigcirc □ 書学入門 2 \bigcirc 編集・ジャーナリズム論 日本語表現法 I 2 演 □ 日本語表現法Ⅱ 演 1 □ 日本古典文学の基礎 I 演 1 日本古典文学の基礎Ⅱ 演 漢文学の基礎 I 演 1 □ 漢文学の基礎Ⅱ 演 1 □ 日本古典文学史 I 2 \bigcirc □ 日本古典文学史Ⅱ 2 日本近現代文学史I 2 日本近現代文学史Ⅱ 2 2 日本語の語法 I 2 □ 日本語の歴史 I □ 日本語の歴史Ⅱ 2 2 民俗文化論 I \bigcirc 民俗文化論Ⅱ 2 日本美術史 I 2 □ 日本美術史Ⅱ 歴史文化入門 I 2 歴史文化入門Ⅱ 2 日本史概説 I 2 日本史概説Ⅱ 2 2 選 □ 博物館概論 \bigcirc □ 博物館経営論 2 択 博物館資料論 2 博物館資料保存論 2 科 □ 博物館展示論 2 □ 博物館情報・メディア論 2 目 □ 博物館教育論 2 博物館実習 実 3 日本語教育の概要I 2 日本語教育の概要Ⅱ □ 日本語教授法 I 2 2 日本語教授法Ⅱ 日本語教育教材研究 I 演 1 日本語教育教材研究Ⅱ 演 1 □ 日本語教育演習 I 演 1 □ 日本語教育演習Ⅱ 演 1 □ 日本事情 I 2 日本事情Ⅱ 言語学概論 I 2 2 言語学概論 Ⅱ (インターンシップ) 学内フィールドワーク I 学内フィールドワーク I 2 \bigcirc 学内フィールドワークⅢ 2 短期インターンシップ 2 0 (1~3週まで/1単位~3単位) □ 長期インターンシップ 20 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc (4週~20週/4単位~20単位) (留学) (1~12週まで/1単位~12単位) 短期留学 12 長期留学 20 (13週~/13単位~20単位) 各2単位 □ 特別講義 I ~ X X コース選択科目(計33単位) 187 33

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の〇印は開講時期をさす。

266 94

Ĺ

カリキュラムマップ

図書館情報コース

女学部 女学科

令和2年度 聖徳大学

4年次秋学期	実践力を養おう	教職実践演習	専門 セミIV 卒業研究		英語	聖徳教育 [4年次 課題解決のための実践力を 修得する
4年次春学期	漢		専門化三皿 卒業研究		英語呱	聖徳教育 I	課題解決
3年次秋学期	考える力・創作力を養おう	教育社会学 1 総合的な学習の時間の指導法 国語科教育法 IV (中・高)教育実習 情報メディアの活用	専門ゼミエ 未来図書館論 原典購読 図書館総合演習 古文書学 II	キャリア戦略Ⅳ	英語 Ⅵ	聖徳教育 I 聖徳教育 II	3年次 ・考える・議論する〉 ための 技能を修得する
3年次春学期	考える力・創	発達心理学 道徳教育の指導法 国語科教育法正 話書と豊かな人間性 図書・図書館史	專門七三 I 図書館情報学特舗 I 図書館施設舗 図書館基礎特論 図書館実習 古文書学 I	キャリア戦略正 プレゼンテーションII ホスピタリティ英語IV 短期インターンシップ	英語V	聖徳教育 I 聖徳教育 II	3. (調べる・考える 技能を1
2年次秋学期	専門的知識を身につけよう	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 教育相談 對音相談 學習指導 C 学校図書館 情報資源組織演習 I 情報分 L C 入海図 I 医書館サービス海図 I	專門ゼ三入門 図書館情報学特論 1	キャリア戦略エオマレアが戦略エポスピタリティ英語正	英語 教養科目	聖徳教育 I 聖徳教育 II	2年次 専門分野の基礎を理解する
2年次春学期	専門的知識を	教職入門 教育基礎論 教育力法学 上往結為 上往結為 日間科教育法 「職務対方」 「中校務的と学校図書館 情報サービス演習」 「情報資源組織演習」 図書館制度・経営論		キャリア戦略 I プレゼンテーション I ホスピタリティ英語 II	国際文化論英語四英語四数整数	聖徳教育 I 聖徳教育 I SETOKU Academic Literacy II 小笠原流礼法基礎請座	2.
1年次秋学期	学びの扉を開こう	日本国憲法 図書館情報資源概論 情報サービス論 図書館情報技術論		女性キャリア端エ 無文化 コミュニケーション ホスピタリティ コミュニケーション 1 ベーシック コミュニケーション I エエゲーション I ボスピタリティ英語 I 学内フィールドワーク I	人文科学入門I (R E 科目) コンピューター コミュニケーションI 英語I	聖徳教育 I 聖徳教育 I SEITOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II	1年次 学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する
1年次春学期	順の込券	図書館 田浦子郎 高報館 三十二 図書館 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		女性キャリア論 I ペーシック コミュニケーション I メディア論入門 学内フィールドワーク I	人文科学入門 I (RE科目) コンピュータ コミュニケーション I 英語 I 情報活用演習(基礎)	聖徳教育 I 聖徳教育 I SETOKU Academic Literacy I :: スポーツと健康 I	1 学修の基礎 学修への姿
		画書 教諭 としての 漢質・化力を 身につける 図書館 回書	図書館情報学を深く理解し、実践力を身につける	社会人として 必要な 能力を場につ げる 企業 就職	学びの基礎を身につける	人間性を高める	教育目標

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性

5成果 (Learning Outcomes)	践力を養おう *位後5の方針に掲げる *性数5の方針に掲げる *情報表	4年次	実習における課題を振り返り、自己の課題を 発見することができる	欧機器用・GPA)	文学・文化・芸術に関する学覧領域の基礎的な知識及び各	領域の専門部の各員につけ、主体的に課題を解決できる 一	求の成果を、論文としてまと すく伝えることができる	野価・GPA)		グローバル社会を生きるための無難コミューゲージョンカ	を右による合的な人間がを を右にした終日的な人間がを 身につけ、実践できる 調を認識し、社会に働きかける	ート・改績評価・GPA)	伝統の本物教育により女性と に応用できる しての心豊かな教養を養い、 日本社会の気品の模能として の礼法を身につけ、実践でき る	·GPA)	4年次 課題解決のための実践力を 修得する
図書館情報コース 学びで得られる成果	考える力・創作力 を身につけよう 実践	3年次	中学・高校の国語科教員および同書教諭とし 実習における! て必要な知識・技術を身につけ、それを教科 発見すること の指導に応用できる	(大力・での機能を) (本路にののでの) (本路にの) (本路にの) (大力が)	専門的な知識・技能を身につけ、図書館にお ける実習で活用することができる	(実習評価・広綫評価・GPA)	調査・研究の技能を身につけ、資料を誘辟 自己の課題探求の成果を し、自己の課題を深く探求することができる め、わかりやすく伝える	(発表・レポート・成績評価・GPA) (舗文・成績評価	課題に対する解答を論理的に導き出し、わかりやすく伝えることができる	(フポート・段績計用・GPA)	課題に対する解答を論理的に導き出し、わか、現代社会の課題を認識し、 りやすく伝えることができる ことができる	(フポート・SX織評自・GPA) (フポート・SX機能を使うない。	身につけた「礼節」を応用し、実践できる。 教養をさらに深め、それをさまさまな分野に 合にも、自由に応用で 応用できる	(改績評価・GPA)	3年次 (調べる・考える・議論する〉 ための 技能を修得する
聖徳大学 文学部 文学科 🛭	専門的知識を身につけよう	2年次	中学・高校の教員および司書教師として必要 な基礎的知識・技能が身についている	(フポート・改織評価・GPA)	図書館に関する基礎的な知識・技能が身につ いている	(フポート・政績評価・GPA)	図書館情報学の専門的知識を身につげ、自己 調の問題意識を発展させることができる し	(フポート・ 政績評価・GPA)	自己のキャリアビジョンを設定し、そのため に必要な知識・技能について理解している	(レポート・放緘評価・GPA)	教養を深め、高めるために必要な知識を身に つけ、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現 できる	(発表・レポート・成績評価・GPA)	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日本女性の模範としての「気品」とは何かを理解できる	(成績評価・GPA)	2年次 専門分野の基礎を理解する
令和2年度	学びの扉を開こう	1年次	教員および同書教諭として必要な基礎的知識 が身についている	(成績評価・GPA)	図書館情報学の基礎的な知識・技能が身につ いている	(レポート・成績評価・GPA)			社会人として必要な資質を理解し、基礎的な 知識・技能が身についている	(レポート・成績評価・GPA)	大学生として必要な教養を養うための学びの 基礎を身につける	(フポート・成績評価・GPA)	建学の精神である「和」を理解し、「礼飾」 をもって行動できる	(アチーブメントテスト・成績評価)	1年次 学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する
			回雪	専門的職業人 としての 盗督・能力を	少につける 図書館 回書		図書館情報学を深く理解し、 実践力を身につける		社会人として必要な能力を身につける		学びの基礎を 身につける		人間性充高める		

(○が司書資格科目、◎が学校司書モデルカリキュラム対応科目)

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II 日本国憲法	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 英語Ⅲ	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	6	3	3
コース選択必修科目・学科必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I ○図書館概論 ○生涯学習概論 ○⑥情報資源組織論 ○図書館サービス概論	人文科学入門Ⅱ ホスピタリティコミュニケーションⅠ 女性キャリア論Ⅲ ○◎図書館情報資源概論 ○◎情報サービス論 ○◎図書館情報技術論	キャリア戦略 I 国際文化論 ○◎情報サービス演習 I ○児童サービス論 ○◎情報資源組織演習 I ○図書館制度・経営論 ◎学校経営と学校図書館	キャリア戦略Ⅱ 専門ゼミ入門 ○◎情報資源組織演習Ⅱ ○◎情報サービス演習Ⅱ 図書館情報学特論Ⅰ ◎学習指導と学校図書館
科目数	6	6	7	6
選択科目	学内フィールドワーク I メデイア論入門 ホスピタリティ概論	学内フィールドワーク II ベーシックコミュニケーションII	民俗文化論 I ビジネスコミュニケーション I	民俗文化論 II ビジネスコミュニケーション II 編集・ジャーナリズム論
科目数	3	2	2	3
教職科目				○特別支援教育総論○教育基礎論○教育課程論
科目数	0	0	0	3
科目数計	15	14	12	15

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語VI	英語Ⅶ	英語VⅢ
科目数	1	1	1	1
コース選択必修科目・学科必修科目・	専門ゼミ I 図書館実習 ○図書・図書館史 ◎読書と豊かな人間性 図書館施設論	専門ゼミⅡ 未来図書館論 ◎情報メディアの活用 ○◎図書館サービス特論 図書館情報資源特論	専門ゼミⅢ 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	5	5	2	2
選択科目	ビジネスコミュニケーションⅢ プレゼンテーション I 短期インターンシップ			
科目数	3	0	0	0
教職科目	◎発達心理学			
科目数	1	0	0	0
科目数計	10	6	3	3

(○が司書資格科目)

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II 日本国憲法	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 英語Ⅲ	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	6	3	3
コース選択必修科目・学科必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I ○図書館概論 ○●生涯学習概論 ○情報資源組織論 ○図書館サービス概論	人文科学入門Ⅱ 女性キャリア論Ⅱ ホスピタリティコミュニケーションⅠ ○図書館情報資源概論 ○情報サービス論 ○図書館情報技術論	キャリア戦略 I 国際文化論 ○情報サービス演習 I ○児童サービス論 ○情報資源組織演習 I ○図書館制度・経営論	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 ○情報資源組織演習 II ○情報サービス演習 II ○図書館サービス特論 図書館情報学特論 I
科目数	6	6	6	6
選択科目	学内フィールドワーク I 英語のスピーキング・リスニング I ホスピタリティ概論	学内フィールドワーク II 英語のスピーキング・リスニング II	英語のスピーキング・リスニングⅢ メディア論入門 ビジネスコミュニケーションⅠ ホスピタリティ英語Ⅰ	ベーシックコミュニケーションⅡ
科目数	3	2	4	4
科目数計	15	14	13	13

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
コース選択必修科目・学科必修科目・	専門ゼミ I 図書館情報学特論 II 図書館実習 ○図書・図書館史 図書館施設論	専門ゼミⅡ 未来図書館論 原典購読 図書館情報資源特論	専門ゼミ Ⅲ 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	5	4	2	2
選択科目	キャリア戦略Ⅲ ビジネスコミュニケーションⅢ 英語のスピーキング・リスニングV 短期インターンシップ	キャリア戦略IV ホスピタリティ英語Ⅱ		
科目数	4	2	0	0
科目数計	10	7	3	3

文学科 教養デザインコース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目 (A 類) 30 単位以上、専門教育科目 (B 類) 94 単位以上、計 124 単位以上です。
- ②教養デザインコースの専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目 (B類)											
必修科目	必修科目 選択必修科目 選択科目 計										
23	40	31	94								

- ③教養デザインコースの専門教育科目 (B類) については、別表IV-23 の通り卒業必修欄に〇印の付いている科目 23 単位、ホスピタリティ・ヒューマン・ビジネス・グローバル・人文科学基礎の科目より 40 単位、そして別表IV-23 の選択科目及び別表IV-8、IV-11、IV-14、IV-19、IV-22 から 31 単位以上を履修してください(同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表 $\mathbf{w} 1 \sim 5$ (P.273 \sim P.277) により、履修してください (一部、卒業要件に算入できない科目があります)。
- ⑤単位を修得(成績表に $S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot N$ と表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、 履修漏れの防止に努めてください。

教 3	更ア	「サインコース 専門教育科目 (B	<u> </u>											別表Ⅳ—23
	チ		授	単	卒									
区	エ		業	l .				履	修	年	次			
	ツ		の		業			/1久	115		DC			/+t+ -t*
	ク	授 業 科 目			27	_		_		_	_			備考
分			方		必		1	1 2	2		3	4	1	
23	欄		法	位	修	丰	秋	丰	秋	去	秋	春	£k.	
		大分光				_	7//	小	421	小	101	中、	101	ニマニム・ポニチュー
	Ш	人文科学入門 I (RE科目)		2	0	0								エアラインプラチナP
326		人文科学入門Ⅱ (RE科目)		2	0		\circ							
学		ホスピタリティコミュニケーション I		2	0		\circ							エアラインプラチナP
		女性キャリア論 I		2	\cap	\circ								エアラインプラチナP
科		女性キャリア論Ⅱ		2	Ô		0							エアラインプラチナP
					Ŭ									
必		キャリア戦略I		2	0			0						エアラインプラチナP
7.		キャリア戦略Ⅱ		2	\circ				\circ					
修		専門ゼミ入門 (2年次秋)	演	1	0				0					
11/2		専門ゼミ I (3年次ゼミ I)	演	1	0					0				
l		専門ゼミⅡ (3年次ゼミⅡ)	演	1	$\overline{0}$						\circ			
科				_	Ŭ									
		専門ゼミⅢ (4年次ゼミ I)	演	1	0							0		
目		専門ゼミⅣ(4年次ゼミⅡ)	演	1	0								0	
1 ' '		卒業研究		4	\circ								\circ	
		(小計)		23	23									学科必修科目(計23単位)
		(ホスピタリティ)												11/12/12/11 (H 20 + E)
				_	_									
		ホスピタリティ概論		2	Δ	0								エアラインプラチナP
		ホスピタリティコミュニケーションⅡ	<u> </u>	2	Δ	<u> </u>		0	<u> </u>		L	L		エアラインプラチナP
		ホスピタリティマネジメントI		2	Δ			0						エアラインプラチナP
		ホスピタリティマネジメントⅡ		2	\triangle			Ė	0					エアラインプラチナP
	_						1				1	1		
		ホスピタリティ産業論I		2	Δ			0	_					エアラインプラチナP
		ホスピタリティ産業論Ⅱ	<u> </u>	2	\triangle	<u> </u>		L_	0		L	L		
				12										
		(ヒューマン・コミュニケーション)			Δ									1
				2	Δ		0							
		プレゼンテーション I		2	\triangle			0						エアラインプラチナP
		プレゼンテーションⅡ		2	\triangle					\circ				
		ロジカルコミュニケーションI		2	Δ			0						
				2						0				
		10 N/V - (1 - 1)												
		(2028)		10										
		(ビジネス・コミュニケーション)												
		キャリア戦略Ⅲ		2	\triangle					\circ				エアラインプラチナP
		キャリア戦略IV		2	Δ						0			エアラインプラチナP
		ビジネスコミュニケーションI		2	Δ			0						
	_	ビジネスコミュニケーションⅡ		2	Δ				0					
コ														
	ш	ビジネスコミュニケーションⅢ		2	\triangle					0				
1				10										
'		(グローバル・コミュニケーション)												
ス	П	ホスピタリティ英語 I		2	Δ		0							SEEP
		ホスピタリティ英語Ⅱ		2	Δ			0						SEEP
l				0										OLLI
選		ホスピタリティ英語Ⅲ		2	\triangle				0	_				
		ホスピタリティ英語Ⅳ		2	Δ					0				
択		グローバルコミュニケーションI		2	\triangle		\circ							SEEP
	П	グローバルコミュニケーションⅡ		2	Δ			0						SEEP
必	H	グローバルコミュニケーションⅢ		2	Δ				0					SEEP
×2.														
修	Ш	グローバルコミュニケーションⅣ		2	Δ					\circ				SEEP
11/2				16										
-0.1		(人文科学基礎科目)												
科		現代イギリス事情 I	演	1	Δ	0								
		現代イギリス事情Ⅱ	演	1	Δ	Ť	0							1
目	H	現代アメリカ事情Ⅰ					\vdash				-	-		
			演	1	Δ	0	L_							
		現代アメリカ事情Ⅱ	演	1	Δ		0							
		日本文学概説 I		2	\triangle	0								
		日本文学概説Ⅱ		2	Δ		\circ							
		日本語概説 I		2	Δ	0	\vdash							
											-	-		
		日本語概説Ⅱ		2	Δ		0				_	_		
		歴史文化入門 I		2	Δ	0								
		歴史文化入門Ⅱ		2	\triangle		0							
		日本史概説 I		2	Δ	0								
		日本史概説Ⅱ		2	\triangle	Ť	0							1
		書学入門					\vdash				-	-		
				2	Δ	0			_					
		日本書道史概説		2	Δ				0					
		図書館概論		2	\triangle	0								
		図書館情報資源概論		2	Δ		0							1
		図書館サービス概論		2	Δ	0	Ĕ							
		メディア論入門		2	Δ	0								
		編集・ジャーナリズム論		2	Δ				0					△(ホスピタリティ、
		情報サービス論		2	Δ		0							ヒューマン、ビジネス、グ
		児童サービス論		2	$\overline{\wedge}$			0						ローバル、人文科学基礎)
		(小計)		86				Ŭ						から40単位以上必修
		V → P17		JU	ΙU									- , ,20,220

教養デザインコース 専門教育科目 (B類) 別表IV-23 授 区 エ 業 履修年次 業 \mathcal{O} 授 業 科 目 備考 方 必 分 欄 法 修 春 秋 春 秋 春秋 春 秋 (英米文学系) 基礎英文法 I SEEP 基礎英文法Ⅱ 2 SEEP 英語学入門 I 2 2 □ 英語学入門 Ⅱ 英文法 I 2 英文法Ⅱ 2 □ 英語学 I 2 □ 英語学Ⅱ 2 □ | 英語のスピーキング・リスニング I 2 0 □ 英語のスピーキング・リスニングⅡ 2 英語の語彙と用法 I 英語の語彙と用法 I 演 SEEP 1 演 SEEP 1 □ 英語の語彙と用法Ⅲ SEEP 演 1 □ 英語の語彙と用法IV 演 1 SEEP □ 英語音声学 I 演 □ 英語のリーディング I □ 英語のリーディング I □ 英語のリーディング II □ 英語のリーディング II 2 SEEP 2 SEEP 2 SEEP 2 SEEP □ 英語のライティング I 2 0 2 □ 英語のライティング II 英語のスピーキング・リスニングⅢ 英語のスピーキング・リスニングⅣ 英語のスピーキング・リスニングV 2 2 2 □ 英語のスピーキング・リスニングVI 2 □ 英語のコミュニケーション I □ 英語のコミュニケーション I2 SEEP 2 SEEP メディアの英語 イギリスの歴史 2 SEEP 2 * アメリカの歴史 2 * □ イギリス文学史 I 2 □ イギリス文学史Ⅱ 2 選 アメリカ文学史 I アメリカ文学史 II 2 択 □ 英米の詩 I 演 1 □ 英米の詩Ⅱ 演 1 科 □ 英米の戯曲 I 演 1 英米の戯曲 Ⅱ 演 1 目 英米の小説 I 演 1 英米の小説 Ⅱ 演 1 (日本文学系) □ 日本語表現法 I 演 日本語表現法Ⅱ 演 1 日本古典文学の基礎 I 日本古典文学の基礎 II 演 1 演 1 \bigcirc □ 漢文学の基礎 I 演 1 □ 漢文学の基礎 Ⅱ 演 1 日本古典文学史 I 2 日本古典文学史Ⅱ 2 日本近現代文学史 I 2 日本近現代文学史Ⅱ 2 □ 日本語の語法 I 2 □ 日本語の歴史 I 2 \bigcirc 2 日本語の歴史Ⅱ 現代語の研究 I 2 現代語の研究Ⅱ 2 □ 文芸創作 I 2 □ 文芸創作Ⅱ 2 2 □ 比較文学 I □ 比較文学Ⅱ 2 日本古典文学講読 I 2 日本古典文学講読Ⅱ 2 □ 日本近現代文学講読 I 2 0 日本近現代文学講読Ⅱ 2

教	養デ	ザインコース 専門教育科目(B	質)											別表IV—23
区	チェ		授	単	卒			屈	ls.	/ - :	V/			
	ッ	授 業 科 目	業の		業			飕	11多	年	伙			備考
分	ク	及 朱 们 日	方		必		1		2	,	3		4	viii · J
23	欄		法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	\Box	(歴史文化系) 日本考古学 I		2				0						
		日本考古学Ⅱ		2				Ŭ	0					
		民俗文化論 I		2				0						
		民俗文化論 II 日本美術史 I		2				0	0					
		日本美術史Ⅱ		2					0					
		西洋史概説		2				0						
	H	東洋史概説 社会学入門 I		2		0			0					
		宗教学入門		2			0							
		政治学入門		2				0						
		経済学入門 地理学 I		2				0	0					
		地理学Ⅱ		2					0					
		日本古代史 I		2		0								
		日本古代史Ⅱ 日本中世史 I		2			0	0						
	H	日本中世史 I 日本中世史 II		2					0					
		日本近世史 I		2		0			Ŭ					
		日本近世史Ⅱ		2			0							
		日本近現代史 I 日本近現代史 II		2				0	0					
		古文書学 I		2						0				
		古文書学Ⅱ		2							0			
		(図書館司書科目)												
コ		情報資源組織論		2		0								
1		図書館情報技術論		2			0							
		情報資源組織演習I	演	1				0						
ス		情報資源組織演習Ⅱ 図書・図書館史	演	1 2				0	0					
選		情報サービス演習I	演	1				Ö						
		情報サービス演習Ⅱ	演	1					0					
択		図書館サービス特論 図書館制度・経営論		2				0	0					
科	H	図書館情報資源特論		2							0			
		図書館実習	実	1						0				
目														
		(博物館学芸員科目) 生涯学習概論		2				0						
		博物館概論		2				0						
		博物館経営論		2					0					
		博物館資料論 博物館資料保存論		2					0	0				
		博物館展示論		2							0			
		博物館情報・メディア論		2						0				
		博物館教育論	±-	2							0			
	\vdash	博物館実習	実	3						0	0			-
		(インターンシップ)												
		学内フィールドワーク I		2		0	0	0	0	0	0			
		学内フィールドワーク II 学内フィールドワーク III		2		0	0	0	0	0	0			
	\dashv	学内フィールトリーク 短期インターンシップ		2				0	0	0	0			
		長期インターンシップ		20				Ö	0	Ö	0			(4週~20週/4単位~20単位)
		(留学)		4.0										
		短期留学 長期留学		12 20				0	0	0	0	0	0	【 (13週~╱13単位~20単位)
	\vdash	(海外語学研修)		20										(10週~/ 10半世~20年世)
		海外英語特講		4				0						
		国際文化論		2				0						
		(特別講義) 特別講義I~XX												
	Н	(小計)		259	31									62年位 コース選択科目(計31単位)
	Ĺ	合 計	Ĺ	368	94	Ĺ	L	Ĺ	Ĺ	L	Ĺ	Ĺ	Ĺ	

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。 【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

文化的教養を深め、社会に貢献できる女性

令和2年度 聖徳大学 文学部 文学科 教養デザインコース カリキュラムマップ

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
	7.	学びの扉を開こう	專門的知識	専門的知識を身につけよう	考える力・	きえる力・創作力を養おう	実践力	実践力を養おう
				専門ゼミ入門	専門ゼミΙ	専門ゼミエ	専門ゼミエな業品の	専門ゼミⅣ な業品の
カ 大 大 大 大 大 大	手を使っています。	ペーシック コミュニケーションII ***********************************	ロッカル ロミュニケーション I ビッネス コミュニケーション I フレゼンテーション I	スキヅカ スキヅー コン=ツー	ロッカル ロミュニケーション II ボッネス ロミュニケーション II フレゼンナーション II 対してメンケーション II		子来町九	子来町九
か・グローバ			ボスパダンドイ	ホスピタリティ産業論Ⅰ	高路 - ハッ ハンップ 長期インターンツップ 木スピタリティ産業論 II			
戦・ポン・設 極を与につけ る グロー		リニューション 1 ボスピタリティ 職業 ボスピタリティ 英語 1 グローバル コミュニケーション 1			ホスピタリティ マネジメント II ホスピタリティ 英語N グローバル コミュニケーションIV			
	英語の語彙と用法Ⅰ	英語の語彙と用法Ⅱ	神外央部特調 英語のスピーキング・ リスニングⅢ 英語の語彙と用法Ⅲ	英語のスピーキング・ リスニングIV 英語の語彙と用法IV	英語のスピーキング・ リスニングV	英語のスピーキング・ リスニングVI		
国際社会で必要な教養を与につける	現代イギリス事情! 現代アメリカ事情! 基礎英文法! 日本文学概認! 日本格概説! 居を文化入門! 日本投概説! 日本投概説! 日本投概説! 日本投概説!	現代イギリス等情工 現代アメリン事情工 基礎英文法工 日本学機能別 日本部機能別 日本経験別工 歴史文代入刊 図書館機論 図書館機論 図書館機論	英米の小影! メディアの英語 英文法1 日本語表現法1 日本記表現法2 日本近現代文学史1	英米の小説 II 英文法 II 日本語表現法 II 日本活現代文学史 II 日本書道史概説 編集・ジャーナリズム論	英語の コミュニケーション I 文芸創作 I	英語の コミュニケーション II 文芸創作 II		
社会人として必要な能力を身につける	女性キャリア端 I ベーシック コドュニケーション I	女性キャリア論 II 異文化 コミュニケーション	キャリア戦略Ⅰ	キャリア戦略エ	キャリア戦略皿	キャリア戦略Ⅳ		
学びの基礎を 身につける	人文科学入門 [(R E 科目) コンピュータ コミュニケーション 英語 [英語 [横路活用演習(基礎)	人文科学入門I (RE科目) コンピュータ コミュニケーションI 英語I 外国語	英語 医四胆醇 水田語 数 整 为田田 数 整 和 田田 数 是 和 田田 和 田田 和 田田 和 田田 和 田田 田田 和 田田 田田 田田	英語V 数變科目				
人間性を高める	聖徳教育 I 聖徳教育 I SETOKU Academic Literacy I スポーツと健康 I	聖徳教育 I 聖徳教育 II SETOKU Academic Literacy II スポーツと健康 II	聖徳教育 I 聖徳教育 II SETOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育工聖徳教育工	聖徳教育 I 聖徳教育 II	聖徳教育工聖徳教育工	聖徳教育 I	聖徳教育 I
		1年次		2年次		3年次	4	4年次
教育目標	学の参手が多くの	学修の基礎を身につける 学修への姿勢を確立する	₽ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	専門分野の基礎を理解する	(調べる・考える技能?	・考える・議論する〉ための 技能を修得する	課題解決のな	課題解決のための実践力を 修得する

Outcomes
(Learning
学びで得られる成果
スーロ イ
教養デザイ
女学科
女驴部
聖徳大学
令和2年度

ing Outcomes)	学位授与の方針に掲げる学権成果		£	文学・文化・芸術等人文科学に関する基礎的な知識及びコニュニケーションカープレゼ	ノケーショノム・ハスにダルア・領域の専門知識・能力を して 社会における	な課題に対して積極的に取り 組み、地域社会に貴献するに とができる		グローバル社会を生きるために必要がある。	ためをA共大になMo.0・共記力・コニューケーション力を与いませた。 おに着け常に顧客問者とチートワークラークを	に取り組み、国際社会に貴献することができる		場 伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、しての心豊かな教養を養い、日本社会の気品の模範としての礼法を身につけ、実践できる			
学びで得られる成果 (Learning	> 実践力を養おう	4年次	調査・研究の成果を、論文としてまとめ、	かりやすく伝えることができる	(論文・成績評価・GPA)							身につけた「気品」と「礼節」をいかなる場合にも、自由に応用できる	(成績評価・GPA)	4年次	課題解決のための実践力を 修得する
教養デザインコース 学び	考える力・創作力	3年次	ビジネス社会における調査・研究の技能を身につけ、資料を誘解し、自己の課題を深く探 来することができる	グローバル社会における調査・研究の技能を 身につけ、資料を読解し、自己の課題を深く 探求することができる	(発表・レポート・成績評価・GPA)	調査・研究の技能を身につけ、資料・データ を読解し、自己の課題を深く探求することが できる	(発表・レポート・成績評価・GPA)	課題に対する回答を論理的に導き出し、わか りやすく伝えることができる	(フポート・玖績評価・GPA)			身につけた「礼節」を応用し、実践できる。 教養をさらに深め、それをさまさまな分野に 応用できる	(成績評価・GPA)	3年次	〈調べる・考える・議論する〉 ための 技能を修得する
聖徳大学 文学部 文学科	専門的知識を身につけよう	2年次	諸課題について個人で考え発信し、チーム内 議論を通して合意形成するために必要な技 能・態度を身についている	グローバル社会に必要な基礎的な英語力・コミュニケーションカ及び多様な価値観を受入れ円滑な対人関係を構築する技術・態度が身についている。	(レポート・政績評価・GPA)	人文科学諸分野の専PB的知識を身につけ、自 己の問題意識を発展させることができる	(フポート・改績評価・GPA)	自己のキャリアピジョンを設定し、そのだめ に必要な知識・技能について理解している	(フポート・改績評価・GPA)	数養を深め、高めるために必要な知識を身に つけ、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現 できる	(発表・レポート・成績評価・GPA)	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日 本女性の模範としての「気品」とは何かを理 解できる	(成績評価・GPA)	2年次	専門分野の基礎を理解する
令和2年度	学びの扉を開こう	1年次	ビジネス社会で必要なコミュニケーション 能力の基礎が身についている	グロー/ バル社会で必要なコミュニケーション 能力の基礎が身についている	(レポート・成績評価・GPA)	人文科学諸分野の基本的な概念を学び、説明できる	(レポート・改績評価・GPA)	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身についている	(フポート・政績評価・GPA)	大学生として必要な教養を養うための学びの 基礎を身につける	(レポート・成績評価・GPA)	建学の精神である「和」を理解し、「礼節」をもって行動できる	(アチーブメントテスト・ 改績評価)	1年次	学修の基礎を身につける学修への姿勢を確立する
			アジャン社会・グロン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	で必要な知識・能 力・態度を身につけ グロー る NVI		国際社会で必要な教養を与してつ		- 513 - 社会人として必要な能力を身 につける		学びの基礎を身につける		人間性を高める			教育目標

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 教養科目 英語Ⅲ	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	5	4	3
選択必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II	キャリア戦略 I	キャリア戦略Ⅱ 専門ゼミ入門
科目数	2	3	1	2
必修科目	ホスピタリティ概論 現代アメリカ事情 I 日本史概説 I メディア論入門 歴史文化入門 I	ベーシックコミュニケーションⅡ ホスピタリティ英語 I グローバルコミュニケーションⅠ 日本史概説 Ⅱ 歴史文化入門 Ⅱ	ホスピタリティコミュニケーションII ホスピタリティ産業論 I ホスピタリティマネジメント I プレゼンテーション I ホスピタリティ英語 II グローバルコミュニケーション II	ホスピタリティ産業論Ⅱ ホスピタリティマネジメントⅡ ホスピタリティ英語Ⅲ グローバルコミュニケーションⅢ
科目数		5	6	4
選択科目	英語の語彙と用法 I 英語のリーディング I 英語のスピーキング・リスニング I 学内フィールドワーク I	英語の語彙と用法Ⅱ 英語のリーディングⅡ 英語のスピーキング・リスニングⅡ 学内フィールドワークⅡ	メディアの英語 海外英語特講	
科目数	4	4	5	3
科目数計	17	17	16	12

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
選択必修科目・	専門ゼミ I	専門ゼミⅡ	専門ゼミⅢ 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	1	1	2	2
必修科目	キャリア戦略Ⅲ ホスピタリティ英語Ⅳ グローバルコミュニケーションⅣ	キャリア戦略IV		
科目数	3	1	0	0
選択科目				
科目数	4	2	0	0
科目数計	9	5	3	3

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II コンピュータ・コミュニケーションII 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 教養科目 英語Ⅲ	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	5	4	3
選択必修科目・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II	キャリア戦略 I 国際文化論	キャリア戦略Ⅱ 専門ゼミ入門
科目数	2	3	2	2
必修科目	ホスピタリティ概論 現代アメリカ事情 I 日本史概説 I 歴史文化入門 I メディア論入門	現代アメリカ事情 Ⅱ ベーシックコミュニケーション Ⅱ ホスピタリティ英語 Ⅰ 日本史概説 Ⅲ 歴史文化入門 Ⅲ 図書館情報資源概論	ホスピタリティコミュニケーションII ホスピタリティマネジメントI ホスピタリティ産業論I プレゼンテーションI ビジネスコミュニケーションI ホスピタリティ英語Ⅱ	ホスピタリティマネジメントⅡ ホスピタリティ産業論Ⅱ ビジネスコミュニケーションⅢ ホスピタリティ英語Ⅲ 編集ジャーナリズム論 情報サービス論
科目数	5	6	6	6
選択科目	日本語表現法 I 英語のスピーキング・リスニング I 学内フィールドワーク I	日本語表現法 II ^{英語のスピーキング・リスニング II} 学内フィールドワーク II	日本近現代文学史 I 現代語の研究 I 英語のスピーキング・リスニングⅢ 日本語の歴史 I	日本近現代文学史Ⅱ ^{英語のスピーキング・リスニングⅣ} 現代語の研究Ⅱ 日本語の歴史Ⅱ
科目数	3	3	4	5
科目数計	16	17	16	16

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語VI	英語Ⅶ	英語Ⅷ
科目数	1	1	1	1
選択必修科目・	専門ゼミⅠ	専門ゼミⅡ	専門ゼミⅢ 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	1	1	2	2
必修科目	キャリア戦略Ⅲ	キャリア戦略IV		
科目数	1	1	0	0
選択科目	英語のスピーキング・リスニングV 短期インターンシップ	英語のスピーキング・リスニングV	·	·
科目数	2	1	0	0
科目数計	5	4	3	3

人間栄養学部 人間栄養学科

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

人間栄養学部人間栄養学科は、人間の身体と心と社会的存在という三つの側面を支える 食生活を健全に保つための人間栄養学を教授し、豊かな人間性と実践力をかね備えた、科 学的根拠に基づいた「栄養の指導」を実践できる管理栄養士を養成してきました。

現代社会は、少子高齢化や疾病構造の変化が進む中で、国民の健康の維持・増進、生活 習慣病の発症及び重症化の予防に重点を置いた対策が推進され、健康寿命の延伸と健康格 差の縮小に貢献する人材の育成が求められています。

このような社会の要請に応えるため、人間栄養学科は、保健・医療・福祉・産業・教育の分野において個人並びに集団に対する食事管理、栄養教育、栄養管理を実践する能力を備えた「人に頼られ、喜ばれ、愛される管理栄養士」を育成し、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現に貢献しています。

以上の理念を具現化するために、以下の四つの教育目標を設定します。

【教育目標】

- 1. 管理栄養士としての専門職業人の自覚と使命感、並びに他者を思いやる人間性を育成する。
- 2. 食生活上の課題や問題の本質を洞察し、適切な解決策を提案できる創造的思考力と、問題解決に向けた行動をとる実践力を育成する。
- 3. 管理栄養士に必要な知識と技能を修得し、それに基づいた適切な「栄養の指導」を行うことができる能力を育成する。
- 4. グローバルな視野を備え、自らの意思で実践活動を起こすことができる高い実践力を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下の学修成果を設定します。

【学修成果】

- 1. 管理栄養士としての自覚と誇り、並びに使命感をもち、他者と連携、協調して責任ある行動をすることができる。
- 2. 自己を客観的に分析・表現し、自己成長の素となる持続的、自律的な学びをデザインすることができる。
- 3. 食生活上の課題や問題を数理的・論理的に考察することができ、アイディアや洞察力を生かし、多面的に問題にアプローチすることができる。
- 4. 目的に応じた食事を設計し、幼児から高齢者までのすべての人から喜ばれる食事を提供するとともに、健康の維持・増進、疾病の予防・治療に貢献することができる。
- 5. 人間栄養学に関する科学的根拠を理解し、その根拠に基づいた実践活動ができると ともに、その根拠を構築するための研究計画を提案することができる。
- 6. グローバル社会が求める人間栄養学を理解する論理的並びに創造的思考力が身についており、多様な実践活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人 に、卒業を認定し、学士(栄養学)の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

人間栄養学科では、学修成果を体系的に達成するために、建学の精神「和」に基づいた 本学独自の人間教育等を目的とする全学共通科目と専門教育科目の教育課程を以下の方針 に基づいて編成しています。

【教育課程編成の方針】

- 1. 学びの基礎力を身につける「人間栄養学基礎分野科目」を設定し、全学共通科目の学修と共に、管理栄養士としての専門職業人意識と基礎力を育成します。
- 2. 専門教育科目群には多くの実習・演習科目を設け、情報活用力、生涯学習力、問題解決能力を涵養し、問題解決に向けた行動をとる実践力を育成します。
- 3. 管理栄養士指定科目の他、人間栄養学調理実習を設定し、適切な「栄養の指導」を実践現場で行うことができる知識と技能を育てます。
- 4. 多種多様な資格免許取得のための科目群を専門選択科目として設け、社会が求める多様な分野の知識・能力並びに実践力を育てます。

【教育課程実施の方針】

人間栄養学科では、学修成果を効果的に達成するために、授業計画(シラバス)に以下 の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

- 1. 専門教育科目群は、「食品と調理」を学ぶ科目群と、「栄養・代謝と疾患」を学ぶ科目 群、「社会と健康」 を学ぶ科目群に分けて、授業科目の関連がわかるように配慮し学 習の成果を高めています。
- 2. すべての授業、実習において、授業方法としてアクティブ・ラーニングを導入し、セルフ・アセスメントに基づいた自律的な学びを促進しています。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

人間栄養学科は、建学の精神「和」を尊ぶ人間性教育の環境のもと、食生活上の課題や問題の本質を洞察する力、並びに創造的思考力と実践力、自律力を身につけ、科学的根拠に基づいた「栄養の指導」を実践できる管理栄養士を目指す基本的な資質を持った人を求めています。具体的には次のような入学者を求めています。

- 1. 食と健康に強い関心を持ち、管理栄養士として社会に貢献したいという強い意欲と決意を持っている人。
- 2. 自然科学が好きで、科学的なものの考え方ができる基本的な能力を身につけている人。
- 3. 知的好奇心に満ち溢れ、常に向上心をもって努力できる人。
- 4. 明朗活発で人との交流を大切にし、人間性豊かで、礼節を重んじる人。

人間栄養学科では、このような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学修に必要な科学的な知識・技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査(調査書、推薦書など)、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

人間栄養学部 人間栄養学科 全学共通科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 (A 類) 30 単位以上、専門教育科目 (B 類) 105 単位以上、計 135 単位以上です。
- ② 全学共通科目 (A類) については、別表V-1、2、3、4、5、6、7のとおり履修してください(同一科目を重複して履修することはできません)。
- ③ 全学共通科目 (A類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

	全 学 共 通	科 目(A類)		
聖徳教育	教養科目、専門基礎科目及び	健康教育	情報活用	⇒ I.
科目	外国語科目	科目	科目	計
7	20	2	1	30

- ④ 聖徳教育科目(別表V-1)は、すべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目 (別表V-2) は、外国語科目と併せて 12 単位以上 (外国語は8 単位以上) が必修ですので、 卒業までに4 単位以上修得してください。
 - また、D類の「日本国憲法」は、教育職員免許状を取得しようとする者は必修です。
- ⑥ 専門基礎科目(別表V-3)は、「化学入門 I 」、「化学入門 I 」、「生物学入門 I 」及び「生物学入門 I 」 の計 8 単位が必修です。
- ⑦ 外国語科目 (別表V-4) は、英語 I、英語 II、英語 II、英語 II、英語 IV、英語 V、英語 V、英語 VI、英語 VI 及び英語 VII の 計 8 単位が必修です。
- ⑧ 健康教育科目 (別表V-5) 及び情報活用科目 (別表V-6) は、備考の記載のとおり履修してください。
- ⑨ 単位を修得した場合(成績表に S・A・B・C・N と表記される)には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目 別表 ∇ − 1

チェッ	授 業 科 目	授業の-	単	卒業必	1) L	履	修 2	Ė	· 沙 3	۲	1	備考
ク 欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	小笠原流礼法基礎講座		2	0									● 春学期または秋学期に開講
	聖徳教育I	演	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を
	聖徳教育Ⅱ	演	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	参照すること。
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	0	0								
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)	演	1	0		0							
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	0									
	計		7										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

教養科目 別表 Ⅵ − 2

チェック機 授業科目 で業の方法 企修春秋春秋春秋春秋 日 自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域) 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	77.5	~	-											7/1X V =
グク機 接業科目 の方法 位 本 教 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春				授業	単		J	蕧	修	年	次			
A		ッ	授 業 科 目	の	,	1	l	2	;	3		4		備考
A 類 □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域) 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					位	 春	秋	春	秋	春	秋:	春和	火	
A 類 □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域) 2 ○○○○ □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域II・ハクターンシップ) 演 2 ○○○○ □ 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) 2 ○○○○ B 回 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) 2 ○○○○ 類 回 自然・社会・科学技術を考える(提覧領域) 2 ○○○○ □ 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) 2 ○○○○○ □ 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) 2 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○			自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					2科目以上(4単位)を履修すること(B類、C
類 □ 目分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域) 2 □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I) 2 □ 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 II・インターンシップ) 演 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) 2 □ □ 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) 2 □ □ 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域) 2 □ □ 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) 2 □ □ 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) 2 □ □ 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) 2 □ □ 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) 2 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	Λ		自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					類から履修することが望ましい)。
□ 自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I ・ インターンシップ) 演 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) 2 □ 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) 2 □ □ 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) 2 □ □ 心とからだの美的本質を追求する(小の領域) 2 □ □ 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) 2 □ □ 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) 2 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					
B □ 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) 2 ○ ○ ○ ○ 類 □ 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	//		自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					
B □ 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 Ⅱ・インターンシップ)	演	2									
類 □ 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) 2 □ □ 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) 2 □ □ むとからだの美的本質を追求する(心の領域) 2 □ □ むとからだの美的本質を追求する(小の領域) 2 □ □ むとからだの美的本質を追求する(栄養領域) 2 □ □ むとからだの美的本質を追求する(栄養領域) 2 □ □ むとからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) 2 □ □ 日本国憲法 2 ■ □ □ 日本国憲法は教育職員免許状を取得しようとする者は必ず修得すること。			自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					
□ 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	_		自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					
□ 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) 2 ○ ○ ○ 質 □ 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域) 2 ○ ○ ○ 類 □ 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) 2 ○ ○ ○ □ 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) 2 ○ ○ ○ D 日本国憲法 2 ● 類 □ 日本国憲法 2 計 28 ○ ○ ○	類		自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					
C □ 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域) 2 □ ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					
類 □ 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) 2 ○ ○ ○ □ 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) 2 ○ ○ ○ D 類 □ 日本国憲法 2 ● ● □ 日本国憲法は教育職員免許状を取得しようとする者は必ず修得すること。 計 28 □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ □ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					
□ 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) 2 ○ ○ ○ D 類 □ 日本国憲法 2 ● ● □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	_		心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					
D 類 日本国憲法 2 ● ● 上 中本国憲法は教育職員免許状を取得しようとする者は必ず修得すること。 計 28 日本国憲法は教育職員免許状を取得しようとする者は必ず修得すること。	類		心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					
類 □ □ □ □ とする者は必ず修得すること。 計 28 □			心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc					
			日本国憲法		2	•	•						4	□ 日本国憲法は教育職員免許状を取得しよう とする者は必ず修得すること。
			計		28									

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は時間割編成上、春学期または秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

専門基礎科目 別表 Ⅵ − 3

チェ		授業	単	卒		,	覆	修	年	次			
ツ	授 業 科 目	の		業必		1	2	2	3	3	4	1	備考
ク 欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	化学入門 I		2	0	\bigcirc								
	化学入門Ⅱ		2	0	\bigcirc								
	生物学入門 I		2	\circ	\circ								
	生物学入門Ⅱ		2	\circ	0								
	<u>≅</u> +		8										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

【受講区分】注:化学入門 Ⅰ・Ⅱ、生物学入門 Ⅰ・Ⅱ すべて履修すること。

チェ		授業	単	卒		,	履	修	年	次	ζ		
ッ	授 業 科 目	の		業必		1	4	2	,	3	4	4	備考
ク 欄		方 法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	英語 I	演	1	0	\circ								△ 別表V-2の教養科目と外国語科目を併せて
	英語Ⅱ	演	1	\circ		\circ							12単位以上修得すること。
	英語Ⅲ	演	1	\circ	\bigcirc								
	英語IV	演	1	0		\circ							
	英語V	演	1	0			\circ						
	英語VI	演	1	\circ				\circ					
	英語Ⅶ	演	1	0			0						
	英語VII	演	1	0				\circ					
	計		8										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目 別表V-5

チェ		授業	単	卒			履	修	年	次	:		
ツ	授 業 科 目	の		業必		1	4	2	;	3	4	4	備考
ク 欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	スポーツと健康 I	*	1	0	0								
	スポーツと健康Ⅱ	*	1	0		\circ							
	## *		2										

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

【受講区分】注:スポーツと健康 I・Ⅱ いずれも履修すること。

情報活用科目 別表V-6

チェ		授業	単	卒			履	修	年	次			
ッ	授 業 科 目	の	, ,	業必		1	2	2	;	3	4	4	備考
ク 欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	\circ								△ 情報活用科目の受講区分は注のとおり
	情報活用演習(教職)	演	1			0							
	計		2										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

【受講区分】

注:1)(基礎)必修。

- 2) 教育職員免許状を取得しようとする者は、(基礎)と(教職)必修。
- 3) 情報活用科目を2単位以上修得した場合の1単位のみは教養科目の単位に含めることができる。

チェ		授業	単	卒)	履	修	年	次	:		
ツ	授 業 科 目	の		業必		1	4	2	S	3	4	Į.	備考
ク 欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本語 I	演	1		\circ								△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に
	日本語Ⅱ	演	1			\bigcirc							替えることができる。
	日本語Ⅲ	演	1				\circ						
	日本語IV	演	1					\bigcirc					
	日本語V	演	1						\bigcirc				
	日本語VI	演	1							\bigcirc			
	日本の社会と歴史 I		2						\bigcirc				
	日本の社会と歴史Ⅱ		2							\bigcirc			
	計		10										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

人間栄養学部 人間栄養学科 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 (A 類) 30 単位以上、専門教育科目 (B 類) 105 単位以上、計 135 単位以上です。
- ② 専門教育科目 (B類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専	門教育科目(B類	į)
必修科目	選択科目	計
105	_	105

- ③ 専門教育科目 (B 類) については、別表V-8の卒業必修欄に \bigcirc 印の付いている科目 105 単位を履修してください。
- ④ 中学校、高等学校教諭一種免許状(家庭)を取得しようとする者は、①に加えて別表V-8の教免(家庭)欄に〇印の付いている科目を履修してください。併せて別表V-9、10に記載のとおり履修してください(別表V-10の科目は卒業要件に算入することは出来ません)。
- ⑤ 中学校、高等学校教諭一種免許状(保健)を取得しようとする者は、①に加えて別表V-8の教免(保健)欄に〇印の付いている科目を履修してください。併せて別表V-11、12 に記載のとおり履修してください(別表V-12の科目は卒業要件に算入することは出来ません)。
- ⑥ フードスペシャリスト受験資格を取得しようとする者は、①に加えて別表V-8の FS 欄に〇印の付いている科目を履修してください。
- ⑦ 栄養教諭一種免許状を取得しようとする者は、①に加えて別表V-8の栄養教諭欄に〇印の付いている科目を履修してください。併せて別表V-13、14に記載のとおり履修してください(別表V-14の科目は卒業要件に算入することは出来ません)。
- ⑧ 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を取得しようとする者は、①に加えて別表V─8 の食品衛生欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑨ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座 の資格を取得しようとする者は、①に加えて別表VⅢ-1~5により、履修してください(卒業要件に算入 することは出来ません)。
- ⑩ 単位を修得した場合(成績表に S・A・B・C・N と表記される)には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

人間栄養学科 専門教育科目 (B類)

15	区分	チェッ	科目名	授業の	単位	卒業	教免(教免	栄養	F	食品	-	1		履修 2	年次	: 3	1	4	備考
Ľ	≛ガ	ク		方	数数	必	家庭	(保 健	教諭	S	衛生	春	秋	春	秋	春	3 秋	春	秋	1佣/与
		欄	人間と栄養 I	法演	1	修			胡	2	生		17/	书	17/	T	17/	1	17/	
			人間と栄養Ⅱ	演	1	0						0								
		H	基礎化学実験	実	1	0					0	0								
	間栄養学		統計学演習I	演	1	0						0								
基	甚礎分野		統計学演習 II	演	1	0							0							
		H	キャリアプランニング	演	1	0						0								
			管理栄養士活動論	演	1	0											0			
		\vdash	調理学実習I	実	1	0	0	 		0		0								
,	間栄養学		調理学実習Ⅱ	実	1	0	0						0							
	同本食子 問理実習	H	調理学実習Ⅲ	実	1	0								0						
"	7.2741	H	調理学実習IV	実	1	0				0					0					
	1	H	社会・環境と健康 [7	2	0		0			0			0						
	九公.四		社会・環境と健康 Ⅱ		2	0		0			0					0				
	社会・環境と健康	H	社会・環境と健康Ⅲ		2	0		0									0			
	Jucien	H	公衆衛生学実習	実	1	0										0				
		+		天	+	+			-											
		H	解剖学·生理学 I 解剖学·生理学 II	+	2	0		0			0	0	0							
		Н	解剖字・生理字Ⅱ 生化学 I	+	2	0					0		U							
		H		+	1	+								0						
		H	生化学Ⅱ	-	2	0									0					
	人体の構	H	免疫学	-	2	0		0			0						0			
	造と機能		臨床医学入門 I		2	0		_						0	_					
専門	及び疾病の成り立		臨床医学入門Ⅱ	-	2	0		0			0				0		_			
基	り成り立ち		臨床医学入門Ⅲ		2	0								_			0			
礎		_	解剖学•病理学実習	実	1	0					0			0						
分		_	生理学実習 I	実	1	0							0							
野			生理学実習 II	実	1	0										0				
			生化学実験 I	実	1	0					0			0						
			生化学実験 Ⅱ	実	1	0									0					
			食べ物と健康I		2	0	0			0	0		0							
			食べ物と健康Ⅱ		2	0	0			0	0			0						
			食べ物と健康Ⅲ		2	0		0		0	0		0							
	食べ物と				2	0	0			0			0							
	健康		食品科学実験 [実	1	0				0	0		0							
			食品科学実験 Ⅱ	実	1	0				0	0				0					
			食品衛生学実験	実	1	0					0			0						
			食事設計実習	実	1	0							0							
	基礎		基礎栄養学 I		2	0	0			0	0		0							
	基礎 栄養学		基礎栄養学Ⅱ		2	0	0				0			\circ						
	71.32.1		基礎栄養学実験	実	1	0					0		0							
			応用栄養学 I		2	0	0				0			0						
	応用		応用栄養学Ⅱ		2	0	0								0					
	栄養学		応用栄養学Ⅲ		2	0									0					
	<u></u>		応用栄養学実習	実	1	0										0				
			栄養教育論 I		2	0		0							0					
	栄養		栄養教育論Ⅱ		2	0										0				
	教育論		栄養教育論Ⅲ		2	0											0			
専		_	栄養教育論実習	実	1	0		0									0			
門			臨床栄養学 [2	0		0							0					
分	1		臨床栄養学Ⅱ		2	0		0			0					0				
野	臨床		臨床栄養学Ⅲ		2	0		0									0			
	栄養学		臨床栄養学Ⅳ		2	0												0		
			臨床栄養学実習I	実	1	Ō		0								0		Ė		
			臨床栄養学実習Ⅱ	実	1	0		T								Ť	0			
			公衆栄養学Ⅰ	+^	2	0	0	t			0				0		Ť			
	公衆		公衆栄養学Ⅱ	+	2	0									\vdash	0				
	栄養学	H	公衆栄養学実習	実	1	0											0			
		-	公派未養子美音 給食経営管理論 I	天	2	0								0						
	給食	_		+	2	0									0					
	経営	_	給食経営管理論 II	,++	+			1	1		1									
	管理論		給食マネジメント実習	実	1	0		-	-		-					0				
1	1		給食運営管理実習	実	1	0		1							\circ					

			チェ		授業の	単	卒	教免	教免	栄	F	食				履修	年次				
	\geq	区分	ッ	科目名	かの	位.	業必	家	保	養教		品衛]	1	4	2	3	3	4	1	備考
			ク 欄		方法	数	修	庭	健	諭	S	生	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
				臨地実習I	実	1	0										0				
				臨地実習Ⅱ	実	1	0										0				
				臨地実習Ⅲ	実	1	0											0			
		臨地		臨地実習Ⅳ	実	1	0											0			
	専	実習		臨地実習V	実	1												0			
	門			臨地実習Ⅰ・Ⅱ事前事後指導	演	1	0										0				
	分			臨地実習Ⅲ・Ⅳ事前事後指導	演	1	0										0				
	野			臨地実習V事前事後指導	演	1												0			
				総合演習I	演	1	0												0		
		総合		総合演習 Ⅱ	演	1	0												0		
		演習		総合演習皿	演	1	0													0	
				総合演習IV	演	1	0													0	
		間栄養学		卒業研究	演	4	0											0	0	0	
専	尃	門研究		卒業論文	演	4												0	0	0	
門				フードスペシャリスト論		2					0						0				
教育				食品官能評価•識別論		2					\circ							0			
育科				食品産業マーケティング論		2					\circ							0			
目				フードコーディネート論		2					\circ				0						
				食教育法 I		2				\circ			0								
				食教育法Ⅱ		2				\circ				0							
				家庭経営学(含家族関係学)		2		\circ										0			
	資	資格取得		生活経済学		2		\circ											0		
	関]連科目		被服学(含被服製作実習)		2		0										0			
				住居学(含製図)		2		0											0		
				保育学(含実習)		2		0									0				
				家庭看護学		2		高免									0				
				家庭電気・機械および生活情報		2		高免										0			
				小児保健学		2			0										0		
				児童保健学(学校保健)		2			0											0	
				健康心理学•精神衛生		2			0									0			
				計		143															

【授業の方法】演:演習、実:実習、無印:講義をさす。

◎別表 V-8に記載されている科目で、太字(ゴシック)になっている科目は管理栄養士指定科目です。 この科目が進級基準の「管理栄養士指定科目の修得」要件の科目となります。

教職課程履修について〔中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 家庭〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。 原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表 Ⅴ - 9

チェ		授業	単	_到 必履				履修	年次				
ツカ	授 業 科 目	0)	単位	世 要 修		[4	2	9	3	4	1	備考
欄		方法	1.2/.	日なが	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2	0									春学期または秋学期に開講
	英語 I	演	1	0	\circ								
	英語Ⅱ	演	1	0		\bigcirc							
	スポーツと健康 I	講、実	1	0	0								
	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	0		\bigcirc							
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0								
	情報活用演習(教職)	演	1	0									

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

人間栄養学科の専門教育科目(B類)に記載の教免(家庭)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表 V -10

チェ		授業	単	中	高				履修	年次				7715€ V 10
ッ	授 業 科 目	0)	位	免	角		1	4	2		3	4	4	備考
ク 欄		方法	11/.	元	元	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	教職入門		2	0	0			0						
	教育基礎論		2	\circ	\circ			\circ						
	教育心理学		2	\triangle	\triangle				\circ					△はいずれか1科目必修
	発達心理学		2	\triangle	\triangle			\circ						公はいりないが1行目む 6
	特別支援教育総論		2	0					\circ					
	教育社会学		2							\circ				
	教育課程論		2	\circ	\circ				\circ					
	家庭科教育法 I	演	2	\circ	\circ					\circ				
	家庭科教育法Ⅱ	演	2	\circ	\circ						\circ			
	家庭科教育法Ⅲ	演	2	\circ								\circ		
	家庭科教育法IV	演	2	0									0	
	道徳教育の指導法		2	0						0				
	総合的な学習の時間の指導法		2	\circ	\circ									
	特別活動の指導法		2	0					\circ					
	教育方法学		2	\circ	\circ			\circ						
	生徒指導(進路指導を含む)		2	\circ	\circ			\circ						
	教育相談		2	0	0				0					
	教職実践演習(中・高)	演	2	0	0								0	
	中学校教育実習	実	5	0										
	高等学校教育実習	実	3		0									
	介護体験実習	実	1	0										
	計		45	40	31									

- 「注」1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 - 4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、 教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護等の体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特別支援学校において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

教職課程履修について〔中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 保健〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。 原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表 Ⅴ -11

チ		授業	単	ⅎ℩必履				履修	年次				
エッ	授 業 科 目	の	'	科要修			4	2	Ç	3	4	4	備考
ク 欄		方法	位	日なが	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2	0									春学期または秋学期に開講
	英語 I	演	1	0	0								
	英語Ⅱ	演	1	0		0							
	スポーツと健康 Ι	講、実	1	0	0								
	スポーツと健康 Ⅱ	講、実	1	0		0							
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0								
	情報活用演習(教職)	演	1	0		0							

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

人間栄養学科の専門教育科目(B類)に記載の教免(保健)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表 V-12

チェ		授業	単	中	高				履修	年次				/// // 12
ッ	授 業 科 目	の	位	免	免		1		2		3		4	備考
ク 欄		方法	11/.	九	九	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	教職入門		2	0	0			0						
	教育基礎論		2	\circ	0			\circ						
	教育心理学		2	\triangle	\triangle				\circ					△はいずれか1科目必修
	発達心理学		2	\triangle	\triangle			0						△/は√・9 4 0万・17年日必修
	特別支援教育総論		2	0	0				0					
	教育社会学		2	\circ	0					\bigcirc				
	教育課程論		2	\circ	0				\circ					
	保健科教育法 I	演	2	0	0					0				
	保健科教育法Ⅱ	演	2	0	0						0			
	保健科教育法Ⅲ	演	2	\circ								0		
	保健科教育法IV	演	2	\circ									\circ	
	道徳教育の指導法		2	\circ						\circ				
	総合的な学習の時間の指導法		2	\circ	\circ									
	特別活動の指導法		2	\circ	\circ				\circ					
	教育方法学		2	\circ	0			\circ						
	生徒指導(進路指導を含む)		2	\circ	\circ			\circ						
	教育相談		2	\circ	0				\bigcirc					
	教職実践演習(中・高)	演	2	0	0								0	
	中学校教育実習	実	5	0										
	高等学校教育実習	実	3		0									
	介護体験実習	実	1	\circ										
	計		45	40	31									

- [注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 - 4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護等の体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特別支援学校において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

教職課程履修について〔栄養教諭一種免許状〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。 理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。 原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表 V-13

チェ		授業	単	科亚族				履修	年次				
ッ	授 業 科 目	0	位	日安修		1	4	2	.,	3	4	1	備考
柳		方法	11/.	甲なが	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2	0									春学期または秋学期に開講
	英語 I	演	1	0	0								
	英語Ⅱ	演	1	\circ		\circ							
	スポーツと健康 I	講、実	1	0	0								
	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	0		\circ							
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0								
	情報活用演習(教職)	演	1	\circ		\circ							

2. 「専門教育科目」の履修について

「栄養に係る教育に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおりに履修してください。

○栄養に係る教育に関する科目

人間栄養学科の専門教育科目(B類)に記載の栄養教諭欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表 V-14

チェ		授業	単	栄				履修	年次				
ッ	授 業 科 目	の	14	養 教		1	4	2	3	3	4	1	備考
ク 欄		方法	71/.	諭	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	教職入門		2	Ó			0						
	教育基礎論		2	Ō			\circ						
	発達心理学		2	\circ				\circ					
	特別支援教育総論		2	Ō				\circ					
	教育課程·方法論		2	Ō			0						
	道徳•特別活動論		2	Ō					0				
	総合的な学習の時間の指導法		2	\circ									
	生徒指導論		2	Ō			0						
	教育相談		2	Ō				\circ					
	教職実践演習(栄養教諭)	演	2	0								\circ	
	栄養教育実習	実	2	Ō									
	計		22	22			1			1		1	

- [注] 1. 栄養教諭一種免許状を取得する者は、栄養教諭欄に〇印を付された科目全部を履修しなければならない。
 - 2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。
 - 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 - 4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。
 - 5. 栄養教諭一種免許状の課程履修は、人間栄養学科の学生のみを対象とする。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、 教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

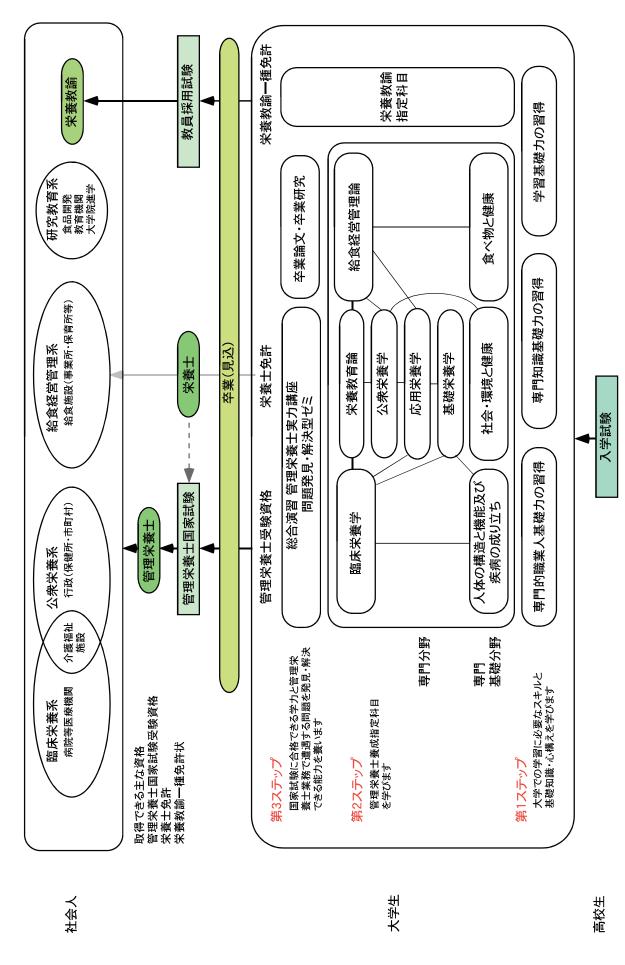
☆選択科目として、栄養教諭等の教職、フードスペシャリストなどの資格取得のための履修科目がある ☆「栄養の指導」とは、栄養士法上で定義されている管理栄養士の業務であり、内容的には「食事の提供(給食管理)」と「栄養指導」と「栄養状態の管理(栄養管理)」を意味する * 時間割上春学期・秋学期が入れ替わり開講される場合もある

健康な生活を栄養管理でサポートする信頼される管理栄養士

			≺!	に愛ける難ら	ばれる 4 個人のニーズに	1低り	ュニケーションをとることにおいしい食事を提供でき「栄養の指導」ができる		10		_
Outcomes)	学位授与の 方針で掲げる 学修成果	学修成果	 ★人間栄養学に関する科学的 根拠を理解し、その根拠に基 ついた実践活動と研究計画を 提案することができる。 ★グローバル社会が求める人 間栄養学を理解する論理的・ 創造的思考力が身につき、多 様な実践活動に主体的・協働 的に取り組むことができる。 		★目的に応じた食事を設計 し、すべての人から喜ばれる 食事を提供でき、健康の維 持・増進、疾病の予防・治療 に言範することができる。 ★人間栄養学に関する科学的 根拠に基づいた実践活動およ び研究計画を提案することが できる。		 ★食生活上の課題や問題を数理的・論理的に考察するこかできる。 ★アイティアや渦察力を生かし、多面的に問題をアプローチすることができる。 ★目的に応じた食事を設計し、すべての人から喜ばれる食いで、 ★目的に応じた食事を設計し、すべての人から喜ばれる食い。 ★自婚性供でき、種環の無益・心毒は、企業の公務。 	に貢献することができる。	★自己を客観的に分析・表現でき、持続的、自律的な学びをデザインできる。	★管理栄養士としての自覚と 誇り・使命感が持てる。 ★他者と連携、協調して責任 ある行動をとれる。	
Lる成果(Learning	科学的根拠を構 築する活動をス タートする	4年次	の の の の の の の の の の の の の の	(単位取得率) (GPA A以上%)	●医療機関、福祉施設 の栄養管理、食事介助 が理解できる 加開米 概十の 霧 4 名	(単位取得率) 存 (GPA A以上%) 力	食文化をふまえた 調理ができる。 総食と経営管理が 理解できる。 食品成分の機器分析 を体験できる	(単位取得率) (GPA A以上%)			(フポート評価)
養学科 学びで得られる成果	科学的根拠を活 用するための技 能を身につける	3年次	・国・地球レベル 対防を目指す栄養 対照のである。 には、衛生が対し、 いては、衛生が対。 当はの遂行に必要 当は、食事調査が	(単位取得率) (GPA A以上%) (臨地実習目標達成指標:保健所)	● 各 フィフステーシ、連動時における 生活環境、食生活の栄養素摂取の特徴 を	(単位取得率)(GPA A以上%) (臨地実習目標達成指標:医療機関)	●臨地実習で、実践トレーニングができる。(各種給食施設)さる。(各種給食施設)	(単位取得率) (GPA A以上%) (臨地実習目標達成指標:給食施設)		●臨地実習にあたり他者とコミニュケーションができる。 ケーションができる。	(単位取得率)
人間栄養学部人間栄養学科	科学的根拠を活 用するための知 識を身につける	2年次	●保健・医療・福祉等について基礎知識並びに環境因子について理解できる。	(単位取得率)(GPA A以上%)	 ●疾病の原因、病態、症候について人体の構造と機能に関連付けて て外の構造と機能に関連付けて で説明できる。 ●実験動物を用い、食事組成や食 事制限による生体の変化を翻察 し、栄養状態の変化を概認できる。 	(单位取得率) (GPA A以上%)	●調理・加工による成分変化を担解できる。 ● 食品の表示・安全性について理解できる。 ● 解できる。 ● 解できた。 ● を管理・危機管理ができる。 ● 食事摂取基準を活用して、給与 栄養目標量を決定できる。	(単位取得率) (GPA A以上%)		●管理栄 の教育、 を通した	(つ光ート評価)
聖徳大学	食に興味関心を 持ち、自主的学 智態度を身につ ける	1年次			●人体を生体成分、細胞、組織、 臓器・器官系および個体のレベル て説明できる。 ・栄養素等の生体内での働き、そ れらの相互作用について理解でき る。 ● 負事組成や食事制限による生体 図化を知り、栄養状態の変化が説 明できる。 ● 食事摂取基準を理解し、各指標	(単位取得率) (GPA A以上%)	●食品の化学成分(栄養成分、嗜好成分、機能性成分)の構造・性質及分、機能性成分)の構造・性質などの基礎知識を理解できる。 質などの基礎知識を理解できる。 関するリスクアナリシスの考え方 について説明できる。 ●調理の意義を説明できる。 ●調理の意義を説明できる。 ● 自常食の離立作成の基本(注 食、主菜、副菜、刊物)と1食単位及び1日単位の食事設計と調理 ができる。	(単位取得率) (GPA A以上%)	●生物や化学の基礎を学び生命科 学の基本が理解できる。 ●実践栄養活動に必要な情報の統 計的理解と表現ができる。 (単位取得率)(GPA A以上%)	●智理栄養士の職業倫理を理解 い、自覚する。★学の学びについて他者 とコミュニケーションができる。無規正しい団体生活とは何かを理解できる。	(単位取得率)
	v . \	1	Public Health Nutrition (社会と健康) を学ぶ		Clinical Nutrition and Dietetics (栄養・代謝と疾患) を挙済		Food Science and Food Service Management (食品と調理) を学ぶ		Basic Ability (学びの基礎力) を身につける	Humanity (人間性) を高める	

人間栄養学部人間栄養学科における教育概念図

乳児から高齢者までの様々な人の健康状態のアセスメントを行い、適切な栄養管理マネジメントができる人材を育成する。



	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 英語 V スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) 化学入門 I 化学入門 I 生物学入門 I 生物学入門 I	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目 英語 II 英語 VI スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 英語Ⅲ 英語Ⅶ	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 英語VⅢ
科目数	9	7	3	3
学科必修科目	人間と栄養 I 人間と栄養 I 人間と栄養 II 基礎化学実験 統計学演習 I キャリアプランニング 調理学実習 I 解剖学・生理学 I	統計学賞習Ⅱ 調理学・生理学 解剖学・生理習Ⅰ 食べ物とと健康Ⅲ 食のであるととは、 食のであるとは、 食のであるとは、 食のであるとは、 食のである。 食のである。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	調理学実習Ⅲ 社会・環境と健康 I 生化学 I 臨床医学入門 I 解剖学・病理学実習 生化学実験 I 食べ物生と健康Ⅲ 食品衛生美学Ⅱ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学 I 給食経営管理論 I	調理学享習Ⅳ 生化学录頁Ⅱ 臨床医学実験Ⅲ 食品科学学等數Ⅲ 食品用栄養養訓Ⅲ 応用養教養養論Ⅰ 監索栄養養論Ⅰ 公食経過学習 給食運営管理論
科目数	7	11	11	12
栄養教諭科目	食教育法 I	食教育法Ⅱ	教職入門 教育基礎論 教育課程・方法論 生徒指導論	発達心理学 教育相談 特別支援教育総論
科目数	1	1	4	3
科目数計	17	19	18	18

		F		<i>t</i> →
		年		年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
学科必修科目	社会・環境と健康Ⅱ 公衆衛生学実習Ⅱ 生理学実習Ⅲ 応用栄養育論Ⅲ 応用栄養教育論Ⅲ 臨床栄養学習Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 公衆栄ジメント実習 給食マネジメント実習	管理栄養 性会・環境学 性会・環境学入門Ⅲ 栄養原学子育論Ⅲ 栄養教育論学Ⅲ 栄養水養 臨床栄養学実習 監床栄養学美習 公衆栄養学実 公衆栄養研究	臨床栄養学Ⅳ 総合演習 I 総合演習 II 卒業研究	総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ 卒業研究
科目数	9	11	4	3
学科選択科目		卒業論文	卒業論文	卒業論文
科目数		1	1	1
実習	臨地実習 I 臨地実習 II 臨地実習 I・II 事前事後指導 臨地実習II・IV事前事後指導 臨地実習 V 事前事後指導	臨地実習Ⅲ 臨地実習Ⅳ 臨地実習V		
科目数	5	3		
栄養教諭科目	道徳・特別活動論	総合的な学習の時間の指導法		栄養教育実習 教職実践演習(栄養教諭)
科目数	1	1		2
科目数計	15	16	5	6

	1	年	2	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 英語 V スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎) 化学入門 I 化学入門 I 生物学入門 I 生物学入門 I	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 英語 II 英語VI スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy Ⅲ 教養科目 英語Ⅲ 英語Ⅶ	小笠原流礼法基礎講座 英語IV 英語VⅢ
科目数	9	5	4	3
学科必修科目	人間と栄養 I 人間と栄養 I 人間と栄養 II 基礎化学実験 統計学演習 I キャリアプランニング 調理学実習 I 解剖学・生理学 I	統計学学書 II 調理学・生理習 I 食べ物とと健康III 食品事設 食品事設 食品事設 養学 基礎栄養 基礎栄養	調理学実習Ⅲ 社会・環境学 I 生化学 I 臨床医学入門 I 解剖学・病理学実 生化学実験 I 食品衛生学と健康 II 食品衛生学学 I 点品概栄養学 I 応食経営	調理学学Ⅱ 生化学字】 塩床医学字験Ⅲ 生化学字験Ⅲ 生品科学学学美学Ⅲ 成用 完養 等Ⅲ 定議 表 等 章 Ⅱ 定 一
科目数	7	11	11	12
学科選択			フードコーディネート論	
科目数		1.0	1	15
科目数計	16	16	16	15

	3	年	4	年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
学科必修科目	社会・環境と健康Ⅱ 公衆衛生学実習Ⅱ 生理学美学ン に用業教育論Ⅲ 臨床栄養学記Ⅱ 臨床栄養学図Ⅰ 公マネジメント実習 給食マネジメント実習	管理栄養士活動論 社会・環境度庫Ⅲ 免疫学入門Ⅲ 栄養教育論Ⅲ 栄養教育論■習 臨床栄養養学調 臨床栄養美学 協床栄養学実別 公衆栄養学実習 卒業研究	臨床栄養学Ⅳ 総合演習 I 総合演習 II 卒業研究	総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ 卒業研究
科目数	9	11	4	3
学科選択	フードスペシャリスト論	卒業論文 食品官能評価・識別論 食品産業マーケティング論	卒業論文	卒業論文
科目数	1	3	1	1
実習	臨地実習 I 臨地実習 II 臨地実習 I・II 事前事後指導 臨地実習Ⅲ・IV事前事後指導 臨地実習 V 事前事後指導	臨地実習Ⅲ 臨地実習Ⅳ 臨地実習V		
科目数	5	3		
科目数計	15	17	5	4

看護学部 看護学科

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

看護学部看護学科は、本学の理念である「確かな人間性と洞察力を備えた専門性の高い実践力を有する自立した女性の育成」のもと、保健医療分野における人材育成を目的に、2014年に設置されました。今日の急速な高齢化、医療の高度化は保健医療従事者に、専門的知識・技術と多様な価値観を尊重する豊かな人間性を求めています。看護学部看護学科では、本学の人間教育に基づき、自らを律し、チームの中で主体的に考えながら実践できる、凛とした看護専門職者を育成し、地域社会へ貢献します。

看護学部看護学科は、教育理念に基づいて、以下の三つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

- 1. 高い人間的資質と倫理性を備え、高度な医療と地域の看護に従事できる凛とした専門職女性を育成する。
- 2. 地域医療体制の向上に寄与する。
- 3. 医療・健康・福祉に貢献できる実践的な教育研究を推進する。 看護学部看護学科では、教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

【学修成果】

- 1. 豊かな人間性を有し、看護職者に必要な品性を備えている。
- 2. 看護実践に必要な専門的知識・技術を修得し、それに基づいた判断力と課題解決力を有し、対話による合意形成を行うことができる。
- 3. 保健・医療・福祉・教育などの他職種との連携を図り、いつでも・どこでも・誰にでも必要とされるケアが提供できる。
- 4. 地域の特性と健康課題を探求し、実践できる。

看護学部看護学科では、以上の教育目標・学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に卒業を認定し、学士(看護学)の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

看護学部看護学科は、学部の教育目標を達成するために、以下の基本方針に基づいて教育課程を 編成しています。

- 1. 四年間の教育を通じて看護職者に必要な基礎的能力から看護実践に必要な総合的かつ 専門的な知識と技能が修得できる教育課程を編成します。
- 2. 学生一人ひとりが人間的に成長すると同時に、看護に求められる豊かな人間性と問題解決力の基本を育成する全学共通並びに学部共通の科目群を配置します。
- 3. 高度な医療と地域の看護に従事できる実践力を育成する看護学領域の科目群を配置します。 具体的には、
- 1. 全学共通科目群を設定し、聖徳教育、英語の科目を中核として、学生一人ひとりの人間的な成長と同時に、看護に求められる豊かな人間性と問題解決の基礎力を育成します。

- 2. 専門基礎科目群を設定し、解剖生理学、病態生理学の科目を中核として、看護職者に必要な 基礎的能力を育成します。
- 3. 専門科目群を設置し、各看護学領域の看護学概論・援助論の科目を中核として、看護実践に 必要な総合的かつ専門的な知識・技術・態度を育成します。演習・実習科目を多く設置し、 看護の実際の場面における課題解決を通して実践力を育成します。

【教育課程実施の方針】

看護学部看護学科では、教育目標を効果的に達成するために、授業計画(シラバス)に以下の 教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

- 1. 授業方法としてアクティブ・ラーニングを導入し、深い学びを促進しています。
- 2. 医療現場を再現して実践力を養うシミュレーション・トレーニングを導入しています。
- 3. 機能の異なる実習病院・施設において、人の発達段階に応じた急性期・慢性期・終末期医療 及び看護が学べるようにしています。

入学者受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

看護学部看護学科は、本学の人間教育の実績を活かして、保健医療分野に貢献できる看護専門職者を育成するために次のような能力を育成する教育目標を掲げています。

- 1. 豊かな人間性と看護職者に必要な品性
- 2. 看護実践に必要な専門的知識・技術
- 3. 判断力、課題解決力、対話による合意形成力
- 4. 他職種と連携を図る能力
- 5. 健康課題を探求し、実践できる能力

看護学部看護学科では、上記の能力を獲得できる資質をもった人を求めています。具体的には 次のような入学者を求めています。

- 1. 看護への意欲をもつ人
 - (1) 看護に関心があり、保健・医療・福祉分野に貢献したい人
 - (2) 地域の健康問題に関心のある人
- 2. 人間性豊かなコミュニケーションを大切にする人
 - (1) 生命の大切さ、人間の尊厳を理解できる人
 - (2) 他者への思いやりがあり、人間の弱さを共感的に理解できる人
 - (3) 他者の言葉に耳を傾け、気配りが行き届く優しい関係を築ける人
 - (4) 外国人と会話できる英語力の基礎を有する人
- 3. 数理的課題を解決する基礎力をもつ人
 - (1)的確な文章読解力と判断力をもった人
 - (2) 数理的な課題を解決する基礎力をもった人

入学試験においては、本学部での学修に必要な看護への意欲、人間性豊かなコミュニケーション力、課題解決の基礎力について、書類審査 (調査書、推薦書など)、学力試験、面接などを組み合わせて多面的かつ総合的に評価します。

看護学部 看護学科 履修要項

(1) 看護学部看護学科の卒業所要単位数は、次表のとおり全学共通科目(A類)は24単位以上、 専門教育科目(B類)は103単位、合計127単位以上です。

		全学共通	科目(A類	頁)		<u> </u>				
/ l.		toto a La	I-fa ties	204 1		必修	科目	\ ! L.		A =1
聖徳 教育	外国語	健康 教育	情報 活用	学部 共通科目	小計	専門基礎 科目	専門科目	選択科目	11111	合計
7	4	2	1	10	24	34	69	_	103	127

- (2) 看護学部看護学科の学生は、全学共通科目(A類)については、別表1、2、3、4、5の通り履修してください。
 - ① 聖徳教育科目(別表VI-1)はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
 - ② 外国語科目(別表VI-2)は英語 I ~IVの4単位が必修です。
 - ③ 健康教育科目(別表VI-3)はスポーツと健康 I、スポーツと健康 Iの2単位が必修です。
 - ④ 情報活用科目(別表VI-4)は情報活用演習(基礎)の1単位が必修です。
 - (5) 学部共通科目については、別表VI-6に指定された区分のとおり10単位以上を履修してください。
- (3) 専門教育科目(B類)については、別表VI-7のとおり卒業必修に○の付された専門基礎科目34単位と専門科目69単位の合計103単位が卒業必修となります。
- (4) 保健師国家試験受験資格取得希望者の選択については、選抜試験によって決定します。選抜試験は2年次の 講義が終了した以降に実施する予定です。なお、選抜試験詳細はガイダンスで説明します。
- (5) 単位を取得(成績表にS/A/B/C/Nと表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。
 - ※ 保健師課程履修希望者のうち、保健師資格取得後に養護教諭二種免許状の申請を予定している学生は、 下記の2科目について、必ず在学中に履修し取得しておくこと。

情報活用演習(教職)

日本国憲法

聖徳教育科目 別表Ⅵ-1

チェ		授業	単	卒			履	修	年	次			
ツク	授 業 科 目	の		業必		1	4	2	,	3	4	1	備考
欄		方 法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	小笠原流礼法基礎講座		2	0		0							
	聖徳教育 I	演	1	0	\circ	\circ	\circ	\circ	\circ	\circ	\circ	\circ	△聖徳教育の詳細について
	聖徳教育Ⅱ	演	1	0	0			0					は、学生便覧、シラバスを参照
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	0	\circ								すること。
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)	演	1	0	\circ	\circ							(通年履修)
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	0									
	計		7										

外国語科目 別表Ⅵ-2

グトは	日語科 目												別表Ⅵ-2
チェ		授業	単	卒			履	修	年	次			
ツ	授 業 科 目	の		業必]	L	2	2	3	}	4	1	備考
ク 欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	英語 I	演	1	0	0						-		△ 세 등로 전 □) > · ~) ▷ · 구
	英語Ⅱ	演	1	Ō		0							△外国語科目については、卒
	英語Ⅲ	演	1	0			0						業必修科目として英語 I 、II 、 Ⅲ、IV (4単位) 必修。
	英語IV	演	1	0				0					III、IV(4年位)必修。
	英語V	演	1						\circ				
	英語VI	演	1						\circ				
	英語VII	演	1								\circ		
	英語Ⅷ	演	1									\circ	
	フランス語 [演	1			0							
	フランス語Ⅱ	演	1			0							
	フランス語Ⅲ	演	1				0						
	フランス語IV	演	1				0						
	フランス語V	演	1							0			
	フランス語VI	演	1							0			
	フランス語VII	演	1								0		
	フランス語図	演	1								0		
	ドイツ語Ⅰ	演	1			0							
	ドイツ語Ⅱ	演	1			0							
	ドイツ語皿	演	1				0						
	ドイツ語Ⅳ	演	1				0						
	<u>ドイツ語 V</u> ドイツ語 VI	演演	1							0			
	ドイン語 VI ドイツ語 VII	演	1										
	ドイン語VII ドイツ語VII	演演	1								0		
	1747 - 1747 -	演	1			0					0		
	イクリア語 I	演	1										
	イタリア語Ⅲ	演	1				0						
	イタリア語IV	演	1				Ö						
	イタリア語V	演	1							0			
	イタリア語VI	演	1							Ö			
	イタリア語Ⅶ	演	1								0		
	イタリア語Ⅷ	演	1								Ō		
	中国語I	演	1			0							
	中国語Ⅱ	演	1			0							
	中国語Ⅲ	演	1				0						
	中国語IV	演	1				0						
	中国語V	演	1							\circ			
	中国語VI	演	1							\circ			
	中国語VII	演	1								\circ		
	中国語呱	演	1								\circ		
	韓国語I	演	1			\circ							
	韓国語Ⅱ	演	1			0							
	韓国語Ⅲ	演	1				0						
	韓国語IV	演	1				0						
	韓国語V	演	1							0			
	韓国語VI	演	1							0			
	韓国語WI	演	1								0		
$\vdash \bot$	韓国語Ⅷ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	演	1								0		
	=	<u> </u>	48						ш				

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

健康教育科目 別表Ⅵ-3

	授業	単	卒			屋	夏 修	年》	欠			
授 業 科 目	の				1	4	2	Ç	3	4	1	備考
	力 法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
スポーツと健康 I	*	1	\circ	0								△スポーツと健康Ⅰ、スポーツ
スポーツと健康 Ⅱ	*	1	\circ		\circ							と健康Ⅱを必修とする。
スポーツと健康Ⅲ		2										
スポーツと健康IV~1	*	1										
スポーツと健康IV~2	*	1										
基礎専門体育 I	演	1										
基礎専門体育Ⅱ	演	1										
計		8										
	スポーツと健康 I スポーツと健康 II スポーツと健康 III スポーツと健康 IV ~ 1 スポーツと健康 IV ~ 2 基礎専門体育 I 基礎専門体育 I	授業科目 業の方法 スポーツと健康 I ※ スポーツと健康 II ※ スポーツと健康 II ※ スポーツと健康 III スポーツと健康 IV~1 ※ スポーツと健康 IV~2 ※ 基礎専門体育 I 演基礎専門体育 I 演	授業科目	授業科目 業の方法 位 総	授業科目	授業科目 業の方法 工 方法 位 を 秋 スポーツと健康 II ※ 1 ○ ○ スポーツと健康 III ※ 1 ○ ○ スポーツと健康 IV ~ 1 ※ 1 ○ スポーツと健康 IV ~ 2 ※ 1 ○ 基礎専門体育 I 演 1 □ 基礎専門体育 II 演 1 □	授業科目 業の方法 スポーツと健康II ※ 1 ○ ○ スポーツと健康III 2 スポーツと健康IV~1 ※ 1 スポーツと健康IV~2 ※ 1 基礎専門体育 I 演 1 基礎専門体育 II 演 1	授業科目 業の方法 上 支 1 2 本 秋春 <	授業科目 業の方法 工程 2 1 2 3 本の方法 位 を 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 スポーツと健康II ※ 1 ○ ○ ○ スポーツと健康IV~1 ※ 1 ○ ○ スポーツと健康IV~2 ※ 1 ○ 基礎専門体育 I 演 1 ○ 基礎専門体育 II 演 1 ○	授業科目	授業科目 業の方法 工場 1 2 3 4 本 本 秋春 秋春 秋春 秋春 秋春 スポーツと健康II ※10 0	授業科目 業の方法 工場 1 2 3 4 本の方法 位 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

情報活用科目 別表Ⅵ-4

チェ		授業	単	卒			屠	夏 修	年》	欠			
ツ	授 業 科 目	の		業必		1	4	2	ć	3	4	1	備考
ク 欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0								△情報活用演習(基礎)を必
	情報活用演習(応用)	演	1					0					修とする。
	情報活用演習(統計)	演	1					0					
	情報活用演習(表現)	演	1					0					
	情報活用演習(教職)	演	1			0							
			5										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

帰国子女科目 別表VI-5

	* * > * 1 1 1 1 1												***************************************
チェ		授業	単	卒			屋	夏 修	年 心	欠			
ツ	授 業 科 目	の		業必		1	4	2	ć	3	4	Į	備考
ク 欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本語 I	演	1		0								
	日本語Ⅱ	演	1			0							
	日本語Ⅲ	演	1				0						
	日本語IV	演	1					0					
	日本語V	演	1						0				
	日本語VI	演	1							0			
	日本の社会と歴史 I		2						0				
	日本の社会と歴史Ⅱ		2							0			
	計		10										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

学部共通科目 別表Ⅵ-6

		WILL T	チ		授業	単	① 卒	2				履修	年次	· .			7714X VI 0
			エッ	授 業 科 目	の		業	保健		1		2		3	4	4	
			ク 欄		方法	位	必 修	師	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
				自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2	☆		0								
		А		自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2	☆		\circ								
		類		自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2	☆		0								
				自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)		2	☆		\circ								
				自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2	☆		0								
		В		自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2	☆		0								☆印を付した科目より6単
全		類		自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2	☆		\circ								位以上選択必修
全学				自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2	☆		\circ								
共	学			心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2	☆								0		
通	部	С		心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2	☆									0	
科	共通	類		心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2	☆			0	0						
目	科			心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2	☆			\circ	0						
\widehat{A}	目			日本国憲法		2	*								\circ		
類				法学		2	*								0		
$\overline{}$				社会学		2	*		0								1 de 2 / (2 2 de 2 2 de 2 de 2 de 2 de 2 de 2 de
				教育学		2	*		0								★印を付した科目より4 単位以上選択必修
				哲学		2	*		0								
				心理学		2	*		0								
				倫理学		2	*						0				
				計		38											

専門教育科目 別表Ⅵ-7

		チェ		授業	単	① 卒	2				履修	年次				
		ー ツ ク	授 業 科 目	が方		業必	保健		1	_	2		3		4]
		柳		法	位	修	健師	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
			解剖生理学 I		2	0		\circ								
			解剖生理学Ⅱ		2	0		\circ								
			微生物学		2	0			0							
			生化学		2	0		0								
			薬理学		2	\circ				0						
			病理学		2	\circ			0							
			病態生理学		2	0			0							
専			臨床医学 I		2	\circ			0							
門	#		臨床医学Ⅱ		2	\circ				0						履修年次欄の◎印は
教育	専門基		臨床医学Ⅲ		1	\circ					0					週2回(30回)での開講
科	基		栄養学		1	\circ		•								を示し、また、●印はク
目	磁		臨床栄養学		1	\circ										オーター(8回)での開講を示す。
B	科目		疫学		2	\circ	\circ					0				冊で7170
類			保健統計と健康		2	0	0				0					
$\overline{}$			公衆衛生学		2	0	0					0				
			臨床心理学		1	\circ										
			社会保障論		2	\circ					0					
			医療情報学	演	1	\circ					0					
			保健医療福祉行政論		2	0	0								0	
			医療安全学		1	0										
			医療経済学		1											
			計		35											

		チェ		授業	単	① 卒	2				履修	年次	Ć.			
		ーツク	授 業 科 目	がの方	/4.	業必	保健		1		2		3		4	
	1	欄	<i>子会长2</i> 54m3人	法	位	修	師		秋	春	秋	春	秋	春	秋	
			看護学概論		2	0		0								
			公衆衛生看護学概論		2	0	0				0					
			看護アセスメント学 I	演	2	0			0							
			看護アセスメント学Ⅱ	演	1	0				0						
			看護技術論 I	演	2	0			0							
			看護技術論Ⅱ	演	2	0				0						
			人間関係論 I	演	1	0			0							
			人間関係論Ⅱ	演	1	\circ									0	
			看護理論		1	0					•					
			成人看護学概論		2	0				0						
			成人看護学援助論 I	演	2	0					0					
			成人看護学援助論Ⅱ	演	2	0				0						
			生活支援看護概論		1	0	0		•							
			生活支援援助論	演	2	0	0					0				
			家族看護論	<u> </u>	1	0	0			•						
			母性看護学概論		2	0				Ť	0					
			母性看護学援助論	演	2	0						0				
			小児看護学概論	123	2	0					\bigcirc					
			小児看護学援助論	演	2	0						0				
			精神看護学概論	1円	2	0	0				0	9				
			精神看護学援助論	演	2	0						0				
#			老年看護学概論	供	2	0						0				
専門				演		0				0		_				
教			老年看護学援助論	供	2							0				履修年次欄の◎印は
育	専		公衆衛生看護活動展開論		2		0							0		週2回(30回)での開講
科目	門科		公衆衛生看護管理論		2		0							0		を示し、また、●印はク オーター(8回)での開
	目目		個人・家族・集団・組織の支援		2		0							0		講を示す。
В			クリティカルケア論		1							•				
類			災害看護論		1	0								•		
$\overline{}$			緩和ケア論		1							•				
			国際看護活動論		1	0					•					
			看護倫理		1	0								•		
			看護管理		1	0								•		
			看護教育		1											
			看護研究 I		1	0						0				
			看護研究Ⅱ	演	1	0								0		
			リハビリテーション看護論		1											
			基礎看護学実習 I	実	1	0		0								
			基礎看護学実習Ⅱ	実	2	0		L			0					
			成人看護学実習 I	実	3	0							0			
			成人看護学実習Ⅱ	実	3	0							0			
			老年看護学実習 I	実	1	0				0						
			老年看護学実習Ⅱ	実	3	0							0			
			精神看護学実習	実	2	0							0			
			生活支援看護実習(在宅)	実	1	0								0		
			母性看護学実習	実	2	0							0	Ť		
			小児看護学実習	実	2	0							0			
			公衆衛生看護学実習Ⅰ(個人・家族・集団・組織)	実	2		0						\vdash	0		
		_	公衆衛生看護学実習Ⅱ(活動展開・管理)	実	3		0							0		
			統合実習	実	3	0									0	
		\vdash		夫						\vdash	\vdash	-	\vdash	\vdash		
	1		単位計		84											

地域に貢献する凛とした看護専門職者

							4 ₽₽		Ma	
	1感性豊かな 5ざそう	4年次秋学期	柒 勿账恕		人間関係論工		保健医療福祉行政論		の6単位以上選択必修英語で	聖徳教育 [
(基)	地域に目を向け感性豊かな 看護実践者をめざそう	4年次春学期	生活支援看護実習公衆衛生看学実習し公衆衛生看学実習工	公衆衛生看護活動展開論 公衆衛生看護管理論 個人・家族・集団・組織の支援	災害看護論 看護倫理 看護管理 看護研究 T		医療経済学	臨床の神学	質を追求する領域)よ 日本国憲法 法学 英語M	聖徳教育 [
カリキュラムマップ(看護師+保健師資格)	こ基づいた を高めよう	3年次秋学期	維持 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物 動物						C領域:心とからだの美的・質を追求する領域)より6単位以上選択必修 日本国憲法 法学 英語加 英語加	聖徳教育 [
カリキュラムマッ	アセスメントに基づ、た 看襲の実践力を高めよう	3年次春学期			看護研究 [生活支援援助論 母性看護学援助論 JVP看護学援助論 精神看護学援助論 者住看護学援助論 ろリティカルケア論 緩和ケア論	物學小	人 來聞工子 厌癖 安全学		聖徳教育 [
看護学部看護学科	アセスメントカを重点的に高めよう	2年次秋学期	基部香麵學家留日		国際看護活動論	公衆衛生看護学概論 成子看護学概論 母性看護学概論 切児看護学概論 精神看護学概論	看護理論 社会保障論 压處達納等	保護等人	B領域:自然・社会・科学技術を考える領域、 倫理学 英語 V ・ VI	聖徳教育工聖徳教育工
聖徳大学		2年次春学期	老年香護学実習Ⅰ			成人看護学概論 成人看護学援助論工 家族看護論 老年看護学概論	看護アセスメント学工 看護技術論工	繁理学 臨床医学 II	見つめ・拡げ・伝える領域、E	聖徳教育 I SBTOKU Academic Literacy II
令和2年度入学生	、円滑な人間関係 を強化しよう	1年次秋学期				生活支援看護概論	看護アセスメント学 [看護技術論] 人間関係論]	微生物学 病理学 病態生理学 臨床医学 I 臨床失養学	(A領域:自分を スポーツと健康 英語II	聖徳教育 I 小笠原流礼法基礎講座 SEITOKU Academic Literacy II
	人への理解を深め、円滑な人間 を築く能力を強化しよう	1年次春学期	基礎看護学実習工				看護学概論	縣凹生理学 I 年代学 工作化学 X 養学	学部共通科目 スポーツと健康 I 社会学 哲学 教育学 心理学 英語 I 情報活用演習(基礎)	聖德教育 I 聖德教育 I SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy I
			看護の現場で学ぶ	公衆衛生看護を学ぶ	発展的な看護を学ぶ	実践的な看護を学ぶ	看護の基礎を学ぶ 健康と環境の関係	を学ぶ 人間と病気 について学ぶ	豊かな教養を身につける	人間性を高める。

地域に貢献する凛とした看護専門職者

					0	
	人への理解を深め、円滑 な人間関係を築く能力を 強化しよう	アセスメント力を重点的に高かよう	アセスメントに基づいた 看襲の実践力を高めよう	地域に目を向け感性豊 かな看護実践者をめざ そう	学位授与の方針で掲げる学習成果	
	1年次	2年次	3年次	4年次	学習成果	
看護の現場で学ぶ	病院での看護の機能と役 割が説明できる	病院や施設における対象 の看護の必要性を説明で きる	病院や施設において対象 の発達段階および回復の 段階に応じた看護を実践 できる	地域の特性と健康課題を 探求し、看護の実際の場 面での課題解決ができる 実践力が身についている	地域の特性と健康課題を 探求し、実践できる	
	(実習評価・GPA)	(実習評価・GPA)	(実習評価・GPA)	(実習評価・GPA)		
公衆衛生看護を学ぶ				1方法 1億理	保健・医療・福祉・教育	
				(成績評価・GPA)	などの多職種との連携を	
発展的な看護を学ぶ		グローバルな視点で看護を捉え、看護ケアの質の 向上のための研究の基礎 が説明できる		遂視・とき行点福のる	図り、いつでも、どこでも・誰にでも必要とされるケアが提供できる	
		(成績評価・GPA)		(成績評価・GPA)		
実践的な看護を学ぶ	在宅医療について説明できる	 	看護実践に必要な総合的かつ専門的な知識・技術・態度が身についている。			
	(成績評価・GPA)	(看護技術テスト・成績 評価・GPA)	(看護技術テスト・成績 評価・GPA)			
看護の基礎を学ぶ	看護実践に必要な基礎的 な知識・技術・態度の一 部が身についている	看護実践に必要な基礎的 な知識・技術・態度が身 についている			看護実践に必要な専門的 知識・技術を修得し、そ れに基づいた判断力と問	
	(看護技術テスト・成績 評価・GPA)	(看護技術テスト・成績 評価・GPA)			題解決力を有し、対話に よる合意形成を行うこと がなきる	
健康と環境の関係を 学ぶ		公衆衛生について説明で きる	医療安全について説明で きる	保健医療福祉行政につい て説明できる	7.006	
		(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)		
人間と病気について きぶ	人体の構造と機能、主な 疾患について説明できる	主な疾患と対象の病態生 理について説明できる		対象に対する心理的援助 について説明できる		
Į.	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)		(成績評価・GPA)		
豊かな教養を身につ ける	人間理解のための知識が 身についている	グローバル社会における コミュニケーション力が 身についている	生命倫理について説明できる	人間の権利、看護を取り 巻く法的基盤について説 明できる	豊かな人間性を有し、君	
	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)	(成績評価・GPA)	黄がるべる江口についる	
人間性を高める	看護を学ぶい構えや大学の学びへの転換が説明でき、建学の精神に基づいた た集団生活行動ができる	グローバルな看護実践の 場におけるコミュニケー ション力や国際的視野が 身についている			えている	

地域に貢献する凛とした看護専門職者

	\wedge	崩										1			FI政論		Ì				污疹					I				-
	目を向け感性豊かな 践者をめざそう	4年次秋学期	德包 黑图	人間関係論工 看護教育											保健医療福祉行政論						り6単位以上選折					井雪川	T C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	聖徳教育 I		
隻師資格)	地域に目を向け感性豊 看護実践者をめざそう	4年次春学期	生活支援看護実習	災害看護論 看護倫理	看護管理 看護研究 II										医療経済学			臨床心理学			C領域:心とからだの美的・質を追求する領域)より6単位以上選択必修			日本国憲法	砂块	井雪加	TA CITY	聖徳教育Ⅰ		
カリキュラムマップ(看護師資格)	こ基づいた を高めよう	3年次秋学期	abd 是在中央市场中的工作,在中间的工作,是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,但是是一个工作,可以可以是一个工作,可以可以是一个工作,可以可以可以是一个工作,可以可以是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个																		領域:心とからだの美的							聖徳教育Ⅰ		
	アセスメントに基づ、に 看りまけを高めよう	3年次春学期		看護研究 I		生活支援援助論	母性看護字援助論小児看護学援助論	精神看護学援助論	老年看護学援助論	クリティカルケア論	緩和ケア論				松	公衆衛牛学	医療女主字				・科学技術を考える領域、C		他理学			林雪1/1 。 1/1	1A . A . A . B . K	聖徳教育Ⅰ		
看護学部看護学科	トカを めよう	2年次秋学期	基礎看護学実習口	国際看護活動論		公衆衛生看護学概論	成人看護字援助論 1 母性看護学概論	小児看護学概論	精神看護学概論		リハビリテーション看護論			看護理論	社会保障論	医瘤情報学	保健税計と健康	臨床医学皿			B領域:自然・社会・科					# #≣±π/	VidaK	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅱ	
学生 聖徳大学	アセスメント力を重点的に高めよう	2年次春学期	きょう きょう まき きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう まん きょう まん きょう きょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう し			成人看護学概論	成人看護字援助論 II 家族看護論	老年看護学概論				発揮 ファンメント沙川						薬理学 臨床医学 II								井頭田	E G	聖徳教育Ⅰ	SEITOKU Academic Literacy II	
令和2年度入学生	r.	1年次秋学期				生活支援看護概論						を構つ サフィント 受 1	言語/ とハントチェ 看護技術論 I	人間関係論I				3g年哲学 杨理学	病熊生理学 肾干所炎 :	盟	学部共通科目(A領域:自分を見つめ・拡げ・伝える領域	スポーツと健康エ				######################################	= E K	聖德教育Ⅰ	去基礎講座	SEITOKU Academic Literacy II
	人への理解を深め、を築く能力を	1年次春学期	基礎看護学東宮工									州番派						解剖生理学 [解剖生理学]	并 行 排	水	学部共通科目	スポーツと健康 I	社が承	李	数高小田小田	十 計 二 開 工	美丽 1 情報活用演習(基礎)		Academic	SEITOKŲ Academic
			看護の現場で学ぶ	発展的な看護	を挙込			実践的な看護	を呼ぶ				看護の基礎を学ぶ		数暦の開記と重要	ががある。		人間人派	が多しいつい					豊かな教養を	与につける			اليمار	人間性を高める。	

地域に貢献する凛とした看護専門職者

ing Outcomes)	学位授与の方針で掲げる学習成果	学習成果	地域の特性と健康課題を 探求し、実践できる		保健・医療・福祉・教育などの多職種との連携を図り、いつでも、どこでも・誰にでも必要とされるケアが提供できる				看護実践に必要な専門的 知識・技術を修得し、それに基づいた判断力と問	関解決力を自つ、対話に よる合意形成を行うこと だっまっ))) ;			曲かた「問祚ケケ」	ラグタ人同性なもの、自護職者に必要な品性を備	えている
学びで得られる成果 (Learning Outcomes)	地域に目を向け感性豊 かな看護実践者をめざ そう	4年次	地域の特性と健康課題を 探求し、看護の実際の場 面での課題解決ができる 実践力が身についている	(実習評価・GPA)	看護職としての役割遂行 のための看護管理の視点 をもち、保健・医療・福 祉・教育など他職種との 連携について説明できる	(成績評価・GPA)					保健医療福祉行政につい て説明できる	(成績評価・GPA)	対象に対する心理的援助について説明できる (は練習価・CDV)	人間の権利、看護を取り 巻く法的基盤について説明できる	(成績評価・GPA)	
(看護師課程) 学び	アセスメントに基づいた 看襲の実践力を高めよう	3年次	病院や施設において対象 の発達段階および回復の 段階に応じた看護を実践 できる	(実習評価・GPA)			看護実践に必要な総合的 かつ専門的な知識・技 術・態度が身についている る	(看護技術テスト・成績 評価・GPA)			医療安全について説明できる	(成績評価・GPA)		生命倫理について説明できる	(成績評価・GPA)	
: 看護学部看護学科	アセスメント力を重点的に高かよう	2年次	病院や施設における対象 の看護の必要性を説明できる	(実習評価・GPA)	グローバルな視点で看護を捉え、看護ケアの質の 向上のための研究の基礎が説明できる	(成績評価・GPA)	看護実践に必要な専門的 な知識・技術・態度が身 についている	(看護技術テスト・成績 評価・GPA)	看護実践に必要な基礎的 な知識・技術・態度が身 についている	(看護技術テスト・成績 評価・GPA)	公衆衛生について説明できる	(成績評価・GPA)	主な疾患と対象の病態生理について説明できる (成績証価・GDA)	グローバル社会における コミュニケーションカが 身についている	(成績評価・GPA)	グローバルな看護実践の 場におけるコミュニケー ション力や国際的視野が 身についている
聖徳大学	人への理解を深め、円滑 な人間関係を築く能力を 強化しよう	1年次	病院での看護の機能と役割が説明できる	(実習評価・GPA)			在宅医療について説明できる	(成績評価・GPA)	看護実践に必要な基礎的 な知識・技術・態度の一 部が身についている	(看護技術テスト・成績 評価・GPA)			人体の構造と機能、主な疾患について説明できる にないて説明できる	人間理解のための知識が 身についている	(成績評価・GPA)	看護を学ぶ心構えや大学 の学びへの転換が説明でき、建学の精神に基づい た集団生活行動ができる
			看護の現場で学ぶ		発展的な看護を学ぶ		実践的な看護を学ぶ		看護の基礎を学ぶ		健康と環境の関係を 学ぶ		人間と病気について 学ぶ	豊かな教養を身につける		人間性を高める

音楽学部 音楽学科

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

音楽学部にあっては、これまでにすぐれた音楽家や質の高い音楽教員、音楽療法士、音楽指導員など音楽にかかわる専門的職業人を中心とした多くの人材を輩出し、音楽文化の発展に寄与してきました。

音楽は社会や人々をつなぎ生活を豊かにする重要な文化であり、その発展に貢献できる 人材の育成に社会の期待が寄せられています。音楽学科では、総合大学の中にある音楽学 部音楽学科という他にはない学科の特質を活かし、優れた感性と表現能力をもち音楽文化 の発展に貢献できる音楽家や、音楽を広く総合的視野からとらえ専門的職業人に必要な理 論と能力、人間力をもった音楽教員などの指導者、音楽療法士、音楽関連企業人の育成を 目指し、次のような目標を掲げ教育を行います。

【教育目標】

- 1. 音楽や音楽キャリアに関わる豊かで専門的な知識や技能を身につけた人材の育成。
- 2. 自己の音楽的課題を明確にし、主体的、創造的、協働的に学ぶことができる人材の育成。
- 3. 音楽家や音楽教育者、音楽療法士、音楽関連企業人などの専門的職業人を目指し生涯 にわたって学び続ける使命感、責任感を有した人材の育成。
- 4. 社会を生きる総合的な人間力を備えている人材の育成。 こうした教育目標に基づき、以下のような学修成果を設定します。

【学修成果】

- 1. 豊かな音楽表現力や音楽キャリアに関わる専門的能力をもつことができる。
- 2. 主体的、創造的、協働的に学ぶことができる。
- 3. 専門的職業人としての使命感、責任感をもつことができる。
- 4. 音楽活動に関する英語コミュニケーション力をも有した総合的人間力をもつことができる。

以上のような学修成果に基づいて編成された教育課程を履修し、修了した人に学士(音楽)の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

学位授与の方針に則して、音楽学部音楽学科においては、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果の達成のために次の科目群を設定します。

- 1. 専門的な知識、理論、技能を高める科目群や音楽キャリアにかかわる科目群
- 2. 主体的、創造的、協働的に学ぶ科目群
- 3. 専門的職業人としての使命感、責任感を高める科目群
- 4. 人間力を高める科目群

これらの科目群に沿って配置された次のような授業により教育課程を編成し、学修成果及び教育目標を達成します。

- 1. 音楽専門実技や理論、音楽教育関連科目、音楽療法関連科目を学修することにより、 自らの目指す音楽キャリアに関する専門的な能力を身につける。
- 2. 音楽の専門実技及び演習、音楽教育、音楽療法にかかわる演習・実技関連科目の学修を通して、主体的、創造的、協働的に学ぶ力を身につける。
- 3. 学内発表、卒業研究、教育実習、音楽療法実習、インターシップなどの学修を通して、 専門的職業人としての使命感、責任感を身につける。
- 4. 聖徳教育科目、教養科目、外国語科目、健康教育科目、情報活用科目、及び音楽キャリア教育関連科目の学修を通して、社会を生きる総合的な人間力を養う。

専門科目を中心としたこれらの教育課程は、初年次教育、教養教育、キャリア教育とも密接な関係をもって編成されます。人間力の基礎ともなる学外研修を含んだ「聖徳教育 I、Ⅲ」を中心とした初年次教育や教養教育の学修、コミュニケーション力を養う英語や演奏に必要なイタリア語等の外国語の学修、専門的職業人へ向けた使命感形成の基礎となる音楽キャリアデザイン I、Ⅲ、Ⅲを中心とした音楽キャリア教育関連科目等が音楽専門科目と緊密な関係を持ちつつ編成されます。

【教育課程実施の方針】

教育課程については、自ら課題を発見し解決を図るという主体的、創造的な方法で実施 します。また、演奏や舞台を協働してつくるチーム基盤的な学習などのアクティブ・ラー ニング的手法も取り入れながら教育課程を実施します。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

音楽が社会や人をつなぐ豊かな絆であるということが再認識されています。音楽学部音楽学科では、そうした音楽の発展に音楽家として貢献できる人材を育成しています。そのような人材に必要な力はディプロマ・ポリシーで示しています。

こうした目的を理解し、目的を達成できる資質をもった人を音楽学部音楽学科では求めています。具体的には、次のような入学者を求めています。

- 1. 音楽が好きで、音楽家、音楽教員や音楽療法士、音楽関連企業人として社会に貢献する夢をもっている人。
- 2.音楽実技や理論など音楽に関する授業や音楽キャリアに関する授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことのできる人。
- 3. 学内外での音楽活動や実習などで必要となるコミュニケーション力など基礎的な力を もっている人。

音楽学部音楽学科では、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。 こうした試験においては、本学科での学修に必要な音楽的な知識、技能、基礎的な学力、 主体的な判断力、創造的に考え表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などに ついて、実技試験、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

音楽学部 音楽学科 全学共通科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目(A類)30単位以上、専門教育科目(B類)94単位以上、計124 単位以上です。
- ② 音楽学部の全学共通科目(A類)の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

	全学	共通科目(A	類)	
聖徳教育	教養科目と 外国語	健康教育	情報活用	<u>#</u>
7	20	2	1	30

- ③ 音楽学部の学生は、全学共通科目 (A類) については、別表VII-1、2、3、4、5、6のとおり 履修してください (同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④ 聖徳教育科目(別表VII-1)はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目(別表VII-2) は外国語科目と併せて 20 単位以上が必修です(外国語は 8 単位以上 必修)。1 年次秋学期から開講しますので、各学期 2 科目程度を、A 類~C 類まで一つの類 に集中することなくバランスよく履修してください。
 - D類の「日本国憲法」は教育職員免許状を取得する者は必修です。
- ⑥ 外国語科目(別表VII-3) は、英語 I、英語 II、表面 III、表面 II、表面 II、表面 II、表面 II、表面 II、表面 II、表面 II、表面 II、表面 II、表面 II 、II 、II 、II 、II 、III
- (7) 健康教育科目(別表VII-4) は欄外の受講区分に従い履修してください。
- ⑧ 情報活用科目 (別表WI-5) は欄外の受講区分に従い履修してください。
- ⑨ 単位を修得した場合(成績表に S・A・B・C と表記される)には、各別表の履修チェック 欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目 別表Ⅷ-1

チ		授		卒				履修	年次				
エック	授業科目	業の方	単位	業必		1	4	2	;	3	4	1	備考
欄		法		修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	小笠原流礼法基礎講座		2	0			•	•					●春学期または秋学期に開講
	聖徳教育 I	演	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△聖徳教育の詳細については、学生便覧、
	聖徳教育Ⅱ	演	1	0	0					0			シラバスを参照すること。
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	0	0								
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅡ)	演	1	0		0							
	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅢ)	演	1	0			•	•					
	計		7										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

教養科目 別表Ⅷ-2

	チ		授		卒				履修	年次				
区	エッ	授業科目	業の方	単位]	1	4	2		3	4	4	備考
分	ク欄		法	1.24	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
		自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2			0	0	0					△教養科目と別表VII-3外国語科目を併せて 20単位以上を修得すること(外国語は8単
ı		自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2			0	0	0					位以上を修得すること)
A 類		自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2			0	0	0					△教養科目は表中のA類、B類及びC類から 1科目以上選択し、12単位以上修得するこ
		自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)		2			0	0	0					と。また同じ科目(領域)を重複履修することはできません。
ı		自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	1										
		自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			0	0	0					△日本国憲法は、教育職員免許状を取得する者は必ず修得すること。
В		自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			0	0	0					
類		自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			0	0	0					
ı		自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2			0	0	0					
		心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			0	0	0					
С		心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			0	0	0					
類		心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2			0	0	0					
		心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			0	0	0					
D 類		日本国憲法		2		•	•							
				27										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の〇印は開講時期をさす。

また●印を付された授業科目は時間割編成上、春学期または秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

外国語科目 別表Ⅷ-3

チ	当 	授		卒				履修	年次				別衣Ⅶ─3
エッ	授業科目	業の	単	業		1		2		3	4	1	備考
ク欄		方法	位	必修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	英語 I	演	1	0	0								△別表WI-2教養科目と外国語科目を併せて 20単位以上を修得すること。
	英語Ⅱ	演	1	0		0							20単位以上を修行りること。
	英語Ⅲ	演	1	0			0						△外国語科目は、8単位以上を修得するこ
	英語IV	演	1	0				0					と。英語 I 、英語 II 、英語III 、英語IV (各1単位)は必修です。また、選択外国
	英語V	演	1						0				語として【英語(V~Ⅷ)、フランス語(I
	英語VI	演	1							0			~Ⅳ)、ドイツ語(I ~Ⅳ)、イタリア語(I ~Ⅳ)】のうち1か国語 (4単位)を修得
	英語VII	演	1								0		すること。
	英語Ⅷ	演	1									0	
	フランス語 I	演	1			0							△各学科で指定している外国語科目につい ては、指示のとおりに履修すること。
	フランス語Ⅱ	演	1			0							
	フランス語Ⅲ	演	1				0						△英語・イタリア語以外の外国語の I ~IV
	フランス語IV	演	1				0						は、I とⅡ、ⅢとⅣで週2コマ開講される ので同時に履修すること。
	フランス語V	演	1					0					
	フランス語VI	演	1						0				
	フランス語Ⅶ	演	1							0			
	フランス語VⅢ	演	1								0		
	ドイツ語 I	演	1			0							
	ドイツ語Ⅱ	演	1			0							
	ドイツ語Ⅲ	演	1				0						
	ドイツ語IV	演	1				0						
	ドイツ語 V	演	1					0					
	ドイツ語VI	演	1						0				
	ドイツ語VII	演	1							0			
	ドイツ語VIII	演	1								0		
	イタリア語 I	演	1		0								
	イタリア語Ⅱ	演	1			0							
	イタリア語Ⅲ	演	1				0						
	イタリア語IV	演	1					0					
	イタリア語V	演	1						0				
	イタリア語VI	演	1							0			
	イタリア語VII	演	1								0		
	イタリア語Ⅷ	演	1									0	
	計		32										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の〇印は開講時期をさす。

健康教育科目 別表Ⅷ-4

チ		授		卒				履修	年次				
エック	授業科目	業の方	単位	業必		1	2	2	ç		4	1	備考
欄		法		修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	スポーツと健康 I	*	1		0								△健康教育科目の受講区分は注のとおり。
	スポーツと健康 Ⅱ	*	1			0							
	スポーツと健康 I (小免)	*	1		0								
	スポーツと健康 Ⅱ (小免)	*	1			0							
	計		4										

【授業の方法】無印:講義をさす。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

【受講区分】[注] 1) 小学校教諭免許状を取得しようとする学生は、スポーツと健康 $I \cdot II$ (小免)を履修すること。

2)上記以外の学生は、スポーツと健康 Ⅰ・Ⅱを履修すること。

	I MINIOR TO THE												755 27
チ		授		卒				履修	年次				
エック	授業科目	業の方	単位	業必		1	4	2	3	3	4	1	備考
欄		法		修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0								△情報活用科目の受講区分は注のとおり。
	情報活用演習(教職)	演	1			0							
	計		2										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の〇印は開講時期をさす。

【受講区分】[注] 1)教育職員免許状または音楽療法士(1種)を取得しようとする者は、(基礎)と(教職)両科目とも必修です。

2)情報活用科目を2単位以上修得した場合の1単位のみは教養科目の単位に含めることができる。

帰国子女科目 別表Ⅷ-6

	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·												7777
チ		授		卒				履修	年次				
エック	授業科目	業の方	単位	業必		1	4	2	3	3	4	1	備考
欄		法		修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本語 I	演	1		0								△帰国子女科目は、教養科目または外国語 の単位に替えることができる。
	日本語Ⅱ	演	1			\bigcirc							*シードに自んのことが、くらる。
	日本語Ⅲ	演	1				0						
	日本語IV	演	1					0					
	日本語V	演	1						0				
	日本語VI	演	1							0			
	日本の社会と歴史 I		2						0				
	日本の社会と歴史Ⅱ		2							0			
	計		10										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の〇印は開講時期をさす。

音楽学部 音楽学科 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目(A類)30単位以上、専門教育科目(B類)94単位以上、計124 単位以上です。
- ② 音楽学部の専門教育科目(B類)の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

専門]教育科目(B	類)
必修科目	選択科目	計
30	64	94

- ③ 音楽療法士(1種)を取得しようとする者は、別表VII-7の卒業必修欄に○印のついている科目及び音楽療法士(1種)欄に○印のついている科目を加えて、①のとおり履修してください。また、音楽療法士(補)受験資格を取得しようとする者は、別表VII-7の卒業必修欄に○印のついている科目及び音楽療法士(補)受験資格欄に○印のついている科目を加えて、①のとおり履修してください。
 - なお、音楽療法士(1種)及び音楽療法士(補)受験資格を取得しようとする者は、別表**Ⅶ** -11 の教職に関する科目の[注]6 に記載の科目も加えて履修してください。
- ④ 中学校教諭一種免許状(音楽)及び高等学校教諭一種免許状(音楽)を取得しようとする者は、別表VII-9、10、11に記載の科目を含めて、①とおり履修してください。(別表VII-11の科目は卒業所要単位数に選択科目として算入することができます)
- ⑤ 中学校教諭一種免許状(音楽)及び高等学校教諭一種免許状(音楽)に加えて、小学校教諭 免許状(一種・二種)を取得しようとする者は、①④に加えて別途配布する資料のとおり履 修してください。音楽学部においては、小学校教諭免許状(一種・二種)のみを取得するこ とはできません。(小学校教諭免許状取得のための科目は卒業所要単位数に算入することは できません)
- ⑥ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表▼1、2、3、4、5により、履修してください(これらの科目は卒業要件に算入することはできません)。
- ⑦ 単位を修得した場合 (成績表に $\mathbf{S} \cdot \mathbf{A} \cdot \mathbf{B} \cdot \mathbf{C}$ と表記される) には、各別表の履修チェック 欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

	チ	科		授	卒	音	音	教			–	準履	修年	.次			別表Ⅶ-/
	エッ	授業科目	単	業の	業	1 楽 療	1 楽療法:	免		1		2.	T	3		1	. 備考
	ク 欄	12.XIII	位	方法	必修	種法士	法士	必修	-	秋	春	秋	_	秋	_		υπ 3
	111.4	音楽文化概論	2	仏	0		_	- 12	0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	н	ν.	н	<i>V</i> .	н	<i>V</i> •	
音楽		音楽基礎理論 I	2		0	0	0	0	0								
学		ソルフェージュ I	2	演	0	0	0	0	0								
科ス		音楽キャリアデザイン I 合唱 (第九) I	2	演	0	0	0	0	0	0							-
タ		合唱(第九)Ⅱ	2	演	0	0				0							
1		西洋音楽史	2		0	0	0	0		0							
トア		音楽実技A-I	2	演	0	0	_	▲a	0								▲a 教員免許の取得を希望する場合 は音楽実技A-1かB-1を声楽
ッ		音楽実技A-Ⅱ 音楽実技B-Ⅰ	2	演演	0	0		▲a ▲a	0	0							は自衆美tXA-1/ハ-b-1 を戸来 音楽実技A-ⅡかB-Ⅱを器楽
プ		音楽実技B-II	1	演	0	0		▲a		0							で履修すること。
科目		音楽ワークショップ Ⅰ (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演					0								
		音楽ワークショップⅡ(ホベラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演			A 1			0							▲1. 立家房汁上 (岩) 巫殿次枚 t 圣
		音楽実技A-Ⅲ 音楽実技A-Ⅳ	2	演演	0	0	▲ b				0	0					▲b 音楽療法士(補)受験資格を希望する場合は音楽実技Aか音楽実技Bで
		音楽実技A-V	2	演									0				「声楽」「器楽(ピアノ)」「器楽
		音楽実技A-VI	2	演										0			(管・弦・打楽器)」の3種目をそれ ぞれ2単位以上履修すること。なお、
		音楽実技A-VII	2	演											0		「器楽(管・弦・打楽器)」に「ギ
		音楽実技A-VⅢ 音楽実技B-Ⅲ	2	演演							0					0	ター演習」を充てることができる。
		音楽実技B-IV	1	演								0					
		音楽実技B-V	1	演									0				
		音楽実技B-VI	1	演										0			
		音楽実技B-VⅢ 音楽実技B-VⅢ	1	演演											0	\bigcirc	
		応用実技I	4	演					0	0							※プロアーティストメジャーのみ
		応用実技Ⅱ	4	演							0	0					※プロアーティストメジャーのみ
		応用実技Ⅲ	4	演									0	0			※プロアーティストメジャーのみ
		応用実技IV 演奏特論 I	4	演					0	0					0	0	※プロアーティストメジャーのみ ※プロアーティストメジャーのみ
		演奏特論Ⅱ	4								0	0					※プロアーティストメジャーのみ
		演奏特論Ⅲ	4										0	0			※プロアーティストメジャーのみ
		演奏特論IV	4	ولين											0	0	※プロアーティストメジャーのみ
		音楽ワークショップⅢ(オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱) 音楽ワークショップⅣ(オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演演							0	0					-
音		音楽ワークショップ V (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演								0	0				
楽		音楽ワークショップ VI (オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演										0			
学科		音楽ワークショップVII(オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱)	1	演											0		
共		音楽ワークショップⅧ(オペラ・ミュージカル・吹奏楽・合唱) アンサンブル研究Ⅰ (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージカル)	2	演演							0					0	-
通		アンサンブ・ル研究 II (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージカル)	2	演								0					
科目		アンサンブ゛ル研究Ⅲ (声楽・鍵盤・管弦打・ミューージカル)	2	演									0				
		アンサンブ・ル研究IV (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージカル)	2	演										0			
		アンサンブ・ル研究 V (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージ・カル) アンサンブ・ル研究 VI (声楽・鍵盤・管弦打・ミュージ・カル)	2	演演											0	0	
		音楽表現演習A-I (声楽)	2	演					0								イタリア歌曲
		音楽表現演習A-Ⅱ (声楽)	2	演						0							イタリア歌曲
		音楽表現演習A-Ⅲ(声楽)	2	演							0						日本歌曲
		音楽表現演習A-IV (声楽) 音楽表現演習A-V (声楽)	2	演演								0	0				日本歌曲
		音楽表現演習A-VI(声楽)	2	演										0			フランス歌曲
		音楽表現演習A-VII(声楽)	2	演									0				ドイツ歌曲
		音楽表現演習A-VII(声楽) ・ 本 本 現 注 羽 P- I (ガンフ)	2	演定							0			0			フランス歌曲
		音楽表現演習B-I (ダンス) 音楽表現演習B-Ⅱ (ダンス)	2	演演								0					1
		音楽表現演習B-Ⅲ(ダンス)	2	演									0				
		音楽表現演習B-IV (ダンス)	2	演										0]
		音楽表現演習B-V (ダンス)	2	演											0		-
		音楽表現演習B-VI (ダンス) 音楽表現演習C-I (バレエ)	2	演演							0					0	1
		音楽表現演習C-Ⅱ (バレエ)	2	演							Ľ	0]
		音楽表現演習C-Ⅲ(バレエ)	2	演									0				
		音楽表現演習C-IV (バレエ) 音楽表現演習C-V (バレエ)	2	演演										0			-
		音楽表現演習C-V (バレエ) 音楽表現演習C-VI (バレエ)	2	演演											0	\bigcirc	1
			4	火	_				_	1				_		\cup	

	」 「チ	4 専門教育科日(B親)		授	- - -	立	立	±4.4-			4777	※ 屋	ld H	\/ 			別表 Ⅷ-/
	エ		単	業	卒業	音楽	音楽	教免					修年				Alle de
	ック	授業科目	位	の方	必	種猴法	楽 補療 法	必				2		3	4		備考
	欄			法	修	士	士	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
		音楽表現演習D-I (ピアノ)	2	演							0						
		音楽表現演習D-II(ピアノ)	2	演								0					
		音楽表現演習D-Ⅲ(ピアノ) 音楽表現演習D-Ⅳ(ピアノ)	2	演演									0	0			
		音楽表現演習D-V (ピアノ)	2	演										0	0		
		音楽表現演習D-VI(ピアノ)	2	演												0	
		音楽表現演習E-I (ピアノ)	2	演							0					0	
		音楽表現演習E-Ⅱ(ピアノ)	2	演								0					
		音楽表現演習E-Ⅲ(ピアノ)	2	演									0				
		音楽表現演習E-IV(ピアノ)	2	演										0			
		音楽表現演習E-V (ピアノ)	2	演											0		
		音楽表現演習E-VI(ピアノ)	2	演												0	
		音楽表現演習F-I (ピアノ) 音楽表現演習F-Ⅱ (ピアノ)	2	演演							0	0					
		音楽表現演習F-Ⅲ(ピアノ)	2	演								0	0				
		音楽表現演習F-IV (ピアノ)	2	演										0			
1		音楽表現演習F-V (ピアノ)	2	演											0		
1		音楽表現演習F-VI(ピアノ)	2	演												0	
1		音楽表現演習G-I (電子オルガン)	2	演							0						
		音楽表現演習G-II(電子オルガン)	2	演								0					
		音楽表現演習G-III(電子オルガン)	2	演									0	0			
		音楽表現演習G-IV (電子オルガン) 音楽表現演習G-V (電子オルガン)	2	演演											0		
		音楽表現演習G-VI(電子オルガン)	2	演演												0	
	_	音楽表現演習H-I (パイプオルガン)	2	演							0						
		音楽表現演習H-II (パイプオルガン)	2	演)	0					
		音楽表現演習H-Ⅲ(パイプオルガン)	2	演									0				
		音楽表現演習H-IV (パイプオルガン)	2	演										0			
音		音楽表現演習H-V (パイプオルガン)	2	演											0		
楽		音楽表現演習H-VI(パイプオルガン)	2	演												0	
学		音楽表現演習I-I (管弦楽)	2	演							0						
科共		音楽表現演習I-Ⅱ(管弦楽) 音楽表現演習I-Ⅲ(管弦楽)	2	演演								0	0				
通		音楽表現演習I-IV(管弦楽)	2	演演										0			
科		音楽表現演習I-V (管弦楽)	2	演											0		
目		音楽表現演習I-VI (管弦楽)	2	演												0	
		音楽表現特別演習	2	演					0	0	0	0	0	0	0	0	※1~4年通年科目
		音楽基礎理論Ⅱ	2			0	\circ			0							
		ソルフェージュⅡ	2	演						0							
		ソルフェージュ Ⅲ									0	0					
		ソルフェージュⅣ ソルフェージュⅤ	2	演定								0					
		ソルフェーシュ V ソルフェージュ VI	2	演演									0	0			
		カルフェーシュ VI 和声法 I	2	伊	0		0				0						
		和声法Ⅱ	2)	0					
		和声法Ⅲ	2									J	0				
		和声法IV	2											0			
		作曲(含む教材編曲法) I	2	演				0					0				
		作曲(含む教材編曲法) II	2	演										0			
		対位法 I	2	演											0		
		対位法Ⅱ	2	演定												0	
		コンピュータ音楽 I コンピュータ音楽 II	2	演演							0	0					
1		電子楽譜制作法	2	演									0				
		ポピュラー作曲法(含む編曲法)I	2	演							0						
		ポピュラー作曲法 (含む編曲法)Ⅱ	2	演								0					
		管弦楽史	2										0				
		鍵盤音楽史	2								0						
		声楽史	2									0					
		ポピュラー音楽概論	2											0			
		民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽)	2			0	0	0			0						
1		音楽療法概論 音楽心理学	2			0	0		0					0			
1		楽器と環境	2										0				
		CINES - VIVO					_						$\overline{}$				

	チ	子 号门教育行首(D规/		授	卒	音	音	教		標準履修年次					カリ 3又 VII 7		
	エッ	授業科目	単位	業の	業	1 療	楽 補療 法-	免		1	- 2	2	;	3		4	備考
	ク 欄		位	方法	必修	性法士	法士	必修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
		音楽家のためのリテラシー	2				0						•	•			●印 卒業研究(演奏・作品・論文)
		音声学	2											0			において論文を選択する場合は、
		障害児と音楽	2						0								春学期または秋学期いずれかで履修
		成人・高齢者と音楽	2							0							
		音楽療法の理論と技法 I	2			0	0				0						
		音楽療法の理論と技法Ⅱ	2			0	0					0					
		音楽療法各論A	2			0	0				0						
		音楽療法各論B	2			0	0							0			
		音楽療法各論C	2			0	0					0					
		医学概論	2			0	0			0							
		臨床医学各論 I	2			0	0						0				
		臨床医学各論Ⅱ	2				0							0			
		臨床心理学 I	2			0	0					0					
		臨床心理学Ⅱ	2				0						0				
		社会福祉概論	2			0	0			0							
		ギター演習	2	演			▲c						0				▲c 音楽療法士(補)受験資格希望
音楽		リトミック	2	演			▲c					0					者はどちらか一つは履修すること
		バロックダンス	2	演								0					
		伴奏法 I	2	演				0					0				
		伴奏法Ⅱ	2	演										0			
楽学		即興演奏	2	演							0						
科		指揮法	2	演		0	0	0				0					
共		日本音楽演習A (歌唱)	2	演		0	0	0					0				
通		日本音楽演習B (和楽器)	2	演				0						0			
科		合奏	2	演		0	0	0			0						
目		音楽キャリアデザインⅡ	2								0						
		音楽キャリアデザインⅢ	2										0				
		音楽指導法A	2										0				
		音楽指導法B	2										0				
		音楽指導法C	2											0			
		教職演習 I	2	演										0			
		教職演習Ⅱ	2	演											0		
		障害児教育論	2			0	0			0							
		介護概論	2			0	0						0				
		音楽療法技能A	2	演		0	0			0							
1		音楽療法技能B	2	演			Ō						0				1
1		音楽療法技能C	2	演		0	Ō					0					1
1		音楽療法演習	2	演			Ō					Ō					
1		施設実習	2	実		0	0				▲d	▲d					▲d 2年次春学期・秋学期のいずれか
		音楽療法実習 I	1	実		0	0						0				に2週間実施
1		音楽療法実習Ⅱ	1	実		Ō	Ō							0			1
		音楽療法実習Ⅲ	1	実		Ō	Ō								0		1
		音楽療法実習IV	1	実			Ō									0	1
1		卒業研究	4	演	0		Ö								0		
		計	344		30											_	

同 [344 【授業の方法】演:演習、実:実習、無印:講義をさす。 【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

音楽療法士(補)受験資格に関する科目

別表Ⅷ-8

		規定科目	単位	授業科目	衣 Ⅷ⁻8 単位
		音楽理論/通論	4	音楽基礎理論Ⅰ、II	2,2
		和声学	4 音楽基礎理論 I、II 2 和声法 I 2 音楽心理学 2 音楽科教育法 I 2 西洋音楽史 2 日本音楽演習A(歌唱) 2 民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽) 2 ソルフェージュ I 2 音楽実技A-I、II、III、IV、音楽実技B-I、IIより選 音楽実技A-I、II、III、IV、音楽実技B-I、IIより選	2	
		音楽心理学	2	音楽心理学	2
	I.理論	音楽教育学	2		2
		西洋音楽史	2	西洋音楽史	2
		日本の音楽	2	日本音楽演習A(歌唱)	2
		民族音楽学	2	民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽)	2
①音楽分野 (32単位)		ソルフェージュ	2	ソルフェージュ I	2
(32年位)		ピアノ	2	音楽実技A-I、II、III、IV、音楽実技B-I、IIより選択	2
		声楽	2	音楽実技A-I、II、III、IV、音楽実技B-I、IIより選択	2
	Ⅱ. 実技	器楽(管、弦、打楽器)	2	音楽実技A-I、II、III、IV、音楽実技B-I、IIより選択	2
	「副科を含む」	合唱	2	合唱(第九) I	2
		合奏	2	合奏	2
		指揮法	2	指揮法	2
		ギターまたはリトミック	2	ギター演習またはリトミック	2
		音楽療法概論	2	音楽療法概論	2
		音楽療法の理論と技法	4	音楽療法の理論と技法Ⅰ、Ⅱ	2,2
		音楽療法各論 I	2	音楽療法各論A	2
		音楽療法各論Ⅱ	2	音楽療法各論B	2
		音楽療法各論Ⅲ	2	音楽療法各論C	2
②音楽療法分	〕 野	音楽療法技能 I	2	音楽療法技能A	2
(30単位)		音楽療法技能Ⅱ	2	音楽療法技能B	2
		音楽療法技能Ⅲ	2	音楽療法技能C	2
		音楽療法演習	2	音楽療法演習	2
		→ 14×1±14×1+1+13		施設実習	2
		音楽療法実習	б	音楽療法実習Ⅰ、Ⅲ、Ⅲ、Ⅳ	4
		卒業論文	4	卒業研究	4
		医学概論	2	医学概論	2
o ***		臨床医学各論 I	2	臨床医学各論 I	2
③医学·心理: (10単位)	学分野	臨床医学各論Ⅱ	2	臨床医学各論Ⅱ	2
(10年匹)		臨床心理学 I	2	臨床心理学 I	2
		臨床心理学Ⅱ	2	臨床心理学Ⅱ	2
		社会福祉概論	2	社会福祉概論	2
④福祉·教育:	分野	発達心理学	2		2
(8単位)		障害児教育	2	障害児教育論	2
		介護概論	2	介護概論	2
⑤語学 (8単	位)		8	英語、その他外国語	8
		計	88	計	88

令和2年度入学生 聖徳大学 音楽学部 音楽学科 カリキュラムマップ

*ビンクはスタートアップ・プログラム(必修)、縁はその他の必修科目、その他は選択科目 *学年配当は一例であり、特に指定のある科目以外は学年との紐付けはありません

							はいるのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	
	1年次春字期	1年次秋学期	2年次春字期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春字期	4年次秋学期
	音楽の章	音楽の基本を学ぼう	より専門的な学	より専門的な学びに踏み込もう	自分の力を試してみよう	ばしてみよう	自立した音楽職業人へ	柴職業人へ
		音楽キャリアデザイン	音楽キャリアデザインII		音楽キャリアデザインⅢ			
					音楽家のための	音楽家のための	THE THE PROPERTY.	The Later
等ご的職業人(CON)対記録・両任物 本意める				And the second second	リテラシー	リテラシー (春学期と同内容)	 	_
			施設実営 (23	(2年次に2週間)	1 经重兴事资品	山民事兴學亦是	世紀事業學是	音楽表現特別演習音楽療法電器
	。 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	點掉你也	一世代代人是由巴士華英年	日本姓入門は日本地が中	四米派氏公司: 臨床库学名論 1	日本派が入口・昭年年学会論コ		
		DIIO AMIL C. S.	[発達心理学(教職)]	ロボ※公グを購入の出 臨床心理学 I	臨床心理学工			
音楽療法の知識とスキルを身につける		社会福祉概論	音楽療法各論A	音楽療法各論C	介護概論	音楽療法各論B		
		音楽療法技能A		音楽療法技能C	音楽療法技能B			
		障害児教育論	[教育基礎論(教職)]					
			音楽科教育法 I	音楽科教育法工	音楽科教育法皿	音楽科教育法IV		
音楽教育の知識アスキーを与じしける					日本音楽演習A(歌唱)	日本音楽演習B(和楽器)		
9 -1 1 PU - 1 1 PU - 1			可来指導法A(獨年困課) 音楽指導法B(獨年開講)	音楽指導法C(隔年開講)		教職演習	教職演習工	
					教職科目(教育	(退を)		
	応用実技1		- 応用	実技工	応用実技皿	巨技 正	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	e技IV
	演奏特論I		演奏特論Ⅱ		演奏特論皿		演奏特論IV	
	音楽実技A- I	音楽実技A-I	音楽実技A-II	音楽実技A-IV	音楽実技A-V	音楽実技A-VI	音楽実技A-M	音楽実技A-‴
	音楽実技B-I	音楽実技B-II	音楽実技B-II	音楽実技B-IV	音楽実技B-V	音楽実技B-VI	音楽実技B-M	音楽実技B-呱
	音楽表現演習A- I (伊歌曲)	音楽表現演習A-II (伊歌曲)	音楽表現演習A-Ⅲ (日歌曲)	音楽表現演習A-IV (日歌曲)	音樂表現簿四人-V (独聚配, 寫年開講) 音樂表現第204-VII (独聚曲, 隔年開講)	音樂表現簿図A-VI (仏蒙世, 獨年開講) 音樂表現簿図A-III (仏蒙田, 獨年問講)		
			音楽表現演習B(ダンス)-I	音楽表現演習B-II	音楽表現演習B-II	音楽表現演習B-IV	音楽表現演習B-V	音楽表現演習B-VI
演奏表現・創作のスキルを身につける		# (1884) Or + 30 +	音楽表現演習C(バレエ)- I	音楽表現演習C-II	音楽表現演習C-II	音楽表現演習C-IV	音楽表現演習C-V	音楽表現演習C-VI
	音楽表現演習-D(アアノ) I	= = = = = = = = = = = = = = = = = = =	世来を記滅ると自せば非に覚めて、プレット	音楽表現演習D-IV 立成書記簿路C II	音楽表現演習D-V 辛滋丰国達別C m	台來表現演習D-VI 並沒書用海路C II	11、口险类目非决立	立法 丰田海辺に 17
			音楽女児演習F(ピアノ)-I 音楽表現演習F(ピアノ)-I	音楽表現演習F-Ⅱ	音楽表現演習F-皿	音楽表現演習F-IV	自来公玩演員C-V 音楽表現演習F-V	音楽表現演習F-VI
			音楽表現演習G (EO) - I	音楽表現演習G-II	音楽表現演習G-II	音楽表現演習G-IV	音楽表現演習G-V	音楽表現演習G-VI
			音楽表現演習H (PO)-I	音楽表現演習H-II	音楽表現演習什皿	音楽表現演習H-IV	音楽表現演習H-V	音楽表現演習H-VI
			音楽表現演習「管弦楽)- I	音楽表現演習トエーンプューク音楽=	音楽表現演習-日まプリー・	音楽表現演習-IV ポプリルー作曲 エ	音楽表現演習LV	音楽表現演習トVI
			i K		電子楽譜制作法			
	今個(第九) 1	○						
音楽を主体的・創造的・協働的に学ぶ	1 (1/4) 80		アンサンブル研究 1	アンサンブル研究エ	アンサンプル研究目	アンサンプル研究IV	アンサンブル研究V	アンサンブル研究VI
	音楽ワークショップ I	音楽ワークショップエ	音楽ワークショップ皿	音楽ワークショップIV	音楽ワークショップV	音楽ワークショップW	音楽ワークショップWI	音楽ワークショップ呱
	音楽文化概論	西洋音楽中	鍵盤音楽史(隔年開講) 管弦楽史(隔年開講)	声楽史(隔年開講) ボビュラー音楽概論 (隔年開講)				
			民族部業学権制(今代ロネター)	指揮法	作奏法 I	伴奏法工		
	音楽其傑理論	音學基礎理論工	(名の日本の)な影画業)	二、光和一层	三、光祖、長	N 形 M 上 H H	1 张山林	二张中技
音楽の専門的な知識・理論を修得する			即興演奏	TO	作曲(含む数材編曲法) I	作曲(含む数材編曲法)エ	731 <u>-177</u> 1	ח אידוני
	レルフェージュ	ILグーエレルソ	Ⅱ⊏ゲーエレルバ	NLグーエCルV	V L グ・エフルン	WLでエフルV		
			楽器と環境(隔年開講)	//ロックダンス(隔年開講) リトミック(隔年開講)				
	障害児と音楽	成人・高齢者と音楽			ギター演習	音楽心理学		
						音声学(隔年開講)		
	英語 I	英語工	英語皿	英語IV				
	外国語	外国語	外国語	外国語				
		聖徳	数音 1					
人間力を高める	聖德	教育Ⅱ	* 124		聖徳	攻育		
	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	教毒科目△猶(▽学領博)	SEITOKU Academic Literacy II 教奉私日R類(社会領域)	教善科目△類(歴中領域)			
	スポーツと健康 I	スポーツと健康エ	西原流礼》			教養科目C類(心の領域)		
	11	1年次	2	2年次	3\$	3年次	4年次	E 次
教育目標	優れた音楽人に必要な知識	優れた音楽人に必要な知識と技能の基礎を教授する	音楽を学ぶ喜びと共に、専門的能力の大切さを教授する	能力の大切さを教授する	体得させた知識と技能を基に、	基に、実践力を開発する	音楽人として自立し、社会に責置的なする。	社会に貢献できる応用力を持った人材を

令和2年度入学生 聖徳大学 音楽学部 音楽学科 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

- - 	針に掲げる学修成果	専門的職業人としての使 的感、責任懸をもつこと ができる		音楽キャリア(音楽療法 関係)に関わる専門的能 力をもつことができる		音楽キャリア(音楽教育 関係)に関わる専門的能 力をもつことができる		豊かな音楽表現力をもつ ことができる ことができる		主体的、創造的、協働的 に学ぶことができる		豊かな音楽表現力の基礎 を身につけることができ る		音楽活動に関する英語コ ユーケーションガも有 レた総合的人間力をもつ ことができる		卒業認定・学位授与の方 針に掲げる学修成果	
4年次秋学期	自立した音楽職業人へ)使命感、責任感を持つ	演奏記録•卒業研究			- ヤリアに関わる専門的こうけている	実習録	音楽表現・創作スキル ガできる - ガできる	ッスン記録票	J劇な学びから、豊かな できる	GPA	音楽に関するさらに高度な対談・理論を身につけている	GPA			4年次 主業人として自立し、社会に貢献できる応用	१विठ
4年次春学期	自立したぎ	専門的職業人としての使命感、 ことができる	GPA・実習録・浏			音楽教育者としての手能力をじゅうぶん身に	GPA	それまでに身につけた音楽表現を豊かに活用することができる	GPA · L	主体的、創造的、協働劇な学びから、 成果を上げることができる	Ð		O				力を持った人材を育成
3年次秋学期	試してみよう	*、責任懸について、理 8酸することができる	・実習録	音楽療法士としてのキャリアに関わる専門的 能力をじゅうぶん身につけている	GPA	してのキャリアに関わる専門的とができる	• 模擬授業	Jの、さらに高度な力が	スン記録票	劇な学びのリーダーと さる	GPA	・理論をさまざまな場面きる	GPA	音楽職業人にふさわしい 総につけることができる		3年次 5能を基に、実践力を開発	
3年次春学期	自分の力を試	専門的職業人の史命際、責任感 請と実践をとおして実感するこ	GPA •		D	音楽教育者としてのキ能力を持つことができ	GPA	音楽表現・創作スキルの、 身についている	GPA · Lw	主体的、創造的、腐働劇な学びのリレて活動することができる	Ō	音楽の専門的な知識・に応用することができ	b	多様な経験から、音楽合的な人間力を身につ	2	3年次体得させた知識と技能を基	93
2年次秋学期	びに踏み込もう	ういて深く理解すると 責任を目覚することが	実習録	してのキャリアに関わる専門的 とができる	GPA	てのキャリアに関わる専門的 についている	• 模擬授業	現・創作スキルの、より専門的な力が いている	スン記録票	主体的、創造的、協働とかできる	GPA	理論の基礎的な力を応	GPA	求められる多様な教護や理解 と礼儀作法がが身についている	/ート・各種ルーブリッ	2年次 红C、専門的能力の大切さ	
2年次春学期	より専門的な学びに踏み込も	専門的職業人の使命に ともに、現場を知り、 できる	GPA•	音楽療法士としての子 能力を持つことができ	D	音楽教育者としての手能力の基礎が身につい	GPA •	音楽表現・創作スキル身についている	GPA · L	自分の役割を理解し、 劇な学びを展開するこ	Ō	音楽の専門的な知識用することができる	ō	外 音楽職業人に求められ 力、外国語力と礼儀作	GPA・リフレクションシ	音楽を学ぶ喜びとす	
1年次秋学期	音楽の基本を学ぼう	ついて理解することが	GPA	音楽療法士としてのキャリアに関わる専門的 音楽療法士と 能力の基礎が身についている 	GPA			音楽表現・創作スキルの基礎が身についてい 音楽表 る 身についてい	GPA・レッスン記録票	に、主体的に関わるこ	GPA	音楽の専門的な知識・理論の基礎が身につい ている	GPA	る基礎的な理解力、外いている	В	1年次 電力で音楽人に必要な知識と技能の基礎を教	
1年次春学期	音楽の基名	専門的闘業人の皮命について理解することが できる	GF	音楽療法士としての手能力の基礎が身につい	GF			音楽表現・創作スキルる	GPA • L»	副造的、協働劇な学びに、 とができる	GF	音楽の専門的な知識・ ている	15	音楽職業人に求められる基礎的な理解力、 国語力と健康が身についている		14 優れた音楽人に必要な	授する
		専門的職業人としての使命感・責任感を高める		音楽療法の知識とスキルを身につける		音楽教育の知識とスキルを身につける		演奏表現・創作のスキルを身につける		音楽を主体的・創造的・協働的に学ぶ		音楽の専門的な知識・理論を修得する		人間力を高める		教育目標	

		1	年	2	年
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	必修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I イタリア語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II イタリア語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語Ⅲ イタリア語Ⅲ	SEITOKU Academic LiteracyⅢ 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語IV イタリア語IV
	科目数	5	7	4	6
音楽学科	必修科目	*音楽文化概論 *音楽基礎理論 I *ソルフェージュ I *合唱(第九) I *音楽実技A- I *音楽実技B- I	*音楽キャリアデザイン I *合唱(第九) II *西洋音楽史 *音楽実技A-II *音楽実技B-II	音楽実技A-Ⅲ 和声法 I	音楽実技A-IV
専	科目数	6	5	2	1
門教育科目(B類)	選択科目	応用実技 I 演奏特論 I 音楽表現演習D- I	応用実技Ⅰ 演奏特論Ⅰ 音楽表現演習D-Ⅱ	応用実技 II 演奏特論 II アンサンブル研究 I 音楽表現演習E- I	応用実技 I 演奏特論 II アンサンブル研究 II 音楽表現演習E- II
	科目数	3	3	4	4
科	目数	14	15	10	11

		3	年	4	年
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
共 (通全A 科学類 目)					
	科目数	0	0	0	0
音楽学科	必修科目			卒業研究	卒業研究
専	科目数	0	0	1	1
門教育科目(B類)		応用実技Ⅲ 演奏特論Ⅱ 音楽実技A-V アンサンブル研究Ⅲ 音楽表現演習F- I	応用実技Ⅲ 演奏特論Ⅱ 音楽実技A-VI アンサンブル研究Ⅳ 音楽表現演習F-Ⅱ	応用実技IV 演奏特論 II 音楽実技A-VII アンサンブル研究 V	応用実技IV 演奏特論 II 音楽実技A-VIII アンサンブル研究VI 音楽表現特別演習
	科目数	5	5	4	5
科目	数計	5	5	5	6

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。

		1	年	2	年
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	必修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I イタリア語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II イタリア語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語Ⅲ イタリア語Ⅲ	SEITOKU Academic LiteracyIII 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語IV イタリア語IV
	科目数	5	7	4	6
音楽学科	必修科目	*音楽文化概論 *音楽基礎理論 I *ソルフェージュ I *合唱(第九) I *音楽実技A- I *音楽実技B- I	*音楽キャリアデザイン I *合唱(第九) II *西洋音楽史 *音楽実技A-II *音楽実技B-II	音楽実技A-Ⅲ 和声法 I	音楽実技A-IV
専	科目数	6	5	2	1
門教育科目(B類)	選択科目	音楽ワークショップ I 音楽表現演習A- I	音楽ワークショップ II 音楽表現演習A- II	音楽ワークショップⅢ 音楽実技B-Ⅲ アンサンブル研究 I 音楽表現演習A-Ⅲ コンピュータ音楽 I 音楽キャリアデザイン Ⅱ	音楽ワークショップIV 音楽実技B-IV アンサンブル研究II 音楽表現演習A-IV リトミック 声楽史
	科目数	2	2	6	6
科	目数	13	14	12	13

		3	年	4	年
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
共 (A 通全A 科学類 目)	目				
	科目数	0	0	0	0
音楽学科	必修科目			卒業研究	卒業研究
専	科目数	0	0	1	1
時門教育科目 (B類)		音楽ワークショップ V 音楽実技A-V 音楽実技B-V アンサンブル研究III 音楽表現演習A-V 電子楽譜制作法	音楽ワークショップVI 音楽実技A-VI 音楽実技B-VI アンサンブル研究IV 音楽表現演習A-VI バロックダンス	音楽ワークショップVII 音楽実技A-VII 音楽実技B-VII アンサンブル研究V 音楽表現演習A-VII	音楽ワークショップWI 音楽実技A-VII 音楽実技B-VII アンサンブル研究VI 音楽表現演習A-VII 音楽表現特別演習
	科目数	6	6	5	6
科目	数計	6	6	6	7

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。

			年	2	年
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I イタリア語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II イタリア語 II スポーツと健康 II 情報活用演習 (教職)	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語Ⅲ イタリア語Ⅲ	SEITOKU Academic LiteracyIII 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語IV イタリア語IV
	科目数	5		4	6
音楽学	必修科目	*音楽文化概論 *音楽基礎理論 I *ソルフェージュ I *合唱(第九) I *音楽実技A- I *音楽実技B- I	*音楽キャリアデザイン I *合唱(第九) II *西洋音楽史 *音楽実技A-II *音楽実技B- II	音楽実技A-Ⅲ 和声法 I	音楽実技A-IV
科	科目数	6	5	2	1
専門教育科目(B類)	選択科目	音楽ワークショップ I	音楽ワークショップⅡ	音楽ワークショップ III 音楽実技B-III コンピュータ音楽 I 音楽キャリアデザイン II ○民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽) ○合奏 ○教職入門 ○教育基礎論 ○音楽科教育法 I ○教育方法学 ○生徒指導(進路指導を含む) ○介護体験実習	音楽ワークショップIV 音楽実技B-IV 和声法 II ○指揮法 ○教育心理学 ○特別支援教育総論 ○教育課程論 ○音楽科教育法 II ○特別活動の指導法 ○教育相談
	科目数	1	1	12	10
科	目数	12	13	18	17

		3	年	4	年
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
共 通全A 科学類 目					
	科目数	0	0	0	0
音楽学科	必修科目			卒業研究	卒業研究
専	科目数	0	0	1	1
や門教育科目 (B類)	選択科目	音楽ワークショップ V 音楽実技B-V ○作曲(含む教材編曲法) I ○伴奏法 I ○日本音楽演習A(歌唱) ○音楽科教育法Ⅲ ○道徳教育の指導法 ○総合的な学習の時間の指導法	音楽ワークショップVI 音楽実技B-VI 作曲(含む教材編曲法) II 教職演習 I 〇日本音楽演習B(和楽器) 〇教育社会学 I 〇音楽科教育法IV	音楽ワークショップVII 音楽実技B-VII 教職演習II ○教育実習(中・高)	音楽ワークショップVII 音楽実技B-VII ○教職実践演習(中・高)
	科目数	8	7	4	3
科目	数計	8	7	5	4

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。 表中の○印は教職(中・高免許)科目です。

		1:	年	2	年
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	必修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I イタリア語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II イタリア語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語Ⅲ イタリア語Ⅲ	SEITOKU Academic LiteracyIII 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語IV イタリア語IV
	科目数		7	4	6
音楽学	必修科目	*音楽文化概論 *音楽基礎理論 I *ソルフェージュ I *合唱(第九) I *音楽実技A- I *音楽実技B- I	*音楽キャリアデザイン I *合唱(第九) II *西洋音楽史 *音楽実技A-II *音楽実技B-II	音楽実技A-Ⅲ 和声法 I	音楽実技A-IV
科	科目数	6	5	2	1
専門教育科目(B類)	選択科目	音楽ワークショップ I 障害児と音楽 ⑥音楽療法概論	音楽ワークショップ II 成人・高齢者と音楽 ②音楽基礎理論 II ②医学概論 ②社会福祉概論 ③障害児教育論 ③音楽療法技能A	音楽ワークショップIII 音楽実技B-III 音楽キャリアデザイン II コンピュータ音楽 I ②音楽療法の理論と技法 I ②音楽療法各論A ②合奏 ②民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽) ②施設実習 ②音楽科教育法 I ②教育基礎論	音楽ワークショップIV 音楽実技B-IV 和声法 II ②音楽療法の理論と技法 II ②音楽療法各論C ②臨床心理学 I ③リトミック ②指揮法 ②音楽療法技能C ③音楽療法演習
⊅ 11			1	11	10
件	目数	14	19	17	17

		3:	年	4	年
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
共 (A (A (A (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	科必目修				
	科目数	0	0	0	0
音	科必 目修			卒業研究	卒業研究
楽学	科目数	0	0	1	1
学科専門教育科目(B類)	選択科目	音楽ワークショップ V 作曲(含む教材編曲法) I 伴奏法 I 音楽キャリアデザインⅢ ◎臨床医学各論 I ◎応藤に理学 Ⅱ ◎介護概論 ◎音楽療法技能B ◎音楽療法実習 I ◎日本音楽演習A(歌唱) ◎音楽家のためのリテラシー ◎ギター演習 ◎発達心理学	音楽ワークショップVI 作曲(含む教材編曲法)II ②音楽療法各論B ③臨床医学各論II ③音楽療法実習II ③音楽心理学	音楽ワークショップVII ◎音楽療法実習Ⅲ	音楽ワークショップVⅢ ◎音楽療法実習IV
81	科目数	13	6	2	2
科目	数計	13	6	3	3

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。 表中の◎印は音楽療法士の資格に必要な科目です。

教職課程履修について[中学校教諭一種免許状(音楽)、高等学校教諭一種免許状(音楽)]

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになりますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅷ-9

チェ		授業の方法	227				履修	年次				
ーツク	授業科目		単位		1		2		3		1	備考
欄				春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	日本国憲法		2		0							
	英語 I	演	1	0								
	英語Ⅱ	演	1		0							
	スポーツと健康 Ι	講、実	1	0								
	スポーツと健康 Ⅱ	講、実	1		0							
	情報活用演習(基礎)	演	1	0								
	情報活用演習(教職)	演	1		0							

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわりなく、下記のとおりに履修してください。

○教科に関する科目

教科に関する科目については、下表のとおり履修してください

別表Ⅷ-10

チ		授業					履修	年次				
エック	授業科目	があった。	単位		1	4	2	;	3	4	4	備考
欄		法	137	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	音楽基礎理論 I		2	0								
	ソルフェージュ I	演	2	0								
	合唱(第九) I	演	2	0								
	民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽)		2			0						
	伴奏法 I	演	2					0				
	作曲(含む教材編曲法) I	演	2					0				
	日本音楽演習A(歌唱)	演	2					0				
	日本音楽演習B(和楽器)	演	2						0			
	音楽実技A- I	演	2	▲a								≜ a
	音楽実技A-Ⅱ	演	2		▲a							音楽実技A-IかB-Iを声楽 音楽実技A-IIかB-IIを器楽で
	音楽実技B- I	演	1	▲a								履修する。
	音楽実技B-Ⅱ	演	1		▲a							J
	西洋音楽史		2		0							
	合奏	演	2			0						
	指揮法	演	2				0					

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、下表のとおり履修してください。

別表Ⅷ-11

チ		方授	単	中	高	履修年次						//J·J·X VII 11		
エッ	授業科目	業]	l	2	2	:	3	4	1	備考
ク欄		法の	位	免	免	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	教職入門		2	0	0			0						
	教育基礎論		2	0	0			0						[注]6.参照
	教育心理学		2	Δ	Δ				0					】 △はいずれか1科目必修
	発達心理学		2	\triangle	Δ					0				∫ [注]6.参照
	特別支援教育総論		2	0	0				0					
	教育社会学 I		2	0	0						0			
	教育課程論		2	0	0				0					
	音楽科教育法 I	演	2	0	0			0						[注]6.参照
	音楽科教育法Ⅱ	演	2	0	0				0					
	音楽科教育法Ⅲ	演	2	0	0					0				
	音楽科教育法IV	演	2	0	0						0			
	道徳教育の指導法		2	0						0				
	総合的な学習の時間の指導法		2	0	0						•			
	特別活動の指導法		2	0	0				0					
	教育方法学		2	0	0			0						
	生徒指導(進路指導を含む)		2	0	0			0						
	教育相談		2	0	0				0					
	教職実践演習(中・高)	演	2	0	0								0	
	中学校教育実習	実	5	0		,							-	
	高等学校教育実習	実	3		0									
	介護体験実習	実	1	0										
	計		45	40	35									

- [注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 - 3. 授業の方法欄の「演」は演習、「実」は実習、空欄は講義をさす。
 - 4. 履修年次欄の○印は開講時期をさす。
 - 5. 教職に関する科目は卒業要件に算入することができる。
 - 6. 音楽療法士(1種)、音楽療法士(補) 受験資格を取得する者は、「教育基礎論」(音楽療法士(補) 受験資格のみ)、「発達心理学」、「音楽科教育法 I」を必ず履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育 実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び 特殊教育諸学校において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

各種免許・資格課程の履修について

各種資格を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、資格ごとに所定の単位並びに本学で定める科目を 履修する必要があります。

資格を取得するために必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については、下記のとおりです。 理解を深めて授業に臨んでください。

1. 「取得できる免許・資格」について本学で取得できる資格は下記のとおりです。

				登録	できる学	部•学科	(○印が	可能)		
	免許•資格名		児童学部	文学部	心理。褚礼学音	重・量・量・量・量・	人間栄養学部	看護学部	音楽学部	備考
		費	児童学科	文学科	社会福祉学科		人間栄養学科	看護学科	音楽学科	
	幼稚園教諭一種免許状	40,000	0%							※幼稚園教員養成コースは必修
	小学校教諭一種免許状	60,000	○※1						○※2	※1 小学校教員養成コースは必修 ※2 中高免とあわせて取得可能
教	小学校教諭二種免許状	30,000							0 %	※中高免とあわせて取得可能
員	中学校教諭一種免許状	60,000	0			0	0		0	
免許	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	40,000 60,000	0	0	0	0	0		0	-
状	高等学校教諭一種免許状	40,000		0	0					1
	特別支援学校教諭一種免許状	30,000	0							
	養護教諭一種免許状	40,000				0				_
	栄養教諭一種免許状	20,000					0			-
	社会福祉士(受験資格) 精神保健福祉士(受験資格)	60,000				0				-
	保育士	60,000	0% 3			O % 4				※3 保育士養成コースは必修 ※4 社会福祉コースと養護教諭コース は取得可能
	介護福祉士(受験資格)	100,000				0 ※				※介護福祉コースのみ取得可能
	公認心理師(受験資格)	45,000			○ ※ 5					
玉	社会福祉主事(任用資格)	-	0			0			0%	※音楽療法士を取得する場合取得可能
家	児童福祉士(任用資格) 児童指導員(任用資格)	_	0			0				-
資	社会教育主事(任用資格)	50,000	0	0	0	0	0		0	-
格	図書館司書	20,000	0	0%	0	0	<u> </u>		Ö	※図書館情報コースは必修
	学校図書館司書教諭	20,000	Ō	0	Ō	Ö	Ō		Ō	
	学芸員	60,000	0	0	0	0	0		0	
	管理栄養士(受験資格)	-					0%			※必修 ※必修
	栄養士 食品衛生管理者(任用資格)	-					<u>0</u> %			※ 化修
	食品衛生監視員(任用資格)	_					<u> </u>			-
	看護師(受験資格)	-						0%		※必修
	保健師(受験資格)	60,000						0		
1	フードスペシャリスト(受験資格)	-					0			
1	レクリエーションインストラクター	20,000	0	0	0	0	0		0	-
1	余暇開発士 キャンプインストラクター	20,000	0	0	0	0	0		0	1
民	認定心理士	-	0		0					-
間次	ピアヘルパー(受験資格)	-	Ö			0			0	1
資格	音楽療法士(1種)	-							0]
1111	音楽療法士基礎資格	-							0	
1	ジュニアスポーツ指導員(受験資格)		0						-	-
	障がい者スポーツ指導員 健康運動実践指導者(受験資格)	別途指示 別途指示	0						-	1
\vdash	日本語教員養成講座	60,000	0	0	0	0	0		0	
	日本四权只伐以两注	00,000	\cup	$\overline{}$		$\overline{}$	$\overline{}$	1		l .

- [注]①学校図書館司書教諭の修了証書は、学校の教諭の免許状を有するものについてその効力が生じる資格です。 ②学校図書館司書教諭と図書館司書の両資格取得希望者の履修費は、合わせて20,000円です。
 - ③学芸員の資格については、3年次に実習配属が確定してから別途連絡します。
 - ④小・中学校教諭免許状を取得する場合には、介護等の体験が必要です。
 - 「介護等の体験を要する者」は、別途、介護等体験実習費10,000円が必要になります。
 - ⑤【看護学部】保健師(受験資格)の資格取得については、3年次より履修します。 2年次秋学期に説明会を実施します。
 - ⑥児童学科特別支援教育コースは、小学校教諭一種免許状もしくは幼稚園教諭一種免許状のいずれか必修。
 - ※5 卒業後、大学院において公認心理師法で定められた科目を修めてその課程を修了するか、 定められた実習施設にて2年以上の実務経験が必要です。

2. 「他学科開設科目の履修について」 上記の資格を取得するためには、他学科において開設する科目を履修することができます。

3. 「実習」について

一部の資格を取得するためには実習が必要です。実習については別途指示があります。

4. 「免許・資格課程の履修登録」について

各種免許・資格を取得するための課程を履修する学生は、次のとおり課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程等は別途指示があります。

(1)手続き方法

SEITOKU CAMPAS CARD (学生証) に履修費をチャージ(入金)し、指定の期日までに学生情報端末で申請手続きをしてください。登録できる免許・資格は、卒業要件となっているものを除き、原則として2種類以内です。なお、1年次の成績(GPA)が、一定の水準に達した場合は、3種類以上取得可能です。学生情報端末の利用については、SEITOKU CAMPAS CARDの手引きを参照してください。なお、免許・資格の取得が、所属学科・コースの卒業要件となっている課程は、教育支援課で一括登録を行うので、手続きは必要ありません。

(2)手続き期間

原則として2年次春学期に手続きしてください。詳しい日程等は、別途掲示で連絡いたします。

(3)その他の注意事項

- ①履修登録の届けをしないで履修しても、免許・資格は取得できません。
- ②履修途中において課程登録を取り消す場合は、正保証人連署の課程履修取り消し願いをクラス担任および科目担当教員の了承を得て指定期日までに教育支援課に提出してください。
- ③希望する全ての免許・資格が卒業までに取得できるとは限りません。
- ④夜間主の学生で、卒業要件とならない免許・資格を取得するには、昼間(9:00~17:55)の時間帯の科目の履修が必要となります。
- ⑤各免許及び資格に必要な科目の受講については、課程の登録にかかわらず授業開始日より受講してください。

[図書館司書 学校図書館司書教諭 科目一覧]

別表VⅢ-1

チェック欄 授業 印 司 司 履 修 年 次 投業 利 目 方法 位 書 教 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋	備考
ツ 授業科目 の 方法 位書教 春 秋 春 秋 春 秋 春 秋	備考
方法 位書 教春秋春秋春秋春秋	
□ 生涯学習概論 2 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 図書館概論 2 ○ ○	
□ 図書館情報技術論 2 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 図書館制度・経営論2 ○□ □ □	
□ 図書館サービス概論 2 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 情報サービス論 2 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 児童サービス論 2 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 情報サービス演習 I 演 1 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 情報サービス演習 II演 1 ○□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 図書館情報資源概論 2 ○ ○ □	
□ 情報資源組織論 2 ○ ○ ○ □	
□ 情報資源組織演習 I	
□ 情報資源組織演習 II 演 1 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 図書館基礎特論 2 △ □	
□ 図書館サービス特論2 △□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 図書館情報資源特論 2 △ □	
□ 図書・図書館史 2 △ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 図書館施設論 2 △ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 図書館総合演習 演 1 △	
□ 学校経営と学校図書館 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
□ 学習指導と学校図書館 2 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□ 読書と豊かな人間性 ※ 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
□ 情報メディアの活用 2 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
計 41 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

- 1. 図書館司書の資格を取得する者は、司書欄に○印を付された科目全部と、△印を付された科目のうち2科目以上を履修しなければならない。
- 2. 学校図書館司書教諭の資格を取得する者は、司教欄に○印を付された科目を履修しなければならない。なお、司書教諭の修了証書の効力は、学校の教員免許を取得した時点から生じることになる。
- 3. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。
- 4. 授業の方法欄の「演」は演習科目、※を付された科目は講義及び実技科目。空欄は講義科目。
- 5. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。
- 6. 図書館司書について、文学科の学生は学科の履修要項のとおりに履修してください。

[社会教育主事任用資格関係科目]

別表Ⅷ-2

チ		授業	単	必			J	覆修	年沙	7			/J132 VIII 2
エッ	授 業 科 目	0				1	6	2	,	3	4	1	備考
ク 欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
1919	生涯学習論 I		2	Ö			\bigcirc						
	生涯学習論Ⅱ		2	0				0					
	生涯学習支援論 I		2	0			\bigcirc						
	生涯学習支援論Ⅱ		2	O				\circ					
	社会教育経営論 I		2	0					\circ				
	社会教育経営論Ⅱ		2	0						\bigcirc			
	家庭教育と社会教育 I		2				\bigcirc						7
	家庭教育と社会教育Ⅱ		2					\circ					
	図書館概論		2				0						
	博物館概論		2				\circ						
	教育基礎論		2				0						
	教育原理		2		\bigcirc								A研.0早世,送机必修
	特別支援教育総論		2			\circ							
	教育社会学 I		2							\bigcirc			
	博物館情報・メディア論		2							\bigcirc			
	文化財の保護		2							\circ			
	社会教育実習 I	実	1	\circ					\bigcirc				
	社会教育演習 I	演	1						\bigcirc				
	社会教育演習Ⅱ	演	1							\circ			
	社会教育実習Ⅱ	実	1							\circ			► B群:3単位選択必修
	社会教育課題研究 I	演	1								\circ		
	社会教育課題研究Ⅱ	演	1									\circ	
	計		38										

- 1. 社会教育主事任用資格を取得する者は、必修欄に〇印を付された科目全部とA群より8単位、B群より3単位を含み、24単位を履修すること。
- 2. 上記の科目は、卒業所要単位数に算入しない。但し、各学科専門教育科目として履修した場合は、この限りではない。
- 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
- 4. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。

別表Ⅷ-3

チェ		授業	単	Α			J.	覆修	年沙	T),132 tm 0
ツ	授 業 科 目	0)				1	4	2	,	3	4	1	備考
ク 欄		方 法	位	欄	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	生涯学習概論		2	\bigcirc			\bigcirc						
	博物館概論		2	\circ			\bigcirc						
	博物館経営論		2	\circ				\bigcirc					
	博物館資料論		2	0				0					
	博物館資料保存論		2	\circ					\bigcirc				
	博物館展示論		2	0						\circ			
	博物館情報・メディア論		2	\circ					\bigcirc				
	博物館教育論		2	0						\circ			
	博物館実習	実	3	0					\bigcirc	\bigcirc			
	<u> </u>		19										

- 1. 学芸員の資格を取得する者は、A欄に○印を付された科目全部を履修しなければならない。
- 2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。但し、各学科専門教育科目として履修した場合この限りではない。
- 3. 授業の方法欄の「実」は実習科目、空欄は講義科目。
- 4. ①博物館実習は、博物館の見学、実務実習などを合算して履修する。
 - ②博物館実習は次の各号に該当しなければ受講することができない。
 - ア. 受講年次以前に配当された科目は、履修済であること。
 - イ. 当該年次に配当された科目は、履修見込みであること。
 - ③博物館実習の受講許可人員は年20~30名までとする。
- 5. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。

「レクリエーション関係科目]

別表Ⅷ-4

															<i>加</i>
チェ		授業	単	レクリ	リエージ	ンヨン			J.	覆修	年沙	T			
ツ	授業科目	\mathcal{O}		ライクン	キャ	余		1	6	2	ć	3	4	4	備考
ク 欄		方法	位	タスート	ンプ	暇	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	野外活動論		2	0	0				0						
	グループワーク論		2							\bigcirc					
	レクリエーション概論		2	\bigcirc				\bigcirc							
	レクリエーション基礎演習 I	演	1	\circ					\bigcirc						
	レクリエーション実習 I	実	1	*	*					\bigcirc					
	レクリエーション実習Ⅱ	実	1	*	**					\bigcirc					
	レクリエーション事業参加		1	\circ											
	余暇生活論		2			0		\bigcirc							
	余暇生活相談論		2			0					\bigcirc				
	余暇生活援助法		2			0						\bigcirc			
	ケーススタディ	演	1			\circ							\bigcirc		
	計		17												

- 1. レクリエーションインストラクター、キャンプインストラクターの資格を取得する者は、各資格該当欄に○印を付された科目すべてと、※印を付された科目をどちらか1科目履修しなければならない。 余暇開発士の資格を取得する者は、余暇資格該当欄に○印を付された科目をすべて履修しなければならない。
- 2. 上記の科目は、卒業所要単位に算入しない。但し、各学科専門教育科目として履修した場合は、この限りではない。
- 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
- 4. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。
- 5. 余暇開発士の課程履修は、児童学科、心理学科、音楽学科のみを対象とする。

[日本語教員養成講座(全学科)]

この講座は、外国人に対する日本語教員の資質向上を目的として行われる「日本語教育能力検定試験」の出題領域科目を主体として編成する日本語教員志望の養成講座である。

上記の検定試験は、現在資格付与ということはないが合格者には合格証書が交付される。なお、本講座の本学相当科目は、ほとんどが文学科に開設されているが、他学科の者も履修することができる。 修了した者には修了証明書が交付される。

別表Ⅷ-5

西淮势吞内穴(山眶여县)	チ	本学相当科目	<u> </u>		
標準教育内容(出題領域)	エ	平子相目杆目	Г		屋板亚连
領域区分	ッ ク 欄	科目名	必要 単位		履修要項
日本語の構造に関する体系的・具		日本語概説 I	2		
体的な知識		日本語概説Ⅱ	2		
		日本語学特講 I	2		
		日本語学特講Ⅱ	2		
		日本語の語法 I		2	
		日本語の語法Ⅱ		2	
		現代語の研究 I	1		
		現代語の研究Ⅱ	1		
		日本語表現法 I	1		
		日本語表現法Ⅱ	1		
		日本語の音声	2		
		小計	(14)		
日本人の言語生活等に関する知識		日本語の歴史 I	2		
		日本語の歴史Ⅱ	2		
		小計	(4)		
日本事情(古典と文芸を含む)		日本事情 I	2		
		日本事情Ⅱ	2		
		日本文化入門		2	
		日本文学概説 I		2	
		日本文学概説Ⅱ		2	
		日本文学特講 I		2	
		日本文学特講Ⅱ		2	
		小計	(4)		
言語学的知識•能力		言語学概論 I	2		
		言語学概論Ⅱ	2		
		日本語の方言 I		2	
		日本語の方言Ⅱ		2	
		小計	(4)		
日本語の教授に関する知識・能力		日本語教育の概要 I	2		
		日本語教育の概要Ⅱ	2		
		日本語教授法 I	2		
		日本語教授法Ⅱ	2		
		日本語教育教材研究 I	1		
		日本語教育教材研究Ⅱ	1		
		日本語教育演習 I	1		
		日本語教育演習Ⅱ	1		
		小計	(12)		
計		本学所要最低単位	38		

MEMO

MEMO

MEMO

SEITOKU UNIVERSITY

部 科 コース 年 クラス 学籍番号 — 氏名

